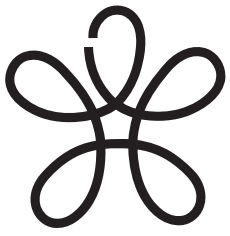
生物理工学部教育要項

2025

令和７年度



近 畿 大 学

新　入　生　の　皆　さ　ん　へ

生物理工学部長　加　藤　暢　宏

新入生の皆さん、近畿大学生物理工学部へのご入学誠におめでとうございます。心より歓迎いたします。

近畿大学は、1925年に創立された日本有数の総合大学であり、6つのキャンパスに3万4千人を超える学生が在籍しています。本学部は1993年に開設され、30年以上にわたり近畿大学の建学の精神である「未来志向の実学教育」と「人格の陶冶」に基づき、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人」の育成を目指し、理学、工学、生物学、医学の境界領域において教育・研究活動を展開してきました。和歌山キャンパスでは、学部と大学院を合わせて約2,000名の学生が切磋琢磨し、卒業後は医薬品、食品、IT・情報通信、各種製造、医療など幅広い分野で活躍しています。

大学は、これまでの学校生活で得られなかった知識、考え方、専門性を培う場です。近畿大学初代総長 世耕弘一先生は「学びかつ考えることが学業であり、その道場がすなわち学校」という言葉を残されました。大学入学以前は「学習」という表記が多かったと思いますが、大学では主体的に学ぶという意味を込めて「学修」と表記します。皆さんの血肉となる知識は単に与えられるものではなく、自ら主体的に学ぶことによって得られるものです。

「主体的に学ぶ」ための指針として、この教育要項があります。この冊子には、大学で修学するために必要な心構えから具体的な履修方法、学生生活の注意点などまでが記載されており、卒業までの4年間、自らの傍らに置いて度々目を通して理解を深めなければなりません。今、みなさんが大学教育のなかで、どこにいて何をしているのか、そしてどこへ向かうのかを知ることができるでしょう。

現代社会は多様性とSDGsが求められる時代であり、本学部での学際的な学修はますます重要性を増しています。緑豊かな紀伊山地に抱かれた風光明媚な和歌山キャンパスで、皆さんの無限の可能性を私たちと一緒に開花させましょう。

～ 学 園 組 織 ～

●大学

法学部	法律学科
経済学部	経済学科
	総合経済政策学科
	国際経済学科
経営学部	経営学科
	商学科
	会計学科
	キャリア・マネジメント学科
理工学部	理学科
	生命科学科
	応用化学科
	機械工学科
	電気電子通信工学科
	社会環境工学科
	エネルギー物質学科
建築学部	建築学科
薬学部	医療薬学科(6年制)
	創薬科学科(4年制)
文芸学部	文学科
	芸術学科
	文化・歴史学科
	文化デザイン学科
総合社会学部	総合社会学科
国際学部	国際学科
情報学部	情報学科
農学部	農業生産科学科
	水産学科
	応用生命化学科
	食品栄養学科
	環境管理学科
	生物機能科学科
医学部	医学科
生物理工学部	**生物工学科**
	食品安全工学科
	遺伝子工学科
	生命情報工学科
	人間環境デザイン工学科
	医用工学科
工学部	化学生命工学科
	機械工学科
	情報学科
	建築学科
	電子情報工学科
	ロボティクス学科
産業理工学部	生物環境化学科
	電気電子工学科
	建築・デザイン学科
	情報学科
	経営ビジネス学科

●通信教育部

法学部	法律学科
短期大学部	商経科
建築学部	建築学科

●大学院

法学研究科	法律学専攻
商学研究科	商学専攻
経済学研究科	経済学専攻
総合理工学研究科	理学専攻
	物質系工学専攻
	メカニックス系工学専攻
	エレクトロニクス系工学専攻
	環境系工学専攻
	建築デザイン専攻
	東大阪モノづくり専攻
薬学研究科	薬学専攻
	薬科学専攻
総合文化研究科	日本文学専攻
	英語英米文学専攻
	文化・社会学専攻
	心理学専攻
農学研究科	農業生産科学専攻
	水産学専攻
	応用生命化学専攻
	環境管理学専攻
	バイオサイエンス専攻
生物理工学研究科	**生物工学専攻**
	生体システム工学専攻
システム工学研究科	システム工学専攻
産業理工学研究科	産業理工学専攻
医学研究科	医学系専攻
実学社会起業イノベーション学位プログラム	

●病院及び研究所等

近畿大学病院
近畿大学奈良病院

水産研究所
附属農場
原子力研究所
理工学総合研究所
人権問題研究所
民俗学研究所
薬学総合研究所
日本文化研究所
世界経済研究所
経営イノベーション研究所
情報学研究所
デザイン・クリエイティブ研究所
バイオコークス研究所
先端技術総合研究所
次世代基盤技術研究所
ライフサイエンス研究所
東洋医学研究所
アグリ技術革新研究所

●短大、高専及び専修学校

短期大学部	商経科
九州短期大学	生活福祉情報科
	保育科
	通信教育部
工業高等専門学校	総合システム工学科
	専攻科生産システム工学専攻
附属看護専門学校	看護学科

●附属学校

附属高等学校
附属新宮高等学校
附属豊岡高等学校
附属福岡高等学校
附属広島高等学校福山校
附属広島高等学校東広島校
附属和歌山高等学校

附属中学校
附属和歌山中学校
附属新宮中学校
附属広島中学校福山校
附属広島中学校東広島校
附属豊岡中学校

附属小学校

附属幼稚園
九州短期大学附属幼稚園

～ 建 学 の 精 神 ～

「実学教育」と「人格の陶冶」

～ 教 育 の 目 的 ～

人に愛される人

信 頼 さ れ る 人

尊 敬 さ れ る 人

を育成することにある。

未完の大器である学生たちを
来るべき次世代を担う
志高い人に導き
向学心を育んでいきます。

未来志向を持ち続けることが、
近畿大学の使命

大学院 12 研究科等、15 学部 49 学科、6 キャンパス、18 の研究所等、病院、短大、専門学校から幼稚園までの附属学校をもつ総合教育機関として、それぞれのネットワークを強化し、近畿大学は未来への歩みを続けています。

～ 生物理工学部の教育方針 ～

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

生物理工学部は、近畿大学建学の精神に則り、生命科学と理工学の学際的分野で、系統的な基礎科目の教育と学科毎に高度な専門教育を実施して、社会に貢献できる多様性を持つ優れた人材を育成します。このために、次のような入学者を広く受入れます。

1．各学科での履修に必要な基礎学力を十分に有している人。
2．自然科学と最先端の科学技術に広く関心を持つ人。
3．将来の目標を定め、強い意志を持って勉学を志す人。
4．能動的に学ぶ姿勢を有している人。
5．幅広い視点から論理的に課題を解決していく意欲にあふれる人。
6．高い倫理観を持って謙虚な姿勢で社会に貢献しようと志す人。
7．他者との関わりを大切にし、コミュニケーション能力を高め、社会に飛躍しようとする人。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

生物理工学部は、21世紀の社会が直面する「食糧」、「医療・福祉」、「人間生活の環境」における学際的分野の課題を自ら発見し解決できる人材を育成するためアクティブラーニングを含めた以下のようなカリキュラムを提供しています。

▶共通教養科目

幅広い知識と深い洞察力を培い、高い倫理性を育み、豊かな人間関係と確かな主体性を確立するために、調和の取れた教養教育を実施します。さらに、課題設定及び問題解決に積極的に挑戦する意欲とその能力を、初年次教育の講義及び演習により修得します。

▶外国語科目

国際的な感覚や異文化を理解する能力の涵養によって、生命科学と理工学の学際的分野の広いグローバル社会で活躍できる人材を育成するため、外国語教育を重視しています。英語では、初年次から学科横断的な習熟度別の少人数のクラス編成にて基礎・基本を徹底して学ぶとともに、外国人教員によるコミュニケーション能力を養う科目を履修することで、総合的な語学能力を養成します。さらに、中国語やドイツ語等の第二外国語を学修することで、さらなる国際的な感覚を育成します。

▶学部基礎科目

総合的な視野から専門分野を理解し、その研究に必要な基礎知識を養うことを目的とした系統的な科目を多く開講しています。特に、理工系学生として最低限必要な基礎学力を確保するために、少人数で習熟度別のクラス編成の採用や、リメディアル教育を行うクラスの併設をしています。

▶専門科目

社会のニーズに対応できる豊かな教養に裏打ちされた専門性を高める教育プログラムを、各学科の人材育成目標に沿って提供します。実験・実習・演習を重視し、産学連携を推進し、生きた実学教育を実施します。また、学科の枠を超えた学際領域選択科目を設け、学際的な学術分野の専門知識を深めます。さらに、学科毎に研究室に分属して行う卒業研究では、教員や大学院生との深い相互討論によって、基礎的あるいは最先端の研究を体験し、専門知識の深化と専門技術の修得を図ります。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

生物理工学部は、建学の精神と教育の目的に即して、生命科学と理工学の学際的な学術分野の教育研究を通じて、地域社会ならびに国際社会と連携して人類社会の福祉と持続可能な発展に寄与できる人材の養成を目的に、厳格な成績評価にもとづいた教育プログラムを提供しています。生物理工学部では、所定の期間在学し、所属学科の卒業所要単位表に記載の全ての要件を満たしている学生に卒業を認定し、学士（工学）の学位を授与します。卒業までに身につけるべき資質・能力を以下に示します。

1．関心・意欲・態度（DP1）
●生命科学と理工学の学際分野に関して深い認識を持ち、自立的に学ぶことができること。
●科学技術の利用において、高い倫理観をもって、社会貢献への使命感を有していること。
2．思考・判断（DP2）
●生命科学と理工学の学際領域に関わるグローバルな課題に対応するため、俯瞰的な視野を身につけていること。
●独創性と創造性ある科学的発想力を身につけ主体的に問題解決を図れる能力を有していること。
3．技能・表現（DP3）
●生命科学と理工学の学際的分野において、高い基礎知識と技能を修得していること。
●異文化の人々とのコミュニケーションを円滑にできる能力を備えていること。
4．知識・理解（DP4）
●21世紀の社会が直面する生命科学と理工学の学際的分野の課題に対して、論理的思考に基づく解決能力を備えていること。

Kindai University History

近畿大学の歩み

**「実学教育」と「人格の陶冶」を掲げ、創立１００周年の歴史とともに
たゆみなき発展を遂げてきました。**

学園の拡充を進め、総合大学としての礎を築く

近畿大学は大正14年（1925）創立の大阪専門学校と昭和18年創立の大阪理工科大学を母体として、昭和24年、新学制により近畿大学として設立されました。設立当時は理工学部、商学部（のちに商経学部、さらに平成15年4月に経済学部、経営学部へ改組）の2学部でスタートしました。翌年には法学部、短期大学部を設置。その後も、薬学部（昭和29年）、農学部（昭和33年）、工学部（昭和34年）、産業理工学部（昭和41年）を次々に開設し、総合大学の礎を順調に築いていきました。そして、昭和49年には医学部を設置、翌年には近畿大学病院を開院するに至りました。この間にも、学科の増設をはじめ、研究所、短大、高等専門学校、高等学校、中学校、小学校、幼稚園に至るまで、西日本を中心に学園の整備を進めてきました。

真の総合大学としてさらに発展

近畿大学は常に時代の動向を敏感に感じとり、日本の未来を進取する取り組みを行ってきました。平成の始まりと共に“文学、芸術、文化”を横断するジャンルを研究領域とした文芸学部を開設。理系中心の学部構成に新風を吹き込み、真の総合大学の完成を目指しました。さらに、生体の持つ優れた機能に着目、そのメカニズムなどを学ぶバイオミメティクスを柱とした新領域を研究する生物理工学部を平成5年に開設。平成22年には自然科学と社会科学の双方の視点で現代社会が直面する課題に取り組む総合社会学部を開設。平成23年には建築の分野に芸術や社会の要素を取り入れた教育でこれからの建築をリードする人材を教育する建築学部を開設、平成28年には1年間の留学を原則必修とし、グローバル社会で活躍できる人材を育成する国際学部を開設、そして、令和4年度に、新たな情報価値や情報サービスの創出を担う技術者を目指す情報学部を開設しました。

これまでも、これからも、未来志向性総合大学として進む

近畿大学は15学部49学科とすべての学問分野を究める大学院12研究科等を持ち、18の研究所等、2つの短大、併設学校18校園、さらに大規模な総合病院を2カ所に設置する、わが国でも有数の私立総合大学に発展しました。学生数は約3万人、卒業生は55万人を超え、近畿大学の卒業生はあらゆる分野で、社会の根幹を支える人材として活躍しています。創立以来の「実学教育」と「人格の陶冶」を今後も教育の根幹として、進取の精神で、常に未来を志向する「未来志向性総合大学」として前進していきます。

～ 沿 革 ～

1925

大正14年　大阪専門学校設立
昭和18年　大阪理工科大学設立
昭和23年　臨海研究所（現・水産研究所）（和歌山県白浜町）開設
昭和24年　新学制により大阪理工科大学、大阪専門学校を合併し、近畿大学設立
理工学部、商学部（のちに商経学部、さらに平成15年度から経済学部、経営学部へ改組）設置

1950

昭和25年　法学部、短期大学部設置
昭和26年　財団法人近畿大学を学校法人近畿大学に名称変更
昭和27年　大学院商学研究科、化学研究科修士課程設置
湯浅農場開設
昭和29年　薬学部設置
昭和32年　通信教育部（短期大学部）設置
生石農場開設
昭和33年　農学部設置
昭和34年　工学部設置
昭和35年　通信教育部（法学部）設置
原子力研究所開設
昭和41年　産業理工学部設置
昭和45年　大学院工学研究科、法学研究科修士課程、商学研究科博士課程設置
学生クラブセンター竣工
創立45周年記念式典
昭和46年　記念会館竣工
分子工学研究所開設
昭和47年　大学院工学研究科、法学研究科、化学研究科博士課程設置
昭和49年　医学部設置
ライフサイエンス研究所開設

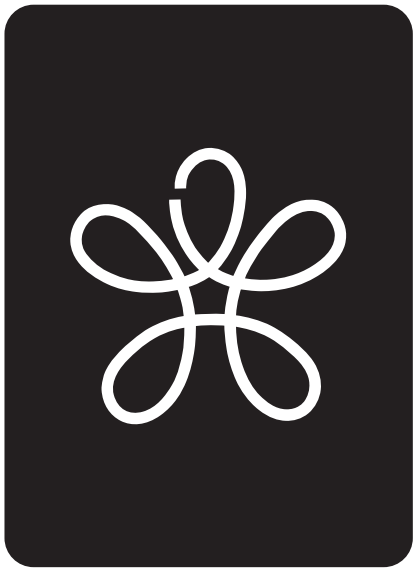
1975

昭和50年　医学部附属病院（現・近畿大学病院）開院
東洋医学研究所開設
昭和55年　大学院医学研究科博士課程、薬学研究科修士課程設置
昭和59年　理工学総合研究所開設
昭和60年　大学院農学研究科修士課程、薬学研究科博士課程設置
昭和61年　産業・法律情報研究所開設
人権問題研究所開設
昭和62年　民俗学研究所開設
11月ホール竣工
平成元年　文芸学部、大学院経済学研究科修士課程、農学研究科博士課程設置
平成2年　薬学総合研究所開設
創立65周年記念式典
平成3年　大学院経済学研究科博士課程設置
平成4年　大学院産業技術研究科修士課程設置
平成5年　生物理工学部設置
先端技術総合研究所開設
平成6年　大学院文芸学研究科、システム工学研究科修士課程、産業技術研究科博士課程設置
平成7年　創立70周年記念式典
工業技術研究所開設
平成8年　大学院システム工学研究科博士課程設置
平成9年　大学院生物理工学研究科修士課程設置
平成10年　資源再生研究所（現・バイオコークス研究所）開設
腫瘍免疫等研究所開設
平成11年　大学院化学研究科と工学研究科を改組し総合理工学研究科設置
大学院生物理工学研究科博士課程設置
医学部堺病院開院
医学部奈良病院（現・近畿大学奈良病院）開院

2000

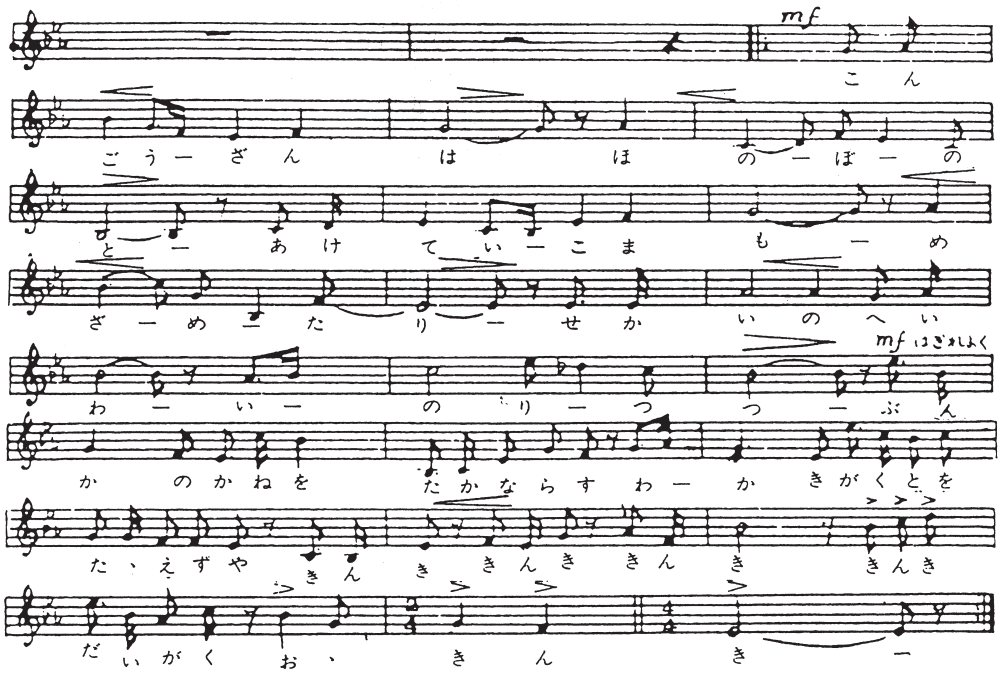
平成12年　リエゾンセンター（KLC）開設
情報処理教育棟〈KUDOS（キュー ダス）〉竣工
平成13年　分子工学研究所ヘンケル先端技術リサーチセンター開設
平成14年　国際人文科学研究所開設
平成15年　経済学部設置
経営学部設置
平成16年　法科大学院開設
日本文化研究所開設
平成18年　英語村E^3［e-cube（イーキューブ）］開村
平成19年　分子工学研究所ＪＳＲ機能材料リサーチセンター開設
世界経済研究所開設
平成20年　幼児教育研究所開設
平成22年　総合社会学部設置
次世代基盤技術研究所開設
経営イノベーション研究所開設
平成23年　建築学部設置
平成25年　大学院産業理工学研究科修士課程設置
平成26年　大学院総合文化研究科修士課程設置
心理臨床・教育相談センター開設
平成27年　大学院産業理工学研究科博士課程設置
平成28年　国際学部設置
大学英語名称を「KINDAI UNIVERSITY」に変更
平成29年　ACADEMIC THEATER（アカデミックシアター）竣工
平成30年　アグリ技術革新研究所開設
令和2年　情報学研究所開設
令和4年　情報学部開設
デザイン・クリエイティブ研究所開設
令和5年　実学社会起業イノベーション学位プログラム修士課程設置
令和7年　創立100周年
通信教育部（建築学部）設置

学園章について



学園花は、梅、です。「梅花霜雪を経て開く」。自然の厳しさをへて、春いちばん、品格高き花が咲きひらく。

学園章は、梅の花弁を、象徴したものです。五つの花弁は、大学の大、花芯も大。人そのものでもある。これは、大学の現および未来に向っての存在と位置をかたどるものです。一部がやや離れているのは未来志向に基づく内面の未完、さらに充溢、完熟をめざし向う形姿。一本のつよい線に貫かれる。



近畿大学校歌

世耕　弘一　作詞
樋口　昌道　作曲

(1) 金剛山はほのぼのと　明けて生駒も目ざめたり
世界の平和祈りつつ　文化の鐘を高鳴らす
若き学徒を讃えずや　近畿　近畿　近畿
近畿大学　おお近畿

(2) 開けゆく代のさきがけと　進む行く手に栄えあれ
理想の光相追いて　真実一路あこがれの
若き学徒に誇りあり　近畿　近畿　近畿
近畿大学　おお近畿

(3) 外国までも響けよと　高き文化の足音を
互いに誓い競い立ち　真理に愛に魂結ぶ
若き学徒にほまれあれ　近畿　近畿　近畿
近畿大学　おお近畿

SDGsへの取組み

生物理工学部は、建学の精神「実学教育」と「人格の陶冶」に則り、社会に貢献できる多様性をもつ優れた人材を育成します。この社会的責務の遂行との関わりにおいて、生物理工学部は国連が掲げる **SDGs（持続可能な開発目標）** の達成に向けた取組みを実施しています。その一環として、まず近大ゼミで SDGs を取り上げます。それを契機に、学生のみなさんには、SDGs を「自分事」として捉えながら学ぶことを望みます。

SDGsとは？

持続可能な開発目標（SDGs）とは，2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として，2015 年 9 月の国連総会で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴールと 169 のターゲットから構成され，地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず，先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり，日本としても積極的に取り組んでいます。（外務省 HP より）

目　　次

学部長挨拶 …… i
学 園 組 織 …… ii
建学の精神・教育の目的 …… iii
生物理工学部の教育方針 …… v
近畿大学の歩み …… vi
学園章について …… viii
校　　歌 …… ix
ＳＤＧｓへの取組み …… x

生物理工学部の学修（履修要項）

履修にあたって …… 1
学修上の心構え …… 1
受講するにあたっての注意 …… 2
オンライン授業（メディア授業）について …… 3
レポート等における剽窃（盗用）行為（plagiarism）について …… 4
生成系 AI の利活用に関する生物理工学部における指針 …… 5
学　年　暦 …… 6
学期及び授業 …… 6
授業科目の構成 …… 7
単　位　制 …… 8
授業科目の選択と履修登録 …… 9
授業形態と卒業単位数について …… 11
試　　験 …… 12
成 績 の 評 価 …… 13
◆ GPA（Grade Point Average）制度について …… 14
卒業要件・進級条件 …… 17
卒業資格の要件 …… 17
進級のための条件 …… 17
卒業資格・要件 …… 18
進級のための条件 …… 21
カリキュラム体系図 …… 27
学年別科目配当表 …… 39
学際領域選択科目表 …… 51
『AI・データサイエンティスト』育成プログラム（B-AiDaS）の履修について … 52
基礎教育について …… 53
語学教育について …… 54
英語科目の履修について …… 55
生物工学科・遺伝子工学科・食品安全工学科における食品衛生課程の履修について …… 64
臨床工学技士国家試験受験資格の取得について〔医用工学科〕 …… 69
自然再生士補の認定について〔生物工学科〕 …… 71
二級・木造建築士（国家資格）試験受験資格の取得について〔人間環境デザイン工学科〕 … 72
教育職員免許状の取得について〔全学科〕 …… 73
大学院への進学について …… 74

学籍の取扱い

学　生　証 …… 75
学 籍 番 号 …… 75
通 学 証 明 書 …… 76
学 費 納 入 …… 77
学籍異動について …… 79

学 生 生 活

大学からのお知らせについて …… 81
自然災害等発生時における授業の取扱いについて …… 82
窓 口 事 務 …… 83
各種証明書発行一覧 …… 83
通学証明書・学割証について …… 85
自動車・単車通学許可願について …… 86
在学特待生制度 …… 89
奨学金・教育ローン …… 90
（学 内 案 内）
就 職 情 報 室 …… 91
図 書 館 …… 98
電算機センター …… 104
電算機センターについて …… 104
情報処理演習室の利用について …… 105
学生のネットワーク利用に関する規程 …… 108
学校法人近畿大学 情報システム利用ガイドライン …… 109
学校法人近畿大学 クラウドストレージ利用ガイドライン …… 117
保 健 管 理 室 …… 120
キャンパス付近医療機関 …… 121
学 生 相 談 室（カウンセリングルーム） …… 122
アドバイザリー制度、マイキャンパスプラン（My Campus Plan：MCP）、授業アンケート … 123
傷害・賠償保険について …… 124
学生健保共済会 …… 124
下 宿 生 活 …… 125
ア ル バ イ ト …… 126
遺失物・拾得物について …… 127
その他 クリーンキャンパス …… 127
附属農場湯浅農場の紹介 …… 129
（学生生活トラブル対処法）
ハラスメントガイドライン、悪徳商法、クーリングオフなど …… 133
（学内施設案内）
学生コミュニティホール（体育館） …… 144
カフェテリア（食堂）、コンビニエンスストア …… 145
そ の 他 …… 146
（ 国 際 交 流 ）
海外留学・語学研修について …… 147

教員プロフィール …… 149

近畿大学学則（抄） …… 171
近畿大学学生規程 …… 177
学費納入要項（抄） …… 184
遺失物取扱規程 …… 189
学 生 行 動 規 範 …… 192
学 内 配 置 図
研究室配置一覧 …… 193
1号館、2・3号館、10号館、高圧力蛋白質研究センター、先進医工学センター … 194
キャンパスＭＡＰ …… 211
避 難 経 路 地 図 …… 212

生物理工学部の学修

履修にあたって

本学部においては、専門的知識及び技術を身につけるための**「専門科目」**が存在することは当然ですが、それと同時に、豊かな教養、ならびに総合的判断力を養うことを目的とした全学科共通の科目（**「共通教養科目」「外国語科目」「学部基礎科目」**）も設置しています。

科学・技術がますます専門化し、細分化していく時代だけに、ともすれば人間についての基本的な問いが欠落することがあります。そのようなことを避けるためにも、適切な配慮をもって教養教育を行います。専門教育と教養教育とが融合して進む時、真の大学教育を実現できると確信しています。

専門教育の目的は、専門の知識や技術の修得にあることは言うまでもありませんが、自ら創造し、思考し、学問の真理を究め、その応用的能力の涵養を目指すものでもあります。その内容は、各学科ごとに特色をもって配置されています。学生のみなさんは、この**専門教育と教養教育に関する科目群から卒業に必要な一定の単位数を満たすよう履修しなければなりません。**履修にあたっては、自らの学修の目的に合わせて各授業科目の性格や配当学期・学年を考慮しながら系統的に履修するようにしてください。

学修上の心構え

大学においては自らが求めて学修しようとする意欲と意志が必要とされます。与えられるのではなく、自覚と目的意識を持ち、自ら積極的に学ぼうとする姿勢が必要です。

理工系の学問は毎日の積み重ねが重要であり、２～３回講義を欠席するとその後の授業についてゆけないのが現実です。従って、本学部では出席を重視しています。**授業を欠席すると試験を受けられないことがあります。**

意欲のある学生は講義を欠席などしないものです。健康であればできる筈です。ただし、出席することが全てではないことも当然であります。講義には真剣な態度で臨むことを期待します。

受講するにあたっての注意

大学は、「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とする（学校教育法 83 条）」場であります。したがって、学生が大学の授業や演習、実習等でその学習成果をあげるためには、学生自身に**主体的かつ積極的な授業態度**や**常識的なマナー**が必要です。

そのため、**授業中の携帯電話の使用やメールやメッセージの交換、授業に関わりのない私語、居眠りなどは本学部では認められない行為です。**授業中に講義室等から無断で出入りすることや、**友達の代理出席行為等も認められません。**

また、講義室等で、飲食したり、空き缶・ペットボトル等のゴミを放置したりすることや、喫煙行為は厳禁です。

授業は、教員の主導のもとで行われますから、教員は授業態度の良くない学生に対しては注意をします。それでも態度の改まらない学生には退室を指示する場合があります。さらに、改善の様子がなくこのような行為が繰り返されるようなら、教員はその学生の受講を停止する場合もあります。

また、著しく秩序を乱した学生に対しては、学則第 41 条（P. 176）を適用し、懲戒処分に付すことがありますので注意してください。

勉学は学生の権利です。
したがって、いかなる学生も他の学生の勉学の権利を侵害することなく、静穏な学修環境を保つ義務があります。

オンライン授業（メディア授業）について

2020 年、新型コロナウイルスの世界的流行を受け、近畿大学での多くの授業がオンラインで行われるようになりました。

オンライン授業とは「インターネットなどの情報通信網を介して提供される授業」であり、遠隔授業とオンデマンド授業とに大別できます。従来の対面授業では、教員と学生が時間と場所の両方を共有する必要がありますが、オンライン授業ではそのような制約はなくなります。

例えば、遠隔授業は教員あるいは学生がどこにいてもリアルタイムで受講できますし、教員への質問、学生間の議論、学生によるプレゼンテーションも可能です。一方、オンデマンド授業では動画や e-Learning のような自習教材が提供され、時と場所を選ばず自分のペースで受講できます。また、自分にとってより快適で集中できる部屋や環境で受講できるのもオンライン授業の大きな魅力です。

しかし、オンライン授業には注意すべき点もあります。多くのオンライン授業では、その場にいるのは自分一人であり、教員や他の学生から自分の様子は見えないため、つい気が緩んでしまうものです。さらに、オンデマンド授業ではいつ受講するかも自分次第です。つまり、対面授業の時よりも自ら学ぼうとする強い意志が必要となります。

また、オンライン授業では以下の点についても注意が必要です。

- 提供される内容や資料には、著作権を有するものや未公開の研究情報が含まれることがありますので、オンライン授業や資料へのアクセス方法、その録画や資料などを許可なく第三者に提供してはいけません。
- 自分自身と他の受講生のプライバシーや肖像権に配慮してください。

本学部は、これらの特性を踏まえた上で、学びの質と自由度を高める機会として、対面授業とともにオンライン授業を今後も積極的に提供していきます。学生の皆さんも自らの学びにオンライン授業を役立ててください。

レポート等における剽窃（盗用）行為（plagiarism）について

“剽窃”とは他人の著作から全部または部分的に文章、図表、語句、話の筋、思想などを盗み、自作の中に自分のものとして用いることです。友人が書いたレポート等を写す行為は剽窃ですし、ネット上の情報を自分のレポートや卒業研究論文等に貼り付けてしまう行為、いわゆる「コピペ」も剽窃です。他人のテキストを自分で入力しても剽窃になります。剽窃は倫理に反することであり、著作権を侵害するなど法に触れる場合もあります。剽窃は学生として絶対に行ってはいけない不正行為です。

近畿大学生物理工学部では、剽窃は倫理に反する行為、不正行為として厳正に対処します。また、他人のレポート等に使用されることを知りながら自分のテキストを提供することも他人の剽窃に加担することになるため、同様に不正行為とみなします。これらの不正行為は、カンニングと同じ扱いになる場合もあります。ただ、処罰対象になるからやってはいけない、ということではありません。あくまで、剽窃は倫理に反する行為、不正行為であるからやってはいけないということです。

一方で、様々な文献を「引用」することは、レポートや卒業研究論文等を作成する上で重要なことです。「引用」と「剽窃・盗用」は全く異なります。文献等を引用する際に大切なことは、「自分の文章と他人の文章をレポート等の中で明確に区別する」ということです。なお、引用には、引用部分を明確に示すこと（明瞭区別性）はもちろん、レポート等の論旨のなかで引用が補足的位置にあること（主従関係）、出典を明示することなど厳格なルールが存在します。引用ルールの詳細については、近畿大学中央図書館学修サポート（https://www.clib.kindai.ac.jp/search/study_support.html）の「レポートの書き方」や「ダメなコピペ・パクリ≒「剽窃（ひょうせつ）」について」などを参照してください。

レポート等に書いた文章は、それを書いた人の大事な自己表現です。レポートや試験、さらに卒業研究論文でも自分の文章に責任をもち、剽窃などせず、自分自身の学びの成果を存分に発揮してください。

生成系 AI の利活用に関する生物理工学部における指針

生成系 AI の研究開発が盛んに行われ、社会における利活用が世界的に急速に進展しています。近畿大学においても、2023 年 5 月に学長より「生成系 AI（ChatGPT、BingAI など）の利活用について」と題して AI の利活用に対する指針が示されました。以下では生物理工学部における AI の具体的な利活用の指針を示します。

1．責任ある利活用のために注意すべき点

生成系 AI は、インターネットに存在する玉石混交のデータを学習して文章などを生成しているため、出力された内容が事実と異なる場合があります。AI の出力の真偽については利用者自身で十分に確認することが必要です。査読付き論文や公的機関の発表資料などの信頼できる情報源を複数準備し、それらと AI の出力を十分に照らし合わせてください。同時に AI による著作権の侵害に対しても注意が必要です。また、生成系 AI の多くは、利用者が特別な設定をしない限り、質問として入力した情報を AI の学習用データとして収集します。AI に質問する内容には、個人情報や研究室の機密情報を絶対に含めてはいけません。

2．学習効果と創造性の発揮

生成系 AI は、ブレインストーミング、情報収集、文章校正、翻訳、プログラミングなど、学習や研究を支援する強力なツールです。友人のように相談して、AI との対話から新たなアイデアを得たり、作業効率を向上させたりすることができます。一方で、生成系 AI の出力をそのままの形でレポートなどに利活用することは、学習効果の低下や成長の機会の喪失につながるだけでなく、著作権侵害の罪に問われる場合すらあります。生成系 AI を利活用する能力と、自ら考え創造する能力の双方をバランス良く養うことが重要です。

3．学部における利活用ルールと情報共有

レポートや卒業研究等に生成系 AI の出力を記載する場合は、使用した AI の種類や AI の役割などを明記しなければなりません。また、教員から AI の使用可否について指示のある場合は必ずこれを守ってください。学部の方針や教員の指示に従わない場合は、提出物等が無効になるなど、成績評価に影響が出る場合があります。

4．指針の定期的な見直しと情報更新

生物理工学部では文部科学省の通知に基づき、技術の進展や運用状況に合わせて指針を定期的に見直し、最新の情報に基づいた適切な運用を推進します。教員と学生が積極的に情報共有し、生成系 AI を正しく理解し、利活用していくことが重要です。

本指針は、学生の皆さんが生成系 AI を参考にして、自らの創造性を発揮し、主体的な学習と研究を進めていくために作成されました。教員と学生が協力し、生成系 AI の適切な利活用により、生物理工学部の教育・研究をさらに発展させていきましょう。

学　年　暦

近畿大学生物理工学部学年暦は、生物理工学部 WEB サイトで確認できます。特別の事情がない限り予定通り行われます。変更などがあるときは、その都度学生ポータルシステム「UNIVERSAL PASSPORT」（以降「UNIPA」）等で通知します。

学期及び授業

1．セメスター制

本学部ではセメスター制をとっています。セメスター制とは、原則として前期と後期に開講される科目を独立に完結し、期末ごとに成績評価を行う制度です。ただし、進級判定は 1 学年から 3 学年の後期終了後に、卒業判定は 4 学年の後期終了後に行います。

また、授業科目によっては、集中講義形式をとるものがあります。

2．授 業 時 間

授業は、 9 時から 17 時 50 分までの間に行われ、 1 時限の授業時間は 90 分です。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9：00～10：30	10：40～12：10	13：00～14：30	14：40～16：10	16：20～17：50

なお、実験・補講等、第 6 時限に授業を行う場合は、18 時から 19 時 30 分までとします。

3．時　間　割

授業時間割表は毎年度始めに UNIPA 配信されますが、配信後に変更となる場合があります。詳細については、その都度 UNIPA 等で通知します。

4．補　　講

原則として授業が休講になった場合は補講を実施します。補講日程については、UNIPA で通知します。

5．遅刻者について

公共交通機関の遅延等、やむを得ない場合以外の遅刻は認められません。また、遅刻者は出席扱いにならない場合があります。

6．オンライン授業（メディア授業）

授業科目によっては、インターネットを介してオンライン形式で実施されるものがあります。授業へのアクセス方法は、UNIPA、メール（学生ごとに大学が設定したアカウントを使用します）、教育用クラス管理ツール（Google Classroom など）などで案内されますので、必ず自ら確認するようにしてください。

授業科目の構成

1．授業科目区分

本学部の教育課程（カリキュラム）は全学科共通の科目（**共通教養科目、外国語科目、学部基礎科目**）と**専門科目**から編成されています。これらの分類のことを「授業科目区分」といいます。専門科目は、他学科開講科目である学際領域選択科目を受講することで、より一層の知識を身につけられるように構成されています。

2．必修、選択科目区分

科目には**必修科目**と**選択科目**および**学際領域選択科目**（P.51「学際領域選択科目表」参照）があります。

必修科目は、卒業要件を満たすためには必ず修得しなければなりません。したがって、配当された年次に必ず履修し、修得するよう心がけてください。

選択科目は、どの科目を履修するか自分で選ぶことができますが、卒業要件として、定められた単位数の修得が義務づけられています。進級・卒業要件に不足がないか注意して履修してください。

学際領域選択科目は、所属する学科で得る知識と技術の他に、研究・学習の目的に応じて、より高度な幅広い知識と技術の修得を目的に、他学科開講科目からも履修することができます。

履修にあたって、まずは必修科目、次に選択科目を履修するよう心がけてください。

3．単位互換科目について（コンソーシアム開講科目）

本学部では、本学で開講している科目以外に「高等教育共創コンソーシアム和歌山」および「大学コンソーシアム大阪」に参加する大学のコンソーシアム単位互換制度を利用できます。

この単位互換で認定された科目は、4単位を上限として本学の卒業要件の単位として認められます。この単位互換を利用することで、当学部では履修できない授業科目を学び、多様化する現代社会に対応する幅広い知識の修得が可能となります。また、他大学学生との交流機会を得ることも可能です。

履修条件や授業科目、手続の方法については、各大学により異なりますので、UNIPA等で確認してください。

単　位　制

1．単位制の概要

単位制とは、すべての授業科目に一定の単位数が定められており、その科目を履修し、試験に合格することによって、その単位が与えられるものです。また、各年次への進級条件を定め、条件を満たすことが出来ない場合には、上級年次への進級を認めない措置をとっています。さらに、後述するように**卒業するために必要な単位数（卒業要件）**が授業科目の区分ごとに設定されており、修得した合計単位数が、卒業に必要な条件を満たした者に対して卒業が認定されます。単年度に履修登録できる単位数には上限があります。

2．各授業科目の単位数の意味

1単位は、標準45時間の学修を要する教育内容が基本とされています。各科目の単位数は、授業の方法、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を総合的に考慮して、下記の基準により単位数を定めています。講義・演習の授業の1単位当たりの授業時間数が15時間の場合には、30時間の授業時間外の学修が必要です。授業時間外の学修とは図書館や自宅での自学自習を意味します。

なお、卒業論文・卒業研究等の単位については、論文指導等のための授業（演習又は、実験・実習）の履修に対して単位を認定する場合のほか、その成果を評価して単位を認定することがあります。

Ⅰ　講義については、15時間の授業をもって1単位とする。
　　ただし、外国語科目は30時間の授業をもって1単位とする。

Ⅱ　演習については、15時間から30時間の範囲の授業をもって1単位とする。

Ⅲ　体育実技については、30時間の授業をもって1単位とする。

Ⅳ　実験及び実習については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

※授業時間は、1時限（90分授業）を2時間とみなします。

3．単位の認定

所定の単位を修得するためには、次の条件を満たしていなければなりません。

⑴　科目の単位認定は、原則として、学期末に実施される定期試験に合格しなければなりません。
　ただし、レポート・論文等をもって試験とする場合があり、必ずしも筆記試験とは限りません。

⑵　授業の出席回数が授業回数の3分の2以上に達しない場合、当該科目の単位は原則として認定されません。

授業科目の選択と履修登録

1．履修登録の意味

履修登録とは、履修しようとする授業科目を受講するために必要な手続きです。

大学の授業は単位制のため、毎学期の始めに時間割の中から自分が履修しようとする授業科目を選び、登録をする必要があります。

履修登録をしていなければ、その科目を受講することはできません。

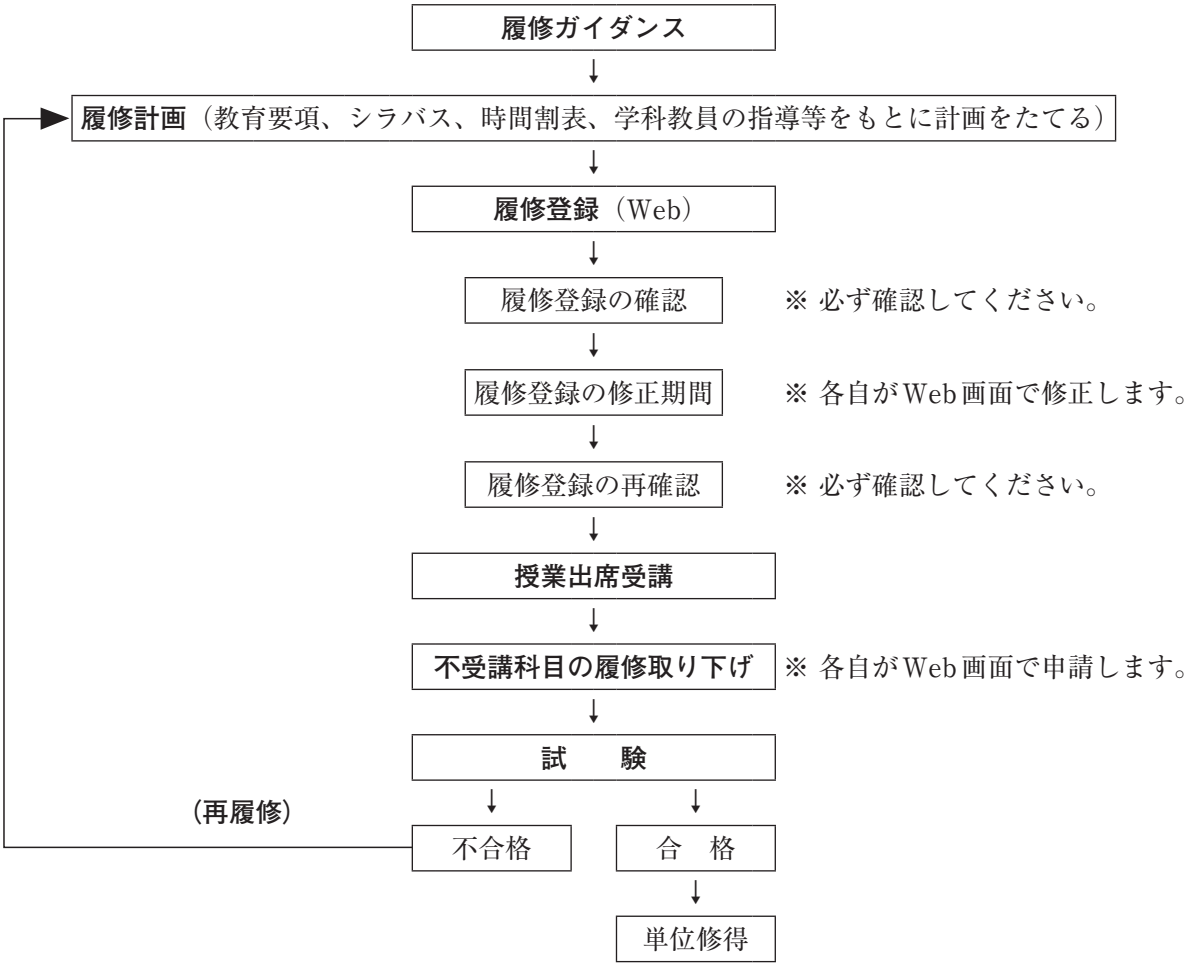
科目の履修は、当該年次当該学期に配当された科目を履修する**通常履修**と、過年次（学期）において修得できなかった科目を再度履修する**再履修**とに分けられます。

単位修得が義務づけられている**必修科目を修得できなかった場合には、必ず再履修が必要です。**

一方、選択科目および、学際領域選択科目の再履修については、その科目の単位修得を特に希望しないのであれば、次年度（学期）以降に再度履修する必要はありません。

また、**すべての科目について上級学年の配当科目を履修することはできません。**

授業科目の履修は、次のように行われます。



2．履修登録の進め方

はじめに、履修ガイダンスでの注意事項と、シラバス・授業時間割表を基に、１年間の学修計画を立て、各自の時間割を作成します。次に、作成した時間割に従って、パソコンからインターネットを通じて履修登録を行います。**自己の責任において、正確に登録を完了してください。**

なお履修登録や登録内容の確認には、一人ひとりに割り当てられたユーザ ID およびパスワードが必要です。このユーザ ID およびパスワードは、履修登録をはじめ、本学学生向け Web サービス等を利用する際に必要です。

3．登録の注意事項

⑴ 所定の期間内に履修登録をしない者は、その学期の授業科目を履修することができません。やむを得ない理由により、所定の期間内に履修登録できない場合は、あらかじめその旨を教務・学生窓口に届け出なければなりません。

⑵ **単年度に履修登録できる単位数は 49 単位までです（CAP 制）。ただし、教職課程などの卒業要件に含まれない科目は除きます。履修登録単位数上限の緩和の特例として、年度 GPA 値が 3.50 以上の学生は、次年度における履修登録単位数の上限が 53 単位に緩和されます。**
なお、本特例は当該年度のみ有効とします。

⑶ **履修登録修正期間以後の履修科目の追加、変更等は認められません。**

⑷ 一度合格した科目を再度履修することはできません。

⑸ 同一時限に、２科目以上の授業科目を重複して履修することはできません（**重複履修の禁止**）。

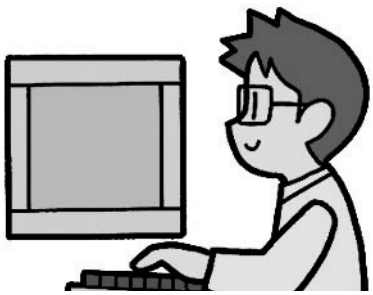
⑹ **履修登録をしていない授業科目は、たとえ授業や試験を受けていても単位は認定されません。**

⑺ 原則として、前期で不合格となった科目が後期で開講されていても、履修することはできません。

⑻ 履修登録者が少ない場合は、その学期において不開講となる場合があります。従って、この場合は期日を定め、再登録について指導を行います。

⑼ 編入学、転学部、転学科等で、所属学科を変更した場合の履修は、その学科の当該年次の履修規定に従わなければなりません。

⑽ 留年者については、上記と同じく当該年次の規定に従わなければなりません。特に、履修規定が大きく改定されることもあり、その場合には思わぬ負担がかかりますので充分注意してください。



授業形態と卒業単位数について

本学では様々な形態で授業を行います。代表的な授業形態は以下の通りです。

⑴　対面授業

教員が学生に対し、同じ空間（教室等）、同じ時間で授業を実施する形態です。

⑵　メディア授業

同時オンライン授業：会議アプリ等を活用し、Web を介して自宅や教室以外で**時間割に即して**授業を受ける形態です。

オンデマンド授業：事前に教員が録画した授業を、**時間割にとらわれず**授業担当教員が定めた期間に視聴する形態です。

⑵の授業形態で修得した単位数は、**60 単位を上限として**卒業に必要な単位として算定することができます。学部学科等の進級・卒業要件も確認しながら、**メディア授業の単位修得が 60 単位を越えないように注意してください**。

大規模災害など、非常事態が発生した場合には特例措置をとることがあります。その際は大学から改めてお知らせします。

また、⑴と⑵を組み合わせた授業もあり、組み合わせにより対面授業またはメディア授業のどちらかに分類されます。**シラバスの「授業形態」に記載しています**ので、授業内容とともにこの情報も参考にして履修登録を行ってください。

※⑴と⑵を組み合わせた場合の対面授業の定義

授業回数の半数以上が「対面授業」として設定されている場合　⇒　対面授業と定義します

なお、授業形態のひとつとして**「ハイフレックス授業」**というものもあります。本学の場合、教員は全授業回を教室で実施するとともに、その授業を同時オンライン配信や、教室での授業内容をオンデマンド授業として配信する形態です。

学生はどの授業回も、教室で対面授業として受講する、または PC 等で視聴するかを自由に選択できます。

ハイフレックス授業は自由度の高い授業形態である反面、**受講者全員に対し、全授業回の半数以上を対面授業として設定していないため「メディア授業」となります。**

繰り返しになりますが、メディア授業は卒業に必要な単位数に上限があります。卒業にも影響する重要な内容ですので、対面授業とバランスを取りながらメディア授業を履修するように心がけてください。

メディア授業および対面授業の全部または一部を録音録画もしくはスクリーンショットや携帯カメラなどで撮影し、それらのファイルを第３者に提供することは厳禁です。

試　　験

１．試験の種類

試験は、学修到達度をはかるために行われ、単位認定や成績評価の際の重要な判定資料とされます。本学部で行われる試験には、**定期試験・追試験・再試験・臨時試験**があります。

⑴　**定期試験**とは、**原則として各学期末に行う試験**をいいます。

⑵　**追試験**とは、定期試験または定期試験に準ずる試験を、「**正当な理由で受験することができなかった**」と認められた場合に限り、当該学期内に後日実施する試験をいいます。

追試験の受験資格は、その学期に当該科目の履修登録を行っている者で、本人の病気、負傷、交通機関の事故、二親等以内の親族の危篤・死亡など、教授会が「正当と認める理由」によって受験できなかった者となります。

追試験の受験申請は、当該科目の試験日から７日以内に、定期試験を受験できなかったことの証明書類を添付しUNIPAでWeb申請しなければなりません。申請がない場合は、受験できません。

⑶　**再試験**とは、４年次生が、修得単位数不足により卒業が認められなかった時に行う試験をいいます。再試験受験資格者の認定は、生物理工学部が行い、再試験により、所定の単位を修得した場合、卒業が認定されます。

再試験の受験申請は、UNIPAでWeb申請しなければなりません。申請がない場合は、受験できません。

⑷　**臨時試験**とは、科目の担当者が学期の途中に必要に応じて行う試験をいいます。臨時試験の成績は、成績判定に加味されます。

２．受 験 資 格

⑴　**受験できる科目**は、履修登録の手続をし、履修を認められた科目に限ります。

⑵　原則として、当該科目の**総授業回数の３分の２以上を出席**していなければなりません。

⑶　学費未納者は、受験することができません。万一、未納のまま受験してもその単位は認定されません。

３．試験に関する注意と受験の心得

⑴　**試験の日程および時間割**は、試験開始日の**約１週間前**にUNIPAに掲示します。発表後も変更されることがありますので、試験日・時間・教室など試験前日に再確認してください。

⑵　**試験の時間帯**は、授業時間帯とは異なりますので、特に注意してください。

⑶　**学生証を携帯していない場合は、受験できません。**また、試験中は常に試験監督者の指定した位置に提示しなければなりません。

※　学生証を忘れた場合は、教務・学生窓口で「仮学生証」の交付（500円／日）を受け、受験してください。仮学生証は必ず当日中に返却しなければなりません。

⑷ **試験での不正行為は、絶対に許されません。**万一、不正行為があった場合は、**学則により処分され、試験期間中の全科目が無効**となります。

⑸ 試験開始後 20 分以上遅刻した者は、受験できません。また、試験開始後 45 分を経過しなければ退室できません。なお、一度退室した者は、試験終了時まで再入室することはできません。

⑹ 試験中は、筆記用具等の貸し借りはできません。

⑺ 答案用紙への解答の記入は、鉛筆・ペン等のいずれでも構いませんが、試験科目名・担当者名・学部学科名・学年・学籍番号・氏名を明瞭に記入してください。

⑻ 試験室においては、監督者の指示に従わなければなりません。受験態度の不良もしくは試験監督者の指示に従わない者には、受験の停止を命じます。

⑼ 試験中に、携帯電話やスマートフォン、ウェアラブル電子機器などを使用することは不正行為とみなされます。

試験時間

試験は、 9 時 30 分から 17 時までの間に行われ、試験時間は 60 分です。

1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
9：30～10：30	11：00～12：00	13：00～14：00	14：30～15：30	16：00～17：00

成 績 の 評 価

成績の評価は、科目担当者が試験成績のほか受講状況その他を加味して行われ、合格した者には、所定の単位が与えられます。

⑴ 成績の評価は、秀・優・良・可・不可で表されます。

評　価	**合　格**				**不合格**
	秀	**優**	**良**	**可**	**不　可**
得　点	**100～90点**	**89～80点**	**79～70点**	**69～60点**	**59点以下**

成績評価は、100点満点で採点され、**60点以上（秀・優・良・可）が合格**となり、**60点未満（不可）は不合格**となります。

一度合格した科目の評価を取り消したり、合格した科目を再び履修することは認められません 。

⑵ 履修した科目の成績評価は、UNIPA で確認できます。

⑶ 学則の定めるところにより、在学中の学業成績が優秀であり、他の学生の模範となる学生に対し、卒業式で学長賞・学部長賞が授与されます。

⑷ 成績の内容について不審な点がある場合は、速やかに教務・学生担当窓口に申し出てください。

◆ GPA（Grade Point Average）制度について

近畿大学では、100 点満点の成績評価に対応させて、成績評価の指標として GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を施行しています。GPA とは、100 点満点の実点を 5 段階の GP（グレード・ポイント）に置き換え、その科目の単位数と関連させて GP の平均値を算出した、最高点 4 点から最低点 0 点までの数値です（詳細は以下に説明）。

GPA 制度の意義は、GPA や GP によって自分の学修の全体的な達成度合いを簡便に測ることができる点にあります。GPA あるいは GP に基づいて、自分の弱点を把握し、履修計画や学修状況を反省し、より実効性のある勉学に取り組むことができるのです。

GPA は欧米の大学で広く採用されている評価方法であり、日本の大学のグローバル化に対応する制度です。すなわち、海外留学、海外の大学院進学、外資系企業への就職などの際に幅広く通用する国際標準の成績評価制度であり、拡大するグローバル社会において必要かつ有効な制度です。

⑴ GPA 値の計算方法

GPA は以下の数値と計算式で算出されます。

実点評価	100～ 90点	89 ～ 80点	79 ～ 70点	69 ～ 60点	59点以下	不受験
5 段階評価	秀	優	良	可	不可	不受
GP グレード・ ポイント	4	3	2	1	0	0

$$\mathrm{GPA} = \frac{\{(\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{履修登録科目の GP})\} \text{ の総和}}{\text{総履修登録単位数}}$$

※ GPA 算出の具体例

科目	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
単位数	1	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2
実点	83	65	82	58	92	74	80	68	90	不受	85
G P	3	1	3	0	4	2	3	1	4	0	3

$$\mathrm{GPA} = \frac{1\times3+2\times1+1\times3+2\times0+2\times4+2\times2+2\times3+1\times1+2\times4+2\times0+2\times3}{1+2+1+2+2+2+2+1+2+2+2}$$

$$= \frac{41}{19} = 2.16\text{（小数第 3 位を四捨五入）}$$

☞ 実点は当該科目の点数を表します。

☞ GPA は小数第 3 位を四捨五入して、表記は小数第 2 位までとします。

☞ GPA の最高点は 4 点、最低点は 0 点になります。

☞　GPA の計算式には、CAP 制除外科目、GP 対象外科目（一覧表参照）および認定科目（実点で成績を出さない科目）は含まれません。

☞　不可になった科目または不受験の科目を再履修して単位を修得した場合、通算の GPA には過去の GP＝０は算入されず再履修の GP のみが算入されます。ただし、再履修をしても不可・不受験であった場合は、通算 GPA には過去の GP＝０と再履修時の GP＝０の両方が算入されます。

☞　進級要件、卒業要件には GPA を適用しません。

⑵　履修取り下げについて

履修登録後、学部が定めた期間に、学生本人から申し出があった科目に関してのみ履修の取り下げを認めます。ただし、取り下げ期間中の履修科目の変更や追加は認められません。詳しい手続き方法は、別途 UNIPA 等で案内します。

⑶　GPA 制度の活用

GPA の意義は、その値を自分の履修計画と学修状況を測る指標として活用する点にあります。以下のような点に留意して、GPA 値を高めることに努めてください。

1．履修登録科目について熟慮し、登録科目についてはしっかりと勉学をして試験において不可をとらないこと。
2．不受験科目をなくすこと。そのために、履修放棄をする科目については「履修取り下げ期間」中に必ず「履修取り下げ」を行うこと。
3．成績通知書の GPA 値あるいは各科目の GP 値を確認して自分の履修計画学修状況を反省し、克服するべき課題を自覚すること。

◆ GP 評価対象外科目一覧表

開講学科	科目名	配当学年	単位数
医用工学科	電気工学Ⅱ	2	2
	バイオセンサー	2	2
	信号処理	2	2
	電子工学Ⅱ	3	2
	生体計測装置学	2	2
	臨床医学総論Ⅱ	2	2
	生体機能代行技術学Ⅱ	3	4
	臨床医学総論Ⅲ	3	2
	医療機器安全管理学Ⅱ	3	2
	生体機能代行技術学Ⅲ	3	2
	臨床支援技術学	3	2
	応用数学演習	1	1
	臨床工学特別演習Ⅰ	4	1
	臨床工学特別演習Ⅱ	4	1
	臨床実習	4	7
全学科	卒業研究	4	6
教職課程	教職論	1	2
	教育原理	1	2
	教育心理学	1	2
	教育行政学	2	2
	教育課程論	2	2
	道徳教育論	2	2
	特別活動論	2	2
	教育方法と総合的な学習の時間の指導法	2	2
	生徒指導論（進路指導を含む。）	2	2
	教育相談	2	2
	教育実習Ⅰ	4	2
	教育実習Ⅱ	4	2
	教育実習特講	3	1
	特別支援教育論	3	1
	教育実践演習（中・高）	4	2
	理科教育法Ⅰ	2	2
	理科教育法Ⅱ	2	2
	理科教育法特講Ⅰ	2	2
	理科教育法特講Ⅱ	2	2
	数学科教育法Ⅰ	2	2
	数学科教育法Ⅱ	2	2
	数学科教育法特講Ⅰ	2	2
	数学科教育法特講Ⅱ	2	2
	情報科教育法Ⅰ	2	2
	情報科教育法Ⅱ	2	2
	情報通信技術の活用	2	1

卒業要件・進級条件

大学では、基礎から応用への積み重ねが必要とされています。したがって、下級年次配当科目の修得単位数が少ない場合には、専門基礎知識が不足し、上級年次の科目を履修するうえで大きな障害となります。

それゆえ、本学部では、単位制と学年制が採用され、各年次毎に進級のための条件を設けています。

卒業資格の要件および、各年次への進級のための条件は次の通りです。

卒業資格の要件

卒業資格を得るためには、次の各号要件を満たすことが必要です。

（1） 在学期間が 4 年以上である（休学期間は在学期間に加算されません）。

（2） 在籍学科の卒業所要単位表に記載の、区分要件、区分小計、総合計のすべての要件を満たしている。

卒業所要単位表で各学科に共通した認識は次の通りです。

① 共通教養科目から 16 単位以上および学部基礎科目から 6 単位以上を修得しなければならない。

② 外国語科目から 14 単位以上を修得しなければならない。ただし、この 14 単位以上には第一外国語（英語）10 単位以上を含まなければければならない。

③ 専門科目から合計 88 単位以上を修得しなければならない。

④ コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。

⑵の②における外国語科目および③における専門科目の区分要件を含めた各学科の卒業資格の要件を、以下の卒業所要単位表で示す。

進級のための条件

進級するためには、各学科各学年の進級条件（条件 A または条件 B）を満たすことが必要です。

また、各学年に 1 年以上在学すること（休学期間は在学期間に加算されません）。

条件 A の各項目の内容は次のとおりとなります。

（1） 共通教養科目における進級条件

（2） 外国語科目における進級条件

（3） 学部基礎科目における進級条件

（4） 専門科目の必修科目における進級条件

（5） 専門科目の選択科目における進級条件

卒業資格・要件

◎　生物工学科　卒業所要単位表

生物工学科における卒業に必要な単位数を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

区分		区分要件		区分小計	総合計
共通教養科目	必修科目	2 単位	16 単位以上	36 単位以上	124 単位以上
	選択科目				
外国語科目	第一外国語	10 単位以上※	14 単位以上		
	その他				
学部基礎科目	必修科目	2 単位	6 単位以上		
	選択科目				
専門科目	必修科目	44 単位		88 単位以上	
	選択科目	44 単位以上			

［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。

※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。

◎　遺伝子工学科　卒業所要単位表

遺伝子工学科における卒業に必要な単位数を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

区分		区分要件		区分小計	総合計
共通教養科目	必修科目	2 単位	16 単位以上	36 単位以上	124 単位以上
	選択科目				
外国語科目	第一外国語	10 単位以上※	14 単位以上		
	その他				
学部基礎科目	必修科目	2 単位	6 単位以上		
	選択科目				
専門科目	必修科目	60 単位		88 単位以上	
	選択科目	28 単位以上			

［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。

※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。

◎　食品安全工学科　卒業所要単位表

食品安全工学科における卒業に必要な単位数を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th colspan="2">区　分　要　件</th><th>区分小計</th><th>総　合　計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共通教養科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>16 単位以上</td><td rowspan="5">36 単位以上</td><td rowspan="7">124 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td>10 単位以上※</td><td>14 単位以上</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学部基礎科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>6 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">専 門 科 目</td><td>必 修 科 目</td><td colspan="2">55 単位</td><td rowspan="2">88 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2">33 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="6">［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。
※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。</td></tr>
</table>

◎　生命情報工学科　卒業所要単位表

生命情報工学科における卒業に必要な単位教を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th colspan="2">区　分　要　件</th><th>区分小計</th><th>総　合　計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共通教養科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>16 単位以上</td><td rowspan="5">36 単位以上</td><td rowspan="7">124 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td>10 単位以上※</td><td>14 単位以上</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学部基礎科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>6 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">専 門 科 目</td><td>必 修 科 目</td><td colspan="2">44 単位</td><td rowspan="2">88 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2">44 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="6">［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。
※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。</td></tr>
</table>

◎　人間環境デザイン工学科　卒業所要単位表

人間環境デザイン工学科における卒業に必要な単位数を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th colspan="2">区　分　要　件</th><th>区分小計</th><th>総　合　計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共通教養科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>16 単位以上</td><td rowspan="6">36 単位以上</td><td rowspan="8">124 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td>10 単位以上※</td><td>14 単位以上</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学部基礎科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>6 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">専 門 科 目</td><td>必 修 科 目</td><td colspan="2">37 単位</td><td rowspan="2">88 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2">51 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="6">［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。
※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。</td></tr>
</table>

◎　医用工学科　卒業所要単位表

医用工学科における卒業に必要な単位数を 124 単位以上とし、その内容は次のとおりとします。

<table>
<tr><th colspan="2">区　　分</th><th colspan="2">区　分　要　件</th><th>区分小計</th><th>総　合　計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">共通教養科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>16 単位以上</td><td rowspan="6">36 単位以上</td><td rowspan="8">124 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">外国語科目</td><td>第一外国語</td><td>10 単位以上※</td><td>14 単位以上</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">学部基礎科目</td><td>必 修 科 目</td><td>2 単位</td><td>6 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">専 門 科 目</td><td>必 修 科 目</td><td colspan="2">82 単位</td><td rowspan="2">88 単位以上</td></tr>
<tr><td>選 択 科 目</td><td colspan="2">6 単位以上</td></tr>
<tr><td colspan="6">［備考］コンソーシアム科目は 4 単位を上限に共通教養科目として認め、また、学際領域選択科目は 12 単位を上限に専門科目として認める。
※第一外国語は、基幹科目から 5 単位以上修得する必要があり、かつ、応用科目 A から 1 単位以上と、3 年次配当科目の応用科目Ｂから 1 単位以上修得しなければならない。</td></tr>
</table>

進級のための条件

各学科とも、次の条件Ａまたは条件Ｂに定めた単位数以上を修得していなければならない。

生物工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から …… 6 単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。

（２）外国語科目から …… 4 単位以上
ただし、第一外国語（英語）２単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から …… 2 単位以上

（４）専門必修科目から …… 8 単位以上

（５）専門選択科目から …… 4 単位以上
ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……32単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から …… 8 単位以上
ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から …… 8 単位以上
ただし、第一外国語（英語）４単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から …… 4 単位以上
ただし、「情報処理基礎Ⅰ」、「情報処理基礎Ⅱ」を含むこと。

（４）専門必修科目から ……20単位以上
ただし、「生物工学基礎化学実験」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……20単位以上
ただし、学際領域選択科目は６単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……66単位以上
ただし、「生物工学基礎化学実験」、「情報処理基礎Ⅰ」、「情報処理基礎Ⅱ」を含むこと。また、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。なお、学際領域選択科目は８単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……12単位以上
ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……12単位以上
ただし、第一外国語（英語）８単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から …… 6 単位以上

（４）専門必修科目から ……30単位以上
ただし、「生物工学基礎生物学実験」、「生物工学基礎生化学実験」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……40単位以上
ただし、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……108単位以上
ただし、「生物工学基礎生物学実験」、「生物工学基礎生化学実験」を含むこと。また、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。なお、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

遺伝子工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……４単位以上
　ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から ……４単位以上
　ただし、第一外国語（英語）２単位以上を含むこと。
（３）学部基礎科目から ……２単位以上
（４）専門必修科目から ……10単位以上
（５）専門選択科目から ……２単位以上
　ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……33単位以上
　ただし、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……８単位以上
　ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から ……８単位以上
　ただし、第一外国語（英語）４単位以上を含むこと。
（３）学部基礎科目から ……４単位以上
（４）専門必修科目から ……24単位以上
（５）専門選択科目から ……６単位以上
　ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……64単位以上
　ただし、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……12単位以上
　ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から ……12単位以上
　ただし、第一外国語（英語）８単位以上を含むこと。
（３）学部基礎科目から ……６単位以上
（４）専門必修科目から ……44単位以上
（５）専門選択科目から ……16単位以上
　ただし、学際領域選択科目12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……95単位以上
　ただし、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　なお、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

食品安全工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目および（３）学部基礎科目から合わせて……８単位以上
　　ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から……４単位以上
　　ただし、第一外国語（英語）を２単位以上を含むこと。
（４）専門必修科目から……10単位以上
（５）専門選択科目から……４単位以上
　　ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

　総修得単位数……34単位以上
　　ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　　なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から……10単位以上
　　ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から……８単位以上
　　ただし、第一外国語（英語）を４単位以上を含むこと。
（３）学部基礎科目から……４単位以上
（４）専門必修科目から……24単位以上
　　ただし、「専門ゼミ」、「食品化学実験」、「食品生物学実験」を含むこと。
（５）専門選択科目から……10単位以上
　　ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

　総修得単位数……67単位以上
　　ただし、「専門ゼミ」、「食品化学実験」、「食品生物学実験」を含むこと。
　　また、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　　なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から……14単位以上
　　ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
（２）外国語科目から……12単位以上
　　ただし、第一外国語（英語）を８単位以上を含むこと。
（３）学部基礎科目から……６単位以上
（４）専門必修科目から……31単位以上
（５）専門選択科目から……14単位以上
　　ただし、学際領域選択科目12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

　総修得単位数……93単位以上
　　ただし、科目別修得単位数は卒業要件の最低単位数を上限とする。
　　なお、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

生命情報工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……6単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。コンソーシアム科目は4単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……4単位以上
ただし、第一外国語（英語）2単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……2単位以上
ただし、「情報処理基礎Ⅰ」および「情報処理基礎Ⅱ」を含むこと。

（４）専門必修科目から ……7単位以上
ただし、「AI・データサイエンス基礎実習」を含むこと。

条件Ｂ

総修得単位数 ……32単位以上
ただし、「近大ゼミ」、「情報処理基礎Ⅰ」、「情報処理基礎Ⅱ」および「AI・データサイエンス基礎実習」を含むこと。また、コンソーシアム科目は4単位、学際領域選択科目は8単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……12単位以上
コンソーシアム科目は4単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……8単位以上
ただし、第一外国語（英語）5単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……2単位以上

（４）専門必修科目から ……18単位以上
ただし、「プログラミング実習Ⅰ」、「プログラミング実習Ⅱ」、「情報基礎実験」、「生命情報工学講究Ⅰ」および「専門ゼミ」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……22単位以上
学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……66単位以上
ただし、「プログラミング実習Ⅰ」、「プログラミング実習Ⅱ」、「情報基礎実験」、「生命情報工学講究Ⅰ」および「専門ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は4単位まで、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……14単位以上
コンソーシアム科目は4単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……12単位以上
ただし第一外国語（英語）8単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……4単位以上

（４）専門必修科目から ……32単位以上
ただし、「システム情報処理実習Ⅰ」、「システム情報処理実習Ⅱ」、「生命情報工学演習Ⅰ」、「生命情報工学演習Ⅱ」、「生命情報工学講究Ⅱ」および「生体情報工学実験」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……42単位以上
学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……110単位以上
ただし、「システム情報処理実習Ⅰ」、「システム情報処理実習Ⅱ」、「生命情報工学演習Ⅰ」、「生命情報工学演習Ⅱ」、「生命情報工学講究Ⅱ」および「生体情報工学実験」を含むこと。また、コンソーシアム科目は4単位、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

人間環境デザイン工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……４単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……４単位以上
ただし、第一外国語（英語）２単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……２単位以上

（４）専門必修科目から ……６単位以上

（５）専門選択科目から ……６単位以上
ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……32単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……10単位以上
ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……８単位以上
ただし、第一外国語（英語）４単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……４単位以上

（４）専門必修科目から ……18単位以上
ただし、「ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅰ」、「ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅱ」、「設計製図演習基礎」、「専門ゼミ」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……26単位以上
ただし、学際領域選択科目は４単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……68単位以上
ただし、「ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅰ」、「ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅱ」、「設計製図演習基礎」、「専門ゼミ」を含む専門科目の必修科目18単位以上を修得していること。
また、コンソーシアム科目は４単位まで、学際領域選択科目は４単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……14単位以上
ただし、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……12単位以上
ただし、第一外国語（英語）８単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……４単位以上

（４）専門必修科目から ……26単位以上
ただし、「ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅲ」、「３次元 CAD プロダクトデザイン」、「人間環境デザイン工学演習Ⅰ」、「人間環境デザイン工学演習Ⅱ」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……48単位以上
ただし、学際領域選択科目は12単位まで充当することができる。

条件Ｂ

条件Ｂは設定しない。進級は条件Ａのみで判定される。

医用工学科

１．第１学年から第２学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……８単位以上
ただし、「近大ゼミ」を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……５単位以上
ただし、第一外国語（英語）４単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……４単位以上
ただし、「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」を含むこと。

（４）専門必修科目から ……16単位以上

（５）専門選択科目から ……２単位以上
ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……40単位以上
ただし、「近大ゼミ」、「情報処理基礎Ⅰ」「情報処理基礎Ⅱ」および専門科目の必修科目14単位以上を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

２．第２学年から第３学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……12単位以上
コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……11単位以上
ただし、第一外国語（英語）８単位以上を含むこと。

（３）学部基礎科目から ……６単位以上

（４）専門必修科目から ……42単位以上
ただし、「基礎医学実習」、「電気電子工学実習」、「プログラミング演習」、「専門ゼミ」を含むこと。

（５）専門選択科目から ……４単位以上
ただし、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……79単位以上
ただし、「基礎医学実習」、「電気電子工学実習」、「プログラミング演習」、「専門ゼミ」および専門科目の必修科目40単位以上を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
なお、学際領域選択科目は１単位まで充当することができる。

３．第３学年から第４学年への進級条件

条件Ａ

（１）共通教養科目から ……12単位以上
コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。

（２）外国語科目から ……14単位以上
ただし、第一外国語（英語）10単位以上を含むこと

（３）学部基礎科目から ……６単位以上

（４）専門必修科目から ……76単位以上

（５）専門選択科目から ……６単位以上
ただし、学際領域選択科目は３単位まで充当することができる。

条件Ｂ

総修得単位数 ……118単位以上
ただし、専門科目の必修科目76単位以上および第一外国語（英語）10単位以上を含むこと。また、コンソーシアム科目は４単位まで充当することができる。
なお、学際領域選択科目は３単位まで充当することができる。

「臨床実習」着手条件

「臨床実習」の履修にあたっては、第１学年から第３学年までの全ての専門科目の必修科目に加えて、「応用数学演習」、「電気工学Ⅱ」、「信号処理」、「バイオセンサー」、「生体計測装置学」、「臨床医学総論Ⅱ」、「電子工学Ⅱ」、「生体機能代行技術学Ⅱ」、「臨床支援技術学」、「臨床医学総論Ⅲ」、「生体機能代行技術学Ⅲ」、「医療機器安全管理学Ⅱ」の単位を修得しておく必要がある。

生物工学科　カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度 / DP2 思考・判断 / DP3 技能・表現 / DP4 知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修　選択

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	里山の環境学 現代社会と倫理 国際経済入門 日本近現代史 生涯スポーツ1 新しい政治学 健康とスポーツの科学 キャリアのための情報リテラシー 科学的問題解決法 現代社会と法 日本語の技法 国際化と異文化コミュニケーション 近大ゼミ 暮らしのなかの起業入門 人権と社会1	里山の環境学 科学技術と人間・社会 食生活と健康 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C 現代経済の課題 国際社会と日本 キャリアデザイン 生涯スポーツ2 持続可能な社会論 データリテラシー入門 心と体の健康 世界近代史 暮らしのなかの憲法 芸術鑑賞入門 思考の技術 国際化と異文化コミュニケーション 人権と社会2 自己発見の心理学 言語文化学入門 心理と行動			インターンシップ キャリアインターンシップ			
外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル（英語）1 海外研修（英語） 日本語作文1 ドイツ語総合1 中国語総合1	総合英語2 オーラルスキル（英語）2 日本語作文2 ドイツ語総合2 中国語総合2	理系英語1 オーラルスキル（英語）3 言語演習（英語）1 TOEIC・A1 英語スキル上級A ドイツ語総合3 中国語総合3	理系英語2 オーラルスキル（英語）4 言語演習（英語）2 TOEIC・A2 ドイツ語総合4 中国語総合4	理系英語3（エッセンシャル） 理系英語3（コンプリヘンション） 理系英語3（プレゼンテーション） 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4（エッセンシャル） 理系英語4（コンプリヘンション） 理系英語4（プレゼンテーション） 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
学部基礎科目群	情報処理基礎Ⅰ 化学実験 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 科学倫理 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	情報処理基礎Ⅱ Webデザイン 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB 情報倫理	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB		知的財産権		
学科基礎科目群	化学Ⅰ 基礎数学 数学 生物学Ⅰ 物理学Ⅰ	化学Ⅱ 微分積分学 線形代数学 生物学Ⅱ 物理学Ⅱ						
学科基幹科目群	トピックスインバイオロジー 有機化学基礎 基礎遺伝学 公衆衛生学	生化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 基礎植物学	生化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 植物生理学 基礎微生物学 細胞生物学Ⅱ	細胞生物学Ⅲ 分子生物学Ⅱ 生物物理化学	酵素化学 生物機能物質化学 遺伝子発現制御学 免疫・アレルギー学			
手法	計量生物学			生物分析化学	植物細胞工学 機器分析化学 遺伝子工学	生物情報学		
生物資源利用		資源植物学	植物育種学 植物生産環境工学	応用微生物学 植物生産情報工学 植物病理学		植物栽培環境学		
生物プロセス				生体情報工学 応用生物工学Ⅰ	応用生物工学Ⅱ 環境科学	応用生物工学Ⅲ		
実験・演習		生物工学基礎化学実験	生物工学基礎生物学実験	生物工学基礎生化学実験 専門ゼミ	専攻科目演習Ⅰ	専攻科目演習Ⅱ	専攻科目演習Ⅲ 生物工学発展 卒業研究	専攻科目演習Ⅳ

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

遺伝子工学科　カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
DP2 思考・判断
DP3 技能・表現
DP4 知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修　選択

		セメスター							
		1年		2年		3年		4年	
		1	2	3	4	5	6	7	8
全学科共通	共通教養科目群	人権と社会1 暮らしのなかの起業入門 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C 科学的問題解決法 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 国際化と異文化コミュニケーション 日本語の技法 近大ゼミ 生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学 キャリアのための情報リテラシー 国際経済入門 日本近現代史 里山の環境学	人権と社会2 暮らしのなかの憲法 現代経済の課題 持続可能な社会論 自己発見の心理学 心理と行動 芸術鑑賞入門 国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 思考の技術 キャリアデザイン 生涯スポーツ2 データリテラシー入門 心と体の健康 里山の環境学 科学技術と人間・社会 食生活と健康 世界近代史	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ	スクールインターンシップ		
	外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル（英語）1 海外研修（英語） 日本語作文1 ドイツ語総合1 中国語総合1	総合英語2 オーラルスキル（英語）2 日本語作文2 ドイツ語総合2 中国語総合2	理系英語1 オーラルスキル（英語）3 言語演習（英語）1 TOEIC・A1 英語スキル上級A ドイツ語総合3 中国語総合3	理系英語2 オーラルスキル（英語）4 言語演習（英語）2 TOEIC・A2 ドイツ語総合4 中国語総合4	理系英語3（エッセンシャル） 理系英語3（コンプリヘンション） 理系英語3（プレゼンテーション） 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4（エッセンシャル） 理系英語4（コンプリヘンション） 理系英語4（プレゼンテーション） 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
	学部基礎科目群	化学実験 物理学実験 科学倫理 情報処理基礎Ⅰ バイオテクノロジー技術論 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	Webデザイン 情報倫理 情報処理基礎Ⅱ 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB		知的財産権		
	学科基礎科目群	生命科学概論 生物学Ⅰ 物理学Ⅰ 化学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 動物生理学	化学Ⅱ 生物学Ⅱ 物理学Ⅱ 微分積分学 線形代数学 統計学 細胞生物学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 生体構成分子	微生物学 生化学Ⅰ 分子生物学Ⅱ	生化学Ⅱ 生物物理化学				
	専門科目群	生命と情報科目群	動物学		進化遺伝学	遺伝子機能解析学 生命科学のための情報リテラシー 生命科学のための分析化学	生命倫理 タンパク質機能学 遺伝子発現制御とエピジェネティクス		
		高次生命科目群		発生生物学Ⅰ	発生生物学Ⅱ 動物繁殖学 免疫学概論 神経科学	分子発生学			
		応用生命工学科目群	遺伝子工学概論	発生工学 公衆衛生学	遺伝子工学 実験動物学	幹細胞・再生医工学	医用遺伝子工学概論 生殖医療工学		
		実験・実習・演習科目群		遺伝子基礎化学実験	専門ゼミ 遺伝子工学実験	生殖工学実験	専攻科目演習Ⅰ 専攻科目演習Ⅱ	卒業研究 専攻科目演習Ⅲ	

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

食品安全工学科　カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度　DP2 思考・判断　DP3 技能・表現　DP4 知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修　選択

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C 近大ゼミ 健康とスポーツの科学 国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 日本語の技法 科学的問題解決法 生涯スポーツ1 人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 キャリアのための情報リテラシー 暮らしのなかの起業入門	思考の技術 食生活と健康 国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 芸術鑑賞入門 現代経済の課題 持続可能な社会論 データリテラシー入門 世界近代史 生涯スポーツ2 人権と社会2 暮らしのなかの憲法 自己発見の心理学 キャリアデザイン 科学技術と人間・社会 心と体の健康 心理と行動	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ	スクールインターンシップ		
外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル（英語）1 海外研修（英語） 日本語作文1 ドイツ語総合1 中国語総合1	総合英語2 オーラルスキル（英語）2 日本語作文2 ドイツ語総合2 中国語総合2	理系英語1 オーラルスキル（英語）3 言語演習（英語）1 TOEIC・A1 英語スキル上級A ドイツ語総合3 中国語総合3	理系英語2 オーラルスキル（英語）4 言語演習（英語）2 TOEIC・A2 ドイツ語総合4 中国語総合4	理系英語3（エッセンシャル） 理系英語3（コンプリヘンション） 理系英語3（プレゼンテーション） 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4（エッセンシャル） 理系英語4（コンプリヘンション） 理系英語4（プレゼンテーション） 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
学部基礎科目群	生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA 化学実験 情報処理基礎Ⅰ 物理学実験 バイオテクノロジー技術論 科学倫理	地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB 情報処理基礎Ⅱ Webデザイン 情報倫理	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB		知的財産権		
専門科目群 学科基礎科目	化学Ⅰ 生物学Ⅰ 基礎数学 数学 物理学I 生命科学概論	化学Ⅱ 生物学Ⅱ 微分積分学 線形代数学 物理学Ⅱ						
専門科目群 食品機能工学	生化学Ⅰ 生体物質基礎 食品材料学	生化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ		食品機能学 食品機能統計学	機能性食品開発			
専門科目群 食生産環境		くらしと食農・環境	食品システム論 植物育種学 世界の食生産事情 植物生産工学Ⅰ 科学情報の検索法	応用微生物工学 動物生産学	遺伝資源学	食生産環境工学 調理科学		
専門科目群 食品管理評価	食品安全工学概論	食品保全学	食品安全学 食品微生物学 食品分析化学	食品加工学 食品衛生管理学	HACCPシステム論			
専門科目群 応用生命工学	動物栄養学	細胞生物学Ⅰ 公衆衛生学		細胞生物学Ⅱ 実験動物学	分子生物学Ⅱ 免疫・アレルギー学 酵素化学 細胞培養工学	バイオインフォマティクス		
専門科目群 実験・実習・演習			食品化学実験 専門ゼミ	食品生物学実験	専攻科目演習Ⅰ	専攻科目演習Ⅱ	専攻科目演習Ⅲ 専攻科目演習Ⅳ 卒業研究	

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

生命情報工学科　カリキュラム体系図

DP1	DP2	DP3	DP4
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修　選択

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	健康とスポーツの科学 生涯スポーツ1 キャリアのための情報リテラシー 人権と社会1 国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 科学的問題解決法 近大ゼミ 日本語の技法 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 暮らしのなかの起業入門	キャリアデザイン 科学技術と人間・社会 生涯スポーツ2 食生活と健康 心と体の健康 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C 人権と社会2 現代経済の課題 自己発見の心理学 国際社会と日本 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 世界近代史 心理と行動 データリテラシー入門 芸術鑑賞入門 暮らしのなかの憲法 持続可能な社会論 言語文化学入門 思考の技術	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ			
外国語科目群	総合英語１ オーラルスキル（英語）１ 海外研修（英語） 日本語作文1 ドイツ語総合1 中国語総合1	総合英語２ オーラルスキル（英語）２ 日本語作文2 ドイツ語総合2 中国語総合2	理系英語１ オーラルスキル（英語）３ 言語演習（英語）１ ＴＯＥＩＣ・Ａ１ 英語スキル上級Ａ ドイツ語総合3 中国語総合3	理系英語２ オーラルスキル（英語）４ 言語演習（英語）２ ＴＯＥＩＣ・Ａ２ ドイツ語総合4 中国語総合4	理系英語３（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語３（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語３（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） 発展理系英語１ ＴＯＥＩＣ・Ｂ１	理系英語４（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語４（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語４（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） 発展理系英語２ ＴＯＥＩＣ・Ｂ２ 英語スキル上級Ｂ		
学部基礎科目群	科学倫理 情報処理基礎Ⅰ 物理学実験 化学実験 バイオテクノロジー技術論 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 地学実験 地学概論Ⅰ 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	情報倫理 情報処理基礎Ⅱ Webデザイン 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB		知的財産権		
学科基礎科目群	生命情報工学総論 化学Ⅰ 生物学Ⅰ 数学 基礎数学 物理学Ⅰ コンピュータ概論	化学Ⅱ 生物学Ⅱ 微分積分学 線形代数学 物理学II 情報ネットワーク 電気回路Ⅰ	情報基礎 確率基礎 電気回路Ⅱ 応用数学Ⅰ	生物統計 電子回路 応用数学Ⅱ	制御基礎論	生体とシステム制御 生体分子の統計物理		知的財産権法概論
生命情報科目群			プログラミング 数値計算 細胞生物学	データ構造とアルゴリズム 分子生物学Ⅰ	バイオマテリアル データベース論 情報セキュリティ 分子生物学Ⅱ	バイオセンサー 情報理論	バイオインフォマティクス	
生体システム科目群			脳・神経生理学 デジタル回路	生体・電子計測学 生体情報工学 情報通信工学	生体信号解析	システム工学 画像処理 機械学習	脳と情報科学	
先端				生命情報工学講究Ⅰ	生命情報工学講究Ⅱ			
実験・実習・演習科目群	基礎数学演習Ⅰ	プログラミング基礎 基礎数学演習Ⅱ	プログラミング実習Ⅰ 専門ゼミ	プログラミング実習Ⅱ 情報基礎実験	生体情報工学実験 システム情報処理実習Ⅰ 生命情報工学演習Ⅰ	システム情報処理実習Ⅱ 生命情報工学演習Ⅱ	卒業研究 生命情報工学応用演習	

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

人間環境デザイン工学科　カリキュラム体系図

DP1 関心・意欲・態度
DP2 思考・判断
DP3 技能・表現
DP4 知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修（必ず修得）　選択（必ず履修）　選択

		セメスター							
		1年		2年		3年		4年	
		1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目	人間性・社会性	人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学	人権と社会2 暮らしのなかの憲法 現代経済の課題 持続可能な社会論 芸術鑑賞入門 自己発見の心理学 心理と行動 教養特殊講義A						
	地域性・国際性	国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化コミュニケーション 里山の環境学 教養特殊講義B	国際社会と日本 言語文化学入門 国際化と異文化コミュニケーション 世界近代史 里山の環境学						
	課題設定・問題解決	近大ゼミ 科学的問題解決法 日本語の技法 データリテラシー入門 キャリアのための情報リテラシー 暮らしのなかの起業入門 教養特殊講義C	科学技術と人間・社会 思考の技術 データリテラシー入門 キャリアデザイン	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ スクールインターンシップ			
	スポーツ・表現活動	生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学	生涯スポーツ2 食生活と健康 心と体の健康						
外国語科目	第一外国語	総合英語1 オーラルスキル（英語）1 海外研修（英語）	総合英語2 オーラルスキル（英語）2	理系英語1 オーラルスキル（英語）3 言語演習（英語）1 TOEIC・A1 英語スキル上級A	理系英語2 オーラルスキル（英語）4 言語演習（英語）2 TOEIC・A2	理系英語3（エッセンシャル） 理系英語3（コンプリヘンション） 理系英語3（プレゼンテーション） 発展理系英語1 TOEIC・B1		理系英語4（エッセンシャル） 理系英語4（コンプリヘンション） 理系英語4（プレゼンテーション） 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B	
	第二外国語	ドイツ語総合1 中国語総合1 日本語作文1	ドイツ語総合2 中国語総合2 日本語作文2	ドイツ語総合3 中国語総合3	ドイツ語総合4 中国語総合4				
学部基礎科目		情報処理基礎Ⅰ 科学倫理 医療・科学・暮らし バイオテクノロジー技術論 生物と地球環境 物理学実験 化学実験 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	情報処理基礎Ⅱ 情報倫理 Webデザイン 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB			知的財産権	
専門科目	学科基礎	基礎数学 数学 物理学Ⅰ 化学Ⅰ 生物学Ⅰ	微分積分学 線形代数学 物理学Ⅱ 化学Ⅱ 生物学Ⅱ	応用解析学Ⅰ	応用解析学Ⅱ 情報処理応用	確率統計		心理統計学 シミュレーション工学	
	人間科学	心理学概論	生体機能・解剖学		カラーコーディネーションの心理学			心理学研究法	感性デザインの数理
	機械科学		暮らしの力学	材料力学Ⅰ バイオロボティクス センサ工学	材料力学Ⅱ アンビエントセンサ	流れ学 生体計測学		材料機能学 生活支援ロボット	
	住環境科学	建築計画Ⅰ プロダクトデザイン	設計製図 住環境科学概論	建築史	建築計画Ⅱ 熱・設備工学	建築法規 建築構造Ⅰ 温熱・空気環境学 建築施工		建築計画Ⅲ 建築構造Ⅱ 振動と音響の科学	住宅環境性能論
	ユニバーサルデザイン	ユニバーサルデザイン概論		福祉工学	人間工学	建築と照明		ユニバーサルデザイン	
	実験・実習・演習			ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ 設計製図演習基礎	ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ 専門ゼミ 人間環境デザイン工学実験Ⅰ	ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ 人間環境デザイン工学演習Ⅰ 人間環境デザイン工学実験Ⅱ		3次元CADプロダクトデザイン 設計製図演習応用 人間環境デザイン工学演習Ⅱ	建築設計スタジオ 人間環境デザイン工学講究 卒業研究

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

医用工学科　カリキュラム体系図

DP1	DP2	DP3	DP4
関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解

DP：ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

必修　選択　自由

	セメスター							
	1年		2年		3年		4年	
	1	2	3	4	5	6	7	8
共通教養科目群	人権と社会1 現代社会と法 現代社会と倫理 新しい政治学 国際経済入門 日本近現代史 国際化と異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 里山の環境学 日本語の技法 生涯スポーツ1 健康とスポーツの科学 ｷｬﾘｱのための情報ﾘﾃﾗｼｰ 暮らしのなかの起業入門 科学的問題解決法 近大ゼミ 教養特殊講義A 教養特殊講義B 教養特殊講義C	人権と社会2 暮らしのなかの憲法 芸術鑑賞入門 現代経済の課題 持続可能な社会論 自己発見の心理学 国際社会と日本 国際化と異文化ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ 里山の環境学 言語文化学入門 思考の技術 キャリアデザイン 科学技術と人間・社会 生涯スポーツ2 データリテラシー入門 食生活と健康 心と体の健康 世界近代史 心理と行動	社会奉仕実習		インターンシップ キャリアインターンシップ ｽｸｰﾙｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ			
外国語科目群	総合英語1 オーラルスキル（英語）1 海外研修（英語） 日本語作文1 ドイツ語総合1 中国語総合1	総合英語2 オーラルスキル（英語）2 日本語作文2 ドイツ語総合2 中国語総合2	理系英語1 オーラルスキル（英語）3 言語演習（英語）1 TOEIC・A1 英語スキル上級A ドイツ語総合3 中国語総合3	理系英語2 オーラルスキル（英語）4 言語演習（英語）2 TOEIC・A2 ドイツ語総合4 中国語総合4	理系英語3（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語3（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語3（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） 発展理系英語1 TOEIC・B1	理系英語4（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語4（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語4（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） 発展理系英語2 TOEIC・B2 英語スキル上級B		
学部基礎科目群	化学実験 物理学実験 ﾊﾞｲｵﾃｸﾉﾛｼﾞｰ技術論 科学倫理 生物と地球環境 医療・科学・暮らし 情報処理基礎Ⅰ 地学概論Ⅰ 地学実験 代数学概論Ⅰ 幾何学ⅠA	Webデザイン 情報倫理 情報処理基礎Ⅱ 地学概論Ⅱ 代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠB	基礎食品化学 幾何学ⅡA	幾何学ⅡB		知的財産権		
専門科目（学科基礎科目）	化学Ⅰ 基礎数学 数学 生物学Ⅰ 物理学Ⅰ	化学Ⅱ 生物学Ⅱ 物理学Ⅱ 微分積分学 線形代数学						
専門科目（工学科目）	医用工学概論	応用数学 コンピュータ工学 電気工学Ⅰ	機械工学 計測工学 電気工学Ⅱ	電子工学Ⅰ バイオセンサー 信号処理	制御工学 医用材料工学 電子工学Ⅱ	放射線工学概論 バイオマテリアル 生体物性工学		
専門科目（基礎医学科目）	基礎医学総論（法規・衛生） 生命倫理	解剖学	生理学	病理学 臨床生化学	臨床免疫学 臨床生理学	臨床薬理学 チーム医療概論 医療社会学		
専門科目（医用工学科目）		医用機器学概論	臨床医学総論Ⅰ	医用治療機器学 生体計測装置学 生体機能代行技術学 臨床医学総論Ⅱ	医療機器安全管理学Ⅰ 生体機能代行技術学Ⅱ 臨床医学総論Ⅲ 臨床支援技術学	医用機器安全管理学Ⅱ 生体機能代行技術学Ⅲ		
専門科目（実験・実習・演習）		応用数学演習	電気電子工学実習 基礎医学実習	プログラミング演習 専門ゼミ	システム工学実習 医療治療機器学・生体計測装置学実習	生体機能代行技術学実習 医療機器安全管理学実習	臨床工学特別演習Ⅰ 臨床実習	臨床工学特別演習Ⅱ
専門科目（卒業研究）							卒業研究	

※日本語作文 1、日本語作文 2 は外国人留学生を対象。

生物理工学部 学年別科目配当表

生物工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	1学年 第2セメスター(後期) 選択	必修	選択	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2	人権と社会2		2																		
			現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																		
			現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																		
			新しい政治学		2	現代経済の課題		2																		
						持続可能な社会論		2																		
						自己発見の心理学		2																		
						心理と行動		2																		
			教養特殊講義A		2																					
	地域性・国際性		国際経済入門		2	国際社会と日本		2																		
			日本近現代史		2	言語文化学入門		2																		
			国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2																		
			里山の環境学		2	里山の環境学		2																		
						世界近代史		2																		
			教養特殊講義B		2																					
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2		思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2									
			日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1									
						科学技術と人間・社会		2										スクールインターンシップ		1						
			教養特殊講義C		2																					
			データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2																		
			キャリアのための情報リテラシー		2																					
			暮らしのなかの起業入門		2																					
			科学的問題解決法		2																					
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1																		
			健康とスポーツの科学		2	食生活と健康		2																		
						心と体の健康		2																		
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1												
			オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1												
		応用科目A	海外研修(英語)					2	言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1												
									TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1												
									英語スキル上級A		1															
		応用科目B													理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1						
															理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1						
															理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1						
															発展理系英語1		1	発展理系英語2		1						
															TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1						
																		英語スキル上級B		1						
	第二外国語		日本語作文1		1	日本語作文2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1												
			ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1												
			中国語総合1		1	中国語総合2		1																		
学部基礎科目			情報処理基礎Ⅰ	1		情報処理基礎Ⅱ	1		基礎食品化学		2	幾何学ⅡB		2				知的財産権		2						
			化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学ⅡA		2															
			物理学実験		2	情報倫理		2																		
			バイオテクノロジー技術論		2	地学概論Ⅱ		2																		
			科学倫理		2	代数学概論Ⅱ		2																		
			生物と地球環境		2	幾何学IB		2																		
			医療・科学・暮らし		2																					
			地学概論Ⅰ		2																					
			地学実験		1																					
			代数学概論Ⅰ		2																					
			幾何学IA		2																					
専門科目	学科基礎		化学Ⅰ		2	化学Ⅱ		2																		
			基礎数学		2	微分積分学		2																		
			数学		2	線形代数学		2																		
			生物学Ⅰ		2	生物学Ⅱ		2																		
			物理学Ⅰ		2	物理学Ⅱ		2																		
	学科基幹		トピックスインバイオロジー	2		生化学Ⅰ	2		生化学Ⅱ	2		細胞生物学Ⅲ		2	酵素化学		2									
			有機化学基礎	2		細胞生物学Ⅰ	2		分子生物学Ⅰ	2		分子生物学Ⅱ		2	生物機能物質化学		2									
			基礎遺伝学	2		基礎植物学		2	植物生理学	2		生物物理化学		2	遺伝子発現制御学		2									
			公衆衛生学		2				基礎微生物学	2					免疫・アレルギー学		2									
									細胞生物学Ⅱ		2															
	手法		計量生物学	2								生物分析化学		2	植物細胞工学		2	生物情報学		2						
															機器分析化学		2									
															遺伝子工学		2									
	生物資源利用					資源植物学		2	植物生産環境工学		2	応用微生物学		2				植物栽培環境学		2						
									植物育種学		2	植物生産情報工学		2												
												植物病理学		2												
	生物プロセス											応用生物工学Ⅰ		2	応用生物工学Ⅱ		2	応用生物工学Ⅲ		2						
												生体情報工学		2	環境科学		2									
	実験・実習・演習					生物工学基礎化学実験	3		生物工学基礎生物学実験	3		生物工学基礎生化学実験		3	専攻科目演習Ⅰ	2		専攻科目演習Ⅱ	2		専攻科目演習Ⅲ	2		専攻科目演習Ⅳ	2	
												専門ゼミ		1							生物工学発展		2			
																					卒業研究	6				

※ 開講時期は変更される場合があります。
※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。
※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

生物理工学部 学年別科目配当表

遺伝子工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	1学年 第2セメスター(後期) 選択	必修	選択	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2	人権と社会2		2																		
			現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																		
			現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																		
			新しい政治学		2	現代経済の課題		2																		
						持続可能な社会論		2																		
						自己発見の心理学		2																		
						心理と行動		2																		
			教養特殊講義A		2																					
	地域性・国際性		国際経済入門		2	国際社会と日本		2																		
			日本近現代史		2	言語文化学入門		2																		
			国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2																		
			里山の環境学		2	里山の環境学		2																		
						世界近代史		2																		
			教養特殊講義B		2																					
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2		思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2									
			日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1									
						科学技術と人間・社会		2										スクールインターンシップ		1						
			教養特殊講義C		2																					
			データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2																		
			キャリアのための情報リテラシー		2																					
			暮らしのなかの起業入門		2																					
			科学的問題解決法		2																					
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1																		
			健康とスポーツの科学		2	食生活と健康		2																		
						心と体の健康		2																		
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1												
			オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1												
		応用科目A	海外研修(英語)					2	言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1												
									TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1												
									英語スキル上級A		1															
		応用科目B													理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1						
															理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1						
															理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1						
															発展理系英語1		1	発展理系英語2		1						
															TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1						
																		英語スキル上級B		1						
	第二外国語		日本語作文1		1	日本語作文2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1												
			ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1												
			中国語総合1		1	中国語総合2		1																		
学部基礎科目			情報処理基礎Ⅰ	1		情報処理基礎Ⅱ	1		基礎食品化学		2	幾何学ⅡB		2				知的財産権		2						
			化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学ⅡA		2															
			物理学実験		2	情報倫理		2																		
			バイオテクノロジー技術論		2	地学概論Ⅱ		2																		
			科学倫理		2	代数学概論Ⅱ		2																		
			生物と地球環境		2	幾何学IB		2																		
			医療・科学・暮らし		2																					
			地学概論Ⅰ		2																					
			地学実験		1																					
			代数学概論Ⅰ		2																					
			幾何学IA		2																					
専門科目	学科基礎		化学Ⅰ		2	化学Ⅱ		2	微生物学	2		生化学Ⅱ	2													
			生物学Ⅰ		2	生物学Ⅱ		2	分子生物学Ⅱ	2		生物物理化学		2												
			物理学Ⅰ		2	物理学Ⅱ		2	生化学Ⅰ	2																
			生命科学概論		2	微分積分学		2																		
			動物生理学	2		線形代数学		2																		
			細胞生物学Ⅰ	2		生体構成分子	2																			
						細胞生物学Ⅱ	2																			
						分子生物学Ⅰ	2																			
						統計学	2																			
	生命と情報		動物学	2					進化遺伝学		2				遺伝子機能解析学		2	タンパク質機能学		2						
															生命科学のための情報リテラシー		2	遺伝子発現制御とエピジェネティクス		2						
															生命科学のための分析化学		2	生命倫理	2							
	高次生命					発生生物学Ⅰ	2		発生生物学Ⅱ	2		免疫学概論		2	分子発生学		2									
									動物繁殖学	2		神経科学		2												
	応用生命		遺伝子工学概論	2		発生工学	2		遺伝子工学	2		実験動物学		2	幹細胞・再生医工学		2	医用遺伝子工学概論		2						
						公衆衛生学	2											生殖医療工学		2						
	実験・実習・演習								遺伝子基礎化学実験	3		専門ゼミ	1		生殖工学実験	3		専攻科目演習Ⅰ	2		専攻科目演習Ⅱ	2		専攻科目演習Ⅲ	2	
												遺伝子工学実験	3											卒業研究	6	

※ 開講時期は変更される場合があります。

※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

生物理工学部 学年別科目配当表

食品安全工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	1学年 第2セメスター(後期) 選択	必修	選択	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2	人権と社会2		2																		
			現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																		
			現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																		
			新しい政治学		2	現代経済の課題		2																		
						持続可能な社会論		2																		
						自己発見の心理学		2																		
						心理と行動		2																		
			教養特殊講義A					2																		
	地域性・国際性		国際経済入門		2	国際社会と日本		2																		
			日本近現代史		2	言語文化学入門		2																		
			国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2																		
			里山の環境学		2	里山の環境学		2																		
						世界近代史		2																		
			教養特殊講義B					2																		
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2		思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2								
			日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1								
						科学技術と人間・社会		2										スクールインターンシップ		1						
			教養特殊講義C					2																		
			データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2																		
			キャリアのための情報リテラシー		2																					
			暮らしのなかの起業入門		2																					
			科学的問題解決法		2																					
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1																		
			健康とスポーツの科学		2	食生活と健康		2																		
						心と体の健康		2																		
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1												
			オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1												
		応用科目A	海外研修(英語)					2	言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1												
									TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1												
									英語スキル上級A		1															
		応用科目B													理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1						
															理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1						
															理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1						
															発展理系英語1		1	発展理系英語2		1						
															TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1						
																		英語スキル上級B		1						
	第二外国語		日本語作文1		1	日本語作文2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1												
			ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1												
			中国語総合1		1	中国語総合2		1																		
学部基礎科目			情報処理基礎I	1		情報処理基礎II	1		基礎食品化学		2	幾何学IIB		2				知的財産権		2						
			化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学IIA		2															
			物理学実験		2	情報倫理		2																		
			バイオテクノロジー技術論		2	地学概論II		2																		
			科学倫理		2	代数学概論II		2																		
			生物と地球環境		2	幾何学IB		2																		
			医療・科学・暮らし		2																					
			地学概論I		2																					
			地学実験		1																					
			代数学概論I		2																					
			幾何学IA		2																					
専門科目	学科基礎科目		化学I		2	化学II		2																		
			生物学I		2	生物学II		2																		
			基礎数学		2	微分積分学		2																		
			数学		2	線形代数学		2																		
			物理学I		2	物理学II		2																		
			生命科学概論		2																					
	食品機能工学		生化学I	2		生化学II	2					食品機能統計学		2	機能性食品開発	2										
			生体物質基礎	2		分子生物学I	2					食品機能学	2													
			食品材料学		2																					
	食生産環境					くらしと食農・環境		2	食品システム論	2		動物生産学		2	遺伝資源学		2	食生産環境工学		2						
									植物育種学		2	応用微生物工学	2					調理科学		2						
									世界の食生産事情		2															
									科学情報の検索法		2															
									植物生産環境工学		2															
	食品管理評価		食品安全工学概論	2		食品保全学	2		食品安全学	2		食品加工学	2		HACCPシステム論		2								
									食品微生物学	2		食品衛生管理学	2													
									食品分析化学	2																
	応用生命工学		動物栄養学	2		細胞生物学I	2					細胞生物学II		2	免疫・アレルギー学		2	生物情報学		2						
						公衆衛生学		2				実験動物学		2	分子生物学II		2									
															細胞培養工学		2									
															酵素化学		2									
	実験・実習・演習					自主演習		1	食品化学実験	3		食品生物学実験	3		専攻科目演習I	2		専攻科目演習II	2		専攻科目演習III	2		専攻科目演習IV	2	
									専門ゼミ	1											卒業研究	6				

※ 開講時期は変更される場合があります。

※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

生物理工学部 学年別科目配当表

生命情報工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	1学年 第2セメスター(後期) 選択	必修	選択	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2	人権と社会2		2																		
			現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																		
			現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																		
			新しい政治学		2	現代経済の課題		2																		
						持続可能な社会論		2																		
						自己発見の心理学		2																		
						心理と行動		2																		
			教養特殊講義A		2																					
	地域性・国際性		国際経済入門		2	国際社会と日本		2																		
			日本近現代史		2	言語文化学入門		2																		
			国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2																		
			里山の環境学		2	里山の環境学		2																		
						世界近代史		2																		
			教養特殊講義B		2																					
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2		思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2									
			日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1									
						科学技術と人間・社会		2										スクールインターンシップ		1						
			教養特殊講義C		2																					
			データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2																		
			キャリアのための情報リテラシー		2																					
			暮らしのなかの起業入門		2																					
			科学的問題解決法		2																					
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1																		
			健康とスポーツの科学		2	食生活と健康		2																		
						心と体の健康		2																		
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1												
			オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1												
		応用科目A	海外研修(英語)					2	言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1												
									TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1												
									英語スキル上級A		1															
		応用科目B													理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1						
															理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1						
															理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1						
															発展理系英語1		1	発展理系英語2		1						
															TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1						
																		英語スキル上級B		1						
	第二外国語		日本語作文1		1	日本語作文2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1												
			ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1												
			中国語総合1		1	中国語総合2		1																		
学部基礎科目			情報処理基礎Ⅰ	1		情報処理基礎Ⅱ	1		基礎食品化学		2	幾何学ⅡB		2				知的財産権		2						
			化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学ⅡA		2															
			物理学実験		2	情報倫理		2																		
			バイオテクノロジー技術論		2	地学概論Ⅱ		2																		
			科学倫理		2	代数学概論Ⅱ		2																		
			生物と地球環境		2	幾何学IB		2																		
			医療・科学・暮らし		2																					
			地学概論Ⅰ		2																					
			地学実験		1																					
			代数学概論Ⅰ		2																					
			幾何学IA		2																					
専門科目	学科基礎		生命情報工学総論	2		微分積分学	2		応用数学Ⅰ		2	応用数学Ⅱ		2	制御基礎論		2	生体とシステム制御		2				知的財産権法概論		2
			数学	2		線形代数学	2		情報基礎		2	生物統計		2	生体分子の統計物理		2									
			基礎数学		2	物理学Ⅱ		2	確率基礎		2	電子回路		2												
			物理学Ⅰ		2	化学Ⅱ		2	電気回路Ⅱ		2															
			化学Ⅰ		2	生物学Ⅱ		2																		
			生物学Ⅰ		2	情報ネットワーク		2																		
			コンピュータ概論	2		電気回路Ⅰ		2																		
	生命情報								細胞生物学		2	分子生物学Ⅰ		2	分子生物学Ⅱ		2	バイオセンサー		2	バイオインフォマティクス		2			
									プログラミング	2		データ構造とアルゴリズム	2		バイオマテリアル		2	情報理論		2						
									数値計算	2					データベース論	2										
															情報セキュリティ		2									
	生体システム								脳・神経生理学		2	情報通信工学		2	生体信号解析		2	画像処理		2	脳と情報科学		2			
									デジタル回路		2	生体・電子計測学		2				システム工学		2						
												生体情報工学		2				機械学習		2						
	先端専門											生命情報工学講究Ⅰ	2		生命情報工学講究Ⅱ	2										
	実験・実習・演習		基礎数学演習Ⅰ	1		基礎数学演習Ⅱ	1		専門ゼミ	1		プログラミング実習Ⅱ	1		生命情報工学演習Ⅰ	1		生命情報工学演習Ⅱ	2		生命情報工学応用演習	1				
						AI・データサイエンス基礎実習	1		プログラミング実習Ⅰ	1		情報基礎実験	2		システム情報処理実習Ⅰ	1		システム情報処理実習Ⅱ	1		卒業研究	6				
															生体情報工学実験	2										

※ 開講時期は変更される場合があります。

※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

生物理工学部 学年別科目配当表

人間環境デザイン工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	1学年 第2セメスター(後期) 選択	必修	選択	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2	人権と社会2		2																		
			現代社会と法		2	暮らしのなかの憲法		2																		
			現代社会と倫理		2	芸術鑑賞入門		2																		
			新しい政治学		2	現代経済の課題		2																		
						持続可能な社会論		2																		
						自己発見の心理学		2																		
						心理と行動		2																		
			教養特殊講義A		2																					
	地域性・国際性		国際経済入門		2	国際社会と日本		2																		
			日本近現代史		2	言語文化学入門		2																		
			国際化と異文化コミュニケーション		2	国際化と異文化コミュニケーション		2																		
			里山の環境学		2	里山の環境学		2																		
						世界近代史		2																		
			教養特殊講義B		2																					
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2		思考の技術		2	社会奉仕実習		1				インターンシップ		2									
			日本語の技法		2	キャリアデザイン		2							キャリアインターンシップ		1									
						科学技術と人間・社会		2										スクールインターンシップ		1						
			教養特殊講義C		2																					
			データリテラシー入門		2	データリテラシー入門		2																		
			キャリアのための情報リテラシー		2																					
			暮らしのなかの起業入門		2																					
			科学的問題解決法		2																					
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1	生涯スポーツ2		1																		
			健康とスポーツの科学		2	食生活と健康		2																		
						心と体の健康		2																		
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2	総合英語2		2	理系英語1		1	理系英語2		1												
			オーラルスキル(英語)1		1	オーラルスキル(英語)2		1	オーラルスキル(英語)3		1	オーラルスキル(英語)4		1												
		応用科目A	海外研修(英語)					2	言語演習(英語)1		1	言語演習(英語)2		1												
									TOEIC・A1		1	TOEIC・A2		1												
									英語スキル上級A		1															
		応用科目B													理系英語3(エッセンシャル)		1	理系英語4(エッセンシャル)		1						
															理系英語3(コンプリヘンション)		1	理系英語4(コンプリヘンション)		1						
															理系英語3(プレゼンテーション)		1	理系英語4(プレゼンテーション)		1						
															発展理系英語1		1	発展理系英語2		1						
															TOEIC・B1		1	TOEIC・B2		1						
																		英語スキル上級B		1						
	第二外国語		日本語作文1		1	日本語作文2		1	ドイツ語総合3		1	ドイツ語総合4		1												
			ドイツ語総合1		1	ドイツ語総合2		1	中国語総合3		1	中国語総合4		1												
			中国語総合1		1	中国語総合2		1																		
学部基礎科目			情報処理基礎Ⅰ	1		情報処理基礎Ⅱ	1		基礎食品化学		2	幾何学ⅡB		2				知的財産権		2						
			化学実験		2	Webデザイン		1	幾何学ⅡA		2															
			物理学実験		2	情報倫理		2																		
			バイオテクノロジー技術論		2	地学概論Ⅱ		2																		
			科学倫理		2	代数学概論Ⅱ		2																		
			生物と地球環境		2	幾何学IB		2																		
			医療・科学・暮らし		2																					
			地学概論Ⅰ		2																					
			地学実験		1																					
			代数学概論Ⅰ		2																					
			幾何学IA		2																					
専門科目	学科基礎		物理学Ⅰ		2	物理学Ⅱ		2	応用解析学Ⅰ		2	応用解析学Ⅱ		2	確率統計(学際)		2	心理統計学		2						
			基礎数学		2	微分積分学	2					情報処理応用(学際)		2				シミュレーション工学		2						
			数学		2	線形代数学	2																			
			生物学Ⅰ		2	生物学Ⅱ		2																		
			化学Ⅰ		2	化学Ⅱ		2																		
	人間科学		心理学概論(学際)		2	生体機能・解剖学		2			2	カラーコーディネーションの心理学		2				心理学研究法(学際)		2	感性デザインの数理(学際)		2			
	機械科学					暮らしの力学	4		材料力学Ⅰ		2	材料力学Ⅱ		2	生体計測学		2	材料機能学(学際)		2						
									センサ工学		2	アンビエントセンサ		2	流れ学		2	生活支援ロボット		2						
									バイオロボティクス		2															
	住環境科学		建築計画Ⅰ		2	住環境科学概論		2	建築史		2	建築計画Ⅱ		2	建築構造Ⅰ		2	建築計画Ⅲ		2	住宅環境性能論		2			
			プロダクトデザイン	2		設計製図	2					熱・設備工学		2	温熱・空気環境学		2	建築構造Ⅱ		2						
															建築法規		2	振動と音響の科学		2						
															建築施工		2									
	ユニバーサルデザイン		ユニバーサルデザイン概論		2				福祉工学		2	人間工学		2	建築と照明		2	ユニバーサルデザイン		2						
	実験・実習・演習								ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅰ	2		ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅱ	2		ユニバーサルデザイン・CAD演習Ⅲ	2		3次元CADプロダクトデザイン	2		人間環境デザイン工学講究	2				
									設計製図演習基礎	2		専門ゼミ	1		人間環境デザイン工学演習Ⅰ	1		人間環境デザイン工学演習Ⅱ	1		建築設計スタジオ		1			
												人間環境デザイン工学実験Ⅰ	2		人間環境デザイン工学実験Ⅱ	2		設計製図演習応用		2	卒業研究	6				

※ 開講時期は変更される場合もあります。

※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。

※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

生物理工学部 学年別科目配当表

医用工学科

科目区分			1学年 第1セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	自由	1学年 第2セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	自由	2学年 第3セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	自由	2学年 第4セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	自由	3学年 第5セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	自由	3学年 第6セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	自由	4学年 第7セメスター(前期) 授業科目名	必修	選択	自由	4学年 第8セメスター(後期) 授業科目名	必修	選択	自由
共通教養科目	人間性・社会性		人権と社会1		2		人権と社会2		2																									
			現代社会と法		2		暮らしのなかの憲法		2																									
			現代社会と倫理		2		芸術鑑賞入門		2																									
			新しい政治学		2		現代経済の課題		2																									
							持続可能な社会論		2																									
							自己発見の心理学		2																									
							心理と行動		2																									
			教養特殊講義A						2																									
	地域性・国際性		国際経済入門		2		国際社会と日本		2																									
			日本近現代史		2		言語文化学入門		2																									
			国際化と異文化コミュニケーション		2		国際化と異文化コミュニケーション		2																									
			里山の環境学		2		里山の環境学		2																									
							世界近代史		2																									
			教養特殊講義B						2																									
	課題設定・問題解決		近大ゼミ	2			思考の技術		2		社会奉仕実習		1						インターンシップ		2													
			日本語の技法		2		キャリアデザイン		2										キャリアインターンシップ		1													
							科学技術と人間・社会		2														スクールインターンシップ		1									
			教養特殊講義C						2																									
			データリテラシー入門		2		データリテラシー入門		2																									
			キャリアのための情報リテラシー		2																													
			暮らしのなかの起業入門		2																													
			科学的問題解決		2																													
	スポーツ・表現活動		生涯スポーツ1		1		生涯スポーツ2		1																									
			健康とスポーツの科学		2		食生活と健康		2																									
							心と体の健康		2																									
外国語科目	第一外国語	基幹科目	総合英語1		2		総合英語2		2		理系英語1		1		理系英語2		1																	
			オーラルスキル(英語)1		1		オーラルスキル(英語)2		1		オーラルスキル(英語)3		1		オーラルスキル(英語)4		1																	
		応用科目A	海外研修(英語)						2		言語演習(英語)1		1		言語演習(英語)2		1																	
											TOEIC・A1		1		TOEIC・A2		1																	
											英語スキル上級A		1																					
		応用科目B																	理系英語3(エッセンシャル)		1		理系英語4(エッセンシャル)		1									
																			理系英語3(コンプリヘンション)		1		理系英語4(コンプリヘンション)		1									
																			理系英語3(プレゼンテーション)		1		理系英語4(プレゼンテーション)		1									
																			発展理系英語1		1		発展理系英語2		1									
																			TOEIC・B1		1		TOEIC・B2		1									
																							英語スキル上級B		1									
	第二外国語		日本語作文1		1		日本語作文2		1		ドイツ語総合3		1		ドイツ語総合4		1																	
			ドイツ語総合1		1		ドイツ語総合2		1		中国語総合3		1		中国語総合4		1																	
			中国語総合1		1		中国語総合2		1																									
学部基礎科目			情報処理基礎Ⅰ	1			情報処理基礎Ⅱ	1			基礎食品化学		2		幾何学ⅡB		2						知的財産権		2									
			化学実験		2		Webデザイン		1		幾何学ⅡA		2																					
			物理学実験		2		情報倫理		2																									
			バイオテクノロジー技術論		2		地学概論Ⅱ		2																									
			科学倫理		2		代数学概論Ⅱ		2																									
			生物と地球環境		2		幾何学IB		2																									
			医療・科学・暮らし		2																													
			地学概論Ⅰ		2																													
			地学実験		1																													
			代数学概論Ⅰ		2																													
			幾何学IA		2																													
専門科目	学科基礎		化学Ⅰ		2		化学Ⅱ		2																									
			基礎数学		2		微分積分学	2																											
			数学		2		線形代数学	2																											
			生物学Ⅰ		2		生物学Ⅱ		2																									
			物理学Ⅰ		2		物理学Ⅱ		2																									
	工学		医用工学概論	2			応用数学	2			機械工学	2			電子工学Ⅰ	2			制御工学	2			放射線工学概論	2									
							コンピュータ工学	2			計測工学	2			バイオセンサー			2	医用材料工学	2			バイオマテリアル	2									
							電気工学Ⅰ	2			電気工学Ⅱ			2	信号処理			2	電子工学Ⅱ			2	生体物性工学	2									
	基礎医学		基礎医学総論(法規・衛生)	2			解剖学	2			生理学	2			病理学	2			臨床免疫学	2			臨床薬理学	2									
			生命倫理	2											臨床生化学	2			臨床生理学	2			チーム医療概論	2									
																							医療社会学	2									
	医用工学						医用機器学概論	2			臨床医学総論Ⅰ	2			医用治療機器学	2			医療機器安全管理学Ⅰ	2			医療機器安全管理学Ⅱ			2							
															生体計測装置学			2	生体機能代行技術学Ⅱ			4	生体機能代行技術学Ⅲ			2							
															生体機能代行技術学Ⅰ	4			臨床医学総論Ⅲ			2											
															臨床医学総論Ⅱ			2	臨床支援技術学			2											
	実験・実習・演習						応用数学演習			1	電気電子工学実習	2			プログラミング演習	1			システム工学実習	2			生体機能代行技術学実習	3			臨床工学特別演習Ⅰ			1	臨床工学特別演習Ⅱ			1
											基礎医学実習	2			専門ゼミ	1			医療治療機器学・生体計測装置学実習	3			医療機器安全管理学実習	2			卒業研究	4					
																												臨床実習			7			

※ 開講時期は変更される場合もあります。
※ スクールインターンシップは教職課程受講者のみ履修可能です。
※ 日本語作文1、日本語作文2は外国人留学生を対象とした科目です。

◎学際領域選択科目表

開講学科	授業科目	学年	開講期	単位数 選択	生物工学科	遺伝子工学科	食品安全工学科	生命情報工学科	人間環境デザイン工学科	医用工学科	備考
生物工学科	生物物理化学	2	後期	2			○	○	○	○	
	環境科学	3	前期	2		○	○	○	○		
	生物機能物質化学	3	前期	2		○	○	○			
	機器分析化学	3	前期	2		○		○		○	
	植物栽培環境学	3	後期	2		○	○	○	○	○	
	計量生物学	1	前期	2		◎	◎	◎	◎	◎	B-AiDaS科目
	植物生産情報工学	2	後期	2		◎	◎	◎	◎	◎	B-AiDaS科目
	生物情報学	3	後期	2		◎		◎	◎	◎	B-AiDaS科目
遺伝子工学科	生命科学概論	1	前期	2				○	○	○	
	遺伝子工学概論	1	前期	2	○		○	○		○	
	実験動物学	2	後期	2	○			○		○	
	幹細胞・再生医工学	3	前期	2	○		○	○	○	○	
	医用遺伝子工学概論	3	後期	2	○		○	○	○	○	
	統計学	1	後期	2	◎		◎	◎	◎	◎	B-AiDaS科目
	生命科学のための情報リテラシー	3	前期	2	◎		◎	◎	◎	◎	B-AiDaS科目
	遺伝子機能解析学	3	前期	2	◎		◎	◎	◎	◎	B-AiDaS科目
食品安全工学科	くらしと食農・環境	1	後期	2	○	○		○	○		
	免疫・アレルギー学	3	前期	2		○		○	○		
	遺伝資源学	3	前期	2		○		○			
	調理科学	3	後期	2	○	○		○	○		
	科学情報の検索法	2	前期	2	◎	◎		◎	◎	◎	B-AiDaS科目
	食品機能統計学	2	後期	2	◎	◎		◎	◎	◎	B-AiDaS科目
生命情報工学科	情報理論	3	後期	2	○	○	○		○	○	
	バイオセンサー	3	後期	2	○	○	○		○		
	脳と情報科学	4	前期	2	○	○	○		○	○	
	AI・データサイエンス基礎実習	1	後期	1	◎	◎	◎		◎	◎	B-AiDaS科目
	確率基礎	2	前期	2	◎	◎	◎		◎	◎	B-AiDaS科目
	情報基礎	2	前期	2	◎	◎	◎		◎	◎	B-AiDaS科目
	データ構造とアルゴリズム	2	後期	2	◎	◎	◎		◎	◎	B-AiDaS科目
	機械学習	3	後期	2	◎	◎	◎		◎	◎	B-AiDaS科目
人間環境デザイン工学科	心理学概論	1	前期	2	○	○	○	○			
	材料機能学	3	後期	2	○	○	○	○			
	心理学研究法	3	後期	2	○	○		○			
	感性デザインの数理	4	前期	2	○	○	○	○			
	情報処理応用	2	後期	2	◎	◎	◎	◎		◎	B-AiDaS科目
	確率統計	3	前期	2	◎	◎	◎	◎		◎	B-AiDaS科目
医用工学科	応用数学	1	後期	2	◎	◎	◎	◎	◎		B-AiDaS科目

○印、◎印は学際領域選択科目を示す。

◎印は学際領域選択科目のうち「AI・データサイエンティスト」育成プログラム（B-AiDaS）対象科目を示す。

（開講学科以外の学科の学生が、AI・データサイエンス基礎実習を履修するとB-AiDasプログラムに登録され、登録された学生のみが◎印のB-AiDas科目を履修する事ができます。B-AiDasプログラムの詳細については次ページ参照。）

生物理工『AI・データサイエンティスト』
育成プログラム（B-AiDaS）の履修について【全学科】

本プログラムは文部科学省が推進する「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」に則った生物理工学部独自のプログラムです。数理・データサイエンス・AI の知識を様々な専門分野へ応用・活用し（AI ×専門分野）、現実の課題解決、価値創造を担う人材を幅広く育成することを目的としています。本プログラムは 2024 年度に『文部科学省数理･データサイエンス･AI 教育プログラム（応用基礎レベル）』の認定を受けました。

AI・データサイエンティスト育成プログラムに関する科目		単位数		
		必修	選択必修	選択
AI・データサイエンス基礎科目	データリテラシー入門	2		
	微分積分学	2		
	線形代数学	2		
	（確率統計基礎科目）			
	計量生物学		2	
	統計学		2	
	食品機能統計学		2	
	確率基礎		2	
	確率統計		2	
	応用数学		2	
AI・データサイエンス実践科目	機械学習	2		
	AI・データサイエンス基礎実習	1		
AI・データサイエンス応用科目	キャリアのための情報リテラシー			2
	生物情報学			2
	植物生産情報工学			2
	生命科学のための情報リテラシー			2
	遺伝子機能解析学			2
	科学情報の検索法			2
	データ構造とアルゴリズム			2
	情報基礎			2
	情報処理応用			2

＜履修方法＞

本プログラムの修了には、AI・データサイエンス基礎科目から８単位、AI・データサイエンス実践科目から３単位、AI・データサイエンス応用科目から２単位以上修得することが必要です。本プログラム修了に必要な最小単位数（13 単位）まで卒業要件の各科目（共通教養科目 、コンソーシアム科目、専門科目）として認められます。

基礎教育について

学生のみなさんの基礎教育支援のために、基礎教育センター（数学・物理）が設置されています。積極的に活用してください。

基礎教育センター

～中学・高校での数学・物理に苦手意識がある皆さんを手助けします～

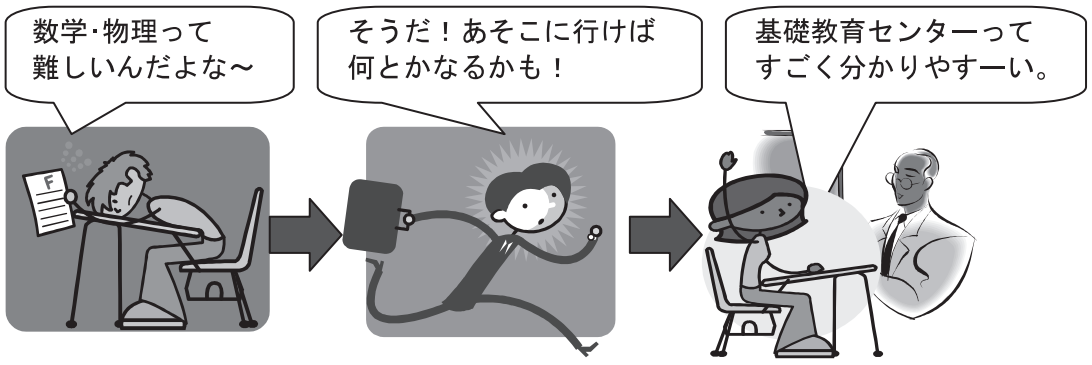
基礎教育センターは、数学 ・ 物理で理解しにくい内容などがあれば、個人でもグループでも気軽に相談や指導が受けられるよう、3 号館 2 階 学生支援室内に窓口を開設しています。

だれもが数学・物理を良く理解し、勉学意欲が高まるよう支援します。また、中学･高校時代の数学や物理など、忘れた内容をもう一度を学習したい皆さんもサポートします。

数学や物理が苦手で、授業だけではまだよくわからないという学生さんは、「学生支援室」を訪ねてください。ここでは、元高等学校のベテランの先生が専属で待機しています。好きな時間にマンツーマンで補習指導をしてくれますので、自分のペースで着実に実力をアップすることができます。

また、どこがわからないかが、わからないという方も気軽に相談に来てください。

基礎教育センター	
対象	数学･物理が苦手な方
開館時間	原則として午前 9 時～午後 5 時（月曜日～金曜日）
利用方法	自分の授業のない時間帯に気軽に声を掛けてください
	申込みや登録は不要です
場所	3 号館 2 階　学生支援室



語学教育について

生物理工学部では、語学教育支援のために、ノート PC やスマートフォンのような可搬性のあるモバイル端末など、アクティブラーニングに対応した MALL システムを導入しています。（インターネット環境があればどこからでも利用ができ、Google Classroom とも連携しています。）

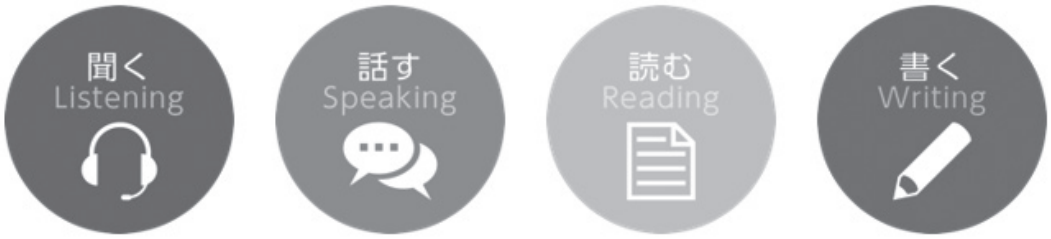
MALL システムを利用し、聴く（listening）・話す（speaking）・読む（reading）・書く（writing）の 4 技能を習得することだけではなく、オンライン教材やインターネットを活用した授業を行っています。リスニングや発音練習に加えて、Web 上の最新の情報を利用した授業も行い、言語文化知識の修得、論理的思考・発表能力の向上を目指します。

また、学生のみなさんが主体的に学び・考え・行動することをグループワークやプレゼンテーションを通して体得できるよう、視覚的な操作が可能な電子黒板などを活用します。

どうか、MALL 教室を基礎言語力と総合力アップのために積極的に利用してください。

☆本学部英語教育の指導目標の実現

①英語の基礎力の充実
②４技能（listening, speaking, reading, writing）の総合的能力の向上
③専門分野で通用する分析力、情報収集力、プレゼンテーション力や
　コミュニケーション力の育成
④ TOEIC®得点の向上



英語科目の履修について

外国語の卒業所要単位14単位のうち、英語科目は最低10単位修得する必要があります。

また、その10単位の中で、基幹科目から５単位以上修得するとともに、応用科目Ａから１単位以上と、３年次配当科目の応用科目Ｂから１単位以上修得しなければなりません。

※表中にあるテストとは入学時もしくは、12月上旬に行われる実力テストのことです。

	科　　目	配当学年	単位	学期	授業内容等	履修条件
基幹科目（選択・必修）	総合英語 1	1	2	前期	大学入学時までに習得した基礎力を前提に、バランスの良い英語力を習得することを目標として、理系語彙の導入、文法力・リスニング（文章レベルで聞き取る力)･リーディング（速読力・構文力）・ライティング力（文章レベルで書く力）の充実を図る。	テストによりクラス分けを行います。
	総合英語 2	1	2	後期		テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 1	2	1	前期	学術英語基礎力の習得を目標に、理系語彙・リスニング（ディスコースを聞き取る力)･リーディング（要約力)･ライティング力（段落を書く力）の充実をジャンル学習とともに行い、並びに、学術語彙・文章構成の習得を図る。	総合英語１・２のいずれかを修得していることが必要です。テストによりクラス分けを行います。なお、医用工学科の学生で臨床工学技士の受験資格取得を目指す者は、理系英語１および２の両方が必修です。
	理系英語 2	2	1	後期		総合英語１・２のいずれかを修得していることが必要です。テストによりクラス分けを行います。なお、医用工学科の学生で臨床工学技士の受験資格取得を目指す者は、理系英語１および２の両方が必修です。
基幹科目（選択）	オーラルスキル（英語）1	1	1	前期	大学入学時までに習得した基礎力を前提に、基本的な語彙を使ったリスニング能力及び文レベルのスピーキング能力の習得を図る。	テストによりクラス分けを行います。
	オーラルスキル（英語）2	1	1	後期		テストによりクラス分けを行います。
	オーラルスキル（英語）3	2	1	前期	理系・学術場面での使用を想定して､理系･学術語彙を使ったリスニング・スピーキング（段落レベル）能力の習得を図る。	オーラルスキル１・２のいずれかを修得していることが必要です。テストによりクラス分けを行います。
	オーラルスキル（英語）4	2	1	後期		オーラルスキル１・２のいずれかを修得していることが必要です。テストによりクラス分けを行います。
応用科目Ａ	海外研修（英語）	1	2	通年	本学主催の海外短期・長期留学に参加する学生を対象に、事前･事後研修を行いながら、国際感覚・異文化力の醸成を図る。	インターナショナルセンター所管の春期・夏期英語研修で所定の成績を得て、かつ事前・事後研修における課題を全うした者を対象に単位認定します。研修の申し込みは各自行うことが必要です。
	言語演習(英語）1	2	1	前期	卒業後に必要な国際教養・異文化理解の素養・英語運用能力等を習得することを目標とする。言語･文化知識、文学、時事英語、文法構造、音やリズム、コーパス作成、長文リスニングなどに関する授業を行う。	クラスごとに異なったテーマを扱います。クラスによっては人数制限がある場合もありますし、集中講義として実施される場合もあります。
	言語演習(英語）2	2	1	後期		クラスごとに異なったテーマを扱います。クラスによっては人数制限がある場合もありますし、集中講義として実施される場合もあります。
	英語スキル上級 A	2	1	前期	英語論文等を使用して、専門分野の英語の特徴を見出し、自分の専門分野の英語表現や英語使用について学ぶ｡また、自律的・能動的に英語と関わることを目指す。	１年間以上の英語圏在住経験者、TOEIC® 500点程度を取得した者（１時間のオンライン受験の場合は540点)、英語検定試験２級以上取得者、語学担当教員が受講を認めた者が受講可能なので申し出ること｡集中講義として､通常授業と異なるスケジュールで実施されます。（６限を含む)。
	TOEIC®・A１	2	1	前期	TOEIC®テストでの得点向上を目標に、基礎文法力・リスニング力・速読力の充実を図る。	TOEIC®のスコアおよび実力テストのスコアにより、クラス分けを行います。スコアシート等を持参し、スコアを提示してください。
	TOEIC®・A２	2	1	後期		TOEIC®のスコアおよび実力テストのスコアにより、クラス分けを行います。スコアシート等を持参し、スコアを提示してください。

科　　目		配当学年	単位	学期	授業内容等	履修条件
応用科目B	理系英語 3（E） （E：エッセンシャル）	3	1	前期	一般社会における理系分野及びビジネス場面における英語の使用を想定して、Eメールの書き方、インターネットでの情報収集などを含む、基本的な英語力およびコミュニケーション力の習得を目指す。	テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 4（E） （E：エッセンシャル）	3	1	後期		テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 3（C） （C:コンプリヘンション）	3	1	前期	専門分野の論文を読むための前提としての理系・学術語彙、構文、文章構成に関する知識について更なる充実を図る。複雑なセンテンスの意味・文章の概要を正確に把握する能力、自律的な学習のためのスキルの獲得を目標とする。	テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 4（C） （C:コンプリヘンション）	3	1	後期		テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 3（P） （P:プレゼンテーション）	3	1	前期	理系の学術場面及びビジネスの場面において、効果的な英語によるプレゼンテーションが行える能力の醸成を目標とする。場面ごとに使われる重要な語彙・フレーズの獲得並びに、アイコンタクト等のプレゼンテーションにおける基本項目の習得を目指す。	テストによりクラス分けを行います。
	理系英語 4（P） （P:プレゼンテーション）	3	1	後期		テストによりクラス分けを行います。
	発展理系英語 1	3	1	前期	大学院進学等、理系専門分野での活躍を予定する学生を対象に、サイエンス系論文・抄録を読むための構文知識・リーディングストラテジー・要約する力の醸成を行う。	理系英語１または２を修得していることが望ましいです。テストの結果により、指定された学生が受講できます。
	発展理系英語 2	3	1	後期		理系英語１または２を修得していることが望ましいです。テストの結果により、指定された学生が受講できます。
	英語スキル上級 B	3	1	後期	英語論文等をコンピューターを使用して分析することを通して、専門分野の英語の特徴を見出し、自分の専門分野の英語表現や英語使用ついて学ぶ。また、自律的・能動的に英語と関わることを目指す。	１年間以上の英語圏在住経験者、TOEIC® 500点程度を取得した者（１時間のオンライン受験の場合は540点）、英語検定試験２級以上取得者、語学担当教員が受講を認めた者も受講可能なので申し出ること。集中講義として､通常授業と異なるスケジュールで実施されます。（６限を含む）
	TOEIC®・B１	3	1	前期	TOEIC®テストでの得点向上を目標に、文法力・リスニング力・速読力の充実を図る。	TOEIC®のスコアおよび実力テストのスコアにより、クラス分けを行います。スコアシート等を持参し、スコアを提示してください。
	TOEIC®・B２	3	1	後期		TOEIC®のスコアおよび実力テストのスコアにより、クラス分けを行います。スコアシート等を持参し、スコアを提示してください。

☆英語実力テストについて

本学では、１年生と、２年生全員を対象として、12月頃に英語実力試験を行います。
本テストは「総合英語２」または「理系英語２」を受講していない学生も受ける必要があります。
実施については、「総合英語２」または「理系英語２」の授業中および UNIPA で案内します。

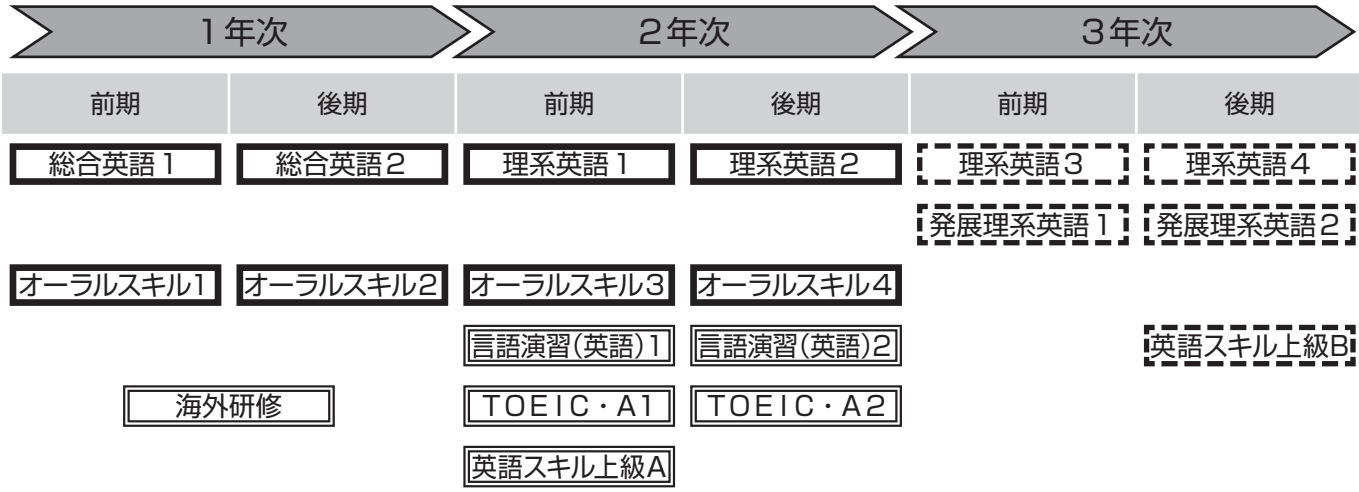
１．英語実力試験の得点は、「総合英語２」、「理系英語２」の成績に０点～15点の範囲で加味されます。
２．英語実力試験の得点は、次年度配当科目のクラス編成に使用されます。

英語科目の履修パターン例

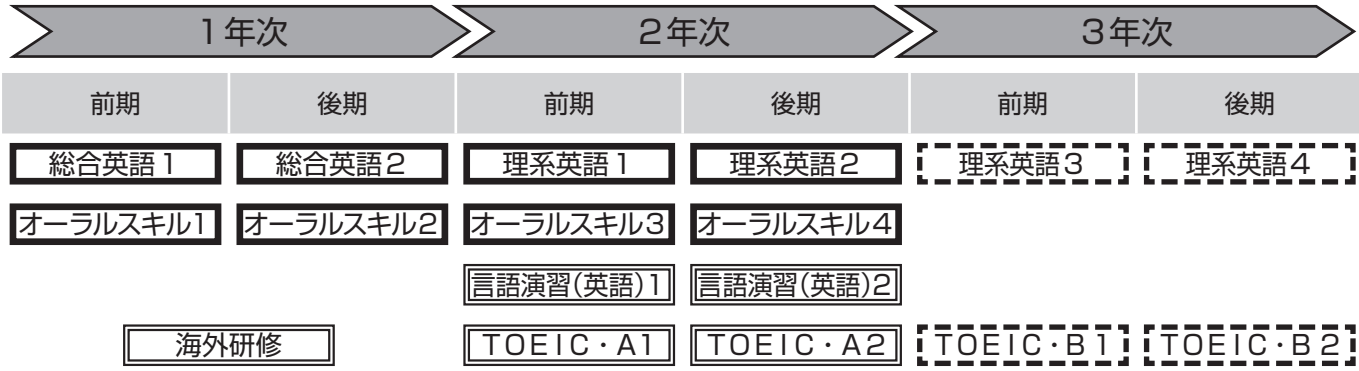
英語科目についての卒業要件は、以下の通りです。
1．以下の、2．3．4を含めて、全体で10単位以上の修得
2．基幹科目から5単位以上の修得（基幹科目の履修条件は、次ページを参照）
3．応用科目Aから1単位以上の修得
4．応用科目Bから1単位以上の修得

凡例
基幹科目
応用科目A
応用科目B

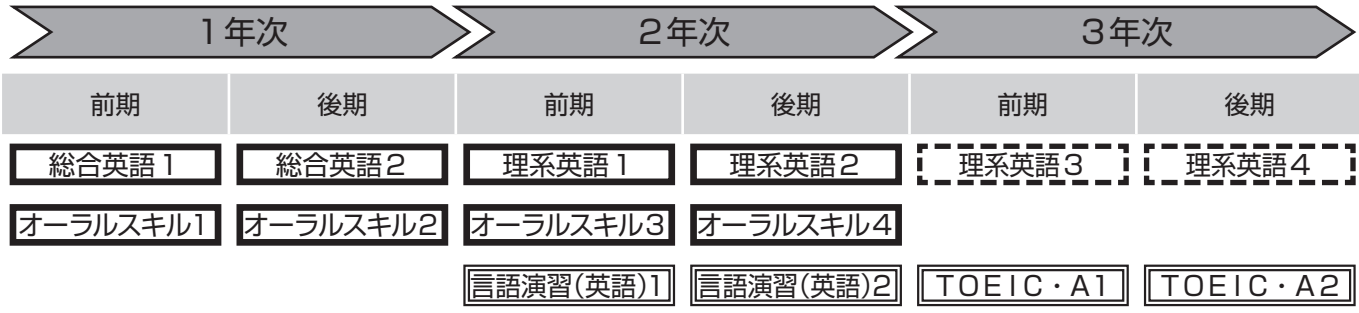
主に、大学院に進学・研究者志望の学生の例



主に、企業就職志望の学生の例



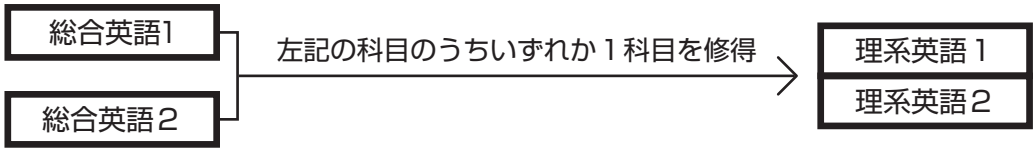
主に、英語の基礎力を固めたい学生の例



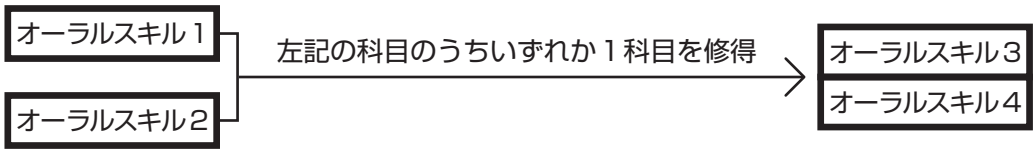
第一外国語科目（英語）の履修条件等

①２年生基幹科目の履修条件

（１）理系英語１・２の履修条件



（２）オーラルスキル３・４の履修条件

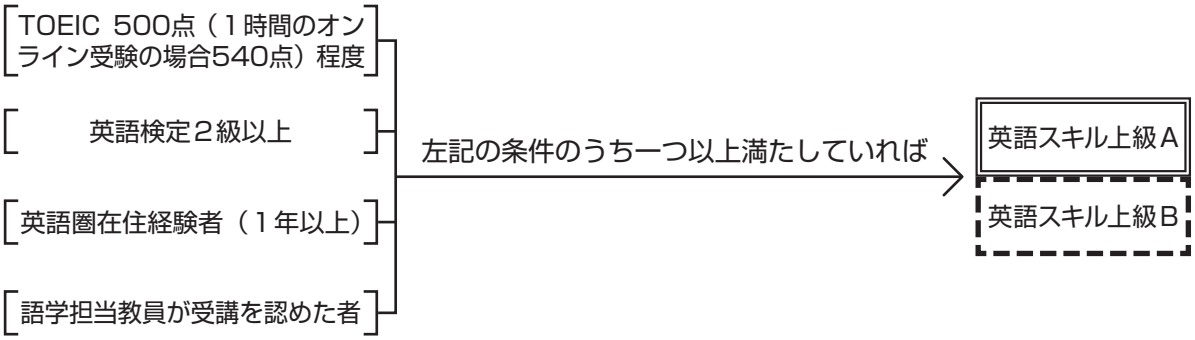


②TOEIC 関連科目の履修条件

・１年・２年次後期に実施される実力テストを全員必ず受験すること。

・TOEIC関連科目を受講する場合は、事前にTOEIC®公開テストもしくはTOEIC®・IPテストを受験しておき、履修登録期間中（詳細は UNIPA にて案内します）に学生センターにスコアシートを提出すること。TOEIC®-Bridge のスコアやTOEIC®のスコアも代替えとして利用できるが、TOEIC関連科目であるためTOEIC®公開テストもしくはTOEIC® IPテストの受験経験があることが好ましい。また、人数調整が必要な場合にはTOEIC受験経験者を優先する。

③英語スキル上級A・Bの履修条件



④医用工学科　臨床工学技士受験資格取得のために必要な条件

※ 臨床工学技士の受験資格を得るためには、総合英語1または2のいずれかに加え、理系英語1・2の両方が必修となります。

⑤言語演習（英語）は前期、後期に各1科目まで履修可能です。

第二外国語科目＜科目名・概要＞

① ＜ドイツ語・中国語　総合１・２＞

（１年次選択科目、１は前期、２は後期）（同一言語の１・２を継続して履修する）

新しい外国語に慣れ親しみ、初歩的なコミュニケーションが図れるようにする。文字、発音、基本語彙と表現、文構造など、聞き、話し、読み、書くというバランスの取れた言語運用に不可欠な基礎的知識を習得する。週１回の授業。

② ＜ドイツ語・中国語　総合３・４＞

（２年次選択科目、３は前期、４は後期）（総合１・２を履修していること）

総合１・２で学んだ知識をもとに、その言語のさらにスムーズな運用ができるようにする。比較的長い表現を聞き取って、自分でも言えるように練習する。平易な文章を読みこなし、手紙や簡単な文章を書ける能力も養う。週１回の授業。

③ ＜日本語作文１・２＞

日本語を母国語とする学生は履修できません。

留学生を対象とした科目です。

第二外国語各科目の履修上の注意

１．各科目はクラスを指定する場合があります。
２．第１回目の授業で受講生を確定します。希望の外国語を受講できない場合は、次年度に受講するか、あるいは、他の外国語を受講してください。
３．初年度の「総合１」と「総合２」は原則として同一外国語を継続して履修すること。
４．「総合１」、「総合２」を履修した学生は、２年次で同じ外国語の「総合３」、「総合４」を履修することが望ましい。
５．第二外国語科目で指定する言語を母語とする学生あるいは当該言語を日常的に使用する国の出身学生は、当該言語の「総合１」、「総合２」、「総合３」、「総合４」を履修することができません。

英語履修のＱ＆Ａ

Ｑ１　英語は卒業までに何単位とればよいのですか？

Ａ　外国語科目（英語・第二外国語）の卒業要件は 14 単位です。

その内、英語科目は最低 10 単位必要です。

また英語科目のみで 14 単位をとることも可能です。

Ｑ２　総合英語１・２の成績は、どのように評価されるのですか？

Ａ　総合英語１は、担当教員が定期試験に平常点（受講時の積極性・小テスト・提出物などを含む）を加味して 100 点満点で評価されます。

総合英語２では、担当教員が定期試験に平常点（受講時の積極性･小テスト･提出物などを含む）を加味した点と、英語実力テストの得点を 15 点に換算した、合計 100 点満点で評価されます。（点数は年度ごとに決定されます）

※英語実力テストは、12 月に実施予定です。

※総合英語は受講期間中、ランゲージスペース（ＬＳ）に定められた回数分参加することが必須です。

Ｑ３　クラス指定されている英語の授業は、前期と後期でクラスを変わることはできますか？

Ａ　クラス分けにより指定された場合は、変わることができません。

Ｑ４　１年のとき､総合英語１･２の両方とも単位がとれませんでした｡どうしたらいいですか？

Ａ　総合英語１・２のいずれの科目も修得していない場合は、２年生の理系英語１・２を履修することはできませんので、各々の再履修クラスを受講してください。

※総合英語１を落とした場合は、総合英語１（再履修クラス）を履修してください。

※総合英語２を落とした場合は、総合英語２（再履修クラス）を履修してください。

Ｑ５　１年のとき総合英語１・２のうち、いずれか一方だけの単位をとりました。理系英語１・２を履修できますか。

Ａ　できます。理系英語１・２の履修と総合英語１、または総合英語２の再履修が可能です。

Ｑ６　２年のとき、理系英語１・２を両方とも落としたのですが、３年では何が履修できますか？

Ａ　３年次配当科目及び、理系英語１・２の再履修など下級年次の科目を履修できます。

※理系英語１を落とした場合は、理系英語１（再履修クラス）を履修できます。

※理系英語２を落とした場合は、理系英語２（再履修クラス）を履修できます。

Q７　海外研修（英語）をとるには、どうしたらいいですか。

A　近畿大学グローバルエデュケーションセンター所管の春期・夏期英語研修に参加し、所定の成績を得てください。

単位認定には、各自で海外研修（英語）を履修登録したうえで事前・事後指導を受けることが必要です。

海外研修参加については、近畿大学ホームページで各自確認し、申し込むことが必要です。

説明会も開催されますので UNIPA で各自確認し参加してください。

詳細については、学生センターまたは語学担当教員（服部･長谷川･玉井）まで申し出てください。

Q８　英語スキル上級A・Bをとるには、どうしたらいいのですか。

A　１年以上の英語圏在住経験者、TOEIC® 500 点程度を取得した者（１時間のオンライン受験の場合は 540 点）、TOEIC® BRIDGE で 154 点程度を取得した者、英語検定試験２級以上、もしくは語学担当教員が履修を認めた者が受講可能となります。

受講希望者は、学生センターまたは語学担当教員（服部・長谷川）まで申し出てください。

Q９　言語演習（英語）１・２を取るにはどうしたらいいのですか。

A　言語演習（１・２）の内容は担当教員によって異なるので、各自で Web シラバスを熟読してください。単位認定されるのは「言語演習（英語）１」「言語演習（英語）２」それぞれ一度だけです。

生物工学科・遺伝子工学科・食品安全工学科における食品衛生課程の履修について

生物工学科、遺伝子工学科および食品安全工学科において食品衛生管理者、食品衛生監視員の資格を取得しようとする学生は、下記の要項に従って食品衛生課程を履修してください。

○食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格

生物工学科、遺伝子工学科および食品安全工学科の学生は、各学科が食品衛生法第48条第6項第3号の規定に基づく食品衛生管理者および食品衛生法施行令第9条第1号の規定に基づく食品衛生監視員の養成施設としての登録を受けているので、所定の科目・単位を修得して卒業すれば、食品衛生管理者および食品衛生監視員となる資格（任用資格）が得られます。ただし、養成施設ではない学部学科から転学部・転学科した学生は、原則として資格を取得できません。

○食品衛生課程を修了するために必要な科目・単位数

（1）食品衛生法に基づく食品衛生管理者･食品衛生監視員の履修科目及び履修単位は表のとおりです。

（2）A，B，C，D群については各群から1科目以上を修得し、併せてA，B，C，D群を合計して22単位以上を修得してください。

（3）E群についてはA，B，C，D群と併せて総単位数が40単位以上になるように修得してください。

○食品衛生課程を履修するための手続き

（1）年度始めに開かれる学科別の履修ガイダンスに出席してください。

（2）食品衛生課程の履修科目は第1学年から始まります。学科別に必要な科目を履修登録してください。

（3）別途ガイダンス等を開催する場合は、UNIPA等で案内しますので、必ず出席してください。

○修得証明書の発行

食品衛生課程を修めて所定の単位を修得した学生には、卒業時に修得証明書を発行します。

（参　考）

《食品衛生管理者》

食品衛生法第48条の規定により、製造又は加工にあたり特に衛生上の考慮を必要とする乳製品、食肉製品、食品添加物などについて、営業者はその製造又は加工を衛生的に管理させるために、食品衛生管理者を必ず置かなければなりません。

《食品衛生監視員》

食品衛生監視員は、飲食に起因する衛生上の危害を防止するために、食品を取り扱う営業施設等への監視指導、立入検査及び食品等からの試験品を採取する権限を厚生労働大臣又は都道府県等の長から付与された公務員です。

（食品衛生監視員は、国及び都道府県、政令市、中核市、保健所設置市に配置されています。）

《食品衛生責任者》

食品衛生管理者の資格に含まれます。

食品衛生法に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の履修科目及び履修単位
近畿大学生物理工学部生物工学科食品衛生課程

群	分野	履修科目名	選択別	単位数
A	化学関係	生物分析化学	選択	2
		機器分析化学	選択	2
		有機化学基礎	必修	2
		化学Ⅰ	選択	2
		化学Ⅱ	選択	2
		生物物理化学	選択	2
B	生物化学関係	生化学Ⅰ	必修	2
		分子生物学Ⅰ	必修	2
		生化学Ⅱ	必修	2
		基礎食品化学	選択	2
C	微生物学関係	基礎微生物学	必修	2
		応用微生物学	選択	2
D	公衆衛生学関係	公衆衛生学	選択	2
		免疫・アレルギー学	選択	2
E	その他関連科目	生物機能物質化学	選択	2
		酵素化学	選択	2
		基礎植物学	選択	2
		植物生理学	必修	2
		環境科学	選択	2
		基礎遺伝学	必修	2
		細胞生物学Ⅰ	必修	2
		細胞生物学Ⅱ	選択	2
		細胞生物学Ⅲ	選択	2
		計量生物学	必修	2
		遺伝子工学	選択	2
		植物細胞工学	選択	2
		植物生産環境工学	選択	2
		植物生産情報工学	選択	2
		植物育種学	選択	2
		資源植物学	選択	2
		生物工学基礎化学実験	必修	3
		生物工学基礎生物学実験	必修	3
		生物工学基礎生化学実験	必修	3
		化学実験	選択	2

食品衛生課程の修了を証明する、修得証明書を得るためには、A～D群の各群から、それぞれ1科目以上を履修し、A～D群の修得単位数を合計して22単位以上にすることが必要です。さらに、E群に属する科目を含めた、A～E群の総取得単位数が40単位以上とすることが必要です。

食品衛生法に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の履修科目及び履修単位
近畿大学生物理工学部遺伝子工学科食品衛生課程

群	分野	履修科目名	選択別	単位数
A	化学関係	生命科学のための分析化学	選択	2
		生体構成分子	必修	2
		化学Ⅰ	選択	2
		化学Ⅱ	選択	2
		生物物理化学	選択	2
B	生物化学関係	生化学Ⅰ	必修	2
		生化学Ⅱ	必修	2
		分子生物学Ⅰ	必修	2
		基礎食品化学	選択	2
		動物生理学	必修	2
C	微生物学関係	微生物学	必修	2
D	公衆衛生学関係	公衆衛生学	必修	2
		免疫・アレルギー学	選択	2
E	その他関連科目	タンパク質機能学	選択	2
		生物機能物質化学	選択	2
		動物繁殖学	必修	2
		環境科学	選択	2
		進化遺伝学	選択	2
		統計学	必修	2
		細胞生物学Ⅰ	必修	2
		細胞生物学Ⅱ	必修	2
		動物学	必修	2
		遺伝子機能解析学	選択	2
		免疫学概論	選択	2
		神経科学	選択	2
		分子発生学	選択	2
		遺伝子工学	必修	2
		実験動物学	選択	2
		遺伝子基礎化学実験	必修	3
		遺伝子工学実験	必修	3
		生殖工学実験	必修	3
		化学実験	選択	2

食品衛生課程の修了を証明する、修得証明書を得るためには、A～D群の各群から、それぞれ1科目以上を履修し、A～D群の修得単位数を合計して22単位以上にすることが必要です。さらに、E群に属する科目を含めた、A～E群の総取得単位数が40単位以上とすることが必要です。

食品衛生法に基づく食品衛生管理者及び食品衛生監視員の履修科目及び履修単位
近畿大学生物理工学部食品安全工学科食品衛生課程

群	分野	履修科目名	選択別	単位数
A	化学関係	化学Ⅰ	選択	2
		生体物質基礎	必修	2
		化学Ⅱ	選択	2
		生物物理化学	選択	2
B	生物化学関係	生化学Ⅰ	必修	2
		生化学Ⅱ	必修	2
		分子生物学Ⅰ	必修	2
		分子生物学Ⅱ	選択	2
		食品材料学	選択	2
		基礎食品化学	選択	2
		食品分析化学	必修	2
C	微生物学関係	応用微生物工学	必修	2
		食品微生物学	必修	2
		食品保全学	必修	2
		食品加工学	必修	2
D	公衆衛生学関係	公衆衛生学	選択	2
		食品安全学	必修	2
		食品衛生管理学	必修	2
		免疫・アレルギー学	選択	2
E	その他関連科目	動物生産学	選択	2
		生物機能物質化学	選択	2
		酵素化学	選択	2
		環境科学	選択	2
		機能性食品開発	必修	2
		食品機能統計学	選択	2
		食品機能学	必修	2
		植物育種学	選択	2
		植物生産環境工学	選択	2
		動物栄養学	必修	2
		細胞生物学Ⅰ	必修	2
		細胞生物学Ⅱ	選択	2
		実験動物学	選択	2
		食品化学実験	必修	3
		食品生物学実験	必修	3
		化学実験	選択	2

食品衛生課程の修了を証明する、修得証明書を得るためには、A～D群の各群から、それぞれ1科目以上を履修し、A～D群の修得単位数を合計して22単位以上にすることが必要です。さらに、E群に属する科目を含めた、A～E群の総取得単位数が40単位以上とすることが必要です。

食品安全工学科におけるＨＡＣＣＰ管理者®資格（日本食品保蔵科学会）の取得について

HACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point）管理者は、食品衛生法で定められた「HACCPに沿った衛生管理の制度化」において、HACCP システムについて相当程度の知識をもつと認められる者に相当します。

下記の所定科目の単位を修得すると、基礎科目認定が得られ、さらに HACCP システム論（３年前期・集中講義）の単位を修得することで、HACCP ワークショップ認定とみなされます。これらの二つの認定を基に、日本食品保蔵科学会に申請することで、HACCP 管理者資格を取得できます。

HACCP 管理者認定資格のための基礎科目認定 履修科目表

資格上の区分	学部科目名	配当年次	単位数	本学での区分	資格要件	
Ａ群 食品関係	食品材料学	１年前期	2	選択	１科目以上	合計 24 単位以上修得
	食品保全学	１年後期	2	必修		
	食品分析化学	２年前期	2	必修		
	食品加工学	２年後期	2	必修		
	食品機能学	２年後期	2	必修		
	食品システム論	２年前期	2	必修		
Ｂ群 衛生・微生物関係	公衆衛生学	１年後期	2	選択	２科目以上	
	食品安全学	２年前期	2	必修		
	食品微生物学	２年前期	2	必修		
	食品衛生管理学	２年後期	2	必修		
	応用微生物工学	２年後期	2	必修		
Ｃ群 生化学・化学関係	生化学Ⅰ	１年前期	2	必修	２科目以上	
	化学Ⅰ	１年前期	2	選択		
	生化学Ⅱ	１年後期	2	必修		
	化学Ⅱ	１年後期	2	選択		
	動物栄養学	１年前期	2	必修		
	食生活と健康（共通教養科目）	１年後期	2	選択		
	分子生物学Ⅰ	１年後期	2	必修		
	分子生物学Ⅱ	３年前期	2	選択		
	免疫・アレルギー学	３年前期	2	選択		
Ｄ群 実験・実習	化学実験	１年前期	2	選択	１科目以上	
	食品化学実験	２年前期	3	必修		
	食品生物学実験	２年後期	3	必修		

臨床工学技士国家試験受験資格の取得について［医用工学科］

本学部医用工学科を卒業するために必要な単位を修得し、それに加えて下表に掲げる科目*の単位を全て修得することにより、臨床工学技士国家試験の受験資格を取得することができる。

分野	教育内容		科目名等		条　件	必要単位数			配当時期
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活 社会の理解	人文科学 社会科学 保健体育 外国語 自然科学	共通教養科目	（人文科学） 芸術鑑賞入門　自己発見の心理学 日本語の技法　言語文化学入門	－	4以上	16以上	46以上	1～3年 前・後期
				（社会科学） 人権と社会1　人権と社会2 暮らしのなかの憲法　国際経済入門 現代社会と法　現代社会と倫理 現代経済の課題　新しい政治学 持続可能な社会論 国際化と異文化コミュニケーション 国際社会と日本　日本近現代史 里山の環境学　思考の技術 キャリアデザイン　社会奉仕実習 科学技術と人間・社会 インターンシップ　データリテラシー入門 キャリアインターンシップ スクールインターンシップ 食生活と健康　近大ゼミ 教養特殊講義A　教養特殊講義B 教養特殊講義C　心理と行動 世界近代史 キャリアのための情報リテラシー 暮らしのなかの起業入門 科学的問題解決法	近大ゼミ は必修	4以上		
				（保健体育） 生涯スポーツ1　生涯スポーツ2 健康とスポーツの科学 心と体の健康	生涯スポーツ1 生涯スポーツ2 は必修	4以上			
			外国語科目	（第一外国語） 総合英語1　総合英語2 理系英語1　理系英語2 オーラルスキル（英語）1 オーラルスキル（英語）2 オーラルスキル（英語）3 オーラルスキル（英語）4 理系英語3（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語4（ｴｯｾﾝｼｬﾙ） 理系英語3（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語4（ｺﾝﾌﾟﾘﾍﾝｼｮﾝ） 理系英語3（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） 理系英語4（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ） TOEIC・A1　TOEIC・A2 TOEIC・B1　TOEIC・B2 英語スキル上級A　英語スキル上級B 発展理系英語1　発展理系英語2 言語演習（英語）1　言語演習（英語）2 海外研修（英語）	理系英語1 理系英語2 は必修 （医学英語の学修のため）	10以上	14以上		
				（その他外国語） ドイツ語総合1　ドイツ語総合2 ドイツ語総合3　ドイツ語総合4 中国語総合1　中国語総合2 中国語総合3　中国語総合4	－				
			学部基礎科目	医療・科学・暮らし　生物と地球環境 科学倫理　情報倫理 情報処理基礎Ⅰ　情報処理基礎Ⅱ 化学実験　物理学実験 基礎食品化学 知的財産権　Webデザイン バイオテクノロジー技術論 地学概論Ⅰ　地学概論Ⅱ 地学実験 代数学概論Ⅰ　代数学概論Ⅱ 幾何学ⅠA　幾何学ⅠB 幾何学ⅡA　幾何学ⅡB	情報処理基礎Ⅰ 情報処理基礎Ⅱ は必修	6以上			
専門基礎分野			学科基礎科目	化学Ⅰ　化学Ⅱ 基礎数学　数学 生物学Ⅰ　生物学Ⅱ 物理学Ⅰ　物理学Ⅱ 微分積分学　線形代数学	微分積分学 線形代数学 は必修	10以上			

*昭和63年3月厚生省告示第99号臨床工学技士法第十四条第四号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する科目

分野	教育内容	科目名等	必要単位数	配当時期
専門基礎分野	人体の構造および機能	解剖学*	2	1年 後期
		生理学*	2	2年 前期
		基礎医学実習*	2	2年 前期
		臨床生理学*	2	3年 前期
	臨床工学に必要な医学的基礎	基礎医学総論（法規・衛生）*	2	1年 前期
		生命倫理*	2	1年 前期
		病理学*	2	2年 後期
		臨床生化学*	2	2年 後期
		臨床免疫学*	2	3年 前期
		臨床薬理学*	2	3年 後期
	臨床工学に必要な理工学的基礎	コンピュータ工学*	2	1年 後期
		電気工学Ⅰ*	2	1年 後期
		機械工学*	2	2年 前期
		電気工学Ⅱ*	2	2年 前期
		電気電子工学実習*	2	2年 前期
		電子工学Ⅰ*	2	2年 後期
		医用材料工学*	2	3年 前期
		電子工学Ⅱ*	2	3年 前期
		生体物性工学*	2	3年 後期
	臨床工学に必要な医療情報技術とシステム工学の基礎	応用数学*	2	1年 後期
		応用数学演習*	1	1年 後期
		信号処理*	2	2年 後期
		プログラミング演習*	1	2年 後期
		制御工学*	2	3年 前期
		システム工学実習*	2	3年 前期
専門分野	医用生体工学	医用工学概論*	2	1年 前期
		バイオセンサー*	2	2年 後期
		放射線工学概論*	2	3年 後期
		バイオマテリアル*	2	3年 後期
	医用機器学及び臨床支援技術	医用機器学概論*	2	1年 後期
		医用治療機器学*	2	2年 後期
		計測工学*	2	2年 前期
		生体計測装置学*	2	2年 後期
		医用治療機器学・生体計測装置学実習*	3	3年 前期
		臨床支援技術学*	2	3年 前期
	生体機能代行技術学	生体機能代行技術学Ⅰ*	4	2年 後期
		生体機能代行技術学Ⅱ*	4	3年 前期
		生体機能代行技術学Ⅲ*	2	3年 後期
		生体機能代行技術学実習*	3	3年 後期
	医療安全管理学	医療機器安全管理学Ⅰ*	2	3年 前期
		医療機器安全管理学Ⅱ*	2	3年 後期
		医療機器安全管理学実習*	2	3年 後期
	関連臨床医学	臨床医学総論Ⅰ*	2	2年 前期
		臨床医学総論Ⅱ*	2	2年 後期
		臨床医学総論Ⅲ*	2	3年 前期
		医療社会学*	2	3年 後期
		チーム医療概論*	2	3年 後期
	臨床実習	臨床実習*	7	4年 前・後期
その他	演習・研究	専門ゼミ	1	2年 後期
		臨床工学特別演習Ⅰ	1	4年 前期
		臨床工学特別演習Ⅱ	1	4年 後期
		卒業研究	4	4年 前・後期

*臨床工学技士法第十四条第四号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する科目

自然再生士補の認定について［生物工学科］

本学部生物工学科を在学中に、下表に掲げる授業科目の単位を修得（認定に必要な条件（コース１からコース３のいずれか１つ）を満たした者）することにより、自然再生士補の認定を受けることができる。

【自然再生士補】分野別科目対応表

	指定分野	科目		配当年次		単位数		認定条件	
						必修	選択	コース１	コース３
実験・実習（演習）分野	①自然環境調査と分析、評価に係る実習、演習	生物工学基礎化学実験	専門・必修	1	後期	3		①～⑥より３科目以上６単位以上	実験・実習分野①～⑥または講義分野①～⑪より６科目12単位以上
	②動・植物同定調査に係る実習・演習（森林動物学実習、森林昆虫学実習を含む）	生物工学基礎生物学実験	専門・必修	2	前期	3			
	③地域環境資源調査に係る実習・演習								
	④自然環境保全活動に係る実習・演習								
	⑤生態学実習・演習								
	⑥プレゼンテーション･コーディネート能力育成に係る実習	近大ゼミ	共通教養・必修	1	前期	2			
		専門ゼミ	専門・必修	2	後期	1			
	特別講義								
講義分野	①自然再生・自然環境概論	生物と地球環境	学部基礎・選択	1	前期		2	①～⑪より２科目以上４単位以上	
	②自然再生・自然環境保全に係る計画（設計）学								
	③自然再生・自然環境保全に係る施行計画・施行学								
	④自然再生・自然環境保全に係る維持管理計画・管理学								
	⑤植物（草本類、木本類、水生植物等）分類・生態・生理学	基礎植物学	専門・選択	1	後期		2		
		植物生理学	専門・必修	2	前期	2			
		資源植物学	専門・選択	1	後期		2		
		植物生産環境工学	専門・選択	2	前期		2		
		植物生産情報工学	専門・選択	2	後期		2		
	⑥動物（哺乳類、は虫類、両生類、昆虫、鳥類、魚類等）分類･生態･生理学								
	⑦環境リスクマネジメント学	環境科学	専門・選択	3	前期		2		
	⑧環境経済学								
	⑨環境社会学								
	⑩域環境学・地域生態論	里山の環境学	共通教養・選択	1	前･後期		2		
	⑪環境関連法規								
						合計		5科目以上 10単位以上	6科目以上 12単位以上

◇認定条件

【コース１】実験・実習分野①～⑥より３科目以上６単位以上の履修・修得

講義分野①～⑪より２科目以上、４単位以上の履修・修得

実験・実習、講義分野より５科目以上10単位以上の履修・修得があること。

【コース３】実験・実習分野①～⑥又は講義分野①～⑪より６科目12単位以上の履修・修得

実験・実習、講義分野に関係なく６科目以上12単位以上の履修・修得があること。

二級･木造建築士（国家資格）試験受験資格の取得について［人間環境デザイン工学科］

表「二級・木造建築士試験受験資格の指定科目」に掲げる指定科目の単位を修得して卒業することで二級・木造建築士試験の受験資格を取得することができる。ただし免許の取得には、二級・木造建築士試験の合格と、指定科目の修得単位数に応じた表「分類番号毎の必要修得単位数と必要実務経験年数」に示す年数の実務経験が必要となる。

二級・木造建築士試験受験資格の指定科目

配当年次	分類番号	指定科目	必修・選択	単位数
1	①	設計製図	必修	2
	②	建築計画Ⅰ	選択	2
	③	住環境科学概論	選択	2
	⑤	暮らしの力学	必修	4
	⑩	ユニバーサルデザイン概論	選択	2
2	①	設計製図演習基礎	必修	2
	②	建築史	選択	2
	②	建築計画Ⅱ	選択	2
	④	熱・設備工学	選択	2
	⑤	材料力学Ⅰ	選択	2
	⑤	材料力学Ⅱ	選択	2
	⑩	人間工学	選択	2
	⑩	カラーコーディネーションの心理学	選択	2
	⑩	ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅱ	必修	2
	⑩	人間環境デザイン工学実験Ⅰ	必修	2
3	①	ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅲ	必修	2
	①	設計製図演習応用	選択	2
	②	建築計画Ⅲ	選択	2
	③	温熱・空気環境学	選択	2
	③	建築と照明	選択	2
	③	振動と音響の科学	選択	2
	⑥	建築構造Ⅰ	選択	2
	⑥	建築構造Ⅱ	選択	2
	⑦	材料機能学	選択	2
	⑧	建築施工	選択	2
	⑨	建築法規	選択	2
	⑩	ユニバーサルデザイン	選択	2
	⑩	人間環境デザイン工学実験Ⅱ	必修	2
4	⑩	住宅環境性能論	選択	2
	⑩	建築設計スタジオ	選択	1

分類番号毎の必要修得単位数と必要実務経験年数

分類番号	①	3 単位		
	②～④の合計	2 単位		
	⑤～⑦の合計	3 単位		
	⑧	1 単位		
	⑨	1 単位		
	①～⑩の合計	40 単位	30 単位	20 単位
必要となる実務経験年数		0 年	1 年	2 年

教育職員免許状の取得について［全学科］

教職課程を履修し、教育職員免許状を取得しようとする学生は、下記事項のほか、詳しくは別冊『教職課程履修要項』をよく読んでください。

○履修のための手続き

⑴ 教職課程の諸科目の履修は第１年次から始まります。

⑵ 履修希望学生は年度始め（４月上旬）に行われる「教職課程ガイダンス」に必ず出席し、予備登録を行ってください。以上の手続を済ませた学生に限り、教職課程各科目の履修登録を行うことができます。

⑶「教職課程ガイダンス」に出席しなかった学生は、原則として履修登録を認めません。
当日やむを得ず欠席しなければならない場合は、必ず事前に連絡してください。無断欠席の場合、履修登録はできません。

⑷ やむを得ない事情により第１年次からの履修ができなかった学生は、第２年次からの履修が認められます。上記⑵の毎年度始めに行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、所定の手続きをとってください。

⑸ 教職課程に関する連絡は、すべてUNIPAで行います。常にログインして情報を確認してください。

○小学校教諭免許取得プログラム

本学部の卒業要件と中学校・高等学校免許状の取得要件を満たし、当プログラム（提携大学の通信教育課程）に必要な単位を取得すると、小学校教諭免許状（一種もしくは二種）を取得する事ができます。詳細はUNIPAで案内し、ガイダンスを行います。

生物理工学部で取得できる免許状の種類と教科

学科	免許状の種類	免許教科
生物工学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
遺伝子工学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
食品安全工学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	理科
生命情報工学科	中学校教諭一種免許状	数学
	高等学校教諭一種免許状	数学・情報
人間環境デザイン工学科	中学校教諭一種免許状 高等学校教諭一種免許状	数学
医用工学科	高等学校教諭一種免許状	理科
全学科（医用工学科を除く）	小学校教諭一種免許状 小学校教諭二種免許状	

※本学部で取得した一種免許状を基礎免許状とした上で、大学院修士課程を修了するまでに所定の単位を取得すると専修免許状を取得することができます。

大学院への進学について

本学を卒業し、さらに進学を希望する者には近畿大学並びに他大学の大学院への道が開かれています。大学院には修士課程及び博士課程があり、修士課程は専門分野における研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な能力を養うことを目的とし、修業年限は2年です。博士課程は、高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とし、修業年限は5年です。博士前期課程は2年、博士後期課程は3年です。本学部を基礎とする生物理工学研究科には、生物工学専攻、生体システム工学専攻の博士前期課程および博士後期課程が設置されています。

研究科	専攻	修士課程		博士前期課程		博士後期課程	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
実学社会起業イノベーション学位プログラム		30	60				
法学研究科	法律学専攻			8	16	5	15
商学研究科	商学専攻			11	22	5	15
経済学研究科	経済学専攻			5	10	5	15
総合理工学研究科	理学専攻			30	60	2	6
	物質系工学専攻			40	80	2	6
	メカニックス系工学専攻			25	50	2	6
	エレクトロニクス系工学専攻			30	60	2	6
	環境系工学専攻			15	30	2	6
	建築デザイン専攻	10	20				
	東大阪モノづくり専攻			10	20	2	6
薬学研究科	薬科学専攻			15	30	2	6
総合文化研究科	日本文学専攻	4	8				
	英語英米文学専攻	3	6				
	文化・社会学専攻	8	16				
	心理学専攻	6	12				
農学研究科	農業生産科学専攻			10	20	2	6
	水産学専攻			10	20	4	12
	応用生命化学専攻			14	28	5	15
	環境管理学専攻			10	20	2	6
	バイオサイエンス専攻			12	24	4	12
生物理工学研究科	生物工学専攻			16	32	3	9
	生体システム工学専攻			18	36	2	6
システム工学研究科	システム工学専攻			41	82	5	15
産業理工学研究科	産業理工学専攻			30	60	3	9

研究科	専攻	博士課程	
		入学定員	収容定員
医学研究科	医学系専攻	45	180
薬学研究科	薬学専攻	3	12

※医学研究科および薬学研究科薬学専攻の標準修業年限は4年

近畿大学の大学院に進学を希望する場合、在学中の成績優秀者には学内推薦の制度があります。

学籍の取扱い

75ページの前

学　生　証

学生証は本学の学生であることを証明するものです。大学の教職員から求められたときや次の場合には必ず提示しなければならないため、通学時や学内では常に携帯してください。

・試験を受けるとき
・授業に出席するとき
・健康診断やガイダンス等、大学の行事に出席するとき
・各種証明書の発行を願い出るとき
・図書館や保健管理室、その他学内施設を利用するとき
・通学定期や学生割引乗車券（学割）を購入するとき

学生証見本

《注意事項》
・学生証は絶対に他人へ貸与や譲渡しないでください。
・学生証を毀損、紛失した場合は、速やかに教務学生担当窓口に申し出て再発行の手続きをしてください。
再発行には手数料として 1,500 円が必要です。なお、学生証の再交付は申請から約一週間後となります。
・学生証は磁気処理がされているため、スマートフォン等の磁気を帯びたものには近づけないでください。
・卒業や退学、除籍などにより離籍した場合は学生証を返却してください。

学　籍　番　号

本学学生に与えられる個人の番号で卒業後も変わりません。定期試験や大学での各種申請では必ず記入する必要があります。

〔学籍番号のしくみ〕

25	－	1	－	831	－	0000
入学年度（西暦下２桁）		所属（学部：１）		学科※		個人番号

※学科コード

831 生物工学科	832 食品安全工学科
834 遺伝子工学科	836 医用工学科
837 生命情報工学科	838 人間環境デザイン工学科

通 学 証 明 書

電鉄・バス等の公共交通機関の学割定期券を購入するためには、交通機関の定期券販売窓口にて、**学生証とともに、『通学証明書』**の提示が必要です。
通学証明書は証明書発行サービスから、無料で発行申請ができます。
（証明書発行サービスページ参照）

＝交付手続＝

新規発行の場合

UNIPA の通学証明書発行申請書（新規）から申請してください。

通学区間の決定

通学証明書を発行できる通学区間

学生本人の現住所の最寄り駅と大学の最寄り駅を、公共交通機関により**最短経路**の区間に限り、通学証明書を交付します。

※住所変更等の特別な理由がない限り、一度申請した通学経路は卒業まで変更できません。

（現住所の最寄り駅）

原則として現住所から最も近い駅、**1駅**が最寄り駅となります。

ただし、徒歩圏内に他線の駅がある場合には、手続時に相談してください。

※アルバイト・就職活動など、通学以外の目的に対して通学証明書は発行できません。

発行方法

証明書自動発行機もしくはコンビニエンスストアから発行することができます。

学 費 納 入

学費は毎年前期と後期の２回に分け、それぞれ所定の期日に納入するよう近畿大学学生規程第４章に定められています。納入については、次のようになっています。

１．納入期日

学費の納入期日は、**前期は５月 14 日、後期は 10 月 14 日**　です。

※納入期日が土曜日・日曜日・祝日の場合は、その翌日となります。

納入期日に遅れると学費延滞手続き（UNIPA にて学費納付願書申請入力と延滞料の支払い）が必要となります。

２．納入方法

UNIPA にログインし、「学費振込用 Web サイト」を利用して、以下のいずれかの方法でお振込ください。

※UNIPA についてはP．81 も参照ください。

① Pay-easy（ペイジー）振込サイトへ接続してお振込

・ペイジーを利用してネットバンキングで振込（事前に使用する口座のネットバンキング手続きが必要）

・ペイジーを利用して ATM（現金自動預払機）からお振込

※ペイジーをご利用の場合、所定の手数料が別途かかります。

※一部金融機関、ATM ではペイジーに対応していない場合がございます。あらかじめご了承ください。

② 学費納付書（振込用紙）をダウンロード後に印刷（サイズ A4）し、金融機関の窓口や ATM からお振込

※ATM による預金口座を通じてのお振込み（同行キャッシュカードの利用のみ）の際は、振込先口座と金額の他に整理番号（学籍番号と同じ）、学生氏名の順に入力が必要です。

※三井住友銀行、三菱 UFJ 銀行、りそな銀行（埼玉りそな銀行を含む）は、これらの入力が容易にできます。上記３行以外の ATM による振込は、文字数の制限等により必要な情報がすべて入力できない場合もありますので推奨しかねます。

※新入生の前期分授業料等は、入学手続き時に納入済みです。後期分から納入してください。

《学費納入のしくみ》

「学費振込用 Web サイト」利用時期

前期分　４月初旬ごろ　／　後期分　９月初旬ごろ

※通知は全て UNIPA でご案内いたしますので、必ずご確認ください。

学費納入の詳細について

UNIPA（PC版）

UNIPA（スマホ版）

3．学費の延納・分納

やむを得ない理由で学費を納入期日内に納入することが困難な場合は、延納または分納の制度があります。

UNIPA から学費延納・分納願を申請してください。

なお、毎年度の手続き期間は、前期学費分は4月中旬・後期学費分は9月下旬です。（日程はUNIPA への掲示でお知らせします）

延納・分納を申請した場合の納入期日

		前　期　分	後　期　分
延　納　期　日		6月30日	12月20日
分納期日（3回）	1回目	5月20日	10月31日
	2回目	6月10日	11月30日
	3回目	6月30日	12月20日

納入期日が土曜日・日曜日・祝日の場合はその翌日となります。

《注意事項》

※　期日内に学費未納の場合は、除籍となります。

※　個々に学費未納の督促は行いません。学費納入については、学費負担者（保証人）との連絡を密にしてください。

学籍異動について

1．在籍期間

本学部に在籍できる期間は、最長８年間（休学期間を除く）です。

2．休学・復学

休　学

病気、その他やむを得ない理由で３カ月以上就学できないときは、アドバイザリー担当教員に相談のうえ、**休学**を願い出ることができます。

なお、許可される休学期間は当該学期末、または当該年度末までとなっています。したがって、引き続き次年度も休学する場合はあらためて手続きする必要があります。

休学できる期間は、連続して２年以内、通算して修業年限以内です。

また休学期間は在学年数に算入しません。

復　学

休学していた者が翌学年度に復学を希望するときは、休学期間中の３月１日から３月７日までの間に手続きをしなければなりません。

また復学後の年次は原則として原年次とします。

3．退学・再入学

退　学

病気、その他やむを得ない理由により就学することができなくなったときは、アドバイザリー担当教員に相談のうえ、諸手続を経て**退学**することができます。

再入学

退学したものが**再入学**を希望するときは、審査のうえ、再入学を認めることがあります。その場合の手続書類の提出期間は、退学となった年度、翌年度および翌々年度の３月１日から３月７日までとします。

許可された者は、学費と再入学金を納入しなければなりません。

また再入学後の年次は原則として原年次とします。

4．除籍・復籍

除　籍

学費を所定の期日（除籍日の前日）までに納入しなかったときは、学則第 32 条の２に基づいて、学費未納による除籍となります。除籍日は次のとおりです。

前期　7 月 31 日　　**後期**　1 月 31 日

復　籍

除籍者が**復籍**を希望するときには「復籍願」を提出し、許可を受けなければなりません。

また許可された人は滞納していた学費と復籍料を納入しなければなりません。

ただし、除籍された場合は、復籍できる期間を年度内とします。

5．転学部・転学科

１年以上在学した人で学部内の転学科を希望する人は、アドバイザリー担当教員に相談して、所定用紙にて出願することで在学中の成績ならびに選考試験により、許可されることがあります。

転学部については各学部によって条件が違いますので、試験要項で確認してください。

6．各種変更届

現住所（下宿等）、保証人の住所（帰省先）、電話番号、姓名など身上に異動があった場合には、UNIPA にて速やかに和歌山キャンパス学生センター教務・学生窓口に届出を行わなければなりません。届出が遅れたり、怠ったりした場合には、思わぬ不利益を招くことになりますので注意してください。

学　生　生　活

81ページの前

大学からのお知らせについて

大学から学生への通知は、全て学生ポータルシステム「UNIVERSAL PASSPORT」（UNIPA）によって行われます。

（休講・補講、学内行事・授業や学生生活に関する連絡・呼び出し、就職情報室・図書館からの連絡・学費関連等）

UNIPA を見なかったために、知らなかったというのはあなた自身の責任です。

登校前はもちろん、必ずこまめに **UNIPA にログインして情報確認**を行うよう心掛けてください。情報確認を怠ると思わぬ不利益を招くことがありますので、くれぐれも注意してください。

但し、大学が特に必要と認めた場合は、メールによる情報発信を行います。

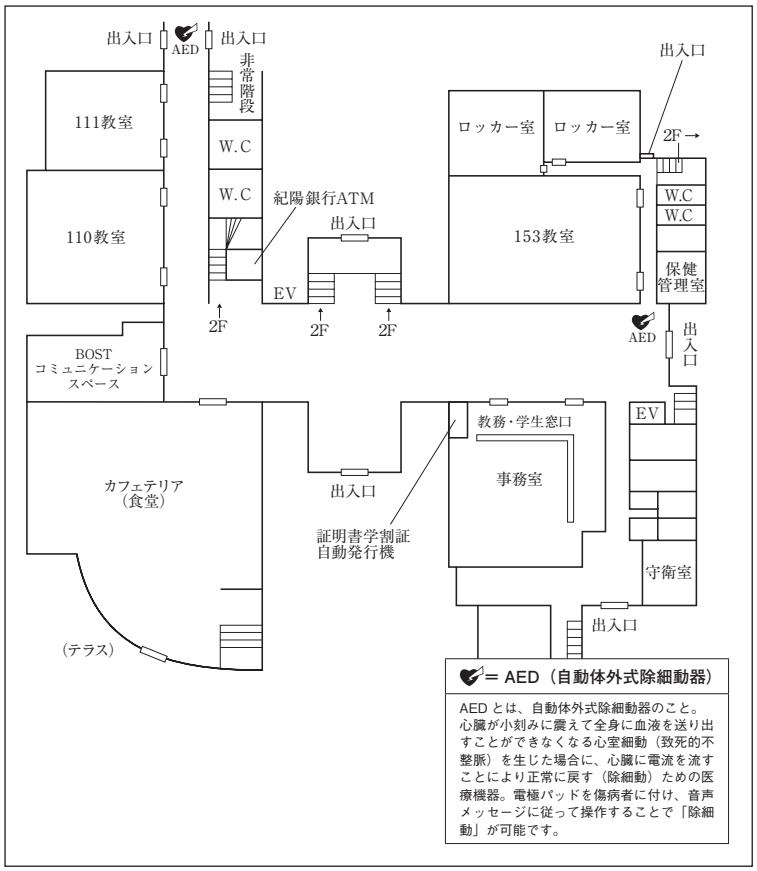
メールは、大学が発行するメールアドレスに配信します。

【UNIVERSAL PASSPORT】

https://kudos.kindai.ac.jp/cms/html/cs_login_std_w.html

また、その他の情報（ポスター掲示や大学からの広報情報等）が **3 号館 2・3 階の教室前掲示板やデジタルサイネージ**でお知らせします。

《生物理工学部２・３号館１階 MAP》



自然災害等発生時における授業の取扱いについて

〔気象警報の場合〕

1．気象警報による休講は、「特別警報」「暴風警報」のいずれかが和歌山県北部区域紀北地域の紀の川市・岩出市に発表されたときとする。「大雨警報」もしくは「洪水警報」が発表されたときは、状況に応じて休講とする。なお、特別警報が発表された場合は、終日休講とする。
2．地震等の災害を含め特別な事態が生じた場合、授業を短縮又は休講とすることがある。
3．特定の地域に避難指示が発表された地域に居住している場合、もしくは自然災害等により通学することが困難な場合は学生センターに申し出てください。

○　警報発令・解除時刻と授業開始時刻

午前６時までに	解　除	→ 平常どおり授業
午前６時現在	発令中	→ ２時限目まで休講
午前10時までに	解　除	→ ３時限目から授業

午前 10 時をすぎても解除されないときは終日休講とします。

〔特定の地域に避難勧告（緊急）が発表された場合〕

避難勧告（緊急）が発表された地域に居住している場合、もしくは自然災害等により通学することが困難な場合は、速やかに学生センターに申し出てください。

〔交通機関の運行停止の場合〕

◎　交通機関の運行停止による休講措置は次のいずれかに当てはまる場合です。

1．南海本線及びＪＲ阪和線が同時に運行停止となったとき
2．大阪環状線及び Osaka Metro（大阪市高速電気軌道）が同時に運行停止となったとき
3．和歌山バス那賀の紀伊～近畿大学間及び樽井～近畿大学間を運行する路線バスが同時に運行停止となったとき

※　運行停止の理由が地震等の災害もしくは交通機関のストライキの場合のみに限る。

午前６時までに	運 行 再 開	→ 平常どおり授業
午前６時現在	運行停止中	→ ２時限目まで休講
午前10時までに	運 行 再 開	→ ３時限目から授業

午前 10 時をすぎても運行再開されないときは終日休講とします。

上記以外に、特別な状況に応じて、授業を短縮又は休講とすることがあります。
交通機関の遅延により授業への出席が遅れる場合は、各交通機関が発行する遅延証明書を必ず取得するようにしてください。

窓　口　事　務

事務室の取扱執務時間は、原則として次のとおりです。

執務時間　（平日）　午前９時～午後５時

（土曜）　午前９時～午後１時

ただし日曜日、国民の祝日、創立記念日（11 月５日）および大学で定める休業日は除きます。

長期休暇期間中の執務時間についてはその都度掲示します。

◎各種届（願）書一覧表

※証明書発行サービスについて（https://www.kindai.ac.jp/campus-life/certificate/convenience/）

近畿大学証明書発行サービスは、各種証明書・申込書を24時間いつでも、オンライン申請できるサービスです。証明書の発行方法は、コンビニエンスストアのマルチプリンタや学内発行機での発行、郵送での発行、電子証明書のオンライン送付を選択することが可能です。

設置場所　証明書学割証自動発行機

２号館１階事務室内（使用時間は、上記の執務時間に準じる。）

１号館１階学科共通事務室前（使用時間は、上記の執務時間に準じる。）

事　　項	受　付	摘　　要
各種証明書の交付	コンビニ発行 学内印刷 郵送発行 窓口発行 オンライン送付	在学証明書 成績証明書 卒業（修了）見込証明書 健康診断証明書 → １通につき２００円 英文各種証明書（※郵送か窓口発行のみ） など　３００円
学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）の交付	学内印刷	各年度 10 枚　無　料
学生証の再発行	教務・学生窓口	紛失した場合など、UNIPAから申請してください。 手数料　１，５００円
仮学生証発行		定期試験で学生証を忘れた場合 当日のみ有効 ５００円／日
通学証明書の交付	自動発行機 コンビニ	学内自動発行機またはコンビニから発行できます。

事　　項	受　付	摘　　要
学費の分納をしたい	教務・学生窓口	「分納願」を UNIPAで申請してください。納期については、前期分が５・６・６月の３回　後期分が10・11・12月の３回となります。（手続き期間は、掲示します。）
学費の延納をしたい		「延納願」を UNIPA で申請してください。納期については、前期分が６月、後期分が12月となります。 （手続き期間は、UNIPA でお知らせします。）
住所を変更した		住所変更・連絡先の変更時には UNIPA 個人情報から「住所等変更申請」を申請してください。
保証人の変更		「保証人・学費負担者変更届」を UNIPA から申請してください。
改姓（名）した		「転籍・改姓届」を UNIPA から申請してください。住民票等の証明書類を添付してください。
欠席する		原則として、やむを得ない理由で１週間以上３カ月以内欠席する場合は、UNIPA から「欠席届」を申請してください。病欠の場合は、診断書、忌引の場合（３親等以内に限る）は、確認できる書類を添付してください。 ただし、欠席届は欠席した理由を証明するもので、出席扱いや公欠になるものではありません。
休学したい		病気その他の事由で３カ月以上休学するときは、保証人連署で記入捺印のうえ、「休学願」を提出してください。病気の場合は、診断書が必要です。 「休学願」を提出する前にまずアドバイザリーあるいは研究室の担当教員に相談してください。
復学する		休学者に対して８月・２月中旬に「復学願」を送付しますので提出してください。
退学したい		「退学届」を提出する前にまずアドバイザリーあるいは研究室の担当教員に相談してください。

その他

◎　**電話による呼び出し・照会は一切行いません**

保護者、友人等から電話による学生の呼び出しを依頼される場合がありますが、本学では電話口への取次や放送連絡は一切行いません。あらかじめご了承ください。

また、学生の身上、住所、成績等の照会問い合わせにも一切応じません。

◎　通学証明書について

UNIPA から手続きをしたのち、定期券を購入してください。
交通機関によっては所定の用紙が必要な場合がありますので、教務・学生窓口にて相談してください。

《注意事項》

① 通学定期券は現住所の最寄駅と学校の最寄駅との間を距離・時間・列車本数を勘案した合理的かつ効率的な経路に限り購入することができます。
迂回経路や通学目的以外の使用は不正使用とみなされます。

② 住所変更等で区間変更がある場合は UNIPA から申請してください。

③ 通学の際、駅及び停留所では他の利用客の迷惑にならないよう、マナーをわきまえてください。

◎　学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）について

学校学生生徒旅客運賃割引証（学割証）はＪＲの片道 100km 以上の区間に乗車するときに利用できます。１人年間※10 枚、１日２枚まで発行できます。
発行後、次回発行まで３日間発行できません。
有効期限は３カ月、割引率は普通運賃の２割です。
※４月１日～３月 31 日

《注意事項》

① 学割証は本人以外は使用できません。

② 使用時には学生証を携帯してください。

③ 不正使用した場合は使用者は３倍の運賃が追徴され、大学は学割制度の特典を失うことになりますので注意してください。

◎　自動車・単車通学許可願について

近畿大学学園では、学生の自動車・単車通学は、原則として禁止されています。生物理工学部では学部の立地条件を考慮して、自動車・単車通学を許可制とし、交通安全・交通迷惑防止内規を設け、交通安全指導にあたっています。

交通安全・交通迷惑防止内規

1．この内規は、自動車・単車通学に伴う本学部構内および周辺地域での交通安全・迷惑防止を行うことを目的とする。

2．この内規は、本学学生に適用する。

3．本学部構内での自動車・単車通行に関わる標識および公示は必ず遵守しなければならない。
標識・公示がない事項といえども、運転免許取得者が当然遵守すべき交通安全に関わる法規は遵守しなければならない。

4．本学部周辺地域での迷惑駐車・迷惑走行（住民の歩行や歩行に支障を感じさせる走行・騒音）をしてはならない。

5．入構許可証を携帯せず入構した者は、大学にて指導する。

6．他人の入構許可証を使用した者、許可者以外が運転した場合は大学にて指導する。また、それを貸与した者の許可を取り消す。

7．この内規に違反した者は、大学にて指導する。また、悪質な違反（交通犯罪）をおかした者は学生委員会、賞罰委員会にて審議し、教授会の議を経て処分する。

8．本学部構内の学生自動車等入構許可条件は次（次ページ）の通りとする。

附則この内規は平成５年４月１日より発効する。

《自動車の通学・学内入構許可条件》

1．過去１年以内に免停処分を受けていないこと。
2．任意保険（対人賠償額が無制限および対物賠償有）に加入していること。
3．学内交通安全講習会（年２回）を受講していること。
4．車庫法に基づき自動車保管場所を確保していること。
5．整備不良車（改造車・騒音車）でないこと。
6．保護者または本人名義であること。

《単車の通学・学内入構許可条件》

1．任意保険（対人賠償額が無制限および対物賠償有）に加入していること。
2．学内交通安全講習会（年２回）を受講していること。
3．整備不良車（改造車・騒音車）でないこと。
4．保護者または本人名義であること。

前記の条件を満たし、本学部指定の自動車・単車通学許可願を UNIPA で提出した後審議され、許可された人のみ許可証を発行します。

〈注意事項〉

・構内制限速度は 20 キロです。
・構内道路はいかなる場合も歩行者優先となっています。
・構内道路は全面駐停車禁止となっています。
・入構の際は許可証を必ず表を向けてダッシュボードの見やすいところに提示し、大学が指定した学生駐車場の車両区画ライン内に駐車すること。
それ以外の場所への駐車は全て違反車両とみなします。また、駐車中は許可証を車外から見やすい位置に提示しなければなりません。
違反車両・迷惑駐車車両については車輪止め、または強制移動することがあります。
・通学途中、および学内での事故・盗難等については大学は一切の責任を負いません。
・利用しなくなった車両の入構許可証は必ず学生センターへ返却してください。
・単車・原付の構内での２人乗は禁止です。
・横断歩道では一時停止すること。
・構外道路においても、近隣住民や他の車輌に十分注意し、交通ルール・マナーを守ってください。

◇　交通安全・交通迷惑防止内規に違反した人は審議の上、

・警告　・反省文、始末書提出　・入構許可取消　・停学　・退学

等の処分をおこないます。

「交通安全・交通迷惑防止違反処分基準」は次のとおりです。

交通安全・交通迷惑防止違反処分基準

	違　反　事　項	処　分　基　準			
		1回目	2回目	3回目	4回目
学部構内	入構許可証不携帯（シール未貼付・車内不提示）	警告	始末書	入構許可取消	
	進入禁止区域への入車	警告	始末書	入構許可取消	
	速度違反	警告	始末書	入構許可取消	
	指定駐車場外の駐車	警告	始末書	入構許可取消	
	その他の走行・騒音違反等	警告	始末書	入構許可取消	
	その他の道路交通法違反	警告	始末書	入構許可取消	
	物損事故（第1当事者）	てんまつ書	始末書	入構許可取消	
	人身事故（第1当事者）	始末書	入構許可取消		
	人身事故（第2当事者で責任21%以上）	てんまつ書	始末書	入構許可取消	
学外	飲酒運転・ひき逃げ事故・その他死亡事故等の交通犯罪	教授会の審議により停学又は退学			
	迷惑走行	始末書	入構許可取消		
	騒音走行	始末書	入構許可取消		
	迷惑駐車	始末書	入構許可取消		
	人身事故（第1当事者）	始末書	入構許可取消		
	人身事故（第2当事者責任21%以上）	てんまつ書	始末書	入構許可取消	
	その他の道路交通違反	てんまつ書	始末書	入構許可取消	

＊学外の違反事項・事故については、入構許可を受けていない学生にもこの処分基準に準じて適用する。

＊停学・退学については教授会の審議を経て処分する。

在学特待生制度

在学生成績優秀者対象

４年次を除く各在学年次において、次の１，２の条件を両方満たし各学科・各学年５位以内の成績優秀者には、次年度（次年次）の授業料を全額免除します。（令和７年４月現在の情報です。変更となる場合があります。）

１．修得科目の平均点が 85 点以上
２．TOEIC®L+R のスコアが 550 点以上
※２. については、申請をする年度を除いてその前年度・前々年度に取得したものを有効とします。

※オンラインテストは対象外

このように生物理工学部は、「学びたい！」という強い意志を持ちながら経済的な理由によって修学が困難な学生をバックアップする特待生制度や奨学金制度を設置しています。

奨学金・教育ローン

奨学金についての詳細な情報は、ホームページをご参照ください。
生物理工学部トップ　＞　学生生活　＞　学生支援　＞　学費・奨学金・特待生制度

奨学金の募集・申込要項・スケジュール等は、TOPICS 奨学金からご確認ください。
随時更新しています。

勉学意欲が旺盛で、経済的な理由で修学が困難な学生に対して、学費の一部を給付・貸与し学業を継続させることを目的とした各種の奨学制度があります。

○近畿大学奨学金
○日本学生支援機構奨学金
○地方公共団体・民間育英団体各種奨学金

1．近畿大学奨学金

○世耕弘一奨学金（給付）6 月募集・9 月末 30 万円一括振込
○近畿大学奨学金（貸与・無利子）4 月募集・7 月末 60 万円一括振込

2．日本学生支援機構奨学金

○給付奨学金（高等教育の修学支援制度）4 月・9 月募集　家計基準に応じた月額を毎月振込
○貸与奨学金　4 月・9 月募集　家計基準に応じた金額の範囲で希望する月額を毎月振込

3．地方公共団体・民間育英団体各種奨学金

○大学推薦（事前登録が必要）2 月下旬～ 3 月初旬登録受付　登録者から推薦
○一般公募（団体ごとに募集）募集有り次第
○返還支援制度

4．教育ローン

○提携ローン「オリコ学費サポートプラン」随時　学費等をオリコから大学へ直接振込
○日本政策金融公庫「国の教育ローン」随時　学生一人につき 350 万円までの融資

5．緊急時の制度

○世耕弘一奨学金（家計急変給付）随時　半期分の学費を大学に直接収納
○近畿大学特別応急奨学金・災害特別奨学金　随時　60 万円以内で一括振込
○日本学生支援機構（緊急・応急・家計急変採用）

就　職

～常に目標をもって充実した学生生活を送ろう！～

生物理工学部を卒業した多くの先輩は、現在、社会の第一線で活躍中です。これには、生物理工学部がこれからの社会で求められている人材の育成を行っていること、そして総合大学としてのスケールメリットと５万３千件を超える豊富な企業情報を最大限に活用することにより、円滑な就職活動を展開できることなどが、大いに関係しています。

大学に入学してすぐに、就職について考えている方は少ないかもしれません。しかし、就職に向けてのウォーミングアップはすでに始まっており、１年から参加できるオープン・カンパニー（タイプ１）やキャリア教育（タイプ２）に積極的に参加してください。３年生の夏には、タイプ３のインターンシップを体験し、本格的な就職活動に備えましょう。

就職活動開始までの約３年の間に、社会人として活躍するために必要なものを身に付けてください。大学では自由な時間が多く、学生は限りない可能性を秘めています。時間を有効に利用して、何か一つは「これに打ち込んだ」と言えるよう（就職活動では「ガクチカ」と言います）積極的にいろいろなことにチャレンジし、これからの学生生活を充実させてください。

◆以下の４タイプの多種多様なプログラムの実施を通じて、学生のキャリア形成を産学協働で支援。いずれも学生の参加は任意
◆タイプ３ならびにタイプ４が「インターンシップ」に該当する活動

		タイプ１：オープン・カンパニー　※オープン・キャンパスの企業・業界・仕事版を想定
対象		学部生・大学院生向け（学年を問わず）
主たる目的	学生	企業・業界・仕事を具体的に知る
	大学企業	企業・業界・仕事への理解促進

		タイプ２：キャリア教育（プレ・インターンシップを含む）	タイプ３：汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ４（試行）：高度専門型インターンシップ ※試行結果を踏まえ、今後判断
対象		学部生（主に低学年）向け	学部生（主に高学年）・大学院生向け	大学院生向け
主たる目的	学生	自らのキャリア（職業観・就業観）を考える	その仕事に就く能力が自らに備わっているか見極める	自らの専門性を実践で活かし、向上させる（実践研究力の向上等）
	大学企業	能力開発／キャリア教育	マッチング精度向上／採用選考を視野に入れた評価材料の取得	今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据えた産学連携の大学院教育

採用選考活動（一部抜粋）

説明会	● 募集要項の配付や採用選考プロセスの説明等を伴うもの
実務従事体験	● 書類選考、筆記試験、面接等と同様に、採用選考段階で実施するもの（採用直結型） ● 採用選考活動とインターンシップの両方を実施する余力のない企業・ベンチャー等が実施するもの

今後の検討課題

- タイプ別の課題の特定・改善策の検討
- タイプごとの違い（境界線）の整理
- キャリア形成支援活動と採用選考活動の違いの整理

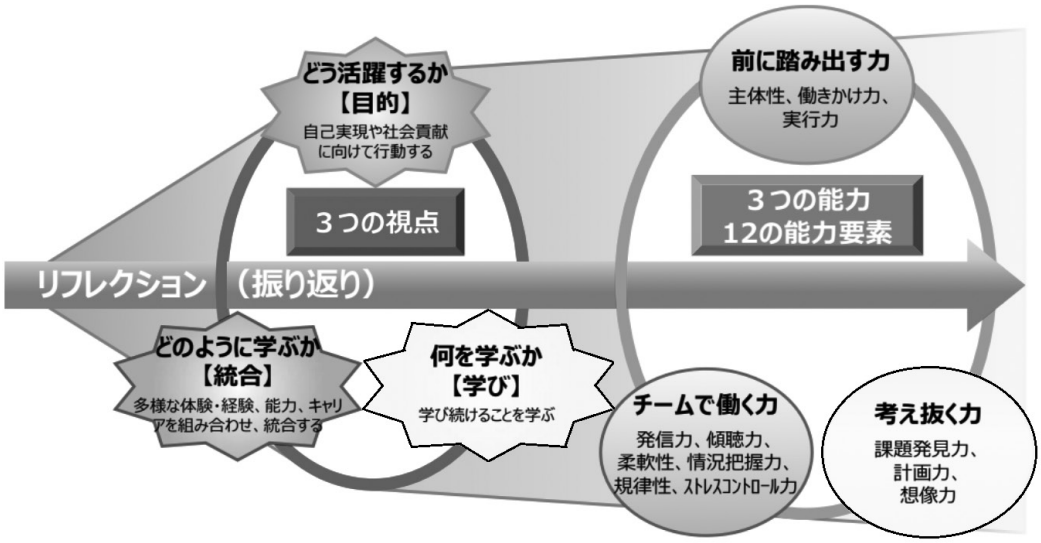
産学協議会２０２０年度報告書より抜粋

○ 「社会人基礎力」を身につけよう！

人は職場や地域社会で自分の能力を発揮し、豊かな人生を送りたいという意欲を持っています。職場や地域社会で活躍するために必要な能力は「社会人基礎力」と言われ、あと数年で社会人となる皆さんには必要不可欠な能力と言えます。

大学では、さまざまな経験と教育を受けることができ、「社会人基礎力」を養う環境が整っています。実社会で通用する力を身に付けるよう目的を持って学生生活を送ってください。

「人生 100 年時代の社会人基礎力」とは



（経済産業省ホームページから）

○ 「挨拶」を心がけ、「身だしなみ」を整えよう！

皆さんの同年代にはすでに社会人として活躍している人もおり、大学生でも年齢的に大人として見なされます。社会では、「挨拶」ができ「身だしなみ」を整えることが基本的なマナーであり、これができなければ一人前の大人として認められません。

就職活動においても重要なポイントで、実際に企業の面接などではチェック項目の一つとしてあげられます。一見、簡単なことにも思えますが、急にできることではありませんので、日頃から注意することが必要です。

皆さん、今一度、「挨拶」ができているか、「身だしなみ」は整っているか、自分自身を見つめ直してください。

○　クラブ活動・社会活動等に参加しよう！

生物理工学部では大学公認の体育系・文化系のほかに、任意団体のサークルも数多くあります。充実した学生生活を送るためにも、クラブやサークルに所属することをお勧めします。

また、ボランティアなどの社会活動にも積極的に参加し、社会に役立つことをすることで自分に自信を持つことができます。

就職の面接で必ず質問される「大学生活で一番力を入れたことは？」（「ガクチカ」）という問いに胸を張って答えられるよう、明確な目的のもと、試行錯誤や工夫を繰り返し満足できる成果をあげるべく、さまざまな活動に参加することをお勧めします。

学友会、きのくに祭実行委員会、学生健保共済会、赤十字奉仕団
体育系：テニス部、バスケットボール部、フライングディスク部、サッカー部、
軟式野球部、バドミントン部、ハンドボール部、フットサル部、空手部、
ソフトボール部、陸上競技部、スキューバダイビング部
文化系：コンピュータ部、軽音楽部、ロボット部、ＩＰＥＧ（生物環境部）、吹奏楽部、アカペラ部

ボランティアに関する情報は下記のホームページ等で確認してください。
和歌山県社会福祉協議会　　https://www.wakayamakenshakyo.or.jp/
大阪府社会福祉協議会　　http://www.osakafusyakyo.or.jp/
岩出市社会福祉協議会　　http://www.iwadeshi-shakyo.or.jp/
紀の川市社会福祉協議会　　https://kinokawashishakyo.jp/
その他都道府県や市町村の社会福祉協議会を参照してください。

○　誰とでも話ができるようになろう！

高校を卒業し大学に入学すると、周りのほとんどは初対面の人ばかりになります。友達をたくさんつくるためにも、自ら周りの人に話しかけるよう心がけましょう。

誰とでも話ができ協調性や社交性をもつことは、就職活動においても非常に有利となり、社会に出てからも仕事を進めるうえで必要不可欠な能力です。また、大学の教職員をはじめとする幅広い年代の人と接することで、敬語の使い方やマナーを学ぶことができます。コミュニケーション能力を身に付けて、幅広い視野を持つようにしてください。

○　新聞を読もう！本を読もう！

社会の動きを常に把握し、さまざまな情報を敏感にキャッチしてください。新聞を毎日読み、経済誌などにも目を通すことで、ネットニュースでは得られない経済や景気動向、国際情勢などを背景から幅広く把握することができます。

図書館では各種新聞をはじめ、経済誌、企業情報、新聞・雑誌のデータベースなどを閲覧することができます。情報の宝庫である図書館を積極的に利用してください。

また、就職情報室にも各種新聞や経済誌のほか、さまざまな就職関係資料を揃えていますので、併せて利用してください。

○　資格をとろう！

資格や免許の取得は、その人の能力を明確に表します。また、資格等の取得にチャレンジすることで就職する際に有利になることがあります。

また、生物理工学部では、CG 検定、国際社会に向けた語学力向上のための TOEIC 試験を学内で実施するなど、学生の資格取得をバックアップしています。

さらに、各学科に関連した資格や、教員免許のほか所定科目履修修得により取得できる資格もあります。資格を取得するのはもちろんのこと、資格に挑戦する姿勢が大切です。前向きなチャレンジ精神が企業から高く評価されます。

○　インターシップに参加しよう！

生物理工学部では、３年次配当科目として「インターンシップ」と「キャリアインターンシップ」を開講しており、自分の専攻や将来のキャリアに関連する就業体験を通じ、自らの高い職業意識を育成することができます。将来のキャリアを考える貴重な機会となりますので、積極的に参加しましょう。

また、授業以外にも公募制インターンシップなど就職に関する情報も掲載されますので、就職システム《近キャリ NAVI》やデジタルサイネージ等で確認してください。

インターンシップは自主性・独創性のある人材へと成長する機会であり、職業観の醸成につながります。また、インターンシップの参加者は早期に内定を得る傾向にあります。

○　公務員を目指す人は、早期からの対策をたてよう！

「公務員＝安定」というイメージが先行して、何となく公務員を志望しているという方もいるかもしれません。しかし、採用試験の出題範囲は幅広く、中途半端な気持ちでは勉強も長続きしません。面接においても、「なぜ公務員を志望したのか？」という質問では明確な理由も問われます。また、一口に公務員と言っても種類や仕事内容は民間企業以上に多岐にわたっているため、早期から公務員の仕事内容を理解した上で、「公務員対策Ｗｅｂ講座」の受講など、筆記試験と面接に対する万全の対策が必要です。

○　大学院へ進学したい人は、基礎学力をしっかりと身につけよう！

大学院への進学を考えている人は、「英語」と「基礎科目」と「専門科目」の３つをできるだけ高い水準で習得することが重要です。特に研究者を目指す場合は、語学力が必要ですので、日々の学習を怠らないよう努力することが大事です。

大学院を修了し、より高い専門知識を修得することで、研究者をはじめとする幅広い分野への進路がひろがります。

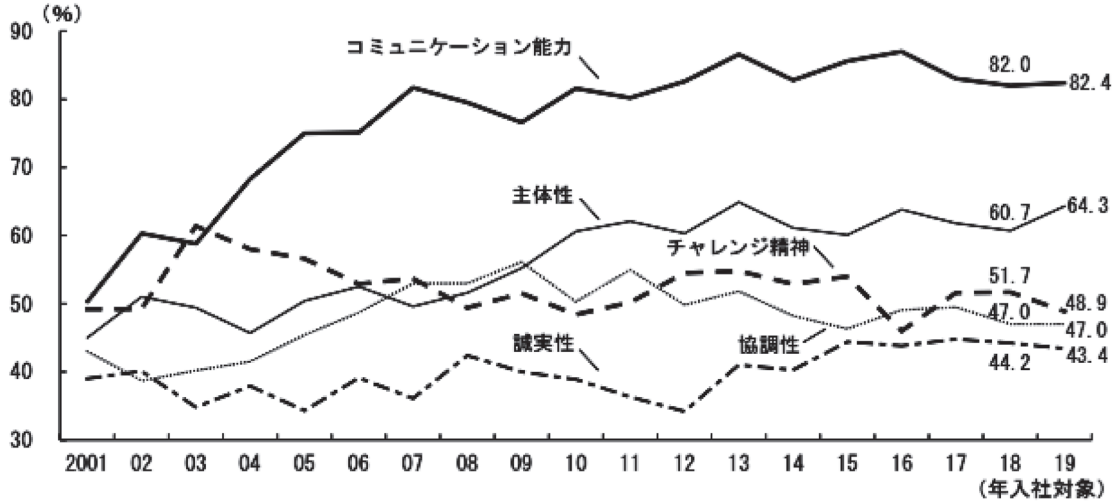
○　企業の採用試験では面接を最重視！

面接で主に質問される項目としては、「志望動機」「大学生活で一番力を入れたこと（「ガクチカ」）」「自己ＰＲ」などが挙げられます。面接は自分をアピールする場所であり、何もアピールできなければ、内定を勝ち取ることはできません。企業では人間性や積極性、斬新なアイデア、協調性などその人の魅力をあらゆる角度から見て、判断します。キャリア形成に係る授業やイベントにも積極的に参加し、他の人には負けないと言えるものを築いてください。就職活動ではそれが武器になります。

[主な面接質問項目]

・大学生活で一番力を入れたこと（「ガクチカ」）　・自己ＰＲ
・課外活動（クラブ・サークル）　・研究内容（得意な科目）
・志望動機　・入社後何をしたいか（希望職種）　・将来の夢
・長所と短所　・語学力　・取得資格　・最近関心を持った時事問題

[選考時に重視される要素の上位５項目の推移]



引用：一般社団法人 日本経済団体連合会 2018 年度 新卒採用に関するアンケート調査結果

○　納得のゆくファーストキャリアを！

「自己分析とともに業界研究、企業研究をしっかりしよう！」

近年、就職しても早期に離職してしまうケースが増えています。業界のこと、企業のこと、仕事の内容をよく調べないまま安易に就職すると、ミスマッチを起こしてしまうことがあります。自己分析とともに業界研究､企業研究をしっかり行い､就職先を見極めましょう。内定を１、２社もらったからと安易に決めず、できるだけ自分自身が納得できる条件の企業を選択するよう心がけましょう。就職は人生の上で大きな選択です。

転職する場合にも、ファーストキャリアは一度きりしかありません。

就職情報室（３号館２階）

就職情報室では、教員と一体になって学生と同じ目線に立った就職支援を行っています。履歴書添削や個別相談などのきめ細かい指導や、進路に有利となる様々な資料を閲覧することができます。室内に設置しているパソコンを利用し、就職活動に必要な情報をその場で収集することもできます。また、オンライン面接などに対応した個人ブース（テレキューブ）が利用できます。さらに、キャリアコンサルタントやハローワーク相談員による就職相談も受け付けており、就職活動の悩みや不安に寄り添ってくれます。

就職情報室を利用して、納得の行く希望進路決定につなげましょう。

就職情報室は、皆さんの明るい未来を応援しています。

就職支援に関する主な行事予定

２０２５

４月	❶新入生オリエンテーション 就職ガイダンス（木曜５限）	❶❸キャリア適正テスト
５月	❸就活決起大会 就職ガイダンス（木曜５限）	近大業界研究フェア春の陣 ❶❷1、２年生対象キャリアセミナー
６月	就職ガイダンス（木曜５限） 模擬面接	第1回ＴＯＥＩＣ学内テスト
７月	就職ガイダンス（木曜５限） ❹就職確認ガイダンス	第1回ＣＧ検定
９月	就職ガイダンス（木曜５限）	❸職務適正テスト
１０月	近大業界研究フェア秋の陣 就職ガイダンス（木曜５限）	❹就活確認ガイダンス
１１月	就職ガイダンス（木曜５限） ❶❷1、２年生対象キャリアセミナー	第2回ＣＧ検定
１２月	就職ガイダンス（木曜５限） 第2回ＴＯＥＩＣ学内テスト	❶❷❸教職セミナー
１月	就職ガイダンス（木曜５限）	❶❷❸グループワーク
２月	模擬面接	生物理工学部学内業界研究会

❶：１年生対象　❷：２年生対象　❸：３年生対象　❹：４年生対象

※記載のないものは全学年対象

各種行事は、就職システム《近キャリ NAVI》やデジタルサイネージ等で随時案内します。
なお、日程等は変更されることもあります。
この他、筆記試験（ＳＰＩ等）対策として、基礎学力養成講座を開催しています。

図　書　館

図書館関連 Web site

近畿大学生物理工学部図書館 Web site

https://www.kindai.ac.jp/bost/about/facility/library/

開館カレンダーやお知らせ、電子ジャーナルへのリンクなどを紹介しています。

近畿大学図書館蔵書検索システム（OPAC）

https://opac.clib.kindai.ac.jp/iwjs0014opc/cattab.do

生物理工学部図書館をはじめ、近畿大学学園内にある計 8 図書館の資料について所蔵・貸出状況などを確認できます。

また、予約手続きなどもこちらからオンラインで行えます（My ライブラリー参照）。

My ライブラリー

※貸出延長、予約の手続きや貸出履歴の確認などができます。

※OPAC ページの右上部にあるログインから、UNIVERSAL PASSPORT と同じ ID、PW でログインして利用してください。

1．図書館概要

生物理工学部図書館（以下、単に図書館）は、 2 号館の 3 階、 4 階に位置しています。

（入口は 3 階）

	施設・設備	資料	座席数
4 階	閲覧室、 集密書棚、 書庫※	一般図書、 参考図書、 学術雑誌	183 席
3 階 （入口）	カウンター、 閲覧室、 グループ学習室（ 2 室）、 AV 視聴ブース、 PC、 企画図書コーナー	就職・資格試験対策図書、 シラバス掲載教科書、 AV 資料（DVD、VHS 他）、 英語多読図書、 新聞（10 誌）、 一般雑誌	124 席

※書庫内資料を利用希望の方は、カウンターにお申し出ください。

開館時間（通常）：

平　日　　9：00 ～ 19：00

土曜日　　9：00 ～ 17：00

※定期試験中などは、臨時に開館時間が変更されることがあります。

休館日：

日曜日、国民の休日

創立記念日（11 月 5 日）

夏季休暇、冬季休暇中の一定期間

年末年始

※開館時間および休館日の詳細に関しては、生物理工学部図書館 Web site 内のカレンダーでご確認ください。

入館：

入館ゲートを通って入館してください。

退館：

退館ゲートを通って退館してください。

※貸出手続きをせずに資料を持ち出すと警報ブザーが鳴り、無断持ち出しとみなされますので、ご注意ください。また、別の要因で警報ブザーが鳴ることがあります。その場合は原因調査にご協力ください。

利用上の注意：

・私語談笑は慎んでください。

・携帯電話はマナーモードにし、館内では通話しないでください。

・館内での撮影は禁止します。

・館内での飲食・喫煙は禁止します。ただし、密閉できるフタ付き容器に入れた飲料を飲むことについては、場所を指定して認める場合があります。

・学生証は常に携帯し、他人に貸与しないでください。

・他の利用者の迷惑となる行為は慎んでください。

・図書館の資料は大切に取り扱ってください。

・職員の指示には従い、求めに応じて学生証を提示してください。

・利用規程を守らない場合は、図書館の利用を停止もしくは禁止することがあります。

2．資料の検索

蔵書検索システム：

蔵書検索システム（https://opac.clib.kindai.ac.jp/iwjs0014opc/cattab.do）から、生物理工学部図書館をはじめ近畿大学学園内の計 8 図書館が所蔵する図書、雑誌や DVD などの資料を検索して、配置場所･貸出状況などを確認できます。他キャンパス図書館にある資料は、無料で取り寄せもできます。（一部除く）

Web 上の資料（データベース・電子ジャーナル・電子ブックなど）の利用：

生物理工学部図書館では、学修・研究支援のため、各種電子ジャーナル、電子ブックなど各種 Web 上の資料を提供しています。

利用方法：

近畿大学中央図書館 Web site（https://opac.clib.kindai.ac.jp/iwjs0014opc/cattab.do）の、「データベース（学内用）」または蔵書検索システム（OPAC）の「データベース一覧」からご利用ください。

情報処理演習室、図書館内の端末など、学内 LAN（Wi-Fi 含む）に接続された端末から利用できます。

※学外から利用できるものもあります。詳しくは近畿大学中央図書館 Web site の「データベース（学外利用）」をご覧ください。

国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の利用について：

図書館内の特定の端末で、国会図書館が提供する「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を利用できます。（閲覧・複写）

利用ご希望の方は 3 階カウンターにお申し出ください。なお複写に関しては所定の料金を申し受けます。

サービスの詳細については、生物理工学部図書館 Web site をご参照ください。

3．貸出・返却

貸出

冊数と期間（学生の方）

資料区分	冊（点）数	期間
図書	5 冊以内	15 日以内
AV 資料	2 点以内	15 日以内

貸出の際は、3 階カウンターで職員に借りたい資料と学生証を提出してください。

※延滞している図書がある方は、貸出手続きができません。

貸出できない資料

３階教科書コーナーの図書、参考図書、雑誌、新聞、加除式資料、その他３階カウンターにて貸出手続きがとれない資料については館内でご利用ください。

貸出延長

返却期限日までに、３階カウンターで手続きをおこなってください。

手続きした日から返却期限日が15日間延長されます。

Myライブラリーからも手続きできます。

※予約が入っている場合、資料を延滞されている場合などは貸出延長できません。

返却

返却期限日までに資料を持って３階カウンターで手続きをしてください。

延滞について：

返却期日に遅れると、延滞した日数が貸出停止期間となります。

紛失・破損：

資料を破損、または紛失した場合は、すみやかに３階カウンターへ申し出てください。

返却通知サービス：

返却期日の３日前に、お知らせメールが届くサービスです。

※Myライブラリーに登録されたメールに送信されます。（送信先の変更､停止はMyライブラリーから行うことができます）

予約

利用したい図書・AV資料が「貸出中」の場合、予約すると資料が返ってきた時にメールで連絡が届き、３階カウンターで最大６日間取り置いて優先的に利用いただけます。

Myライブラリーからも手続きできます。

取寄せ

近畿大学の他キャンパスにある図書館の図書（一部除く）は、手続きをすると無料で取り寄せることができます。資料が届くと連絡メールが送られますので、３階カウンターで受取ってください。

蔵書検索システム（OPAC）に表示される取寄せボタンから手続きをしてください。

Myライブラリーからも手続きできます。

複写

図書館内では教育、研究調査、学修のため、著作権法第 31 条の範囲内（非営利目的、一部分を一人につき一部）で、所蔵資料を複写することができます。

持ち込み資料やレジュメなどの私物は複写できません、

複写料金は、１枚 10 円です（モノクロのみ）。

複写機は、図書館３階入口左手にあります。

AV 資料の視聴

所蔵資料にかぎり、３階 AV ブースの機器で視聴いただけます。

視聴したい資料の空箱を、３階カウンターにお持ちください。（リモコン・ヘッドホンとともにメディアを貸出します）

4．図書館の諸サービス

グループ学習室の利用

図書館３階に２室あるグループ学習室は、講義などで使用していない時間帯は、学生の方の自主的な勉強の場としても利用可能です。（要予約）

利用予約について：

利用可能人数	３～24 名（３名以上で予約を受け付けます）
申し込み場所	図書館３階カウンター 「グループ学習室利用申込書（学生用）」に必要事項を記入。
予約受付期間	利用したい日の１週間前から前日まで。 他に予約が無い場合は当日申し込み可。
１回の利用時間	最大 90 分まで。（他に予約が無い場合は延長可） ※利用中は、申込者の方の学生証をカウンターでお預かりします。

利用相談

利用者の学修・研究・調査をサポートするサービスです。

・図書館の利用方法がわからない。

・必要な資料の探し方がわからない。

・ある事項やデータについて知りたい。

・探している資料がみつからない。

このようなときは、３階カウンターにご相談ください。

図書館に無い資料の利用

学修や研究に必要な資料が図書館に無い場合、下記の方法で入手についてサポートをしています。

購入希望図書の申込み：

My ライブラリーから、または 3 階カウンターにて申し込んでください。

資料が到着した場合など、図書館からの連絡はメールでおこないます。

雑誌、AV 資料の購入希望申込みはできません。

他の図書館から資料を取り寄せる（ILL サービス）：

本学図書館にない資料の論文等を複写物（コピー）として他大学図書館（他機関）から取り寄せることができます。

複写料金（1 枚 10 円～100 円）と郵送料（実費負担）が必要です。

近畿大学各キャンパス図書館の利用について

生物理工学部生の方は、近畿大学中央図書館をはじめ近畿大学の各キャンパスにある図書館を利用できます。

なお、開館日や利用の範囲などは図書館により異なりますので、あからじめ Web 上の各図書館利用案内などを確認の上、学生証をお持ちになってご利用ください。

卒業後の利用

生物理工学部を卒業された後、3 階カウンターで手続きいただくと卒業生として図書館を利用できます。

以上

電算機センター

1．電算機センターについて

本学部では、平成５年４月の学部開設と同時に電算機システムの運用を開始し、平成 12 年には電算機センターが設置されました。電算機センターでは、電算機システムの運用・管理を行い、情報通信技術（ICT）を活用した先端の情報教育環境を整え、教育・研究活動を支援しています。

講義・実習用に設置された情報処理演習室では、Windows、Linux　２種類の OS を選択して専門的なソフトウェアを利用することができ、基本的な情報処理技術だけでなく、より専門的な学習を行うことができます。スチューデントラウンジでは、情報処理演習室と同じ計算機環境で自習を行えます。また、学内には、高速な計算処理が行えるスーパーコンピュータとメモリ共有型高速計算サーバが導入されており、高度な研究・教育を行う環境も整っています。

本学部の電算機システムは、大学から発行されるユーザ ID・パスワードを用いて利用することができます。学内は、LAN が整備され、インターネットを通じて全世界の情報ネットワークにつながっており、セキュリティ管理の下、学修内容や研究成果を受信、発信することができます。

本学部の学生ならびに教職員は、情報処理演習室、スチューデントラウンジ、研究室等の各施設から、電算機システムを利用することができます。

大学は、情報ネットワーク社会の一端を担っています。パソコンやプリンターなど形あるものだけでなく、LAN やインターネット回線、ソフトウェアも大切な資産です。インターネットや ICT を活用すれば利便性は向上しますが、使い方を誤れば、思わぬトラブルを招くこともあります。

ひとりひとりが情報社会の一員である自覚をもって、電算機センターからの注意事項や規程、心得を守って利用することが、安心・安全・快適な学習環境を保つことにつながります。

ICT 時代に必要な情報の収集・選択・利用・加工・発信等の処理能力を習得し、学修や研究活動に利用するとともに、将来のビジネスや研究開発などにも役立つよう、本学部の電算機システムを積極的に活用してください。

２．情報処理演習室の利用について

情報処理演習室は、3 号館 2 階にあり、主として情報処理関係の講義・演習に用いられます。授業が行われていない時間は、自習での利用を認めていますが、授業が行われている時間帯は、スチューデントラウンジを利用してください。授業が行われている時間は、受講者のみの入室となります。

２－１　利用方法

1 年時に配付されるユーザ ID とパスワードによりシステムの利用ができます。

２－２　利用時間

利用時間は、次のとおりです。

月曜日～金曜日　　9：00 ～ 17：00（必要に応じて最大 19：00 まで）

土曜日　　9：00 ～ 12：30

日曜日、祝日、本学創立記念日（11 月 5 日）および大学で定める休業日は利用できません。長期休暇期間中の利用時間帯については、その都度案内します。

２－３　利用できる PC の利用環境（情報処理演習室、スチューデントラウンジ共通）

⑴　Windows 10（Office 2016）

⑵　Linux

２－４　スチューデントラウンジ（自習環境）について

スチューデントラウンジは、3 号館 2 階にあり、自習を行える環境として、情報処理演習室と同じ計算機環境を提供しています。

※利用時間は、原則として情報処理演習室と同じです。

２－５　利用の心得

⑴　情報処理演習室、スチューデントラウンジにある機器は、授業や自習を行うことを目的として設置されています。この目的以外に使用することは禁止します。

例）授業に関係のない動画の視聴、印刷を行うなど

⑵　情報処理演習室、スチューデントラウンジにあるすべてのコンピュータは、インターネットにつながっています。インターネットは、全世界の人々が利用しているものですから、その利用上のルールやマナーを守ることは社会の一員としての義務です。本学部においても**「学生のネットワーク利用に関する規程」**（P. 108）を制定していますので、十分理解し、遵守してください。

もし、違法行為をすれば、学則および法律により処罰されます。

⑶　情報処理演習室、スチューデントラウンジを利用する際には、静かな学習環境を保つようにしてください。

・情報処理演習室での授業中は、教員の指示に従ってください。

・情報処理演習室及びスチューデントラウンジ利用時に教職員から指示等があった場合は、速やかに従ってください。

⑷ 土足での入室は禁止しています。履き物は、必ず決められた場所に整理整頓のうえ、収納してください。

⑸ 室内での飲食は禁止しています。

⑹ 室内の機器・備品は、持ち出しを禁止しています。

⑺ 機器などの紛失、破損、故障などを見つけたときは、そのまま放置せず、速やかに電算機センター事務室または授業担当教員に知らせてください。

⑻ **パスワードは、各自、定期的に変更してください。また、パスワードは決して他人に知られないようにしてください。パスワードを他人に使われ、何か問題が起こった場合は、そのパスワードの持ち主にも責任が生じます。**

⑼ 座席数は限られています。荷物等での席取り行為はしないでください。また、荷物で席取りしたまま出かけていると盗難の恐れもあります。使わないときは次の利用者のために席を譲りましょう。

⑽ その他、電算機センター事務室・授業担当教員、その他教職員の指示に従い、利用マナーを心がけてください。指示に従わない場合は、退室や使用禁止が命じられます。悪質あるいは重大な違反があった場合には、学則により処罰されます。

注意事項について

インターネットなどの情報ネットワークは世界中で数億人が利用しており、現代においては欠かすことのできないものです。しかし、その一方で、ネットワークに関係した事件・事故が頻発しています。ネットワーク上で他人を中傷したことが原因で裁判となったり、パスワードを盗まれ本人になりすまされて、いたずらや犯罪に巻き込まれたり、データの盗聴や改ざんなど悪質な違法行為が行われたりと、様々な事件が発生しています。こうした行為はインターネットの健全な発展を阻害するものです。ネットワークの利用において社会一般のルール・マナー・法律・規則などは当然守るべきですが、それに加えて、ネットワーク固有のルールやマナーもあります。次に記載している最小限のルールやマナーを理解し、皆さんが他の人に被害を与えることのないようにしましょう。そして全利用者の努力で本学の情報化を推進し、快適で実りのある健全なネットワーク文化を形成していきましょう。

法の遵守

ネットワーク上でも一般社会同様に法を犯す行為は厳禁です。刑法・商法・知的財産権（著作権、意匠権、商標権など）など様々な法律を犯さないように、また他人の権利を侵害しないよう十分注意してください。ネットワーク上の行為でも刑法等による刑罰が科されたり、損害賠償を請求されることがあります。ネットワーク上での犯罪・不法行為として以下に例をあげます。

◇ネット上での賭け、賭博行為を行うこと
◇ネットワーク上にわいせつな文書・画像・動画などを掲載すること
◇詐欺行為
◇他人の名誉を犯すこと
◇他人を侮辱すること
◇コンピュータ内の情報の改ざんや破壊で業務を妨害すること
◇意識的にコンピュータウィルスの含まれたソフトウェアを他人に渡すこと。
◇他の人が書いた文章、歌詞、新聞記事や、雑誌などに掲載されたアニメやマンガのキャラクターなどの映像・画像資料を無断で掲載すること
◇他人のメールを盗みとること
◇他人の名前を使ってメールを出したり、投稿したりすること
◇「ねずみ講」紛いの行為

●人権の尊重・プライバシーの保護

日本国憲法は基本的人権を保障しています。また、人間は法の下に平等にあって、人権・信条・性別・社会的身分又は門地により、政治的・経済的・社会的関係において差別されないと規定しています。そして、自己の情報を自分でコントロールできるというプライバシー保護の権利が認められています。ネットワーク利用者は、電子メール・web・SNS などで行う情報発信が、内容によっては他の人の人権やプライバシーの権利を侵害する可能性があることを常に念頭におき、そのようなことがないようにしてください。また、本人にそのような意図がなくても、人によって受け取りかたは様々です。情報発信を行う際には、誤解を受けないような内容や表現方法とするように配慮してください。

●著作物の適正な利用について

わが国の著作権法においては、著作物を蓄積したり、また、送信を行う時には、それぞれ著作権者の複製権や公衆送信権が働くことになり、事前に権利者に許諾を要することが明示されています。従って権利者の許諾を得ずに、著作物（デジタルデータ）をホームページに掲載したり、ファイル交換ソフトを利用して交換・共有することは、著作権法の規定に違反することになります。

3．学生のネットワーク利用に関する規程

生物理工学部に所属する学生、あるいは学生の団体が学内から情報ネットワークを利用する際に、その公平で適正な利用と円滑な管理運営を図ることを目的として、「学生のネットワーク利用に関する規程」が定められていますので、これに従ってネットワークを利用してください。

（目　　的）

第１条　この規程は、生物理工学部および生物理工学研究科（以下「本学部」という。）に所属する学生、あるいは学生の団体が学内から情報ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）を利用する際に、その公平で適正な利用と円滑な管理運営を図ることを目的とする。

（親 規 程）

第２条 「学校法人近畿大学情報システム利用規程」を親規程とする。

第３条　親規程で定められている事項については、これを本規程に適用する。

第４条　親規程に定められていない事項、或は、親規程に定められているものを、本学部の状況に基づいて変更したものについては、本規程に記載する。

（利用者の責任）

第５条　ネットワークの利用は利用者の責任において行い、利用者が他者に及ぼした損害、あるいは利用者が被った損害について大学は一切責任を負わない。

（規程の改廃）

第６条　本規程の改廃は本学部教授会の承認を得なければならない。

附則

平成15年４月１日施行

平成29年12月20日改定

4．学校法人近畿大学 情報システム利用ガイドライン

（目　　的）

1　このガイドラインは、学校法人近畿大学（以下「本学園」という。）における情報システムの利用において、学校法人近畿大学情報システム利用規程の運用に関する具体的指針を定め、情報セキュリティの確保と円滑な情報システムの利用に資することを目的とします。

（定　　義）

2　このガイドラインにおいて、次の各号に掲げる用語は、それぞれ当該各号の定めるところによります。

⑴　運用基本方針

本学園が定める「学校法人近畿大学情報セキュリティポリシー」を指します。

⑵　運用基本規程

本学園が定める「学校法人近畿大学情報システム運用基本規程」を指します。

⑶　全学アカウント

本学園が運用する認証システムに対応した情報システムの利用に当たって用いるアカウント及び本学園が契約・外部委託したシステム又はサービスのためのアカウントを指します。

⑷　情報機器

パソコン、サーバ、タブレット PC、スマートフォン等のコンピュータ本体及びディスプレイ、プリンタ、ネットワーク HDD（NAS）等の周辺機器を指します。

（ガイドラインの適用範囲）

3　このガイドラインは、本学園構成員及び本学園の許可を受けて情報システムを利用する者に適用します。

⑴　構成員は、次のとおりです。

①　教職員：本学園専任教職員、常勤・非常勤講師、客員教員、嘱託職員、契約職員、定時職員及び派遣職員

②　学生等：学部学生、大学院生、通信教育部生、留学生、研究員、大学院研修生、科目等履修生、生徒、児童及び幼児

⑵　このガイドラインにおける情報システムは、格付けされた本学園の情報を格納する機器やサービスであれば、本学園のネットワークに接続されていないものであっても含みます。

（利用目的）

4　情報システムの利用は、原則として、教育、研究、医療及び法人業務（本学園の管理・運営及び学生・教職員の福利厚生に資するための利用などを含みます。）を目的とするものに限ります。

（遵守事項）

5　情報システムの利用者は、このガイドラインに従って情報システムの利用に関する手順・諸規程を遵守するとともに、本学園の規定する個人情報保護に関する諸規程を遵守してください。

（利用上の遵守事項）

6　情報システムの利用者は、次の事項を遵守してください。

⑴　セキュリティについて

①　個人情報・パスワード・機密データなどは厳重に管理してください。

②　コンピュータのファイルセキュリティ機能を最大限に利用してください。

③　セキュリティ強度の高いパスワードを設定してください。

④　サーバ等を外部に公開する場合、所属の責任者の許可を得たうえで、必要最低限の通信ポートのみ開放してください。通信ポートの開放には大学運営本部 KUDOS 学生センターの審査が必要です。

⑵　機密性について

①　許可なく他の利用者の所有するファイル等をコピー、修正してはいけません。

②　みだりに業務で使用するファイル等を公開、私物等の情報機器への保存をしてはいけません。

③　みだりに大学の所有するファイル等をコピー、修正してはいけません。

④　著作権や商標権などによる法的保護を遵守してください。

⑤　電子メール・ネットニュース・Web・SNS 等の意図された使用法を遵守してください。

（アカウント）

7　情報システムの利用者は、アカウント（ID 及びパスワード）の管理に際して、次の点を遵守してください。

⑴　アカウントとパスワードの管理と利用

利用者は、本学園が提供するシステムやサービスを利用するために付与されたアカウント・パスワードを適切に管理して、利用してください。

⑵　貸与・譲渡の禁止

利用者は、他の者のアカウントを使用してはいけません。また、自身のアカウントを他の者に貸与・譲渡してはいけません。

⑶　ロック又はログアウト

利用者は、使用中の情報機器をロック又はログアウト（ログオフ）せずに、長時間自らの席を離れたり、目の届かないところに放置したりしてはいけません。

⑷　アカウント流出、不正利用時の対応

利用者は、アカウントを他者に使用され、又はそのおそれがある場合には、速やかに KINDAI-CSIRT（情報セキュリティインシデント対応チーム・経営戦略本部デジタル戦略室所管）にその旨を報告してください。万が一、他人に知られた可能性がある場合は、速やかにパスワードを変更してください。

・KINDAI-CSIRT Web サイト　https://kudos.kindai.ac.jp/security/kindaicsirt

また、流出や不正利用のおそれがあると判断した場合、当該利用者への事前の通告なく、当該アカウントを停止する場合あります。

⑸ 設定パスワードの制限

以下の４つの条件を満たすパスワードにしてください。

① パスワードの長さは、８文字以上に設定してください。

② 使用できる文字は、半角英字数字（A ～ Z，a ～ z，0 ～ 9）とします。

③ 自身のユーザ ID や氏名ローマ字、「12345678」や「password」など、推測されやすい文字列にしないでください。

④ 半角英字数字が混在しているパスワードにしてください。

⑤ パスワードの使い回し（本学園で使用しているパスワードと同一のパスワードを他のサービスで使うこと）は行わないでください。

⑹ 利用終了時

利用者は、システムを利用する必要がなくなった場合は、速やかに当該情報システムの管理者に届け出てください。なお、本学教務システムや人事システムに登録されている学生・専任教職員等のユーザ（源泉ユーザ）は卒業・退職・出向等によって本学園に在籍しなくなった時点でアカウントが削除されます。教務システムや人事システムに登録されていないユーザ（非源泉ユーザ）は予めアカウントに有効期限が設定されます。

⑺ パスワードの管理方法

パスワードは記憶するようにしてください。漏えい防止の観点から、書き留めないようにしてください。他者に推測されにくく、覚えやすいパスワードの作り方について KUDOS WEB で紹介していますので参考してください。

KUDOS WEB（パスワード管理について） https://kudos.kindai.ac.jp/security/password

⑻ ２段階認証（多要素認証）

各サービスのアカウントに対し、２段階認証（多要素認証）の設定が可能なものは設定を行ってください。

（情報機器の利用・持ち出し）

8 利用者は、様々な情報の作成、利用、保存のために情報機器を利用する際には、次の事項を遵守してください。

⑴ 本学園の情報ネットワークに私物等の情報機器（大学が所有していない機器）を新規に接続する場合、KUDOS SECURE/KUDOS SECURE X 等の持ち込み機器用ネットワークのみ接続が可能です。私物等の情報機器で、教育・研究、法人業務用のシステム（K-SHARED 人事給与、Gmail、K-SHARED、Slack 等）を利用することは必要最小限にしてください。

⑵ 教育・研究用、法人業務用の大学所有の情報機器を本学園の情報ネットワークに新規に接続する場合は、事前に接続を行おうとする部局の責任者に接続の許可を得てください。

⑶ 許可を受けた情報機器の利用を取りやめる場合は、所属の責任者に届け出ることが必要になります。

⑷ 情報機器が認証システム及びログ機能を備えている場合は、それらの機能が動作するよう設定

されていなければなりません。不正ソフトウェア対策機能が提供されている機器については、常に最新の状態になるよう設定してください。

⑸ 情報機器は脆弱性を持たないよう、可能な限り最新の状態にしてください。

⑹ 情報漏えいを発生させないように対策し、情報漏えいの防止に努めてください。

⑺ 情報機器の紛失又は盗難が発生しないよう十分に注意してください。

⑻ 個人情報や重要な情報、機密情報等の入った情報機器の紛失又は盗難が発生した場合は、速やかに所属の責任者及び総務部総務課に届け出てください。

⑼ 個人情報や重要な情報、機密情報等の入った情報機器を学外に持ち出さないでください。
学外に持ち出す場合は、本学園が運用・管理している Google ドライブや Slack、学内ポータルシステム等のクラウドストレージに個人情報や重要な情報、機密情報等を保存し、情報機器からこれらの情報を削除してください。また、情報の盗難・漏洩等を防止するため、情報機器へのログインパスワードを強固なものにし、ハードディスクやソリッドステートドライブ等の記憶装置に暗号化や盗聴防止策を講じ、かつ盗難防止策を講じてください。なお、ログイン時には、指紋認証や顔認証等の生体認証を使用することが望ましいです。

⑽ USB メモリ、SD カード等の可搬型の記憶装置（以下「USB メモリ等」という。）の使用は、ウィルス混入・感染及び紛失のリスクが高いため、原則使用を禁止します。情報機器間でのデータのやり取りを行う場合、２段階認証（多要素認証）設定済みアカウントにて、Google ドライブや Slack、学内ポータルシステム等のクラウドストレージを利用してください。ただし、学会や共同研究等において利用する場合は、参加する学会の規程・規約・ポリシー、共同研究先と締結している NDA 契約等に従って、セルフチェックシートを準備する等、利用者が責任をもって管理してください。

⑾ クラウドストレージの利用が難しく、USB メモリ等の利用が必須な場合は、所定の手続を経たうえで、暗号化機能や生体認証機能を有するものを利用してください。ただし、個人情報や重要な情報、機密情報等を除くデータの保存を目的として利用する場合（以下の用途など）、大容量データを扱うためクラウドストレージ利用が適さない場合、所属拠点の情報セキュリティ担当者にあらかじめ相談のうえ許可を得ている場合などは、この限りではありません。

・デジタルカメラ等の撮影データ保存先として利用する場合

・IC レコーダー等の録音データ保存先として利用する場合

・IoT 機器等のデータ保存先として利用する場合

（禁止事項）

9　利用者は、情報システムについて次の行為をしてはいけません。

⑴ ファイルの自動公衆送信機能を持ったＰ２Ｐソフトウェアを利用する行為
ファイル共有ソフトとは、インターネット上で不特定多数のユーザとファイルのやりとりをするためのソフトウェアで、Winny や Share などがあります。ファイル共有ソフトを介して、音楽、映像、ゲームソフトなどの著作物が無断でやりとりされており、大きな社会問題となっています。

著作権等の侵害は、法的な処罰の対象となります。

⑵ 不正ソフトウェア類似のコードやセキュリティホール実証コードを作成、所持、使用又は配布する行為。ただし、教育・研究目的かつ限定された範囲での使用はこの限りではありません。

⑶ ネットワーク上の通信を監視する行為

⑷ 本学園の情報機器に関する利用情報を取得する行為及び情報システムのセキュリティ上の脆弱性を検知する行為

⑸ 情報システムの機能を著しく変える可能性のあるシステムの変更

⑹ Tor（トーア）等の接続経路を匿名化するツールを利用する行為

⑺ 当該システム又は情報について、定められた目的以外の利用、及び本学園の教育・研究目的に反する利用

⑻ 指定以外の方法での全学アカウントを用いてのアクセス

⑼ 本学園のシステムを許可なく本学園外の者に利用させる行為

⑽ 守秘義務に違反する行為

⑾ 差別、名誉毀損、侮辱又はハラスメントにあたる行為

近畿大学人権宣言、近畿大学人権教育基本方針、学校法人近畿大学倫理憲章、学校法人近畿大学職員倫理規程及び法人倫理推進のためのガイドライン、近畿大学学園ハラスメント防止のためのガイドラインに抵触する行為。

なお、ハラスメントとは、サイバー・ハラスメントをはじめ、近畿大学学園ハラスメント防止のためのガイドラインにおいて定義されているすべてのハラスメントを含みます。

⑿ 個人情報やプライバシーを侵害する行為

利用者は、個人情報や機微（センシティブ）情報を情報機器で取り扱う場合は、これらの情報が流出しないようにしてください。また、肖像権など個人のプライバシーを侵害する行為は行わないようにしてください。

⒀ 不正ソフトウェアの作成、所持又は配布及び有害なコンピュータプログラム等を送信、掲載又は書き込む行為。ただし、教育・研究目的かつ限定された範囲での使用はこの限りではありません。

⒁ 知的財産権を侵害する行為

・産業財産権

特許権、実用新案権、意匠権、商標権

・その他

著作権、回路配置利用権、育成者権、営業秘密（ノウハウ等）など

⒂ 通信の秘密を侵害する行為

⒃ 営業又は商業を目的とした利用

他の利用者又は第三者に対し無断で広告、宣伝、勧誘等の電子メールを送信する行為

⒄ 過度な負荷等により本学園の円滑な情報システムやネットワークの運用を妨げる行為

⑱ 不正アクセス禁止法に反する行為又はこれに類する行為

不正アクセス禁止法では、不正アクセス行為及び不正アクセスを助長する行為を禁止しています。不正アクセスを助長する行為とは、例えば、Aさんに無断でAさんのID・パスワードを第三者に提供する行為（口頭伝達、電子掲示板に掲示、販売等）を指します。

⑲ その他法令に基づく処罰の対象となる行為

公職選挙法で認められていないネットでの選挙運動、わいせつ等不適切な内容の画像、文書等を掲載する行為など

⑳ 計算機資源やネットワーク帯域を不当に占有又は浪費する行為

㉑ 特定の宗教・政治団体等に寄与する行為

㉒ 公序良俗に反する行為

㉓ 上掲の行為を助長する行為

（違反行為への対処）

10 利用者の行為が前条に掲げる事項に違反すると認められたときは、学則又は就業規則に基づき、利用停止を含め、処分を受けます。なお、利用者の不適切な使用によって生じた重大な損害について、本学園は当該利用者に対して賠償を求めることができます。

（Web の利用）

11 利用者は、Web ブラウザを利用した Web サイトの閲覧、情報の送信及びファイルのダウンロード等を行う際には、不正プログラムの感染、情報の漏えい及び誤った相手への情報の送信等の脅威に注意するだけでなく、コミュニケーションサイトへの不適切な書き込みにより、本学園の社会的信用を失わせることのないように注意してください。

（セキュリティ対策）

12 OS やアプリケーションは常にアップデートし、可能な限り最新の状態にしてください。セキュリティ修正パッチやサービスパックを適宜適用してください。ウィルス対策ソフトウェアは、その機能やパターンファイルを最新にした上で、システムを保護可能な状態に保ってください。

（学外からの情報システムの利用）

13 利用者は、学外からの情報システムのアクセスにおいて、次の事項に従ってください。

⑴ 利用者は、学外から全学アカウントを使って情報システムを利用することが認められたシステム以外は、学外から利用することができません。

⑵ 利用者は、学外から全学アカウントを使って情報システムを利用する際においても、これを他者に利用させてはいけません。

（安全管理義務）

14 利用者は、自己の管理する情報機器について、本学園の情報ネットワークとの接続状況に関わらず、安全性を維持する一時的な担当者となることに留意して、次の事項に従って利用しなければなりません。

⑴ ソフトウェアの状態及び不正ソフトウェア対策機能を最新に保つようにしてください。

⑵ 不正ソフトウェア対策機能により不正プログラムとして検知されるファイル等を開かないようにしてください。

⑶ 不正ソフトウェア対策機能の自動検査機能を有効にしてください。

⑷ 不正ソフトウェア対策機能によりすべての電子ファイルに対して、不正プログラムが存在しないことを定期的に確認してください。

⑸ 外部からデータやソフトウェアを情報機器に取り込む場合又は外部にデータやソフトウェアを提供する場合には、不正ソフトウェアが存在しないことを確認してください。

⑹ 常に最新のセキュリティ情報に注意し、不正ソフトウェア感染の予防に努めてください。

（インシデント対応）

15 利用者は、情報システムの利用に際して、インシデント（中断・阻害、損失、緊急事態、危機になり得る又はそれらを引き起こし得る状況）を発見したときは、KINDAI-CSIRT（情報セキュリティインシデント対応チーム・経営戦略本部デジタル戦略室所管）の Web サイトに記載の手順に沿って、報告してください。

・KINDAI-CSIRT Web サイト　https://kudos.kindai.ac.jp/security/kindaicsirt

また、流出や不正利用のおそれがあると判断した場合、当該利用者への事前の通告なく、当該アカウントを停止する場合あります。

（在籍期間終了時）

16 卒業・退職・出向等によって本学園に在籍しなくなった場合は、自己のデータが通知なく本学園の情報システムから削除されるので注意してください。

（クラウドの利用について）

17 利用者は、本学園のシステムであるかに関わらず、クラウドサービスを利用するにあたり、安全性を確保するために、次の事項に留意してください。

⑴ ID とパスワードが漏えいすると第三者でもサービスが利用できます。アカウントの管理には細心の注意を払ってください。項目７を参考に、アカウントを管理してください。

⑵ 保存したデータがどの範囲まで公開されているのか、利用の前にプライバシー設定を確認してください。

⑶ サービスの障害によりデータが消失し、復旧できなくなる恐れがあります。定期的なバックアップをおすすめします。

⑷ サービスを利用する前に、利用規程の内容をよく読み、セキュリティ対策や保証の範囲を確認してください。

（データの保存について）

18 利用者は、情報機器を利用して作成・入手した様々なデータを保存する際には、次の事項を遵守してください。

⑴ 業務で使用する個人情報や重要な情報、機密情報等のデータは、教育・研究用、法人業務用の大学所有の情報機器、もしくは本学園が運用･管理している Google ドライブや Slack、学内ポー

タルシステム等のクラウドストレージに保存してください。

⑵ みだりに業務で使用する個人情報や重要な情報、機密情報等のデータを私物の情報機器に保存しないでください。

⑶ クラウドストレージの利用にあたっては、クラウドストレージ利用ガイドラインに従うとともに、項目 17 の記載事項に留意してください。

⑷ 本学園が提供する以外のクラウドストレージを利用する場合は、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」の ISMAP クラウドサービスリストに登録されているクラウドサービス（Microsoft Office 365、Box 等）を参考に利用してください。

平成28年 6 月20日　施行
平成31年 2 月 1 日　改正
令和 2 年 4 月 1 日　改正
令和 3 年 4 月 1 日　改正
令和 5 年 8 月 1 日　改正
学校法人近畿大学　総合情報システム委員会

5．学校法人近畿大学 クラウドストレージ利用ガイドライン

（目　　的）

1　このガイドラインは、学校法人近畿大学（以下「本学園」という。）におけるクラウドストレージの利用に関する事項を定め、情報セキュリティの確保と円滑なクラウドストレージの利用に資することを目的とします。

（定　　義）

2　このガイドラインにおいて、次の各号に掲げる用語は、それぞれ当該各号の定めるところによります。

⑴　運用基本方針 本学園が定める「学校法人近畿大学情報セキュリティポリシー」を指します。

⑵　運用基本規程 本学園が定める「学校法人近畿大学情報システム運用基本規程」を指します。

⑶　その他の用語の定義は、運用基本方針、運用基本規程、学校法人近畿大学情報システム運用・管理規程及び学校法人近畿大学情報システム利用ガイドラインで定めるところによります。

（ガイドラインの適用範囲）

3　このガイドラインは、次に掲げる本学園構成員及び本学園の許可を受けてクラウドストレージ（本学園が管理・運営しているもののほか、本学園が正当な権利に基づき情報を格納しているものを含みます。）を利用する者に適用します。

⑴　教職員：本学園専任教職員、常勤・非常勤講師、客員教員、嘱託職員、契約職員、定時職員及び派遣職員

⑵　学生等：学部学生、大学院生、通信教育部生、留学生、研究員、大学院研修生、科目等履修生、生徒、児童及び幼児

（遵守事項）

4　クラウドストレージ利用者は、このガイドライン及び本学園の規定する情報システムの利用に関する諸規程及びガイドライン並びに個人情報保護に関する諸規程を遵守してください。

（クラウドストレージの利用）

5　クラウドストレージの利用者は、様々な情報の作成、利用、保存等のためにクラウドストレージを利用する際には、原則として、２段階認証（多要素認証）設定済アカウントにて、本学園が運用・管理している Google ドライブ、Slack 及び学内ポータルシステム等のクラウドストレージを利用してください。

（情報の取扱い）

6　クラウドストレージ上に格納する情報は、学校法人近畿大学情報システム運用・管理規程に従って取り扱ってください。なお、具体的な情報の分類例については、別表を参考にしてください。

令和５年８月１日　施行

学校法人近畿大学　総合情報システム委員会

別表（情報の分類例）

区　分	具体例	情報の取り扱い
（機密性３） 本学情報システムで取扱う情報のうち、秘密文書に相当する機密性を要する情報	・学生、患者、教職員等の特定個人情報 ・患者の個人情報 ・医療に関する情報 ・決済に関する情報 ・特定の関係者以外が閲覧できないように厳重に機密にすべき情報 ・研究用原子炉の運用管理に関する情報 ・入試情報（入試問題、受験番号、得点等） など	法令・ガイドライン・指針等に従い、専用のシステムを利用するなど、適正な取扱いをしてください。
（機密性２－１） 本学情報システムで取扱う情報のうち、秘密文書に相当する機密性は要しないが、その漏えいにより重大な侵害や支障が想定される情報	・学生、教職員等の個人情報 ・学生の成績、学生指導の過程を記載したデータ ・入試情報（作問中データ、学科合格点） ・財務情報等の本学園の経営に関わる情報 など	２段階認証（多要素認証）設定済みアカウントにて、本学園が運用・管理しているGoogleドライブ、Slack及びK-SHAREDのクラウドストレージを利用してください。
（機密性２－２） 本学情報システムで取扱う情報のうち、秘密文書に相当する機密性は要しなく、かつその漏えいによる侵害や支障の規模も重大でないと判断される情報	・授業や学内のイベント等で使用した情報 ・本学園の構成員のみが閲覧可能な情報 など	２段階認証（多要素認証）設定済みアカウントにて、本学園が運用・管理しているGoogleドライブ、Slack、K-SHARED及び「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」のISMAPクラウドサービスリストに登録されているクラウドサービス（Microsoft Office 365、Box等）を参考に利用してください。
（機密性１） 機密としての取扱いが不要な情報	・機密性３、２－１、２－２に含まれない情報 ・広報、マニュアル等の公開を前提としている情報	必要に応じて、本学園が提供する以外のクラウドストレージの利用も可能とします。

6．生物理工学部 電算機センター事務室

電算機センターおよび学部内共通の電子計算機情報ネットワークシステムならびにその他情報関連システムの企画および整備・運用を行うために設置されています。

情報処理演習室や自習室の利用については、電算機センター事務室へお問い合わせください。

（3号館2階情報処理演習室前）

7．近畿大学と本学部 Web サイトの URL

近畿大学：https://www.kindai.ac.jp

本学部　：https://www.kindai.ac.jp/bost/

保健管理室

保健管理室では皆さんが健全な学生生活を過ごせるように健康管理、応急手当、健康相談などをおこなっています。

場所：２号館１階１５３教室前

１．健康診断

本学では**全学生を対象に毎年、定期健康診断**を実施しています。これは、学校保健安全法第 13 条と、本学学生規程 27 条に基づいて、**毎年必ず受診するよう義務づけられているものです。**学内の健康診断を受診できない場合は、他の医療機関で受診し診断書を提出してください。

病気や異常は、できるだけ早期に治療することが大切です。通知を受けたら必ず保健管理室で指示を受けるようにしてください。

２．健康診断証明書

定期健康診断の結果に基づき、就職・課外活動等に必要な**健康診断証明書**を発行します。定期健康診断を未受診の場合は、健康診断証明書は発行できません。

なお、健康診断証明書の発行開始日は、近大 UNIPA でお知らせします。

３．応急手当・健康相談

学内でケガをしたときや急に気分が悪くなったときなど、応急手当を行います。また、健康についての相談も随時おこなっていますので、気軽に利用してください。

４．医療費給付

保険医療機関（病院（歯科は対象外）、薬局、接骨院）で保険証を使用して受診した際に、学生健保共済会では窓口で支払う自己負担額を給付する制度があります。申請手続きは近大 UNIPA でおこなってください。

５．学校感染症について

学校感染症と診断されたら、感染拡大を防ぐため、治癒するまでの期間は、学校保健安全法により出席停止となります。

学校感染症に罹患した場合は、日数にかかわらず医療機関において「診断書」（医療機関所定様式）又は「学校感染症治癒証明書」に証明を受け近大 UNIPA の欠席届を登録してください。

６．大学関係医療機関

・校　医〈髙木内科〉

髙木　洋	〒 649-6531	紀の川市粉河 418－2	TEL（0736）73－8008

・附属医療機関〈総合病院〉

近畿大学病院	〒 589-8511	大阪府大阪狭山市大野東 377－2	TEL（072）366－0221
近畿大学奈良病院	〒 630-0293	奈良県生駒市乙田町 1248－1	TEL（0743）77－0880

キャンパス付近医療機関の一部

〈総合病院〉

公立那賀病院	〒649-6414	紀の川市打田 1282	TEL（0736）77－2019
和歌山県立医科大学附属病院	〒641-8510	和歌山市紀三井寺 811－1	TEL（073）447－2300
日本赤十字社和歌山医療センター	〒640-8558	和歌山市小松原通 4－20	TEL（073）422－4171

〈外科・内科〉

殿田胃腸肛門病院	〒649-6226	岩出市宮 117－7	TEL（0736）62－9111
上岩出内科・消化器内科	〒649-6216	岩出市野上野 66－1	TEL（0736）69－5500
なかふさ診療所	〒649-6215	岩出市中迫 553－1	TEL（0736）69－0777
富田病院	〒649-6253	岩出市紀泉台 2	TEL（0736）62－1522
紀の川クリニック	〒649-6213	岩出市西国分 501－1	TEL（0736）62－0717

〈整形外科〉

みたに整形外科	〒649-6216	岩出市野上野 431－2	TEL（0736）69－2284
ふじはら整形外科クリニック	〒649-6204	岩出市今中 151－3	TEL（0736）67－3622

〈皮 膚 科〉

泉谷皮フ科	〒649-6202	岩出市根来 16－1	TEL（0736）62－2852
稲田皮膚科	〒649-6231	岩出市川尻 230－7	TEL（0736）63－5663

〈耳鼻咽喉科〉

おく耳鼻咽喉科	〒649-6205	岩出市森 277－1	TEL（0736）69－1733
きしもと耳鼻咽喉科	〒649-6215	岩出市中迫 281－6	TEL（0736）63－3381
ゆうクリニック	〒649-6425	紀の川市中井阪 205－3	TEL（0736）77－1511

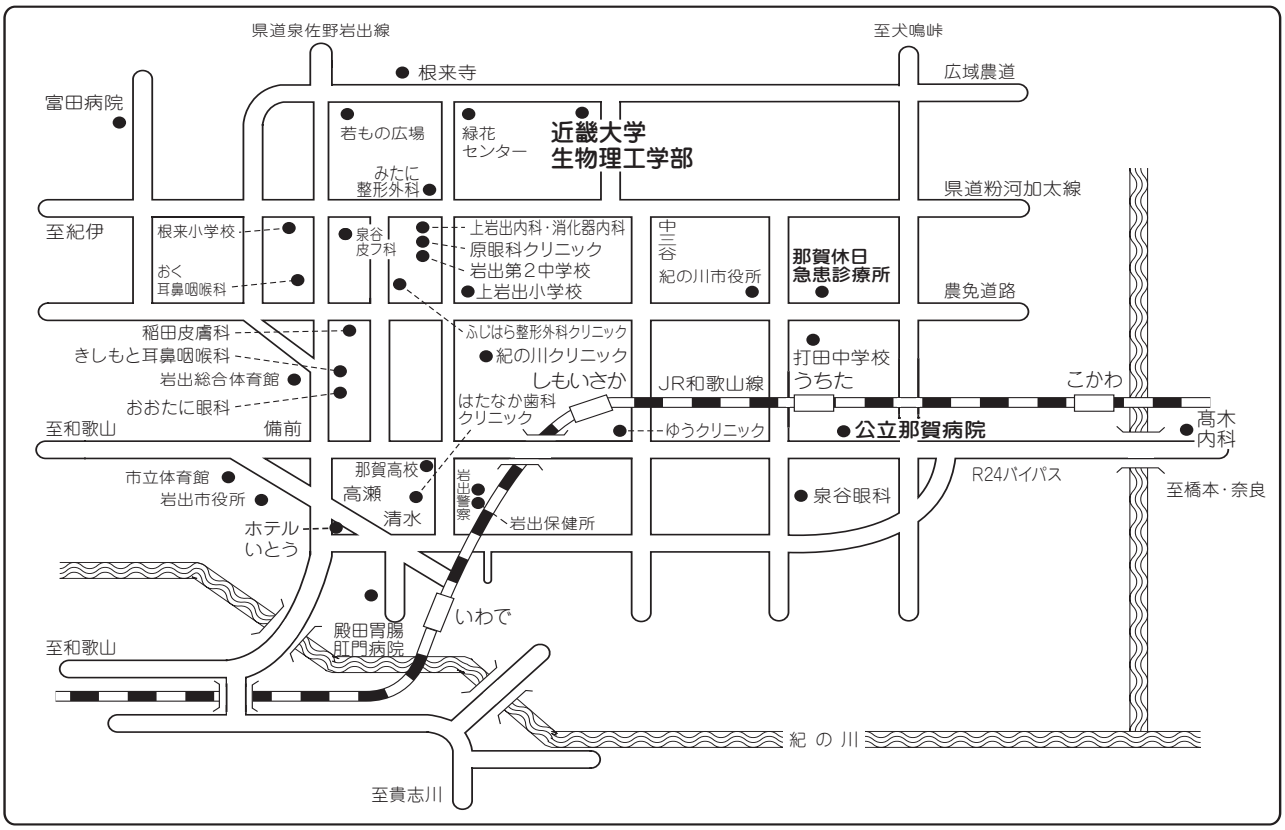
〈眼　　科〉

泉谷眼科	〒649-6416	紀の川市上野 14－1	TEL（0736）77－1010
原眼科クリニック	〒649-6216	岩出市野上野 83－8	TEL（0736）61－0100
おおたに眼科	〒649-6215	岩出市中迫 264－1	TEL（0736）67－7012

〈歯　　科〉

はたなか歯科クリニック	〒649-6227	岩出市清水 354－1	TEL（0736）69－5511

那賀休日急患診療所	〒649-6405	紀の川市東大井 366－1	TEL（0736）77－6410
和歌山県救急医療情報センター（病状・状況を知らせると最寄りの医療機関を案内してくれます）			TEL（073）426－1199



学生相談室（カウンセリングルーム）

✪ 学生相談室とは？

… 学生生活の様々なことについて、カウンセラーと話せるところです。
「なんでも相談」のようなものなので、どんな内容の相談でも大丈夫です。

☛ 開室日時 ： 10：00～16：00　　月曜日～金曜日（祝日は休み）

☛ 場　　所 ： ２号館５階　　学生相談室

誰でも、「なんだか上手くいかない」「イライラする」「不安になる」など、感じるときがあると思います。
そんなふうに感じているけど、でも、周りに話のできる人が見つからない。
そんな時、ちょっと勇気をだして学生相談室に足を運んでみてください。
カウンセラーと話しているうちに、きっと、ちょっと楽になることがあります。

「こんなこと相談していいの？」と思うようなことでも、「べつに相談することもないんだけど」っていう場合でも、どんなことでも大丈夫。
どうぞ、気楽に来てみてください。

✪ 相談のしかた … 直接、学生相談室を訪れるか、電話で予約をして来てください。
（予約の人が優先になります）

⇨ 直接来る場合 ：　面談中の時には、また時間をあらためて来てください。
その日の空き時間は、保健管理室で聞くと教えてもらえます。

☎ 電話予約の場合 ：　**(0736)－77－0345（ダイヤルイン）　内線　2219**
面接中は電話に出られないため、留守電になっています。
また、保健管理室でも、予約を受け付けています。

アドバイザリー制度

本学部では、学生と教員の交流を深め、大学生活を豊かにすると共に、今後の進路や人生を有意義に作り上げることを目的とした、**アドバイザリー制度**を設けています。

所属学科の教員等がアドバイザリーとなり、少数の学生を担任して、学生個々の学業選択や人生のさまざまな問題にアドバイスを与え、悩みの相談にあたります。また、アドバイザリーグループで色々な企画を立てることや、懇親会を開くことも出来、友人を作る絶好の場ともなります。

もし、学業・生活・進路あるいは人間関係などその他困っていること、悩んでいることがある時は、ひとりで悩まずにアドバイザリーの先生を人生の先輩と思って気軽に相談してみましょう。

※　それぞれの担当教員については、新入生オリエンテーション時に案内します。

マイキャンパスプラン（My Campus Plan：MCP）

MCP は皆さんにとって大学生活がより有意義で充実したものとなるよう皆さん自身が行動計画を策定し、それを定期的に見直していく習慣を身に付けてもらうためのツールです。大学生活では、「何のために大学に進学したのか」「卒業後の進路をどう考えているか」等の長期的な目的を持つことが大切です。中・長期的な視野も念頭においた上で当面の取り組み課題を整理することより、目的意識を見失わず計画的な学習・準備に取り組むことが、MCP の主目的です。

MCP の位置づけは皆さんの年次によって異なり、1・2 年次では MCP シートを通じて教員と皆さんがコミュニケーションを行うためのツールとなります。3・4 年次では、皆さん一人ひとりがシートに記入した内容をもとに、大学生活に順応できているか、目的意識を持って学習を行っているかを把握し、問題を抱えた学生への対応（面談やフォローシートを使ったアドバイス等）を早期に行うための手がかりとして活用します。

授業アンケート

授業評価アンケートは、本学における教育を改善する目的で、授業の内容、方法に対する皆さんの意見を調査するものです。実施時期は、各学期（セメスター制度）の終わりの 2 ～ 3 週間です。

原則として、専任・非常勤を問わず、教員が本学で実施する全授業科目（演習、実験、実習等も含む）について実施します。

皆さんに評価者としての責任を自覚してもらうという意味で、原則として回答時に学籍番号を入力してもらいます。ただし、これを利用してアンケート結果を皆さんの成績評価に反映させることはありません。

授業評価アンケートをふまえた教員の授業改善報告・計画等は、リフレクションペーパーとして毎年冊子にまとめられ、図書館で学生に公開しています。

傷害・賠償保険について

「学生教育研究災害傷害保険（略称：学研災）」
「学研災付帯賠償責任保険（略称：学研賠）」

大学における学生の皆様の活動は高校時代に比べて大きく広がり、自らが怪我をしたり、また、誤って、他人の物を壊したり、他人に怪我を負わせて賠償を求められる事故も散見されます。このため、本学では、「学生教育研究災害傷害保険（学研災）」および「学研災付帯賠償責任保険（学研賠）」に、大学が掛金を負担することで、学生全員が加入し、学生生活をサポートしています。この保険は、大学の管理下の事故に対する補償制度です。

「学研災付帯学生生活総合保険」

今日の学生の皆様の多様な生活上の事故等に対応しきれない場合があります。

本学では、これに備える保険として希望される皆様のために別途「学研災付帯学生生活総合保険」を設けています。

学生健保共済会

会員学生の心身共に健康の維持・増進をはかり、より充実した学生生活を支援・助成することを目的とする相互扶助制度です。本学独自の制度で近畿大学学園の次の各学校の全学生が入学とともに会員となります。学生健保共済会は、本部の他に次の支部で構成されています。

- 和歌山支部　（**和歌山キャンパス**）
- 東大阪支部　（東大阪キャンパス）
- 奈良支部　（奈良キャンパス）
- 大阪狭山支部　（大阪狭山キャンパス）
- 広島支部　（広島キャンパス）
- 飯塚支部　（福岡キャンパス）
- 名張支部　（工業高等専門学校）

事　業　概　要

1．健康増進事業

健康増進事業として以下のような活動を行っています。

○　厚生施設の利用
○　スポーツイベント
○　学術・文化・交流活動
○　各種講座・教室の開催　等

2．保険共済事業

保険共済事業として、給付を行っています。

○　医療費の給付
○　災害見舞金の給付
○　死亡弔慰金の給付

※　詳しい内容については「ウェルネスガイドブックおよび、学生健保共済会のＨＰ」を確認してください。

下 宿 生 活

あこがれの大学生活のスタート。遠隔地から入学した人は下宿生活のスタートでもあります。炊事・洗濯・ 掃除などの基本的なことから、経済的なことや健康面など全て自分自身で管理しなくてはいけません。

また、近隣の人々や家主さんへの配慮（深夜に騒がない、家賃を滞納しない）など、生活していくうえでの社会的なルールも守らなければならないでしょう。

慣れない下宿生活で、トラブルにまきこまれたり困ったときは、ひとりで悩まずに教務・学生窓口に相談に来てください。

１．居住契約（賃貸借契約）

居住契約は学生（賃借人）と家主（貸借人）との直接的な取り決めによってなされます。大学は一切関与しません。

曖昧な契約はトラブルのもとです。

内容をしっかり理解し、確認したうえで契約を結びましょう。

２．住居決定または変更のとき

・家族への連絡
・郵便局への届け出（転居前に）
・住所変更届の提出（UNIPA で提出）

を忘れないようにしましょう。

アルバイト

アルバイトは、本来学生生活の経済面の一部を補うための手段です。学業の余暇に行うことを前提として、できるだけ不必要なアルバイトは避け、自分の生活設計の中で有意義なものになるよう心がけてください。アルバイトに追われ留年・退学と学業の目標を狂わせていることがしばしばあります。

本学では、家庭教師、学習塾の講師補助についてのみ紹介しています。

アルバイトの求人は UNIPA に掲示します。

本学紹介のアルバイトを希望する学生は、教務・学生窓口で申し込みください。

制限職種について（好ましくないアルバイト）

1．運転免許（バイク・自動車など）の必要な業務
2．危険な業務（工事現場、機械操作、高所での作業、高熱・冷温室での作業、塵埃・有毒ガス・騒音等による健康管理上有害な環境での作業、危険な薬品を扱うもの、交通の頻繁な路上での作業、警備保障など）
3．住み込みもしくは、就労時間が深夜から早朝までの時間帯にかかる業務
4．主に金銭を扱う業務
5．選挙の応援に関する業務
6．外交販売・勧誘など能力給に属する業務
7．飲酒を主とする場所での接客業務（バー、居酒屋、ビアガーデン等）
8．人命に関わることが予想される業務（医療関係：事務は可、水泳指導員、トレーニングインストラクター、プールの監視員、ベビーシッター、ホームヘルパーなど）
9．競馬、競輪場などのギャンブル場での業務
10．住民票の転記など、個人のプライバシーに関与する業務
11．アルバイト学生だけの職場になる業務
12．遠隔地からの求人
13．仲介斡旋であることが明白な求人
14．無許可の場所または内容に問題のあるチラシ配り・ポスター貼り等々その他、教育的に好ましくないものや、本学が学生のアルバイトとしてふさわしくないと判断する業務

遺失物・拾得物について（遺失物取扱規程 P. 189 参照）

大学構内で落し物・忘れ物をしたときは、まず教務・学生窓口に問い合わせてください。
また構内で落とし物を拾得したときも、速やかに教務・学生窓口へ届けてください。
学生証を紛失したときは、悪用されることがありますので、まず最寄りの警察署（派出所）へ届け出てください。
※拾得物は学生センターにて 2 週間程度保管した後、岩出警察署に届け出ます。

所持品には必ず名前を

持ち主の名前が書かれている拾得物は、電話等で本人に連絡できますが、持ち主が不明では連絡のしようがありません。自分の持ち物を点検して、名前等を明確に記入するよう心掛けてください。

そ　の　他

○　クリーンキャンパス

本学部に隣接する和歌山市は、全国で最初に美化推進及び美観の保護に関する条例が制定されました。また、本学部の位置する紀の川市も環境保全条例に基づき、美化キャンペーンに取り組んでおり、地域社会に貢献する意味も含めて、学生の美化意識を高めようと考えています。

そのため、本学部では地元自治体からの要請で、下記のとおり分別用ごみ箱を設置していますので留意してください。

［2・3 号館］

3 分別
- ○一般ゴミ（紙くず・紙コップなど）
- ○ビン・カン、ペットボトル
- ○弁当容器、発泡スチロール、プラスチックなど

［1 号館東・西］

2 分別
- ○一般ゴミ（紙くず・紙コップなど）
- ○ビン・カン、ペットボトル、弁当容器

［10 号館　1 ヶ所］

4 分別	○一般ゴミ（紙くず・紙コップなど） ○ビン・カン ○弁当容器、発泡スチロール、プラスチックなど ○ペットボトル

［先進医工学センター　北・南各 1 ヶ所］

4 分別	○一般ゴミ（紙くず・紙コップなど） ○ビン・カン ○弁当容器、発泡スチロール、プラスチックなど ○ペットボトル

みんなが気持ちよく過ごせるよう、各自心掛けてください。

⑴　紙コップ、紙くず等は、必ず所定の場所へ捨てる。

⑵　キャンパス内にあるゴミは、自発的に拾う。

⑶　大学の施設や備品は大切に取り扱い、無断で移動させたり、持ち出したりしない。

附属農場湯浅農場の紹介

和歌山県湯浅町にある附属農場湯浅農場は約 10ha の広さがあり、有田みかんとして有名な産地に立地していることから、農場においてもウンシュウミカンなどのカンキツ類を中心とした果樹類が栽培されています。また、日本在来のカンキツ類を中心とした遺伝資源の収集保存も行っており、それらを機能性食品として利用する研究も行われています。さらに、熱帯果樹類の導入栽培も行われており、マンゴーのハウス栽培では、「アーウィン」種の高品質な果実生産に成功し、近大マンゴーとして高い評価を得るとともに、附属農場で育成されたオリジナル品種「愛紅」も滑らかな食感を持つ品種として好評です。水田では稲作を行い、2020 年より酒米「山田錦」も栽培し、地元の老舗酒造と共同で、2021 年から「近大酒」を製造しています。

一方で附属農場は農場実習・体験学習や研究室のセミナーを行う場となっており、特に、農場実習・体験学習においては、直接作物や果実に手を触れることができるとともに、農業の実状を学ぶことができます。さらに、生産技術やスマート農業など農業に関する様々な課題解決を目的とした卒業研究を行うことができ、生物理工学部の学生も研究活動に利用されています。このような教育・研究のために、附属農場では宿泊が出来る施設を備えています。

学生生活トラブル対処法

（事例など）

ハラスメント防止のためのガイドライン

Harassment Prevention Policy of Kindai University

ハラスメントとは

❶定義

ハラスメントとは、人種・民族・国籍・出身・宗教・思想・信条・性・性的指向・年齢・障がいの有無・職務などによって生じる力関係を不当に利用して、教育・研究・医療・事務にかかわる就学・就労の場において、本人の意図にかかわらず相手の意に反する言動を行うことでその人格を傷つけたり、教育・研究・医療・事務にかかわる就学や就労の環境を悪化させることによって生じる人権侵害をいう。

加害者が組織である場合や匿名のインターネット上での誹謗、中傷など、間接的な方法での行為もハラスメントとされる。

ハラスメントには様々な種類があり、典型的な例として、次のような場合が想定される。また、複数の要素が重なり合ってハラスメントとなることもある。

① セクシュアル・ハラスメント

本人が意図する意図しないにかかわらず、相手が不快に思い、その人の尊厳が傷つけられたと感じるような性的言動及び、性差に基づいて相手を差別したり、脅威や屈辱感あるいは不利益を与えるなどの行為である。主に次のような場合が考えられる。性的要求への服従又は拒否を理由に、就学・就労上の利益又は不利益に影響を及ぼすこと。相手方が望まないにもかかわらず、性的誘いを行ったり、好意的な態度を要求すること。性的言動・図画・文書の掲示などにより不快や恐怖の念を抱かせるような環境を作り、個人としての尊厳を傷つけること。

以上の行為は教職員間、学生間、教職員と学生間など多様な関係において起こりうる。

［具体例］

・授業中や実習中に、不必要な身体への接触をする。
・授業中、授業の内容とは関係のない性的な内容の話をする。
・食事やデートにしつこく誘い、相手に不快感や恐怖心を与える。
・女性である（男性である）という理由だけで、仕事や研究学習の実績を不当に低く（高く）評価し、役割分担を決める。
・職場や研究室などのパソコンにアダルトページの画面を放置したままにする。
・性的指向の多様性を尊重せずに、不快な性的風評を流したりする。
・就学・就労上の地位や権限を持つ者が、特定の本学構成員と特別な関係を持つことによって、評価や人事上の決定などにおいて、その他の本学構成員に不利益並びに不平等を生じさせる。

② アカデミック・ハラスメント

研究・教育・医療の場における権力を濫用した嫌がらせや差別をさす。性別を問わず、研究活動、教育指導の際に、暴力的発言や行為などで相手に身体的・精神的苦痛や負担、又は極度のダメージを与えることをいう。

なお、教員・職員から学生へのみならず、教職員間・学生間における人格をおとしめるような言動も含まれる。

［具体例］
・正当な理由なく教育指導を行わず、研究及び学習活動を困難にする。
・実習結果・学習成果・論文などを不当に評価し、人格をおとしめたりして、精神的に虐待する。
・本人の意に反して、一方的な研究計画や研究テーマを強要する。
・心身の健康を害する可能性を生じさせる不当な課題達成を強要する。
・文献・図書や機器類を使わせないなどによって、研究遂行を妨害する。
・研究成果を不当に奪取する。
・他の専門領域を不当に低く評価するような言動をする。

③　パワー・ハラスメント

本人が意図するかしないかにかかわらず、就学・就労上の立場を利用して、その影響力を濫用する言動をさす。人格と尊厳を侵害する行動や言動で不安を与えたり、相手の意に反してその労力を搾取したりして、心身にダメージを与えることをいう。

［具体例］
・「できない奴だ」、「さっさと辞めろ」などと人格をおとしめるような言動をする。
・威嚇したり、恐怖を与えるような大声、怒鳴り声で話す。
・正当な理由なく、過剰な業務を課したり、時間外の労働を強いる。
・みせしめのように特定の者を攻撃し、周囲を萎縮させて支配力を得ようとする。
・仕事のやり方を十分に教えずに、少しでもミスをすると、不当に責める。
・職務上必要な情報を伝えない。
・課せられた仕事の遂行を理由なく妨害する。

④　その他のハラスメント

◆　モラル・ハラスメント

言葉や態度などによって人の心を傷つける精神的暴力をいう。周りからは些細なことのようにみえる行為でも、静かに・じわじわと・陰湿に繰り返し行われることで、想像以上の精神的苦痛をもたらす。

◆　サイバー・ハラスメント

インターネット空間におけるハラスメントをさす。

［具体例］
・個人又は団体に関する情報を無責任に流布する。
・ネット掲示板、電子メール、携帯メールなどを利用し脅迫する。
・恐怖心、不安感を誘発したり、差別を助長するなどの悪質な書き込みをする。
・ネットによる間違った情報を無根拠に信じて、何らかの判断基準に適用する。

◆　アルコール・ハラスメント

アルコール飲酒に関する嫌がらせ全般をさす言葉で、アルコール類の摂取の強要や酩酊状態に陥った者が行う各種迷惑行為などの社会的トラブルを含む。

◆　ストーカー行為

特定の他者に対して執拗につきまとう行為。典型的には特定の他者に対して好意又は怨恨を抱いてつきまとうなどの行為を繰り返すこと。

◆　その他

生命倫理などにかかわるハラスメント、その他さまざまなハラスメントを含む。

学校におけるハラスメント

学校の中では、授業、研究、ゼミ、サークルなどを通じて、さまざまな人間関係があり、また、教員、学生、職員、上級生・下級生など立場の異なる人がたくさんいます。それゆえに多様な局面で、大学はハラスメントが発生しやすい環境と言われています。

近畿大学は防止に積極的に取り組んでいます

近畿大学学園はハラスメント全学対策委員会を設置し、「近畿大学学園ハラスメント防止指針」を制定して、厳しい態度でハラスメントにのぞんでいます。本学に学び、勤めるすべての人が平等で安全な環境が保持できるように努めています。

また、各学部・学校などに防止委員会と相談窓口を設け、相談員が親身に話をきく体制を取っています。

ハラスメントの被害を受けたら

被害を受けたら嫌だという意思表示を

もし、ハラスメントの被害を受けたら、まず、はっきりとした態度で相手に「嫌だ」という気持ちを伝えましょう。ただ、他人を抗議したり、不快だという意思表示をするのは勇気のいることです。相手が自分の担当教員、職場の上司等であればなおさらです。もし、その場で相手に何も言えなかったとしても、自分自身を責めないでください。ハラスメントは、立場上強い相手が「いや」と言いにくい状況を利用して起こしているのです。

記録を残しましょう

いつ、どこで、誰から、どんな被害にあったか、そのとき誰かに相談したか、あなたがどんな対応をしたかなど、記録・証拠を残しておきましょう。悪質な電話は録音したり、手紙や電子メールは保存しておくことが大切です。それは誰かに事実を伝えたり、行動を起こすときの証拠になります。

相談窓口へ

各学部・学校の相談窓口では随時、電話、電子メール、個別面談などを受け付けています。相談を受け、必要に応じて調査・調停委員会を設置し、迅速に調査、問題改善に取り組みます。相談員はあなたのプライバシーと人権に配慮し、相談に当たります。名前を公表するようなことはありませんし、必要に応じて、カウンセラーや弁護士など、学内・外の専門家を紹介することもできます。

危険な誘惑に注意！

街頭セールス契約販売

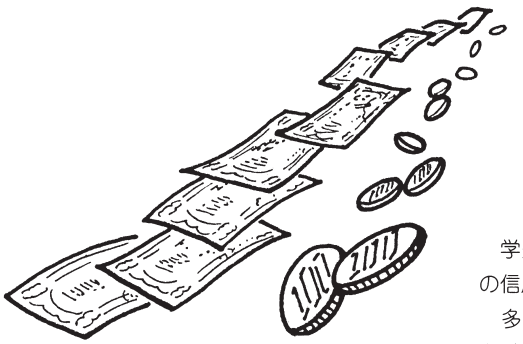
路上アンケートに要注意

キャンパス付近の路上でアンケート。
海外旅行や就職についての質問項目があります。最後に名前・住所・電話番号まで書かせる、その名簿をもとに電話で無差別攻撃。

**イヤなら
開き直って
“きっぱりことわれ”**

電話がかかってきたら要注意

学生ローン



悪魔のブラックホール

学生ローンとは、ひとくちに言えば「学生に対し、小口かつ短期間の信用貸を目的とする貸金」のことです。

多種多様の業者がありますが、共通している点として、①信用貸（無担保）のため、学生証さえあれば簡単に貸してくれる、②一般に高金利である、③返済が滞ると取立てが厳しい、などがあげられます。

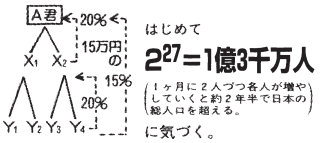
簡単にすぐ借りられるということは便利で魅力的かもしれませんが、返済計画を持たずに、安易に借金をすることにもなりがちです。そのはてには返済のため、学生生活が崩壊するといったケースもあり、各大学でも深刻な問題となっています。

★“日歩”とは、100円を1日借りたときの利息で100銭＝1円なので、日歩20銭は0.2/100×100＝0.2%。
年利では0.2%×365日＝73.00%となります。

《実際にお金を借りた場合の利息と返済額の例》

	借入額	1日当りの利息	1年後の元利金
日歩20銭 年利73%	10万円	200円	173,000円
	30万円	600円	519,000円
	50万円	1,000円	865,000円

マルチ商法



「商品を売る会員を紹介したら、イクラの儲け」と誘われたらマルチと思え。

Ａ君は、高校時代の友人のＢ君から「ボロいもうけ口がある」と、男物の反物の購入者を勧誘するアルバイトに誘われた。会員を増すと会社に連れていき、品物を受取り、同時に「販売員」となった契約をとり交す。次々と会員を増すと「莫大な利益がころがりこむ」はずであった。
しかし、結果はみてのとおり。

ひきずりこまれた人が、また人をひきずりこむ、人狩り商法。学生が最大のターゲット。

こんな悪どい例もあります。

（例）アルバイト先で「もっとボロい儲け口がある」と誘われ、翌日、事務所にいった。見なり正しき社長が、商売の話どころか世間話。その夜、盛り場でいい思いをさせられる。しばらしくて、再び連絡があり、健康器具160万円の販売員となるよう説得される。しかたなく半額をサラ金から借り、そのあと残金を持って再び事務所を訪れた時に、「あのう、やっぱりやめさせて下さい」と切り出したところ、とたんに「いい思いをしといて何だ。親や大学にバラすぞ！金は返す。しかし違約金は契約金の２倍だから、320万円払え！」と、すごまれ、泣く泣く残金を払った。しかし、目的の会員勧誘はうまくいかず、収入になるどころか、サラ金の利息に追い立てられ、ついに大学をやめざるを得ないところまでに追いこまれた。

入会勧誘

しつこくせまる不明団体

大学通りを歩いていたＧ君は、見知らぬ若い女性から声をかけられた。「あなたの大学生活の目的や信仰についてのアンケート調査に協力してほしい」ということだったので快く応じたところ、住所や名前をたずねられた。Ｇ君は、アンケート調査で住所や名前を聞くのは、「おかしいな」と思ったけれど、相手の穏やかな口調や態度にすっかり安心し、これに答えた。

数日後、Ｇ君の下宿に若い男女２人がたずねてきた。女性の方は、この前大学通りでアンケートをとっていた女性で、双方とも○○大学××学部の学生と、礼儀正しく名乗り、２人が所属している団体の勉強会に「一度来てみないか」と熱心に誘われた。

Ｇ君は親元を離れての下宿生活という寂しさもあって、一度だけならと参加した。「一度だけ」と思って参加したものの、その後も参加するようにとしつこく誘われ、参加しないでいると、下宿まで迎えに来るため、どうしても断わり切れず、そのうち、泊りがけの研修会のようなものに何度か連れていかれ、結局その団体の虜になってしまった。

Ｇ君は自分の下宿を引き払い、同じ団体の会員が共同で生活する合宿所のようなところに移り住んだ。

心配した両親が、Ｇ君をその合宿所から連れ出し、郷里に連れて帰ったが、数ヵ月後その団体の会員の手引きにより、Ｇ君は親元を逃げ出した。

その後、Ｇ君は学業半ばで大学を去り、現在行方不明となっている。

悪徳商法に注意

●架空請求

利用した覚えがない架空の、有料アダルト番組の利用料、ツーショットダイヤル、ダイヤルＱ２と称する情報料、債権などを請求する文書が、電子メール、はがき、封書、電報で届いたが不安であるなどという相談が、日々全国の消費生活センターに次々と寄せられているそうです。

請求書には「入金がない場合には自宅、勤務先へ回収に出向く」等々の不安を感じる文言も書かれているようです。

数年前から、このような悪質な手口は繰り返されており、再発防止策の網の目をくぐって、新たな手口が次々に出てきています。例えば、これまで請求書には送金先として銀行口座名が明記されていましたが、金融機関の対処が厳しくなると、今度は現金書留での送金、電話で送金先を知らせるなどの方法が考え出されています。

◎最近の主な手口

- **「公証人役場において認証を受けた公的な債権証書です」と記載し、確定日付を付した請求書**
- **裁判所の支払督促や少額訴訟を装う、または悪用する手口**
- **公的な機関に似た名称、弁護士・法律事務所をかたった手口**

※国民生活センターから、こうした架空請求に対しては次のように対処するようにアドバイスを受けています。

(1) 利用していなければ払わない

まったく根拠のない架空請求が横行しています。これらは、何らかの名簿を入手した悪質事業者が、その名簿に基づき、アトランダムに根拠のない請求書を大量に送ったものと思われます。

請求書には「回収員が自宅へ出向く」「勤務先を調査」「給料の差押え」「強制執行」「信用情報機関に登録」など不安をあおるような脅し文句が書いてあることもあり、請求書を送りつけられた人の中には、関わりたくなくて振り込んでしまったり、あるいは過去に自分が使った別事業者の請求と勘違いしたり、家族が使ったと思いこんだりして、支払ってしまうケースがあるようです。

こういった架空請求に対して消費者ができる対策は、支払わずに放置し、脅し文句にひるまないようにしましょう。

(2) 最寄りの消費生活センターへ相談してみる

請求された内容について不明な点があったり、不安を持った場合には、相手に連絡・料金を支払う前に、まず**消費生活センター**に相談しましょう。同じ文面の請求書が多くの人に届いているなどの、架空請求の情報やアドバイスが得られます。

> 「裁判所からの支払督促」や「少額訴訟の呼出状」と思われる場合は、書類の真偽の判断はむずかしいので、放置せず、すぐに消費生活センターに相談することが重要です。裁判所の管轄地域・連絡先については、最高裁判所のホームページ内各地の裁判所でも確認することができます。

(3) これ以上の個人情報は知らせない

郵送の場合は、請求書が実際に届いているので、事業者は名前と住所は知っていることになります。また、電子メールの場合では事業者はメールアドレスを知っていることになりますので、苦情の連絡等をいれてしまうと、新たに電話番号などの個人的な情報を知られてしまい、今度は電話などの別の手段で請求してくることが予想されます。個人的な情報を知られることは絶対に避けて下さい。

(4) 証拠は保管

今後何らかのアクションが業者からあった時のために、請求のはがき、封書、電子メールは保管しておく方がいいでしょう。

(5) 警察へ届け出を

根拠のない悪質な取り立ての場合は、警察に届けておきましょう。

※何度もメールで架空請求が届くような場合には

ご利用のプロバイダーの迷惑メールに関する情報を確認したり、携帯電話会社の**「迷惑メール撃退サービス」**を利用して**ブロック**しましょう。

◎資格商法

ダイレクトメールを送りつけておいて、頃合いを見て「就職、昇進に有利」「高収入が得られる」などと言って、士業（行政書士や社会保険労務士など）の受験教材を高額で売りつける商法です。申し込むとテキストは送られてくるのですが、教材の中身が非常に貧弱です。また、「退会するには費用がかかる」、「合格していないので講座は継続している」などと二次被害が多いのも特徴です。

◎内職商法

電話や折り込み広告、雑誌などで「自宅に居て高収入」「勉強の合間に、小遣い稼ぎ」など誘い、その為の機材や教材を購入させ、実際は難癖をつけて仕事を紹介しなかったり急に連絡が取れなくなってしまうという商法です。

◎ネガティブオプション（送り付け商法）

ある日突然、注文もしていないのに、一方的に商品が送り付けられます。送りつけられた側は、家族の誰かが注文したものだと、つい勘違いをして代金を支払ってしまう商法です。

◎ねずみ講

商品販売を目的とせず、金銭配当組織を目的とする非合法な活動です。

ねずみ講は、無限連鎖講と呼ばれ訪問販売法で規制されています。実際に商品を売るのではなく、金品を出させ、先順位者に連鎖して段階的に金品の配当組織を作ります。マルチ商法とネズミ講の違いは、商品やサービスが介在するのがマルチ商法で、単なる金品の配当組織がネズミ講といえます。

友人、知人からのうまい話にも注意が必要です。知らないうちに組織に加担している場合があります。

※最近では、インターネットを利用したマルチ商法やネズミ講の被害が拡大していますので、十分注意してください。

例えば、マネーゲームへの参加を勧誘する電子メールが送られてきて、違法性を知らずに参加してしまうようなケースもあります。電子メールを使うと、だれが開設者か非常にあいまいになり、被害に気づいてから組織と連絡を取ろうとしても、インターネット上の画面を閉鎖されるとどうすることもできませんので、くれぐれも注意してください。

◎サイバー犯罪

サイバー犯罪とは、コンピュータやインターネットを利用した犯罪のことです。

インターネットの利用者が急激に増加する中で、それに伴ってサイバー犯罪が増加しています。犯罪の被害者にまた当事者とならないための情報を得ることも大切です。警察庁サイバー犯罪対策のホームページ https://www.npa.go.jp/cyber/ にもアクセスしてみてください。

◎霊感商法

最近あまり耳にしなくなりましたが、「先祖の霊が祟っている」「このままだと家族に不幸が起こる」などと脅かして祈祷等の名目でお金を取る商法です。高額な数珠や健康食品などを買わされることになり、宗教的な要素が強いので、被害額が高額なことが特徴です。

他にも、色々な悪徳商法や詐欺が多々あります。

代表的な例を掲載していますが、ふとした気の緩みからつけこまれるケースがありますので、くれぐれも十分に注意をはらって大学生活を楽しんでください。

怪しいなと思ったら、まずは**「消費生活センター」**や**「警察」**に電話相談をするか、届出を必ずしましょう。

クーリング・オフを

●クーリング・オフとは？

訪問販売などの特定の販売方法で取引をした場合、自分の意志がはっきりしないまま契約をしてしまうこともあります。後で頭を冷やしてじっくり考え直すチャンスがクーリング・オフです。契約書面を受け取ってから一定期間内であれば、無条件に契約解除できる制度です。

●クーリング・オフできる契約と期間

	販売方法	クーリング・オフ期間
訪問販売	家庭訪問販売・キャッチセールス・SF商法・アポイントメントセールス	8日
通信販売	電子商取引（ネット取引）・通信販売	できない
電話勧誘	電話によるセールス（資格・内職商法など）	8日
特定継続的役務	エステ・家庭教師・語学教室・学習塾 パソコン教室・結婚相手紹介サービス	8日（店舗契約も可）
連鎖販売取引	マルチ商法・人狩商法・紹介商法など	20日
業務提供誘引販売	内職・モニター商法	20日

●その他法律でクーリング・オフできるもの

	販売方法	クーリング・オフ期間
現物まがい商法	特定商品・施設利用権の預託取引	14日
海外先物取引	海外先物　事務所以外の取引で	契約締結日の翌日から14日
宅地建物取引	宅建業者が売主で店舗外の契約	8日
投資顧問契約	投資顧問業者との契約　清算義務有り	10日
ゴルフ会員権の募集	50万円以上のゴルフ会員権で、新規募集分	8日
保険契約	保険期間が１年以下の契約を除く	8日

知っていますか？

●クーリング・オフの効果

契約解除の通知は書面または電磁的記録でします。書面を発信した時に契約は解除となります（発信主義）。解除の理由は必要なく、一方的に解除ができます。

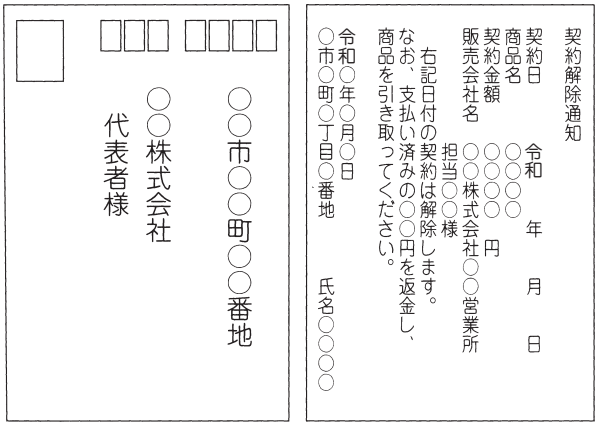
クーリング・オフをすると、商品返品などにかかる費用は一切負担する事はありません。支払い済みの代金は全額返金されます。

●クーリング・オフができない場合

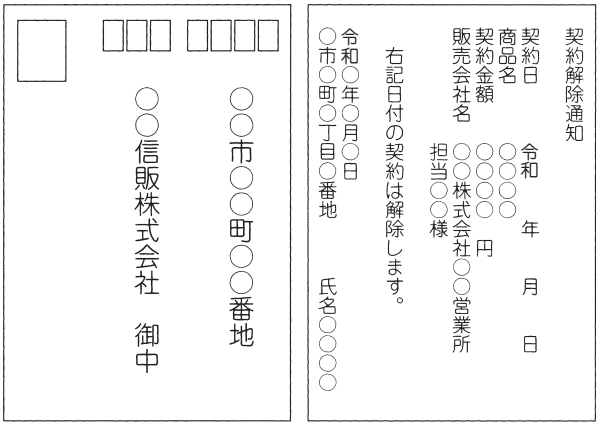
① 化粧品や医薬品等の消耗品を使用した場合、使用・開封分は支払い義務があります。
② 通信販売で買った場合
③ 代金総額が3,000円未満で現金で支払った場合
④ クーリング・オフしたい商品や役務が法律で指定されていないもの

●クーリング・オフの書き方（ハガキの場合）

▼販売会社に通知する際の一例



▼クレジット会社に通知する際の一例



※簡易書留郵便で発信する。
※ハガキは必ずコピーをとって保管する。

被害にあったら

○和歌山キャンパス学生センター　☎(0736)77−3888

○訪問販売	和歌山県消費生活センター	☎(073)433−1551
	岩出市消費生活相談	☎(0736)61−6966
	紀の川市商工労働課	☎(0736)79−3919
○交通事故相談	和歌山県交通事故相談所	☎(073)441−2359

女性を狙った犯罪からあなたを守るために

下校時間帯から夜中にかけての被害、道路上や共同住宅での被害が多く他人事と思わず、目を向けてください。

「**ふりむいて**」３つの危険があなたを狙っている。**声かけ・チカン・ひったくり**

こんなことに気を付けましょう

【外出編】

暗い時間、暗い道、１人歩きは、できるだけ避け、遠回りでも明るい道、人通りの多い道を選びましょう。

携帯電話を使い**ながら**、音楽プレイヤーを聞き**ながら**歩くのはやめましょう。

道で声を掛けられた時、**相手が手を伸ばしても届かない距離**を開けて対応をしましょう。

車内から声を掛けられた時、決して**顔や腕などを車内に入れない**ようにしましょう。

いざという時は、**大声**を出したり、**防犯ブザー**を鳴らしたり、持っているカバンを振り回したりするなどして、すぐに**逃げ**ましょう。

【帰宅編】

オートロックする時も**後ろ**に注意

マンション内の**階段・廊下**でも時々**後ろ**を振り返って不審者がいないかを確認し、自室の玄関のカギを開ける前にも不審者がいないかを確認しましょう。

自室に入ったらすぐにドアを閉めてカギをかけましょう。

エレベーター内では、**非常ボタン等押せる操作付近**にまた、同乗者に**背を向けず**に立ちましょう。

【自宅編】

女性の**ひとり暮らしとわからないよう**に工夫をしましょう。

玄関ドア、ベランダ、ガラス戸、窓にはきちんと**カギ**をかけましょう。

訪問者が対応してよい相手であることを確認できるまでは、**ドアチェーンやドアの鍵**は**開けない**ようにしましょう。

被害に遭ったときは１人で悩まずに相談をしてください

緊急のときは、**110 番**を！　最寄りの警察へ

携帯電話等を販売店からだまし取り行為は犯罪となります。

携帯電話等の転売目的の契約バイトは絶対にしない。

購入代金・利用料金を支払う意思もないのに、携帯電話を契約し、販売店からだまし取った携帯電話をアルバイト斡旋業者なるもの（知人や先輩など）に渡し、アルバイト料を貰う行為です。

携帯を契約するバイトです。

簡単に稼げます。

即日現金を渡します。

請求書は無視してもらえばいいです。

契約した携帯電話は、当方で転売します。等々

転売目的で、契約した携帯電話等の購入代金や、利用料金の支払う義務がなくなるわけではありません。

安易な気持ちで犯罪に加担しないようにしましょう。

電話による警察への相談窓口（24 時間受付）

性犯罪に関する相談
・＃ 8103（プッシュ回線・携帯電話等）
・073 － 423 － 1150

悪質商法 110 番
・073 － 423 － 4194

犯罪被害・犯罪の未然防止・地域の安全と平穏に関する相談
・＃ 9110（プッシュ回線・携帯電話等）
・073 － 432 － 0110

学内施設案内

学生コミュニティホール（体育館）

学生コミュニティホールは学術・文化・体育活動を通じて、健全な人格形成に寄与する目的で、学生同士のコミュニケーション活動および、憩いの場として設置されています。学生コミュニティホールを活用して、学生生活をより有意義なものにしてください。

基本開館時間　平日　9：00 ～ 21：00（長期休暇中は除く）

１Ｆ	ロビー・ホール	－	休憩コーナー、自動販売機設置
	体育館	－	使用許可が必要〈下記参照〉　※土足厳禁
	シャワー室	－	部室使用許可団体の部員のみ〈必ず使用名簿記入〉
２Ｆ	部室	－	部室使用許可団体の部員のみ〈清掃義務あり〉

※喫煙・飲酒は厳禁です。

※どの場所を使用する場合も、使用後に清掃することが使用者のマナーです。

体育館の利用方法

使用希望日の１カ月前から１週間前までの期間に申請が必要です。

１グループ使用時間は、下記の時間帯内で原則として２時間までとします。

●（月～金）	9 ：00 ～ 21：00
●（土曜）	9 ：00 ～ 17：00
〈長期休暇中	9 ：00 ～ 17：00〉

○休日（日曜・祝祭日・事務休業日）は原則として利用不可

申請者は「校舎等借用許可願」を、教務・学生に提出してください。ボール等物品の貸出は原則行っておりません。

研究室や学生団体でスポーツ大会などの行事を開く場合は、「行事許可願」が必要になります。

※　事前予約を受け付けていても、体育の授業や学校行事のために使用が取り消しになる場合があります。

学生コミュニティホール（体育館）使用者の心得

１．通常は施錠されています。「校舎等使用許可書」を申請のうえ、鍵の借用を行ってください。

２．体育館内は、飲食厳禁です。（ホールは飲食可。）

３．体育館内は、必ず上履き着用となります。

４．体育館使用後は、片付け、モップ掛けをお願いします。（利用時間内にお願いします。）

５．終了時、守衛室へ報告し、施錠依頼をしてください。

以上、代表者が責任をもって参加者に周知徹底してください。

皆が気持ちよく使えるよう、ご協力をお願いいたします。

カフェテリア（食堂）・コンビニエンスストア

学内の飲食や購買の施設としてはカフェテリア（食堂）、コンビニエンスストアがあります。また、その他にも紀陽銀行の ATM があります。営業時間は下記のとおりです。各施設の場所は、P. 211 の地図を参照してください。

カフェテリア（食堂）	**8：30 ～ 19：00**（土曜日は 15：00 まで）	
	ホール利用は	平　日 7 ：30 ～ 19：30 土曜日 8 ：00 ～ 16：00
（カフェテリア横 BOST コミュニケーションスペースはホール利用時間と同様）		
コンビニエンスストア	**8 ：00 ～ 19：00**（土曜日は 17：00 まで）	
紀陽銀行ＡＴＭ	**9 ：00 ～ 18：00**（土・日曜は取扱いしません）	

※いずれも休日は休業です。（夏期・冬期休暇中は営業時間が異なります。）

「受講するにあたっての注意」の項でも述べましたが、大学生として常識的なマナーをわきまえ行動してください。講義室でのペットボトルなどの放置、食堂での食後の食器の片付けをしないことなどが最近特に見受けられます。このようなことが続くと大学としても厳しい対処をとらざるを得なくなります。各自が自覚を持って行動してください。

○　喫煙について

喫煙が健康に及ぼす悪影響は、喫煙者にがんや心臓病、脳卒中、肺気腫、喘息などの特定の疾病の罹患率や死亡率が高いことやこれらの疾病の原因と関係があることは多くの疫学研究等により指摘されています。

そして、他人のたばこの煙を吸わされる受動喫煙について健康への悪影響もあります。受動喫煙は、流涙、頭痛などの症状だけでなく、肺がんや虚血性心疾患等の疾患の死亡率が上昇したり、非喫煙妊婦でも低出生体重児の出産の発生率が上昇するといった研究結果が近年多く報告されています。

自分自身の健康のためにも、また周囲の人の健康に害がおよぶことのないようにマナーを守り、なるべく禁煙しましょう。

キャンパス内での禁煙、喫煙について、次の事項を厳守してください。

⑴　**建物内全館禁煙**

⑵　**「くわえタバコ」の厳禁（歩行中の喫煙厳禁）**

⑶　**タバコの吸殻の「ポイ捨て」の厳禁**

⑷　**喫煙は灰皿の設置場所のみとします**

（喫煙場所についてはＰ.211 の学内図を参照）

○　NO！DRUG ～薬物のない学生生活のために～

薬物の危険は意外なほど身近に迫っています。軽い気持ちから手を出し、依存→慢性中毒→乱用を繰り返す事になります。薬物乱用の最大の怖さは依存形成です。あなただけの問題ではありません！家庭も社会も不幸になります！

「薬物は人生をこわす！」

「薬物は社会をこわす！」

○　アルコールについて

「酒は百薬の長」といわれるように、適量以下の飲酒は血行を早め各臓器の働きを促進させます。しかし、適量を超過すると肺水腫や肝炎などの重篤な病気になることがあります。また、自分の許容量を越える量のアルコールを短時間で摂取すると、体内の血中アルコール濃度が一気に上昇し、呼吸困難や意識障害を引き起こし「急性アルコール中毒」というとても危険な状態になります。

そのようなことがないようにアルコールとは上手に付き合いましょう。

くれぐれも「イッキ飲み」など無理な飲み方はしないようにしましょう。

また無理に人にお酒を勧めることも絶対にしてはいけません。

※20歳未満の飲酒は法律で禁じられております。

本学ではこれらの違反は厳格な懲戒処分の対象となります。

入学時に配付した「マナー＆防犯ガイドブック」を熟読してください。

○　あいさつ運動

将来､社会人として活躍するために､学生生活のなかで､最も身近に取り組める行動が『あいさつ』です。良好な人間関係とコミュニケーションを築くために、自分から率先してキャンパス内の学生・教職員に「おはようございます」「こんにちは」から、あいさつをはじめましょう。

○　ロッカーの貸出について

体育実技（男子・女子)、実験・実習（女子）の際にはロッカーを使用できます。使用したい場合、鍵を貸出しますので教務･学生窓口で手続きをしてください。貸出期間は当該科目受講期間とします。ロッカーの鍵は返却期限（受講科目が前期のみの場合は７月）までに必ず返却してください。返却しない場合、ロッカーの中のものは処分します。また鍵を紛失した場合、実費 2,000 円を徴収します。

なお、貸出数には限りがあります。

国際交流

海外留学

本学の海外留学制度には次のものがあります

１．交換・派遣留学

本学が交流協定を締結している外国の大学へ留学希望者の中から選考のうえ海外留学生として派遣する制度です。

留学期間は１年間です。

２．認定留学

本学の学術交流協定校以外の外国の大学へ学生が留学を希望する場合、本学の認定を受け留学する制度です。留学期間は１．と同様です。

留学についての心がまえ

留学を成功させるには、語学力はもちろんのこと、留学の目的を明確にし、情報収集を行って十分な準備計画を立てる必要があります。特に英語圏では TOEFL®のスコアが留学の条件となります。原則として TOEFL® iBT 61 点以上の得点が必要です。

くわしくは、近畿大学 HP「留学プログラム」を参照してください

語学研修

海外留学制度のほかに、休暇期間を利用して次のとおり海外語学研修を実施しています。

※　○印の大学で所定の成績を修めれば、外国語科目「海外研修（英語）」で単位認定されます。

◎海外研修一覧表（過去の実績）

	研　修　先	研修期間（予定）	募集人数
夏期	○ カルガリー大学　（カナダ）	8月上旬～約4週間	各20名程度
	○ ダブリンシティ大学　（アイルランド）		
	○ ボンド大学　（オーストラリア）		
	漢陽大学　（韓国）		
春期	○ ブリティッシュ・コロンビア大学　（カナダ）	2月中旬～約4週間	
	○ サザンクロス大学　（オーストラリア）		
	○ ワイカト大学　（ニュージーランド）		
	高麗大学　（韓国）		
	国立台湾師範大学　（台湾）		

※研修先大学の都合や、応募状況により実施しない場合があります。

＊各大学とも本学教員が事前の指導を担当します。
＊研修費用（授業料、宿泊費、課外プログラム参加費、航空運賃など）は約20万円～約70万円です。
＊全ての学部・大学院の学生が参加できます。
＊語学力は問いませんが、日頃から語学力をつけるよう努力しておくとより効果的な研修になります。
　また、将来留学を目指す人にとっては大いに役立つことでしょう。
＊申込方法等はUNIPAでお知らせします。詳しくは募集要項を参照してください。
＊近畿大学ホームページ内のグローバル教育・留学のページでも詳細を確認できます。

◎海外留学や語学研修についての相談は語学担当教員または教務・学生窓口にお問合せください。

教員プロフィール

令和７年４月現在
（学科別・50音順）

149ページの前

生物工学科

氏　　名：秋田（あきた）　求（もとむ）　教授　　**研究室名**：細胞工学
最終学歴：筑波大学大学院　　**専門分野**：植物細胞工学
学　　位：博士（農学）（筑波大学）　　**前勤務先**：協和発酵工業（筑波研究所）
主担当科目：植物細胞工学、細胞生物学Ⅲ
趣味スポーツ：野鳥観察、お茶、謡曲
好きな言葉：「三帰依」
学生に勧めたい書物：生物と無生物のあいだ（福岡伸一著、講談社現代新書）、したたかな生命（北野宏明、竹内薫著、ダイヤモンド社）、〈わかりやすさ〉の勉強法（池上彰著、講談社現代新書）
学生へのメッセージ：言葉はすべての基本です。特に、正しい日本語を正しい文字で書く訓練を怠らないで下さい。

氏　　名：岡南政宏（おかなみまさひろ）　講師　　**研究室名**：環境生物工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：分子生物学、生化学
学　　位：博士（理学）（京都大学）　　**前勤務先**：国立奈良先端科学技術大学院
主担当科目：分子生物学Ⅰ・Ⅱ、遺伝子発現制御学、生物工学基礎生物学実験
趣味スポーツ：ミュージカル鑑賞、ドライブ、飲食
好きな言葉：「正直と勤勉とを汝の不断の伴侶たらしめよ」（ベンジャミン・フランクリン）
学生に勧めたい書物：「泥流地帯」「続・泥流地帯」（三浦綾子）
学生へのメッセージ：大学に入るまでは如何ほどinputするかが問われたと思いますが、社会に出ると如何にoutputできるかが問われます。大学4年間はその移行期間です。4年間を有意義に使い大きく成長することを願っています。「他人が自分より優れていたとして、それは恥ではない。しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは立派な恥である。」

氏　　名：梶川昌孝（かじかわまさたか）　准教授　　**研究室名**：植物育種学研究室
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：植物分子生物学、植物生理学
学　　位：博士（生命科学）（京都大学）　　**前勤務先**：京都大学大学院生命科学研究科
主担当科目：基礎遺伝学、遺伝子工学、情報処理基礎Ⅱ
趣味スポーツ：ハイキング、夏山縦走、歴史書通読、洋画鑑賞
好きな言葉：温故知新、人生万事塞翁が馬
学生に勧めたい書物：君たちはどう生きるか（岩波文庫）吉野源三郎、1分で話せ　世界のトップが絶賛した大事なことだけシンプルに伝える技術（SBクリエイティブ）伊藤洋一
学生へのメッセージ：大学での4年間は自分が思うよりもずっと早くに過ぎてしまいます。大学での時間を有意義なものにするためには、大学で成し遂げたいことを明確にし、そのために必要なことを調べ、着実に実行することに努力を惜しまないことが重要です。

氏　　名：梶山慎一郎（かじやましんいちろう）　教授　　**研究室名**：生物機能物質工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生物有機化学・細胞工学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）　　**前勤務先**：大阪大学大学院工学研究科
主担当科目：生化学Ⅰ・Ⅱ、生物機能物質化学
趣味スポーツ：音楽鑑賞
好きな言葉：Three "C"　☆Courage= 勇気　☆Challenge= 挑戦　☆Continuation= 継続
学生に勧めたい書物：J.Mayer & J.P.Holms「アインシュタイン150の言葉」（ディスカバー21）
中谷彰宏「大学時代にしなければならない50のこと」（PHP文庫）
瀧澤美奈子「植物は感じて生きている」（化学同人）
学生へのメッセージ：大学での研究には用意された“答え”はありません。自ら論理性をもって路を見出し、実行力を持って解決して行くことになります。一見つらいようですが、結果を得たときの喜びもまた一入です。ぜひ一緒に新しい分野にチャレンジしましょう。

生物工学科

氏　　名：藏下（くらした）　はづき　助　教　　**研究室名**：環境生物工学研究室
最終学歴：博士（工学）（長岡技術科学大学）　　**専門分野**：環境微生物
学　　位：博士（工学）　　**前勤務先**：長岡技術科学大学　大学院
主担当科目：環境微生物
趣味スポーツ：ドライブ
好きな言葉：塵も積もれば山となる
学生に勧めたい書物：アルジャーノンに花束を
学生へのメッセージ：身構えずにいていただけると嬉しいです

氏　　名：坂本（さかもと）　勝（まさる）　准教授　　**研究室名**：生産環境システム工学
最終学歴：神戸大学大学院　　**専門分野**：植物生理学
学　　位：博士（農学）（神戸大学）　　**前勤務先**：シャープ(株)
主担当科目：植物生理学、基礎植物学
趣味スポーツ：体を動かすこと、食べること、寝ること
好きな言葉：大丈夫
学生に勧めたい書物：福沢諭吉「学問のすすめ」
学生へのメッセージ：最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である（チャールズ・ダーウィン）。

氏　　名：鈴木（すずき）　高広（たかひろ）　教　授　　**研究室名**：生産環境システム工学
最終学歴：名古屋大学大学院　　**専門分野**：生物化学工学
学　　位：農学博士　（名古屋大学）　　**前勤務先**：日本ロレアル株式会社
東京理科大学理工学部
主担当科目：応用生物工学Ⅰ、応用生物工学Ⅱ、
応用生物工学Ⅲ
趣味スポーツ：旅行、野球、読書
好きな言葉：人生万事塞翁が馬
学生に勧めたい書物：鈴木高広「イモが日本を救う！」（WAVE 出版）
学生へのメッセージ：人生、何が幸いするかは誰にも分らないものですが、“不断” の努力しだいです。

氏　　名：藤澤（ふじさわ）　雅夫（まさお）　教　授　　**研究室名**：分子生物工学
最終学歴：近畿大学大学院　　**専門分野**：生物物理化学
学　　位：理学博士（近畿大学）　　**前勤務先**：近畿大学理工学部研修員
主担当科目：化学Ⅰ・Ⅱ、生物物理化学、化学実験
趣味スポーツ：Ｂ級映画鑑賞、ドライブ
好きな言葉：二律背反
学生に勧めたい書物：三島由紀夫著「若人よ蘇れ」、柳田國男著「山の人生」
学生へのメッセージ：自分の本当の声に耳を傾けましょう。

生物工学科

氏　　名：星（ほし）　岳彦（たけひこ）　教授　　**研究室名**：生物生産工学
最終学歴：千葉大学大学院　　**専門分野**：植物生産工学、植物環境調節工学、農業情報工学
学　　位：博士（学術）（千葉大学）　　**前勤務先**：東海大学開発工学部
主担当科目：植物生産環境工学、植物生産情報工学
趣味スポーツ：珍奇植物、そば打ち、工夫茶
好きな言葉：有之以為利、無之以為用。（何かが有ることで利益があるのは、無いことが効用しているからである・老子道徳経上十一）
学生に勧めたい書物：「植物はそこまで知っている」ダニエル・チャモヴィッツ、「ホモ・デウス」ユヴァル・ノア・ハラリ、「物の本質について」ルクレーティウス
学生へのメッセージ：学ぶことを楽しむ人は最強です。

氏　　名：堀端（ほりばた）　章（あきら）　教授　　**研究室名**：植物育種学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：植物育種学
学　　位：博士（工学）（近畿大学）　　**前勤務先**：株式会社三菱化学
主担当科目：計量生物学、植物育種学、植物栽培環境学
趣味スポーツ：音楽鑑賞
好きな言葉：気に入らぬ風もあろふに柳哉
学生に勧めたい書物：「韓非子」－論理的な論議の進め方を教えてくれる。「風土」（和辻哲郎）－自然と人間との関わりを考えさせてくれる。
学生へのメッセージ：状況を受け入れて、その中で芽吹くたくましさを身につけて下さい。

氏　　名：松川（まつかわ）　哲也（てつや）　准教授　　**研究室名**：生物機能物質工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生物有機化学
学　　位：博士（農学）（京都大学）
主担当科目：生物分析化学、機器分析化学、有機化学基礎
趣味スポーツ：読書、音楽鑑賞、子供に遊ばれること
好きな言葉：義理・人情
学生に勧めたい書物：唐詩選、論語
学生へのメッセージ：型にはまらず自信をもって／

氏　　名：大和（やまと）　勝幸（かつゆき）　教授　　**研究室名**：細胞工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：植物分子遺伝学
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：京都大学大学院生命科学研究科
主担当科目：細胞生物学Ⅰ・Ⅱ、生物情報学
趣味スポーツ：犬と散歩、工作
好きな言葉：信ずる者は足すくわれる（＝情報を鵜呑みにしない）
学生に勧めたい書物：「捕食者なき世界」（ウィリアム・ソウルゼンバーグ著　野中香方子訳）植物まるかじり叢書全5冊「植物が地球をかえた！」など（日本植物生理学会　監修）
学生へのメッセージ：教科書に載っていない新しいことを、共に見つけましょう。

遺伝子工学科

氏　　名：小田春佳（おだはるか）　講師　　**研究室名**：発生遺伝子工学研究室
最終学歴：名古屋大学・大学院　　**専門分野**：細胞生物学、発生生物学
学　　位：博士（理学）（名古屋大学）　　**前勤務先**：CNRS（フランス国立科学研究センター）
主担当科目：統計学、エピジェネティクスと遺伝子発現制御、生殖工学実験
趣味スポーツ：読書、ハイキング、ポッドキャスト視聴
好きな言葉：一隅を照らす（最澄）
学生に勧めたい書物：孤独なバッタが群れるとき（前野ウルド浩太郎）、スノーボール・アース（ガブリエル・ウォーカー）、DNA からみた生物の爆発的進化（宮田隆）、遺伝暗号のナゾにいどむ（岡田吉美）
学生へのメッセージ：大学 4 年間は、興味と関心を自由に広げ自ら学ぶことのできる貴重な時間です。座学だけでなく、実験や体験を通じて自身の世界を広げてください。

氏　　名：齋藤貴宗（さいとうたかむね）　准教授　　**研究室名**：発生遺伝子工学
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：遺伝学、分子細胞生物学
学　　位：博士（理学）（大阪大学）　　**前勤務先**：Harvard Medical School
主担当科目：動物学、タンパク質機能学
趣味スポーツ：野球、節約
好きな言葉：Genetics doesn’t tell a lie.
学生に勧めたい書物：At the bench（Kathy Barker）
学生へのメッセージ：Never give up!

氏　　名：髙木良介（たかぎりょうすけ）　講師　　**研究室名**：進化多様性生物学
最終学歴：近畿大学大学院　　**専門分野**：分子生物学
学　　位：博士（工学）（近畿大学）　　**前勤務先**：株式会社メイスイ技術本部
主担当科目：遺伝子工学実験、遺伝子工学
趣味スポーツ：ドライブ、釣り、山登り、キャンプ
好きな言葉：一言芳恩、試行錯誤
学生へのメッセージ：この学部は自然に囲まれていて静かなので、学ぶには適した環境だと思います。ここで充実した 4 年間を過ごすためには意欲を持って行動することが大事です。待っているだけでは得られるものは少ないと思います。積極的に行動することを心掛けて下さい。

氏　　名：田口善智（たぐちよしとも）　准教授　　**研究室名**：遺伝子機能制御学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：分子生物学
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：日本学術振興会研究員
主担当科目：生体構成分子、微生物学、遺伝子工学実験
趣味スポーツ：旅行、ドライブ
好きな言葉：人間万事塞翁が馬
学生に勧めたい書物：「タンパク質の一生－生命活動の舞台裏」永田和宏
学生へのメッセージ：学生時代の友人は、学校を卒業した後で、とても貴重な存在になってくれます。大学生でいるうちに、たくさんの人と知り合いになって下さい。

遺伝子工学科

氏　　名：永井宏平（ながい こうへい）　准教授　　**研究室名**：分子情報解析学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：疾患プロテオミクス、農学プロテオミクス
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：聖マリアンナ医科大学 生化学教室　助教
主担当科目：医用遺伝子工学概論、生命科学のための分析化学
趣味スポーツ：読書、育児、家族そろっての散歩
好きな言葉：私は実験において失敗など一度たりともしていない。これでは電球は光らないという発見をいままでに、２万回してきたのだ。（トーマス・エジソン）
学生に勧めたい書物：「代替医療のトリック」（サイモン・シン＆エツァート・エルンスト著）「実存からの冒険」（西研著）
学生へのメッセージ：大学で学んだ知識を生かすのも殺すのもあなた次第です。困難な状況に陥った時に、周りに流されず、自分の意思で行動するための生きた知識を学びとってください。

氏　　名：中西　章（なかにし あきら）　教授　　**研究室名**：応用ゲノム工学研究室
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：分子生物学
学　　位：農学博士（京都大学）　　**前勤務先**：国立長寿医療研究センター
主担当科目：発生生物学Ⅰ・Ⅱ、遺伝子機能解析学
趣味スポーツ：音楽鑑賞
好きな言葉：道の道とすべきは常の道にあらず（老子）
学生に勧めたい書物：夏への扉（ロバート･ハインライン、ハヤカワ文庫）、ガリア戦記（ユリウス･カエサル、岩波文庫）、重耳（宮城谷昌光、講談社文庫）
学生へのメッセージ：大学での４年間は自分を見つめ直し、成長への土台となる心を培う時期です。可能性を信じて様々な事柄にチャレンジし、自分を最大限に活かせる場を見つけてください。

氏　　名：松本和也（まつもと かずや）　教授　　**研究室名**：分子発生工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：分子発生学、生殖生物学
学　　位：農学博士（京都大学）　　**前勤務先**：科学技術振興事業団 神経遺伝子プロジェクト
主担当科目：細胞生物学Ⅰ・Ⅱ
好きな言葉：探求心・理解力・友情（from Prof. Lisa Randall）
趣味スポーツ：サッカー、スキー、釣り
学生に勧めたい書物：センスメイキング 本当に重要なものを見極める力（クリスチャン・マスビアウ著、プレジデント社）
学生へのメッセージ：様々な経験を通じて、感性を磨き、知識を深めバランスのとれた論理的思考力を身につけて下さい。

氏　　名：三谷匡（みたに たすく）　教授　　**研究室名**：遺伝子機能制御学研究室
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生殖生物学、発生生物学
学　　位：農学博士（京都大学）　　**前勤務先**：徳島大学分子酵素学研究センター
主担当科目：免疫学概論、幹細胞・再生医工学、動物繁殖学
趣味スポーツ：バスケットボール、潜水
好きな言葉：マイ　ペン　ラーイ（タイ語です）
学生に勧めたい書物：「生命誌の扉を開く」（中村桂子）、「Material World」（写真集、Peter Menzel）
学生へのメッセージ：社会に目を向けてください。自分に目を向けてください。そして何が大切なのか考えてください。

遺伝子工学科

氏　　名：宮本裕史（みやもとひろし）　教授　　**研究室名**：進化多様性生物学
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：分子生物学、進化生物学
学　　位：博士（理学）（大阪大学）　　**前勤務先**：三菱化学生命科学研究所
主担当科目：進化遺伝学、分子生物学Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：運動
好きな言葉：Study nature, not books.
学生に勧めたい書物：自分の専門とは少し分野の違う本
学生へのメッセージ：充実した学生生活を送ってください。

氏　　名：森本康一（もりもとこういち）　教授　　**研究室名**：分子機能再生工学
最終学歴：北海道大学大学院　　**専門分野**：酵素化学、生化学
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：東ソー株式会社
主担当科目：生化学Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：音楽鑑賞（ジャズ、ポップス）、スキューバダイビング、水泳
好きな言葉：With malice toward none, with charity for all.
学生に勧めたい書物：芥川龍之介の作品
学生へのメッセージ：良質の血となり肉となるような学生生活をおくってください。

氏　　名：山縣一夫（やまがたかずお）　教授　　**研究室名**：発生遺伝子工学
最終学歴：筑波大学大学院　　**専門分野**：発生遺伝子工学
学　　位：博士（農学）（筑波大学）　　**前勤務先**：大阪大学微生物病研究所
主担当科目：分子発生学、発生工学
好きな言葉：独創性とシンプルさ
趣味スポーツ：楽器演奏（ベース）、研究
学生に勧めたい書物：自分があまり本を読んでこなかったことを今になってとても後悔しているので皆さんもいろいろ読んでください。
学生へのメッセージ：研究は楽しいですよ。せっかく理系の学部に来たのに研究に集中できないのは、学費がもったいないです。生物理工学部は良い教員が揃っています。良い学部に来られましたね！

食品安全工学科

氏　　名：芦田　久（あしだ　ひさし）　教授　　**研究室名**：食品免疫学
最終学歴：京都大学　　**専門分野**：微生物学、糖鎖生物学
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：京都大学大学院生命科学研究科
主担当科目：免疫・アレルギー学、食品機能統計学、食品微生物学
趣味スポーツ：昆虫採集と分類、ランニング、陶磁器や仏教美術の鑑賞、発酵食品の探究
好きな言葉：温故知新
学生に勧めたい書物：郡司芽久「キリン解剖記」（ナツメ社，2019 年）、樋口大良＋子供ヤマビル研究会「ヒルは木から落ちてこない。」（山と渓谷社，2021 年）、西内啓「統計学が最強の学問である」（ダイヤモンド社，2013 年）、松永和紀「効かない健康食品 危ない自然・天然」（光文社，2017 年）
学生へのメッセージ：失敗を恐れずに色々なことにチャレンジしてください。趣味でもスポーツでも勉学でも研究でも、徹底的にやって一流を目指してください。

氏　　名：東　慶直（あずま　よしなお）　教授　　**研究室名**：分子生化学
最終学歴：総合研究大学院大学　　**専門分野**：微生物学、ゲノム生物学、情報生物学、細胞分子生物学
学　　位：博士（理学）（総合研究大学院大学）
主担当科目：細胞生物学Ⅰ、分子生物学Ⅰ・Ⅱ　　**前勤務先**：山口大学医学部
趣味スポーツ：散歩、旅行、読書、スポーツ、教育、日本の考古学
好きな言葉：切磋琢磨
学生に勧めたい書物：論語や日本の古典（古事記や万葉集）、リン・マーギュリス（共生生命体の 30 億年）やスティーブン・J・グールド（パンダの親指）などの博物学の書。シリーズとしては UpBiology や講談社現代新書、ブルーバックスには多数の良書。忘れてならないのが手塚治虫の作品。
学生へのメッセージ：晴れた日には散歩に出かけて自然を観察しましょう。雨の日や夜中にはいろんな本を読みましょう。大学にいるときには、大学の教育システムを大いに利用しましょう。

氏　　名：石丸　恵（いしまる　めぐみ）　教授　　**研究室名**：食品保全学
最終学歴：大阪府立大学大学院　　**専門分野**：園芸利用学
学　　位：博士（農学）（大阪府立大学）　　**前勤務先**：大阪府立大学大学院
主担当科目：食品加工学、遺伝資源学
趣味スポーツ：スポーツ（特にマリンスポーツ）、映画鑑賞
好きな言葉：できると思えば、できる。
学生に勧めたい書物：「植物の生化学･分子生物学」（Bob B. Buchnan, Wilhelm Gruissem, Russell L. Jones 編）
学生へのメッセージ：Learn from yesterday, live for today, hope for tomorrow.
The important thing is not to stop questioning.

氏　　名：江口陽子（えぐちようこ）　教授　　**研究室名**：食品衛生管理学
最終学歴：近畿大学大学院　　**専門分野**：微生物学、分子生物学
学　　位：博士（農学）（近畿大学）　　**前勤務先**：近畿大学農学部
主担当科目：食品衛生管理学、公衆衛生学、HACCP システム論
趣味スポーツ：山歩き、ジョギング
好きな言葉：「継続は力なり」
学生に勧めたい書物：「セレンディピティと近代医学」 モートン・マイヤーズ著（中央公論新社）
「生物と無生物のあいだ」 福岡伸一 （講談社現代新書）
学生へのメッセージ：「観察において、チャンスは準備された心にのみ微笑む」とは、ルイ･パスツールの言葉です。日頃から情報収集などの準備に励み、チャンスを手にしましょう。

食品安全工学科

氏　　名：尾崎嘉彦（おざきよしひこ）　教授　　**研究室名**：食品機能学
最終学歴：大阪府立大学　　**専門分野**：食品化学、応用微生物学
学　　位：博士（農学）（大阪府立大学）　　**前勤務先**：（独）農研機構　果樹研究所
主担当科目：機能性食品開発、応用微生物工学、知的財産権
趣味スポーツ：旅行、写真撮影
好きな言葉：人の行く裏に道あり花の山
学生に勧めたい書物：生物と無生物の間
学生へのメッセージ：「学ぶ」という言葉には、単に知識の吸収だけではなく、得た知識をどう活かすかという意味も含まれるでしょう。世代やその人がおかれた環境によって、「学ぶ」べき事柄は異なるとしても、人間にとって自らの人生を切りひらいていく上で「学ぶ」ということは一生必要とされるものでしょう。この若い時期により高い次元での学びの姿勢を身につけて、自らの人生をより充実したものにしていきましょう。

氏　　名：岸田邦博（きしだくにひろ）　准教授　　**研究室名**：食品機能学
最終学歴：大阪市立大学大学院　　**専門分野**：食品機能学、栄養生理学
学　　位：博士（生活科学）（大阪市立大学）　　**前勤務先**：長崎県立大学
主担当科目：食品材料学、食品機能学
趣味スポーツ：家族旅行、温泉、ぶらっと散歩、筋トレ、格闘技観戦（テレビで）
好きな言葉：好きこそものの上手なれ、禍福は糾える縄の如し
学生に勧めたい書物：新聞を読み、世の中には様々な分野があることを実感してください。そして、きちんとした書き言葉のセンスを磨いてください。
学生へのメッセージ：大学で学んだ専門知識が、どのように将来に生かされるのかを疑問に感じる方も多いでしょう。でも本当に重要なのは、その専門知識を勉強する過程で、ただ暗記するのではなく論理的に理解できるようになったか、自分なりの勉強の仕方を身に付けられたかどうかです。

氏　　名：栗原新（くりはらしん）　准教授　　**研究室名**：食品免疫学研究室
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：応用微生物学
学　　位：博士（生命科学）　　**前勤務先**：石川県立大学生物資源環境学部
主担当科目：疫学論、公衆衛生学
趣味スポーツ：港での五目釣り
好きな言葉：科学
学生へのメッセージ：科学的な視点で人生の判断ができるようになってください。

氏　　名：白木琢磨（しらきたくま）　准教授　　**研究室名**：動物栄養学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生化学
学　　位：博士（人間・環境学）（京都大学）　　**前勤務先**：東北大学大学院医学系研究科
主担当科目：動物栄養学、細胞培養工学
趣味スポーツ：クラシックカメラ収集
好きな言葉：想像しがたきを想起す
学生に勧めたい書物：リチャード・ファインマン「ご冗談でしょうファインマンさん」
中沢新一「東方的」
学生へのメッセージ：オルターナティブがあるということを意識しよう。

食品安全工学科

氏　　名：武部　聡（たけべ　そう）　教授　　**研究室名**：分子生化学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：分子生物学、生化学
学　　位：農学博士（京都大学）　　**前勤務先**：京都女子大学
主担当科目：生化学Ⅰ・Ⅱ、細胞生物学Ⅱ
趣味スポーツ：週末のクッキング、愛犬とのエクササイズ
好きな言葉：天上大風
学生に勧めたい書物：レイチェル　ハーツ「あなたはなぜ「カリカリベーコンのにおい」に魅かれるのか」稲田豊史「ポテトチップスと日本人」
学生へのメッセージ：答えを教えてもらうのではなく、自ら探し出す習慣を身に付けましょう。

氏　　名：山本純之（やまもと　あつし）　講師　　**研究室名**：食品システム学研究室
最終学歴：東京大学大学院　　**専門分野**：園芸学、農業農村工学、地球科学
学　　位：博士（理学）（東京大学）
主担当科目：食品システム論、くらしと食農・環境、情報処理基礎Ⅰ、情報処理基礎Ⅱ
趣味スポーツ：サイクリング、写真撮影
好きな言葉：為せば成る　為さねば成らぬ何事も　成らぬは人の　為さぬなりけり（上杉鷹山）
学生に勧めたい書物：「古事記」
学生へのメッセージ：社会にある問題の多くには正解がありません。学生生活を通じて、正解のない問題にチャレンジすることを楽しめるようになりましょう。

氏　　名：吉見圭永（よしみ　よしひさ）　講師　　**研究室名**：食品保全学研究室
最終学歴：埼玉大学大学院　　**専門分野**：植物糖鎖生物学、生化学
学　　位：博士（理学）（埼玉大学）　　**前勤務先**：ケンブリッジ大学生化学科
主担当科目：生体物質基礎、遺伝資源学
趣味スポーツ：ボルダリング、家庭菜園、料理
好きな言葉：知識の唯一の源は経験だ。（Albert Einstein）
学生に勧めたい書物：嫌われる勇気　自己啓発の源流「アドラー」の教え（岸見一郎、古賀史健 著、ダイヤモンド社）
学生へのメッセージ：大学での４年間を有意義に過ごすためには、自らが進んで学ぶ事が大切です。失敗を恐れず、新しいことにどんどん挑戦してください。

生命情報工学科

氏　　名：青木伸也　講師　　**研究室名**：コンピュータビジョン
最終学歴：大阪府立大学大学院　　**専門分野**：画像処理・画像計測
学　　位：博士（情報科学）（大阪大学）
主担当科目：数値計算、コンピュータ概論、情報ネットワーク
趣味スポーツ：模型製作
好きな言葉：勇気
学生に勧めたい書物：CPU の創りかた（渡波郁、毎日コミュニケーションズ）
学生へのメッセージ：最善を為すべきである。ただし、何が最善かを考えるのにあまり多くの時間を費やすことは、大抵の場合最善ではない。

氏　　名：浅居正充　教授　　**研究室名**：生体電磁場解析
最終学歴：大阪府立大学大学院　　**専門分野**：計算電磁気学、電磁波動論
学　　位：博士（工学）（大阪府立大学）　　**前勤務先**：近畿大学理工学部
主担当科目：電気回路Ⅰ・Ⅱ、情報通信工学
趣味スポーツ：音楽、種々身体技法、管弦楽団のコンサートマスター経験有。
好きな言葉：虎を抱いて山に帰る
学生に勧めたい書物：大学教育について（J.S.Mill 著、竹内一誠訳）
学生へのメッセージ：卒業後にその時々の最先端知識を自力で勉強していくことができる能力を養うことが大切です。

氏　　名：一野天利　講師　　**研究室名**：生命生態システム
最終学歴：名古屋大学大学院　　**専門分野**：非線形科学、生体情報工学
学　　位：博士（学術）（名古屋大学）　　**前勤務先**：京都大学中核的研究機関研究員
主担当科目：応用数学Ⅰ
趣味スポーツ：モータースポーツ観戦
好きな言葉：人間はどんなところでも学ぶことができる。知りたいという心さえあれば。
学生に勧めたい書物：「ご冗談でしょう、ファインマンさん」R.P. ファインマン著（岩波書店）
「ファインマンさん、最後の授業」L. ムロディナウ著（メディアファクトリー）
学生へのメッセージ：自ら考え､学び､行動することが必要です。受け身でいては何事もなせません。

氏　　名：河本敬子　講師　　**研究室名**：バイオインフォマティクス
最終学歴：岡山理科大学大学院　　**専門分野**：知能情報学
学　　位：博士（工学）（岡山理科大学）　　**前勤務先**：日本文理大学工学部
主担当科目：情報ネットワーク、機械学習、データベース論、システム情報処理実習Ⅱ
趣味スポーツ：音楽鑑賞、食べ歩き、旅行、温泉
好きな言葉：一期一会
学生に勧めたい書物：「コンピュータの名著・古典 100 冊」（石田晴久、インプレス）
学生へのメッセージ：学生時代にしかできないこと、今やっておかなければならないことはたくさんあるでしょう。何か一つでも熱中できるものを見つけ、打ち込んでください。

生命情報工学科

氏　　名：小濱（こはま）　剛（たけし）　准教授　　**研究室名**：視覚認知システム
最終学歴：豊橋技術科学大学大学院　　**専門分野**：視覚情報処理、視覚認知科学
学　　位：博士（工学）（豊橋技術科学大学）　　**前勤務先**：愛知県立大学
主担当科目：生体情報工学、データ構造とアルゴリズム、制御基礎論、脳と情報科学
趣味スポーツ：ギター・篠笛・龍笛演奏、音楽鑑賞（主として southern rock、west coast rock）、野球・サッカー観戦
好きな言葉：不聞不若聞之。聞之不若見之。見之不若知之。知之不若行之。
学生に勧めたい書物：数学やプログラミングは言うに及ばず、あらゆる場面で要求される論理的思考力は、読書をすることで培われます。分野を問わず、興味を抱いたタイトルの書物を読んでください。例えば、「サブリミナル・インパクト－情動と潜在認知の現代」（下條信輔、ちくま新書）や、「スーパーコンピューターを 20 万円で創る」（伊藤智義、集英社新書）などはいかがでしょう。
学生へのメッセージ：貴重な 4 年間を無駄にすることのないよう、人生の目標をかかげ、後悔することを恐れず、「若さ」を武器に突き進んでください。

氏　　名：財津（ざいつ）　桂（けい）　教授　　**研究室名**：複合生命情報アナリティクス
最終学歴：同志社大学大学院　　**専門分野**：バイオインフォマティクス、分析科学
学　　位：博士（工学）（同志社大学）　　**前勤務先**：名古屋大学高等研究院／名古屋大学大学院医学系研究科・准教授
主担当科目：情報基礎、システム工学
趣味スポーツ：ギター演奏、音楽鑑賞、読書、子供達と虫取り
好きな言葉：Carpe diem
学生に勧めたい書物：竜馬がゆく（司馬遼太郎）、素直な心になるために（松下幸之助）、プロフェッショナルの条件（P.F. Drucker）、論語と算盤（渋沢栄一）
学生へのメッセージ：何事にも好奇心を持って取り組み、耳を澄まして、そっと自分の心の声を聴いてみてください。きっと、自分自身が心から叶えたいと願う「夢」がみつかるはずです。

氏　　名：篠原（しのはら）　寿広（としひろ）　准教授　　**研究室名**：生体画像解析
最終学歴：東京工業大学大学院　　**専門分野**：生体画像計測、計測信号処理
学　　位：博士（工学）（東京工業大学）
主担当科目：プログラミング、デジタル回路、画像処理
趣味スポーツ：読書（小説）、野球、スキー
好きな言葉：The more I learn, the more I realize I don't know.
The more I realize I don't know, the more I want to learn.（Albert Einstein）
学生に勧めたい書物：宮城谷昌光『孟嘗君』（講談社文庫）、司馬遼太郎『竜馬がゆく』（文春文庫）、リチャード P. ファインマン『ご冗談でしょう、ファインマンさん』（岩波現代文庫）
学生へのメッセージ：自分の目標を定めて、それに向かってガツンと頑張りましょう！

氏　　名：中迫（なかさこ）　昇（のぼる）　教授　　**研究室名**：音響・聴覚システム
最終学歴：広島大学大学院　　**専門分野**：音響信号処理・生体信号処理
学　　位：工学博士（広島大学）
主担当科目：生体とシステム制御、確率基礎、生物統計
趣味スポーツ：映画鑑賞（最近映画館に行けてませんね）、ジョギング（最近走れていません、そのせいか太ってきました）
好きな言葉：縦藍而青
学生に勧めたい書物：最初は手当たり次第に乱読し、その後、自分の好きな作者の作品に没頭してはどうでしょうか。
学生へのメッセージ：長いようで短い 4 年間です。何でもよいですから一つのことに熱中してみてください。

生命情報工学科

氏　　名：永岡（ながおか）　隆（たかし）　准教授　　**研究室名**：生体分光計測
最終学歴：早稲田大学大学院　　**専門分野**：生物電子計測・制御
学　　位：博士（工学）（早稲田大学）　　**前勤務先**：早稲田大学
主担当科目：電子回路、生体・電子計測学、バイオセンサー
趣味スポーツ：スポーツ観戦、ドライブ、海外旅行
好きな言葉：有言実行
学生に勧めたい書物：トランジスタ技術（CQ 出版社）の 4 月号と 5 月号は電子回路の初心者向け特集が多く、基礎を学びたい学生にお勧めします。
学生へのメッセージ：どんなに技術が進んでも、ヒトを見る・診ることは重要であり、とても奥深く面白い分野です。興味のある学生はぜひ研究室のドアを叩いてください。また、「できない」ことを確認するのも立派な研究です。失敗を恐れず、積極的に研究・勉学に取り組んでください。

氏　　名：宮下（みやした）　尚之（なおゆき）　准教授　　**研究室名**：機能性生体分子システム
最終学歴：総合研究大学院大学　　**専門分野**：生体分子シミュレーション
学　　位：博士（理学）（総合研究大学院大学）　　**前勤務先**：理化学研究所・生命システム研究センター
主担当科目：生体分子の統計物理、線形代数学、AI・データサイエンス基礎実習、制御工学
趣味スポーツ：音楽鑑賞・コンピュータ
好きな言葉：進取果敢・事上磨練・大器晩成
学生に勧めたい書物：「プロフェッショナルの条件」（P. F. ドラッガー著、上田惇生編訳）
学生へのメッセージ：恐らく皆さんは大学卒業後、それぞれの道でプロフェッショナルになられるかと思います。その道の基礎にあるものが学問ですが、大学では学問そのものだけでなく学び方を学ぶ事も将来の為に大切です。是非、大学では学び方も学び、研究室では未知の問題に対するアプローチの仕方を学んで下さい。

氏　　名：吉田（よしだ）　久（ひさし）　教　授　　**研究室名**：生体信号解析
最終学歴：法政大学大学院　　**専門分野**：統計的信号解析、バイオモデリング
学　　位：博士（工学）（法政大学）
主担当科目：情報理論、生体信号解析、微分積分学
趣味スポーツ：読書、映画鑑賞、スポーツ（サッカー、水泳など）要するに“遊び”といわれるもの全般
好きな言葉：「継続は力なり」「努力の天才」
学生に勧めたい書物：好きな本はたくさんあるが、人に勧めるとなると悩んでしまう。多くの本を読んで、素敵な本と出会って下さい。
学生へのメッセージ：大学生活を通じて、このろくでもない、素晴しき学問の世界を是非是非堪能して下さい。

人間環境デザイン工学科

氏　　名：池田昌弘（いけだまさひろ）　助教
最終学歴：東京農工大学大学院　　**専門分野**：ロボット工学
学　　位：博士（工学）（東京農工大学）　　**前勤務先**：明治大学理工学部
主担当科目：生活支援ロボット、3次元CADプロダクトデザイン、生理学
趣味スポーツ：キャンプ、登山、映画鑑賞
好きな言葉：従流志不変
学生に勧めたい書物：世界には素晴らしい書籍が山ほどあります。つまらないこだわりや偏見を持たずに様々な書籍を読みふけってほしいです。
学生へのメッセージ：少年老いやすく学なりがたしとはよく言ったものです。大学生の時期はアッという間に過ぎ去ります。せっかく大学に在籍しているのであれば、社会人までのモラトリアムとして過ごすのではなく、充実した大学生らしい学びを十分に蓄えてほしいです。

氏　　名：大政光史（おおまさみつし）　准教授　　**研究室名**：機能性シミュレーション
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：材料工学、流体力学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）　　**前勤務先**：大阪大学工学部
主担当科目：シミュレーション工学、流れ学、材料機能学、情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：スキューバダイビング
好きな言葉：無限の可能性
学生に勧めたい書物：特に勧めたい物は思いつきません。最も感動したのは高校生の時に読んだ「塩狩峠」（三浦綾子、新潮文庫）、中学時代にはSF物を中心に乱読、小学校のとき最初に感想文を書いた本はエジソンの伝記でした。
学生へのメッセージ：主体性をもって勉強も遊びも大いに楽しみ、苦しんでください。「今、自分は何をするべきか」と自分自身に問いかけるといいと思います。

氏　　名：片山一郎（かたやまいちろう）　教授　　**研究室名**：カラーサイエンス
最終学歴：神戸大学大学院　　**専門分野**：色彩工学・照明工学
学　　位：博士（学術）（神戸大学）　　**前勤務先**：仙台高等専門学校情報デザイン学科
主担当科目：カラーコーディネーションの心理学、心理統計学、建築と照明、感性デザインの数理
趣味スポーツ：スキーやサイクリングが好きでしたが、今では家でゴロゴロするほうが好きです。
好きな言葉：継続は力なり
学生に勧めたい書物：マーフィー名言集－あなたを成功へ導く568のことば
学生へのメッセージ：「なりたい自分」を心に刻むと、多少時間がかかっても、必ず実現できると思います。

氏　　名：楠正暢（くすのきまさのぶ）　教授　　**研究室名**：デバイスプロセス
最終学歴：名古屋大学大学院　　**専門分野**：バイオデバイス、超伝導応用
学　　位：博士（工学）（名古屋大学）　　**前勤務先**：山形大学工学部
主担当科目：情報処理応用、センサー工学、アンビエントセンサ、情報処理応用
趣味スポーツ：旅行、ドライブ、スキー
好きな言葉：非理法権天
学生へのメッセージ：「好きなこと」、「楽しいこと」が「やる気の元」、「成功の源」であると私は考えます。近畿大学での学生生活の中から「好きなこと」、「楽しいこと」を見つけ将来の「活力」へと育ててください。

人間環境デザイン工学科

氏　　名：島崎（しまざき）　敢（かん）　准教授　　**研究室名**：人間工学・安全心理学
最終学歴：早稲田大学大学院　　**専門分野**：実験心理学・人間工学・安全教育
学　　位：博士（人間科学）（早稲田大学）　　**前勤務先**：名古屋大学未来社会創造機構特任准教授
主担当科目：確率統計、生体計測学、心理学概論、心理学研究法
趣味スポーツ：料理、娘のヘアアレンジ、シュノーケリング
好きな言葉：Stay hungry, stay foolish.
学生に勧めたい書物：「サピエンス全史（上下巻）」ユヴァル・ノア・ハラリ
「Safety-1 & Safety-2 安全マネジメントの過去と未来」エリック・ホルナゲル
学生へのメッセージ：大人はワークライフバランスなどと言っている時代ですので、学生の皆さんもスタディライフバランスを取って、勉学以外の学生生活も存分に楽しんでほしいと思いますが、考える力がなければ、良い研究をすることも、楽しく遊ぶこともできません。だから研究するときも遊ぶときも「考える癖」をつけるようにしてください。そうして身につけた思考力は、あなたのかけがえのない財産になるはずです。

氏　　名：豊田（とよだ）　航（わたる）　講師　　**研究室名**：福祉工学
最終学歴：早稲田大学大学院　　**専門分野**：福祉工学、人間工学
学　　位：博士（人間科学）（早稲田大学）　　**前勤務先**：成蹊大学理工学部
主担当科目：福祉工学、生体機能・解剖学
趣味スポーツ：楽器演奏、読書、美術、スポーツ全般
好きな言葉：諸行無常
学生に勧めたい書物：（1）夜と霧（ヴィクトール・E・フランクル、みすず書房）
（2）マインドフルネスストレス低減法（ジョン・カバットジン著、北大路書房）
学生へのメッセージ：自分で生き方ややりたいことを決めて、それらの実現に本当に必要なことを定めて、一生懸命に取り組んでください。

氏　　名：西垣（にしがき）　勉（つとむ）　教授　　**研究室名**：音・振動環境デザイン
最終学歴：東京工業大学大学院　　**専門分野**：スマート構造、振動・音響工学
学　　位：博士（工学）（東京工業大学）　　**前勤務先**：東京工業大学大学院理工学研究科
主担当科目：応用解析学Ⅰ、振動と音響の科学、ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：ドライブ、コーヒーを飲む
好きな言葉：意思あるところに道は拓ける。
学生に勧めたい書物：「ハイ・コンセプト」（ダニエル・ピンク著）、「考える技術・書く技術」（バーバラ・ミント著）「第３の案」（スティーブン・R・コヴィー著）
学生へのメッセージ：物事をゼロから立ち上げ、自分のアイデアをじっくりと深く掘り下げていくような経験を、大学時代のうちに積んで下さい。

氏　　名：野田（のだ）　淳二（じゅんじ）　准教授　　**研究室名**：コンポジットデザイン
最終学歴：慶應義塾大学大学院　　**専門分野**：材料力学
学　　位：博士（工学）（慶應義塾大学）　　**前勤務先**：山口大学大学院創成科学研究科
主担当科目：暮らしの力学、材料力学Ⅰ・Ⅱ、人間環境デザイン工学実験Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：釣り、テニス、ボルダリング
好きな言葉：よく学び、よく遊べ
学生に勧めたい書物：瀧本哲史 「ミライの授業」 講談社
学生へのメッセージ：私の好きな言葉は「よく学び、よく遊べ」です。元は英語のことわざですが、勉強する時はしっかり勉強し、遊ぶときはよく遊ぶべきであるという意味です。しっかり勉強するには、目的を忘れないことがコツです。また徹底的に遊ぶことも結果として勉強や仕事の意欲の向上に繋がります。よく学びよく遊んで充実した大学生活にしましょう。

人間環境デザイン工学科

氏　　名：林（はやし）　和典（かずのり）　助教
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：建築計画・地域計画
学　　位：博士（工学）（大阪大学）
主担当科目：設計製図演習、ユニバーサルデザイン・ＣＡＤ演習Ⅲ
趣味スポーツ：木工などのものづくり
好きな言葉：創作されるものはすべて、確実に実現できる「建設的構想」に基づく。（ジャン・プルーヴェ）
学生に勧めたい書物：「バベる！自力でビルを建てる男」（岡　啓輔）
学生へのメッセージ：私の恩師に「自分の興味が社会性を帯びることが重要」という言葉をよく頂きました。自分の得意なことや好きなことが、どう社会に活かせるかを楽しく考えましょう。

氏　　名：廣川（ひろかわ）　敬康（のりやす）　教授　　**研究室名**：ユニバーサルデザイン
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：設計工学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）　　**前勤務先**：大阪大学大学院工学研究科
主担当科目：ユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザイン・CAD 演習Ⅰ・Ⅱ
趣味スポーツ：読書、スキー
好きな言葉：無一物無尽蔵
学生に勧めたい書物：人新世の「資本論」（斎藤幸平）
学生へのメッセージ：常に夢を持ち続け、自分の可能性を信じて、夢の実現に向けて邁進して下さい。

氏　　名：藤田（ふじた）　浩司（こうじ）　准教授　　**研究室名**：温熱・空気環境デザイン
最終学歴：神戸大学大学院　　**専門分野**：建築環境工学
学　　位：博士（工学）（神戸大学）　　**前勤務先**：神戸大学大学院工学研究科
主担当科目：住環境科学概論、熱・設備工学、温熱・空気環境学
趣味スポーツ：テニス
好きな言葉：本気ですれば大抵のことは出来る。本気ですれば何でも面白い。本気ですれば誰かが助けてくれる。（長嶋茂雄）
学生に勧めたい書物：「地球のなおし方」ドネラ・H・メドウズ、デニス・L・メドウズ、枝廣淳子 著（ダイヤモンド社）
学生へのメッセージ：相手の立場に立って物事を考え行動するように努めて下さい。それが、大学での学習や研究、発表、社会に出てからの仕事に活きてくると思います。

医用工学科

氏　　名：加藤暢宏（かとう のぶひろ）　教授　　**研究室名**：マイクロ医用システム工学
最終学歴：大阪府立大学大学院　　**専門分野**：計測工学、微小流体工学
学　　位：博士（工学）（大阪府立大学）
主担当科目：計測工学、生体計測装置学
趣味スポーツ：旅行、写真
好きな言葉：継続は力なり
学生に勧めたい書物：「未来の年表」河合雅司著
学生へのメッセージ：学生のうちに良き友を見つけて下さい。そして、しっかり自分をみつめてください。

氏　　名：徳嶺朝子（とくみね あさこ）　講師　　**研究室名**：医学シミュレーション
最終学歴：広島国際大学大学院　　**専門分野**：臨床工学
学　　位：博士（医療工学）（広島国際大学）　　**前勤務先**：広島国際大学保健医療学部
主担当科目：医用機器学概論、医用機器安全管理学Ⅰ、医用機器安全管理学実習
趣味スポーツ：映画鑑賞、ソフトテニス
好きな言葉：人生いっぱい自分の花を
学生に勧めたい書物：「すべてがFになる」（森博嗣著）、「アルジャーノンに花束を」（ダニエル・キース著）、「星の王子さま」（サン＝テグジュペリ著）
学生へのメッセージ：自分の得意なこと、大好きなこと、それを見つけ追求し楽しんでください！

氏　　名：中居卓也（なかい たくや）　特任教授
最終学歴：近畿大学　　**専門分野**：外科治療
学　　位：医学博士（近畿大学）　　**前勤務先**：近畿大学医学部外科
主担当科目：生命倫理学、生理学、解剖学
趣味スポーツ：スポーツ観戦（野球、バレーボール）、読書
好きな言葉：The practice of medicine is an art, based on science（医療は科学に基づくアートである。ウイリアム・オスラー）
学生に勧めたい書物：TOKYO MER 走る緊急救命室（黒岩　勉・宝島社文庫）使命と魂のリミット（東野圭吾・角川文庫）
学生へのメッセージ：医療界では臨床工学技士の活躍の場が広がっており、学生時代から臨床現場を体験し、4年後のゴールは国家試験の合格です。

氏　　名：西川博昭（にしかわ ひろあき）　教授　　**研究室名**：超五感生体センサ
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：固体化学・材料化学
学　　位：博士（理学）（大阪大学）
主担当科目：電気工学Ⅱ、医用材料工学、電気電子工学実習、システム工学実習
医療機器安全管理学実習、臨床工学特別演習Ⅱ
趣味スポーツ：読書（時代小説、ミステリー）、ドライブ
好きな言葉：今が大切
学生に勧めたい書物：「アシモフの科学エッセイ」シリーズ（早川文庫）、「読むクスリ」シリーズ（文春文庫）、「剣客商売」（新潮文庫）
学生へのメッセージ：学問も遊びも全力投球で。

医用工学科

氏　　名：西手芳明（にしてよしあき）　准教授　　**研究室名**：医療機器学
最終学歴：九州保健福祉大学大学院　　**専門分野**：生体機能代行装置学
学　　位：博士（保健科学）（九州保健福祉大学）　**前勤務先**：公立学校共済組合　北陸中央病院
主担当科目：生体機能代行技術学Ⅰ・Ⅱ、生体機能代行装置学実習、臨床工学特別演習Ⅰ
趣味スポーツ：野球、ソフトボール、ゴルフ
好きな言葉：日々之精進、千里の道も一歩から
学生に勧めたい書物：「医療倫理－よりよい決定のための事例分析」グレゴリー・E・ペンス著
宮坂道男、長岡成夫　共訳
学生へのメッセージ：「流行」を追うのではなく、「流行」を作り出してください。

氏　　名：根本充貴（ねもとみつたか）　准教授　　**研究室名**：医用画像処理工学
最終学歴：東京農工大学大学院　　**専門分野**：医用画像処理、人工知能
学　　位：博士（工学）（東京農工大学）　**前勤務先**：東京大学医学部附属病院
主担当科目：線形代数学、応用数学、情報処理基礎Ⅰ・Ⅱ、信号処理
趣味スポーツ：水泳、野球観戦、料理、ドライブ
好きな言葉：なせば成る　為さねば成らぬ何事も　成らぬは人の為さぬなりけり（上杉鷹山）
並外れた結果を出すために　並外れたことをする必要はない（ウォーレン・バフェット）
学生に勧めたい書物：本多勝一「日本語の作文技術」（朝日文庫）
童門冬二「小説　上杉鷹山」（集英社文庫）
カガクシャ・ネット「理系大学院留学―アメリカで実現する研究者への道」（アルク）
学生へのメッセージ：大学での学びの本質は研究であり、研究とは未解決の問題への挑戦です。講義で習得した知識や理論的な思考をもとに、自らの力で自由に問題解決の道を構築することの楽しさを、是非味わってください。

氏　　名：福田誠（ふくだまこと）　教授　　**研究室名**：医用化学工学
最終学歴：早稲田大学大学院　　**専門分野**：医用化学工学、生体機能代行装置学
学　　位：博士（工学）（早稲田大学）　**前勤務先**：旭化成（株）、獨協学園姫路獨協大学
主担当科目：生体機能代行装置学Ⅰ・Ⅱ
医用機器安全管理学Ⅱ
趣味スポーツ：スポーツクラブ通い、ジョギング、旅
学生に勧めたい書物：長谷部誠「心を整える」（幻冬舎）、松下幸之助「道をひらく」（PHP 文庫）
外山滋比古（とやま・しげひこ）「思考の整理学」（筑摩書房）
藤原正彦「祖国とは国語」（新潮文庫）
学生へのメッセージ：「明るく、積極的に、素直に、謙虚に、真面目に」自身を鍛えてあげてください。一緒に頑張っていきましょう。皆さんの将来の活躍を期待しています。

氏　　名：古薗勉（ふるそのつとむ）　教授　　**研究室名**：バイオマテリアル
最終学歴：鹿児島大学大学院　　**専門分野**：医用材料工学、人工臓器学、血液浄化学
学　　位：博士（工学）（鹿児島大学）
博士（医学）（大阪大学）　**前勤務先**：国立循環器病センター研究所生体工学部
主担当科目：バイオマテリアル、医用治療機器学
趣味スポーツ：読書（特に、歴史書や哲学書）
好きな言葉：「心はおのが場所なれ。そのうちに地獄に天国を、天国に地獄をつくる。」
学生に勧めたい書物：デール・カーネギー「道は開ける」創元社
学生へのメッセージ：「医工連携」・・・貴君らがその中心に位置して欲しいと願っています。

医用工学科

氏　　名：正木秀幸（まさき ひでゆき）　准教授　　**研究室名**：感染防御免疫学
最終学歴：近畿大学大学院　　**専門分野**：免疫学・ウイルス学
学　　位：医学博士（近畿大学）　　**前勤務先**：近畿大学医学部(生化学教室)
主担当科目：臨床医学総論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、医療社会学、医療治療機器学・生体計測装置学実習、臨床工学特別演習Ⅰ・Ⅱ、基礎医学実習
趣味スポーツ：音楽鑑賞（クラシック）、観劇（オペラ・バレエ・歌舞伎・文楽）
好きな言葉：「雑草という名の草は無い。」（昭和天皇）
学生に勧めたい書物：免疫の意味論（多田富雄著・青土社）、生命の意味論（多田富雄著・新潮社）、自己創生する生命－普遍と個の物語（中村桂子著・哲学書房）、人間にとって成熟とは何か（曽野綾子・幻冬舎新書）
学生へのメッセージ：大学に入るまでは、勉強には用意された「答え」があり、また「みんな平等」という建前で保護されてきましたが、ひとたび社会に出れば、決まった「答え」は無く、また社会の実相は「理不尽で不平等」なものです。この４年間で、自らで答えを見出し、進路を切り開いてゆく力をぜひ養ってください。

氏　　名：三上勝大（みかみ かつひろ）　講師　　**研究室名**：レーザー医工学研究室
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：レーザー計測学、レーザー工学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）　　**前勤務先**：(国研)量子科学技術研究開発機構
主担当科目：電子工学Ⅰ・Ⅱ、コンピュータ工学
趣味スポーツ：将棋、アウトドア、旅行
好きな言葉：白首北面
学生に勧めたい書物：「理系のための研究生活ガイド」（坪田一男）、「聖の青春」（大崎善生）
学生へのメッセージ：大学では、知識を獲得することも、発揮することもできる場所が用意されています。近道は当然ないですが、一方で無駄なことや回り道もありません。体験する全ての事柄は、貴重な財産になります。ぜひ何事にも積極的に挑戦して、大きな飛躍に繋げて下さい。

氏　　名：山本衛（やまもと えい）　教授　　**研究室名**：バイオメカニクス
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：生体力学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）
主担当科目：機械工学、生体物性工学、システム工学実習、応用数学演習
趣味スポーツ：サッカー、ジョギング、歴史
好きな言葉：苦しい時こそ成長の時
学生に勧めたい書物：「モノづくり解体新書（一）～（七）の巻」日刊工業新聞社
学生へのメッセージ：「人と一緒にまっしぐら」より、迷いながらも我が道を行け。

氏　　名：山脇伸行（やまわき のぶゆき）　准教授　　**研究室名**：生体医工学
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：生体医工学
学　　位：博士（工学）（大阪大学）
主担当科目：医用工学概論、電気工学Ⅰ・Ⅱ、プログラミング演習、電気電子工学実習、基礎医学実習、生体機能代行装置学実習
趣味スポーツ：読書
好きな言葉：一期一会
学生に勧めたい書物：分野にこだわらず、多くの本を読むことを勧めます。
学生へのメッセージ：楽しく充実した学生生活を送ってください。

学部教養・基礎教育部門

氏　　名：小田義隆（おだよしたか）　教授
最終学歴：神戸大学大学院　　**専門分野**：教育制度論、教員養成史
学　　位：博士（学術）（神戸大学）　　**前勤務先**：高田短期大学子ども学科
主担当科目：教職論、教育原理、教育行政学、教育実習、教職実践演習（中・高）
趣味スポーツ：釣り・温泉巡り・グルメ・模型
好きな言葉：広く歩き深く視る
学生に勧めたい書物：『兎の眼』（灰谷健次郎、角川文庫）岩波ブックレットシリーズ
学生へのメッセージ：研究室で語り合いたいですね。大学は学問をするところですが、講義以外にも学生同士の関わりや教員との関わりの中で、一生ものと思える「学び」もたくさんあると思います。そのお手伝いが出来たらいいなと思っています。

氏　　名：白崎護（しらさきまもる）　准教授
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：政治学・メディア論
学　　位：博士（法学）（京都大学）　　**前勤務先**：関西外国語大学外国語学部
主担当科目：新しい政治学、暮らしの中の憲法、持続可能な社会論
趣味スポーツ：小説の執筆
好きな言葉：「おのれより絶えずおのれを放逐し変貌し否定しかつ敗北す」（齋藤史）
学生に勧めたい書物：『100万回生きたねこ』佐野洋子（講談社）
学生へのメッセージ：生死大事（生きているのか、死んでいるのか、その区別が重要である）

氏　　名：松本圭朗（まつもとよしろう）　助教
最終学歴：福井大学大学院　　**専門分野**：教育方法学
学　　位：教育学修士（福井大学）　　**前勤務先**：富山短期大学
主担当科目：教育課程論、道徳教育論、生徒指導論
趣味スポーツ：散歩
好きな言葉：まぁ、なんとかなる
学生に勧めたい書物：橋本務（2013）『学問の技法』筑摩書房
学生へのメッセージ：学びを通して、他者が「自分とは違う」という当たり前のことを再認識し、他者の考えや人生に思いを巡らせることのできる人になってください。

学部教養・基礎教育部門（語学）

氏　　名：玉井（たまい）潤野（じゅんや）　講師
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：英語・英米文学
学　　位：博士（人間・環境学）（京都大学）　　**前勤務先**：三重大学大学院
趣味スポーツ：読書
好きな言葉：〝As if you could kill time without injuring eternity.〟「それではまるで、永遠なるものを傷つけることもなく、暇つぶしをしていられるとでもいうかのようだ」（ヘンリー・デイヴィッド・ソロー）
学生に勧めたい書物：『わたしの外国語学習法』（ロンブ・カトー）、『無知な教師　知性の開放について』（ジャック・ランシエール）
学生へのメッセージ：英語であれ日本語であれ、私たちの言葉はいい加減であいまいなものである一方、複雑で細かい規則に支配されてもいます。なかなか思うようにならない言葉の使い方を学ぶことが、皆さんの勉学と今後の人生にとってとても有意義な体験であることを伝えられればと思っています。

氏　　名：長谷川（はせがわ）由美（ゆみ）　准教授
最終学歴：高麗大学大学院　　**専門分野**：電算言語学、英語教育学
学　　位：博士（言語学）　　**前勤務先**：滋賀県立大学
主担当科目：総合英語、TOEIC、言語演習、理系英語、海外研修、言語文化学入門
趣味スポーツ：スクーバダイビング、フラメンコ、日本舞踊
好きな言葉：「知識への投資には、常に最高の利息がついてくる。」by ベンジャミン・フランクリン
学生に勧めたい書物：「７つの習慣　ティーンズ」ショーンコヴィー著、フランクリンコヴィージャパン編集、キングベアー出版
学生へのメッセージ：大学に入学すると、勉強量は急減するように思えますが、実は急増します。英語をはじめとする外国語、専門科目、論文の書き方やプレゼンテーションの仕方など、将来につながることが盛りだくさんです。ぜひ、いろいろなことに前向きに取り組み、大学生活を有意義なものにしてください。

氏　　名：服部（はっとり）圭子（けいこ）　教授
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：社会言語学、異言語教育（英語・日本語）異文化間コミュニケーション
学　　位：博士（言語文化学）（大阪大学）
主担当科目：総合英語、理系英語、言語演習　　**前勤務先**：関西大学・帝塚山学院
国際化と異文化コミュニケーション、海外研修、言語文化学入門
趣味スポーツ：旅行、食べ歩き、茶道
好きな言葉：誠実、一期一会
学生に勧めたい書物：色々な分野の多くの本を読むことを勧めます。日本在住の外国籍の人々と日本人や日本社会との諸事情について述べた本も、一度手に取ってみてください。
学生へのメッセージ：好奇心を持って、様々なことにチャレンジし、大学時代にたくさんの人や物事に出会って有意義な時間を過ごしてください。何か自分が打ち込めることを見つけてください。

先端技術総合研究所

氏　　名：安齋（あんざい）　政幸（まさゆき）　教授
最終学歴：放送大学　　**専門分野**：実験動物学、発生工学
学　　位：博士（工学）（近畿大学）　　**前勤務先**：（株）ジェンコム　主任研究員
主担当科目：実験動物学、生命倫理、生殖工学実験
趣味スポーツ：読書、ドライブ
好きな言葉：頑張りましょう
学生に勧めたい書物：モンテソーリの発見（佐藤幸江訳）、The Polar Express（Chris Van Allsburg）
学生へのメッセージ：たくさんの夢を持ち続けて下さい。

氏　　名：加藤（かとう）　博己（ひろみ）　教授
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生殖生理学、分子生物学
学　　位：博士（農学）（京都大学）
主担当科目：神経科学、生命科学概論
趣味スポーツ：スキー、ドライブ、ツーリング
好きな言葉：感じるな。考えよ。
学生に勧めたい書物：著名な文学作品（洋の東西、新旧は問わず）
学生へのメッセージ：日常･非日常生活の中で目にする様々な事象に興味を持ち、思考をして下さい。

氏　　名：黒坂（くろさか）　哲（さとし）　准教授
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生殖生物学、発生生物学
学　　位：博士（農学）（京都大学）　　**前勤務先**：ペンシルベニア大学獣医学大学院
主担当科目：生殖医療工学、動物生理学
趣味スポーツ：スポーツ観戦
好きな言葉：反面教師
学生に勧めたい書物：「地球の歩き方」（ダイヤモンド社）
学生へのメッセージ：科学・研究に興味を持ってくださるとうれしいです。

氏　　名：櫻井（さくらい）　一正（かずまさ）　准教授　　**研究室名**：高圧力蛋白質研究センター
最終学歴：大阪大学大学院　　**専門分野**：蛋白質物理化学
学　　位：博士（理学）（大阪大学）　　**前勤務先**：大阪大学蛋白質研究所
主担当科目：化学Ⅰ・Ⅱ、化学実験、酵素化学
趣味スポーツ：楽器演奏、模型工作
好きな言葉：母恃久安　母憚初難（久安たのむなかれ、初難はばかるなかれ）
学生に勧めたい書物：「日本人はなぜ英語ができないか」鈴木孝夫、岩波新書、「物理数学の直感的方法」長沼伸一郎、講談社ブルーバックス
学生へのメッセージ：大学でしか出会えないことにたくさんチャレンジし、ひとつでも多くのことをモノにし、卒業後も身に残るように頑張ってください。

先端技術総合研究所

氏　　名：瀧川義浩（たきかわよしひろ）　准教授
最終学歴：近畿大学大学院　　**専門分野**：植物病理学
学　　位：博士（農学）（近畿大学）
主担当科目：バイオテクノロジー技術論、遺伝子工学
趣味スポーツ：バドミントン
好きな言葉：「細心かつ大胆に」
学生に勧めたい書物：いろんな分野の書物を読んでください。特に生物系の学生は機械、計測系の原理原則をわかり易く書いてある書物は今後、自分が計測機等の機械を使用して研究する場合に非常に役に立ちます。
学生へのメッセージ：自分の興味のあるものは分野を問わずとことんやってみてください。その中から本当に自分の好きなものが見えてきます。自分の最終目標を明確にしておけば、回り道をしても必ず到達できるチャンスが訪れます。

顧問

氏　　名：細井美彦（ほそいよしひこ）　教　授　　**研究室名**：発生遺伝子工学
最終学歴：京都大学大学院　　**専門分野**：生殖生理学
学　　位：農学博士（京都大学）　　**前勤務先**：京都大学農学部
趣味スポーツ：読書
好きな言葉：青年よ大志を抱け
学生に勧めたい書物：「試験管のなかの生命」岡田節人、「マンウオッチング」デズモンド・モリス、「ヘリオット先生と動物たち」J．ヘリオット、「栽培植物の起源」中尾佐助
学生へのメッセージ：夢を追い続けて下さい。人生で最も自由に考え、挑戦できる時間を大切に。

氏　　名：松橋珠子（まつはしたまこ）　講　師
最終学歴：東京大学大学院　　**専門分野**：畜産学、分子遺伝学
学　　位：博士（獣医学）（東京大学）　　**前勤務先**：岐阜県（畜産研究所、畜産課）
主担当科目：公衆衛生学、動物生産学
趣味スポーツ：ドライブ、生き物とたわむれる
好きな言葉：「小さな違いが大きな違い」
学生に勧めたい書物：木村資生「生物進化を考える」岩波新書
学生へのメッセージ：大学は、あらゆる可能性が広がる社会への入り口です。自分を信じ、様々なことに積極的に取り組んで、知識と経験と人間性とを深めて下さい。きっと素晴らしい明日が待っています。

氏　　名：米澤康滋（よねざわやすしげ）　教　授　　**研究室名**：高圧蛋白質センター
最終学歴：筑波大学大学院　　**専門分野**：生物物理
学　　位：工学博士（筑波大学）　　**前勤務先**：大阪大学蛋白質研究所
主担当科目：バイオインフォマティクス、生命情報工学演習Ⅰ・Ⅱ
生命情報工学応用演習
趣味スポーツ：スキー、テニス
好きな言葉：人生に無駄はない
学生に勧めたい書物：坂の上の雲
学生へのメッセージ：大学時代は、今後の人生のための素養を養う大切な期間の一つです。今後の長い人生を実り多きものにするために勉学に励みつつ様々なことに挑戦して己を懸命に磨いて頂きたいと思います。

近畿大学学則（抄）

（昭和41年12月1日）
最近改正（令和 5 年 4 月1日）

第1章　総　　則

（目　　的）

第1条　本大学は、教育基本法の本旨に則り、法律学、経済学、商学、理学、工学、薬学、農学、水産学、文学、社会学、国際学及び医学に関する学術の理論及び応用を深く研究教授し、人格を陶冶することを目的とする。

2　本大学は建学の精神に沿った教育理念を実践するため、近畿大学教育方針を別記⑴に定め、学部、学科又は課程ごとに人材の育成に関する目的及びその他教育・研究上の具体的な目的を別記⑵に定めるものとする。

（修 業 年 限）

第3条　本大学の修業年限は、各学部4年とする。在学年数8年を超えることはできない。

2　薬学部医療薬学科、医学部の修業年限は6年とし、在学年数12年を超えることはできない。

第2章　学年・学期及び休業日

（学年・学期）

第8条　本大学の学年は、4月1日から始まり、翌年3月31日に終る。

2　学年は、これを2期に分け、4月1日から9月20日までを前期とし、9月21日から翌年3月31日までを後期とする。

3　学長は、前項の後期開始日を変更することができる。なお、後期開始日を変更した場合は、その前日をもって前期の終了とする。

（休　業　日）

第9条　休業日は、次のとおりとする。

⑴　日曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日、本学創立記念日（11月5日）

⑵　春期休暇　3月20日から4月9日まで

⑶　夏期休暇　7月21日から9月20日まで

⑷　冬期休暇　12月21日から翌年1月9日まで

2　学長は、前項各号に規定する休業日を変更し、又は臨時休業の日を定めることができる。

第3章　教育課程（省略）

第4章　試験・卒業及び学位記

（試　　験）

第17条　履修した授業科目については、試験その他適当な方法により、学業成績を評価する。

2　試験の実施に関する事項は、教授会においてこれを定める。

（成績の評価）

第18条　学業成績は、秀・優・良・可及び不可に分け、秀・優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は59点以下とする。また、前記にかかわらず単位を認定する場合は、認定とする。

（追・再試験）

第19条　病気その他正当な理由により受験できなかった科目及び不合格になった科目については、教授会で審議のうえ、追・再試験を行うことができる。

（単　　位）

第20条　合格した授業科目については、所定の単位を与える。ただし、医学部の専門科目については、単位制によらず時間制を採用する。

2　授業科目の単位は、1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の計算基準によるものとする。

⑴　講義及び演習については、内容に応じて15時間から30時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位とする。

⑵　実験、実習及び実技については、内容に応じて30時間から45時間までの範囲で定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、芸術等の分野における個人指導による実技の授業については、内容に応じて定める時間の授業をもって1単位とする。

⑶　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業製作等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

（卒業の認定）

第21条　本大学に4年以上在学し、また薬学部医療薬学科については6年以上在学し、所定の授業科目を履修し、所定の単位を修得して、卒業資格を得た者には卒業証書・学位記を授与する。

2　医学部については6年以上在学し、所定の授業科目を履修し、卒業試験及び総合試験に合格して、卒業資格を得た者に卒業証書・学位記を授与する。

（学士の学位）

第22条　本大学を卒業した者は、次の区分に従って学士の学位を授与する。

学士（法　　学）近畿大学　法　学　部（法律学科）

学士（経　済　学）近畿大学　経 済 学 部（経済学科）

学士（経済政策学）近畿大学　経 済 学 部（総合経済政策学科）

学士（国際経済学）近畿大学　経 済 学 部（国際経済学科）

学士（経　営　学）近畿大学　経 営 学 部（経営学科）

学士（商　　学）近畿大学　経 営 学 部（商学科）

学士（会　計　学）近畿大学　経 営 学 部（会計学科）
学士（ｷｬﾘｱ･ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）近畿大学　経 営 学 部（キャリア・マネジメント学科）
学士（理　　学）近畿大学　理 工 学 部（理学科、生命科学科）
学士（工　　学）近畿大学　理 工 学 部（応用化学科、機械工学科、電気電子通信工学科、
社会環境工学科）
情 報 学 部（情報学科）
生物理工学部（生物工学科、食品安全工学科、遺伝子工学科、
生命情報工学科、人間環境デザイン工学科、医用工学科）
工　学　部（化学生命工学科、機械工学科、情報学科、建築学科、
電子情報工学科、ロボティクス学科）
産業理工学部（生物環境化学科、電気電子工学科、建築・デザイン学科、
情報学科）
学士（理　工　学）近畿大学　理 工 学 部（エネルギー物質学科）
学士（建　築　学）近畿大学　建 築 学 部（建築学科）
学士（経営ビジネス学）近畿大学　産業理工学部（経営ビジネス学科）
学士（薬　　学）近畿大学　薬　学　部（医療薬学科）
学士（薬　科　学）近畿大学　薬　学　部（創薬科学科）
学士（農　　学）近畿大学　農　学　部（農業生産科学科、水産学科、応用生命化学科、食品栄養学科、
環境管理学科、生物機能科学科）
学士（文　　学）近畿大学　文 芸 学 部（文学科、文化・歴史学科）
学士（文　芸　学）近畿大学　文 芸 学 部（芸術学科、文化デザイン学科）
学士（総合社会学）近畿大学　総合社会学部（総合社会学科）
学士（国　際　学）近畿大学　国 際 学 部（国際学科）
学士（医　　学）近畿大学　医　学　部（医学科）

第５章　入学・編入学・転学・外国留学・休学・退学・除籍・復学・再入学及び復籍

（入学の時期）

第 23 条　入学の時期は、毎学年の始めとする。

（入 学 資 格）

第 24 条　本大学の各学部に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

⑴　高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者

⑵　通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者

⑶　外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

⑷　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課

程を修了した者

⑸　文部科学大臣の指定した者

⑹　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑺　その他本大学において、相当の年令に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

（入学選考）

第25条　入学を志願する者は、所定の手続と同時に別表⑺に定める入学検定料を納め、本学が行う選考により、合格した者について入学を許可する。

（入学手続）

第26条　入学を許可された者は、指定された期日までに別に定める入学金、授業料、その他の学費を納入するとともに学生規程に定める手続きに従い入学手続を完了しなければならない。

（編　入　学）

第27条　本大学の医学部を除く各学部の第３学年次又は第２学年次において欠員がある場合、次の各号のいずれかに該当する編入学志願者について選考のうえ、編入学を許可することがある。

⑴　学士の学位を有する者

⑵～⑸　（省略）

第27条の２　医学部に欠員がある場合は、他の大学の医学進学課程を修了した者又はこれと同等以上の学力があると認めた者について選考のうえ、編入学を許可することがある。

第27条の３　編入学者の修業年限は、別に定める。

（転　　学）

第28条　本大学から他の大学に転学しようとする者は所定の手続きをとらなければならない。

２　転学に関する取扱は、別に定める。

（転部・転学部・転学科）

第29条　本大学の学生で、他の部又は学部・学科・専攻に転籍を志願する者については、関係学部における選考のうえ、これを許可することがある。

（外国留学）

第29条の２　（省略）

（休　　学）

第30条　病気その他やむを得ない理由で３カ月以上就学できないときは、その事実を証明する書類を添えて、保証人連署のうえ願い出て、その許可を得て休学することができる。

２　休学期間は、休学を許可された日から当該学期末又は当該年度末までとする。ただし、特別の事情がある場合には、引き続き休学を許可することができる。

３　休学できる期間は、連続して２年以内、通算して修業年限以内とする。

４　休学中の期間は、在学年数に算入しない。

5　休学中は、別に定める在籍料を納入しなければならない。

（復　　学）

第31条　休学者が休学の理由がやんだときは、保証人連署のうえ、復学を願い出てその許可を得て復学することができる。

（退　　学）

第32条　退学しようとする者は、その理由を記し、保証人連署のうえ願い出なければならない。ただし、やむを得ない事情のある場合はこの限りでない。

（除　　籍）

第32条の２　次の各号のいずれかに該当する者は、除籍とする。

⑴　第３条及び第27条の３に定める在学年数を超えた者

⑵　第30条第２項に定める休学を許可された期間を超えてなお復学又は退学しない者

⑶　学費の納入を怠り、督促を受けても納入しない者

⑷　新入生で学生証の交付手続きを行わない者、その他本学において修学する意思がないと認められる者

⑸　１年間以上にわたり行方不明の者

（再　入　学）

第33条　正当な理由で退学した者が、再入学を願い出たときは学年の始めに限り審査のうえ、許可することがある。

（復　　籍）

第33条の２　学費未納による除籍者については、別に定めるところにより審査のうえ、復籍を許可することがある。

（二 重 在 籍）

第34条　本大学の学生は、同時に他の大学に在籍することを許さない。

（強 制 休 学）

第35条　校医が健康上の理由により修学が不適当と認めた学生に対しては、休学を命ずることがある。

（学 生 規 程）

第36条　学生が遵守しなければならない事項は、本学則に定めるほか、別に定める学生規程による。

第６章　学　　費

（学　　費）

第37条　入学金、授業料、教育充実費等学費の額は、別表⑺のとおりである。

（学費の納付）

第38条　学費は、毎学期始め所定の期日までに納付しなければならない。ただし、事情によって別に定めるところによりこれを分納することができる。

２　学期の中途で退学した者又は除籍された者も、当該期分の学費を納入しなければならない。

（学費納入要項）

第 39 条　学費については、この学則に定めるほか、別に定める学費納入要項による。

第７章　賞　　罰

（表　　彰）

第 40 条　学力優秀、品行方正な者、その他格別の功績があった者は、これを表彰する。

（懲　　戒）

第 41 条　学則、学生規程その他諸規則に違反し、本学の秩序を乱し、又は性行不良その他学生の本分にもとる行為のあった者に対しては、懲戒として情状により譴責、停学又は退学の処分を行う。

２　次の各号の一に該当する者には退学を命ずる。

⑴　性行不良で改善の見込がないと認められる者

⑵　学業を怠り成業の見込がないと認められる者

⑶　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第 42 条　前２条の表彰及び懲戒は、必要に応じ賞罰委員会又は大学協議会で審議するものとする。

２　賞罰委員会に関する事項は、別に定める。

第８章　科目等履修生・委託生及び外国人留学生（省略）

第９章　教職員組織（省略）

第10章　奨学生

（奨　学　生）

第 64 条　学力優秀、品行方正で学生の模範と認められた学生を選んで奨学生とすることがある。

２　奨学生に対しては、学費の全部又は一部を貸給与する。

３　奨学生に関する事項は、別に定める。

附　　則（省略）

この学則の改正は、令和２年４月１日から施行する。

別　　表（省略）

別　　記（省略）

近畿大学学生規程

（昭和 38 年 4 月 1 日）
最近改正（令和 3 年 4 月 1 日）

第 1 章　総　　則

（規則の遵守）

第 1 条　学生は、近畿大学学則（以下「学則」という。）、近畿大学短期大学部学則（以下「短期大学部学則」という。）に定めるほか、本規程その他大学の諸規則を守らなければならない。

（自 治 活 動）

第 2 条　学生は、健全な自治活動に努めなければならない。

（学 内 秩 序）

第 3 条　学生は、個人、団体を問わず学内の秩序を乱してはならない。

（意見の申し出）

第 4 条　大学に対する希望あるいは意見等を申し出る場合は、所属学部長又は学生部長を通じて行わなければならない。

第 2 章　学　生　証

（学生証の交付）

第 5 条　学生は、入学と同時に学生証の交付を受けなければならない。

2　学生証は、常に携帯し、本学教職員の請求があったときは、これを提示しなければならない。

（学生証の返納）

第 6 条　学生証は卒業、退学、除籍、又はその有効期間を経過したときは、直ちに大学運営本部学生部に返納しなければならない。

（学生証の再交付）

第 7 条　学生証を紛失したときは、直ちに大学運営本部学生部に届け出て再交付を受けなければならない。

第 3 章　誓約及び学生登録

（誓　　約）

第 8 条　入学を許可された者は、学生となるにあたっての誓約を行わなければならない。なお、その手続は別途入学手続マニュアルに定める。

（学　　生）

第 9 条　学生は、入学の際に必要事項を登録しなければならない。なお、その手続は別途入学手続マニュアルに定める。

（身上異動届）

第 10 条　前条に基づく登録事項に変更が生じたときは、すみやかに大学運営本部学生部に届け出なければならない。

（保　証　人）

第 11 条　保証人は 1 名とし、父母又はこれに代わる者とする。

2　保証人は、独立の生計を営み保証人としての責務を果たすことのできる者でなければならない。

第 4 章　学　　費

（学 費 納 期）

第 12 条　学費は、所定の金額を前期、後期に分け、毎年前期は 5 月 14 日までに、後期は 10 月 14 日までに納付するものとする。ただし、学部、学科、専攻、学年次によって期日を変更する場合がある。

（延納・分納）

第 13 条　特別の事情のある者は、本学の承認を受けて、延納又は前条に定める各期の納付額を次の期日までに分納することができる。

	前 期 分	後 期 分
第 1 回	5 月 20 日	10 月 31 日
第 2 回	6 月 10 日	11 月 30 日
第 3 回	6 月 30 日	12 月 20 日

2　延納の期日は、別に定める。

3　前項の承認を受けようとする者は、毎学年始め本学の指定する期限内に法人本部財務部資金室（地方学部においては担当部署、以下同じ）に願い出なければならない。ただし、納入期日が土曜日又は日曜日の場合は翌月曜日とし、振替休日の場合はその翌日とする。

（延　滞　料）

第 14 条　学費を所定の納入期日までに納入しなかった者は、保証人連署の上延滞手続書類を法人本部財務部資金室に提出し、延滞料及び滞納学費を納入しない限り除籍とする。

第 5 章　試　　験

（試験注意事項）

第 15 条　定期試験、その他の試験においては、各学部における規程のほか、次の事項を守らなければならない。もしこれを守らず受験した場合は、その試験を無効とする。

⑴　学生証を所持しない者及び学生証（写真等）の不備な者は、受験することができない。

⑵　試験の際は、必ず机上に学生証を提示しておかなければならない。

⑶　試験開始後 20 分以上遅刻した者は、試験場に入ることができない。

⑷　配布された試験用紙は、すべて提出しなければならない。

⑸　その他試験場においては、すべて監督員の指示に従わなければならない。

（不 正 行 為）

第 16 条　一切の不正行為を厳禁する。不正行為者に対しては、学則第 41 条又は短期大学部学則第 32 条によって処分する。

第６章　欠席・休学・退学・除籍・復学・復籍及び再入学

（欠　　席）

第 17 条　病気、災害その他の理由により１週間以上欠席しようとするときは、所定の欠席届に欠席事由を証明する診断書等の書類を添え、各学部の学生センターを経て所属学部長に提出しなければならない。

（休　　学）

第 18 条　病気その他やむを得ない理由で３カ月以上就学できないときは、その事実を証明する書類を添えて、保証人連署の上休学願を提出し、その許可を得て休学することができる。

２　休学期間は、休学を許可された日から当該学期末又は当該年度までとする。ただし、引続き休学を希望する者は、前項の手続きを経て、引き続き休学することができる。

３　休学できる期間は、連続して２年以内、通算して修業年限以内とする。

４　休学期間は、在学年数に算入しない。

５　休学中の学生が、学則第 30 条又は短期大学部学則第 21 条に定める休学期間の延長、学則第 31 条、短期大学部学則第 22 条及び本規程第 23 条に定める復学手続きを行わなかったときは、休学期間中にかかわらず当該学期末又は当該年度末をもって除籍として取り扱う。

（休学中の在籍料）

第 19 条　休学中は在籍料を納入しなければならない。ただし、諸会費は、全額徴収する。

（退　　学）

第 20 条　病気その他やむを得ない理由により退学しようとするときは、所定の退学届に保証人連署の上、学生証を添えて各学部の学生センターへ届け出なければならない。ただし、やむを得ない事情のある場合はこの限りでない。

（除　　籍）

第 21 条　学費を所定の納入期日までに納入しなかった者は、学則第 32 条の２第３号又は短期大学部学則第 23 条の２第３号の規程により除籍する。

２　学費未納により除籍された者の在籍の最終日付は、すでに学費を納入した学期の末日とし、学長の決裁の日付を除籍決定日とする。

３　学費未納による除籍日は、次のとおりとする。

	除籍日
前期学費未納者	７月 31 日
後期学費未納者	１月 31 日

（除籍者復籍）

第 22 条　学費未納により除籍となった者が復籍を希望するときは、保証人連署の上、所定の復籍願を各学部の学生センターへ提出し、許可を受けなければならない。

ただし、除籍された年度内に限るものとし、年度を超えた復籍は原則として認めない。

2　復籍手続者は、所定の復籍料及び滞納した学費を納入しなければならない。

3　所定の期日を過ぎても学費の納入なき場合は復籍を認めない。

（休学者復学）

第23条　休学者が復学しようとするときは、休学期間中の8月25日から8月31日又は3月1日から3月7日までの間に所定の復学願に保証人連署の上、各学部の学生センターに願い出なければならない。

2　病気等による休学者が復学しようとするときは、「診断書」を添えなければならない。

（再　入　学）

第24条　所定の手続きを経て退学した者が、再入学を希望するときは、次に定めるところにより審査の上、再入学を認めることがある。

⑴　所定の再入学願に保証人連署の上、就学できることを証明する書類を添えて、各学部の学生センターに願い出なければならない。

⑵　再入学手続書類の提出期限は、退学となった学年度、翌学年度及び翌々学年度の3月1日から3月7日までとする。

⑶　再入学を許可された者は、所定の学費並びに再入学金を納入しなければならない。

⑷　退学となった年度内の再入学は、許可しない。

（復学・再入学）

第25条　休学者及び退学者の復学又は再入学の年次は、原則として原年次とするが、事情により必ずしもこの限りではない。

（再入学・復学後の学費）

第26条　再入学者及び復学者の学費は、当該年次のものを適用する。

第7章　　健 康 診 断

（健 康 診 断）

第27条　学生は、毎年1回以上定期的又は臨時に本学の定めるところにより健康診断を受けなければならない。

（診断結果の措置）

第28条　前条の健康診断の結果、休学、出席の停止、その他疾病の予防又は治療に関し、本学の指示に従わなければならない。

（病 気 復 学）

第29条　前条による休学者が復学しようとするときは、「診断書」を提出し、学校医による健康診断を受けなければならない。

第8章　公示・通達

（公示・通達）

第30条　本学が学生に対する公示・通達する場合は、所定の掲示板掲示、電子メール配信その他の適切

な方法にて行うものとする。

第９章　服装

（服　　装）

第 31 条　服装は、本学の学生としての品位を保つものでなければならない。

第10章　団体及び集会

（団 体 活 動）

第 34 条　本学においては、学生の団体活動は、すべて公認の団体以外は認めない。

2　前項の公認の学生団体とは、第 35 条に規定する手続を経て結成し大学の承認を得た団体をいう。

（団体の結成）

第 35 条　学生が団体を結成しようとするときは、部長及び学生の役員３名以上を定め、団体の規約又は会則及び名簿各２部を作成し、大学運営本部学生部に提出し大学の承認を得なければならない。

2　前項の部長は、本学の専任教職員のうちから学生部長の推薦により、大学が委嘱する。

（学 外 団 体）

第 36 条　学生又は学生の団体が学外団体に加入し、又は学外団体の活動に参加しようとするときは、当該学外団体の規約、会則及び参加者名簿を添えて、１カ月前までに大学運営本部学生部に願い出て、承認を受けなければならない。

（団体員・役員の報告）

第 37 条　第 35 条の規定により設立された団体は、毎年５月 10 日現在を以って５月 20 日までに役員及び団体員名簿を大学運営本部学生部に届け出なければならない。ただし、当該団体がその所属する学部、学科、専攻全学生で組織する場合は役員名簿だけでよい。届け出のないものは、解散したものとして取り扱う。

2　団体の規約、会則その他の届出事項に変更の生じたとき、又は団体を解散したときは、大学運営本部学生部に届け出て承認を受けなければならない。

（行事・集会）

第 38 条　学生又は学生の団体が学内又は学外において行事を行う又は参加しようとするときは、14 日前（休講を必要とするときは 21 日前、海外で実施する行事は３カ月前）までに所定の行事許可願を大学運営本部学生部に提出し許可を受けなければならない。また、行事実施までに行事許可書を受領し、行事終了後７日以内にその結果を行事報告書として提出しなければならない。

2　合同練習、合宿、発表会、遊説、集団行進、示威、署名運動、募金、世論調査、物品販売等を行う場合には、行事許可願と同時に行事企画書及び収支計画書を提出しなければならない。また、行事終了後は行事報告書と同時に収支報告書を提出しなければならない。

4　学生部長が必要と認めたときは、本学の教職員を出席させる場合がある。

（有料の催物）

第 39 条　有料の催物を行うときは、第 38 条の手続きを完了し、行事終了後は遅滞なく収支報告書を学生部に提出し、監査を受けなければならない。

2　免税による催物を行うときは、集会願、行事計画及び予算書に免税証明書を添えて大学運営本部学生部に提出し許可を得た後、免税証明書を所轄税務署に提出し催物終了後、収益金は、大学又は公共福祉団体に寄付しなければならない。

（施設の使用許可）

第 40 条　学内の施設を利用して集会を開くときは、あらかじめ第 38 条の手続きを経て、各学部の学生センター及び法人本部総務部より使用許可を受けなければならない。使用許可を受けた者は、使用について全責任を負わなければならない。

（学外者の行事）

第 41 条　学生又は学生の団体が学外者を招く場合又は学外者の主催による場合等学外の者が関係する行事については、1 カ月前までに大学運営本部学生部に願い出て、許可を受けなければならない。

第11章　印刷物等の発行・配布及び掲示

（印 刷 物 等）

第 42 条　学生又は学生の団体が、新聞雑誌、パンフレット、ビラその他これに類するものを発行又は配布するときは、事前に当該配布物 1 部を添えて大学運営本部学生部に届け出て承認を得なければならない。

（掲　　示）

第 43 条　学生又は学生の団体が掲示しようとするときは、次の各号により大学運営本部学生部に届け出て承認を受けなければならない。

⑴　掲示物には、団体の正式名称又は責任者の氏名を明記すること。

⑵　掲示物の大きさは、180cm × 180cm までを原則とする。

⑶　掲示物の大きさにかかわらず、掲示物の全文の写しを大学運営本部学生部に提出すること。

2　掲示期間は原則として 14 日以内とし、掲示期間を過ぎた掲示物は、団体の責任者において撤去しなければならない。

3　掲示は、指定された場所以外にしてはならない。

4　前 3 項に違反した掲示は、関係管理者において撤去する。

（学 外 掲 示）

第 44 条　学外において本学の名称を用いてなす掲示については、事前に大学運営本部学生部に届け出て指導及び承認を受けなければならない。

第12章　雑　　則

（団体の解散又は活動の禁止）

第 45 条　学生又は学生の団体の活動又は行為が、本学の目的に反し、又は本学の秩序を乱す恐れがあると認めたときは、これを禁止し、又は解散させることがある。

（損害の弁償）

第 46 条　大学の施設及び工作物を汚損、撤去及び破壊してはならない。

2　前項に違反し、悪意を持って損害を及ぼした者には弁償させるものとする。

（罰　　則）

第 47 条　本規程に違反したものは、学則又は短期大学部学則によって処分する。

附　　則

この規程の改正は、令和３年４月１日から施行する。

学費納入要項（抄）

（昭和44年 2 月1日）
最近改正（令和 6 年 4 月1日）

1　学費の定義

⑴　この要項で学費とは、近畿大学において徴収する入学金、授業料、教育充実費、課外活動育成費、施設設備費及び実験実習費をいう。

⑵　この要項で学費等とは、学費及び近畿大学において徴収する諸会費をいう。

2　学費等の額

⑴　学費等の額は、別表⑴のとおりとする。

⑵　諸会費の内訳は、別表⑴のとおりとする。

3　学費等の納入期日

⑴　学費等は、毎年前期、後期の２回に分け、次の期日までに銀行振込みその他所定の方法により納入しなければならない。

前期分　5 月 14 日

後期分　10 月 14 日

ただし、納入期日が土曜日又は日曜日の場合は、翌月曜日とし、振替休日の場合はその翌日とする。

⑵　新入学生は、合格通知書に記載している期日までに銀行振込みその他所定の方法により学費等を納入するものとする。

4　学費等の延納

⑴　３⑴項に定める期日までに経済的事情等により学費等の納入ができない者は、毎学期のはじめ本学の指定する期間内に延納願いを法人本部財務部資金室（地方学部においては担当部署。以下同じ。）に提出し、許可を得なければならない。ただし、入学時については、延納を認めない。

⑵　延納は、許可された期日までに銀行振込みその他所定の方法により納入するものとする。

5　学費等の分納

⑴　３⑴項に定める期日までに経済的事情等により学費等の納入ができない者で学費等の分納を希望するものは、毎学期のはじめ、本学の指定する期間内に分納願いを法人本部財務部資金室に提出し、許可を得なければならない。

⑵　分納を許可された者は、次の期日までに銀行振込みその他所定の方法により納入しなければならない。

ただし、納入期日が土曜日又は日曜日の場合は、翌月曜日とし、振替休日の場合はその翌日とする。

	前期分	後期分
第１回	５月20日	10月31日
第２回	６月10日	11月30日
第３回	６月30日	12月20日

⑶　先に定めた納入期日までに、納入しなかった者は、滞納している学費等を銀行振込みその他所定の方法により納入するとともに、別表⑵の延滞料を納入しなければならない。

6　除　　籍

学費を所定の納入期日（延納、分納を願い出てその許可を受けた場合は、その期日）までに納入しない者は、学生規程第 21 条第 1 項により除籍される。

7　未納者の取扱

学費の未納者は、受験資格及び卒業を認めない。

8　休学中の在籍料

休学許可を受けた者は、別表⑵に定める在籍料を徴収する。ただし、諸会費は休学中でもその全額を徴収する。

9　停学中の学費等

停学中の学費等は、全額徴収する。

10　学費滞納により除籍となった者の学費

学費の滞納による除籍者が復籍を認められたときは、滞納学費を銀行振込みその他所定の方法により納入するとともに、別表⑵の復籍料を納入しなければならない。

11　休学、復学者の学費

休学者が復学を許可された場合は、その者の入学年度の学生が納付すべき当該年次の学費を適用する。

12　再入学の学費

⑴　退学者が再入学を許可された場合は、その者の当初入学年度の学生が納付すべき当該年次の学費を適用する。

⑵　再入学金は、当該年度における所定入学金の半額とする。

⑶　博士論文提出のための再入学者の学費は、別表⑵のとおりとし再入学金は免除される。

13　転部、転履修、転学科及び転学部の学費・転部料等

⑴　転部、転履修、転学科又は転学部を許可され、学籍が異動した者には、その者の入学年度の学生が納付すべき新所属における当該年次の学費を適用する。ただし、通信教育部から通学部への転籍については、新所属の当該年度における当該年次の学生が納付すべき学費を適用する。

⑵　通信教育部から通学部へ転籍する場合の転部料は、別表⑵のとおりとする。

⑶　昼夜開講制導入学部による転履修料は、別表⑵のとおりとする。

14　編入学の学費

⑴　本学学部卒業生が学内他学部に、また、本学の通信教育部学生、短期大学及び工業高等専門学校の卒業生が本学部に編入学を許可された場合は、学費は、当該年度における当該年次の学生が納付すべき学費を適用する。この場合入学金は、別表⑵のとおりとする。

⑵　他の大学の学部卒業生又は学部学生が、本学学部に編入学を許可された場合は、学費は、当該年度における当該年次の学生が納付すべき学費及び当該年度における入学金を適用する。

15　留年者の学費

留年した場合は、その者の入学年度の学生が納付すべき当該年次の学費を適用する。

また、卒業が延期となり９月卒業する者は、学費の半額（前期分学費）を徴収する。

16　学費の減免

⑴　本学教職員の子女の学費は、教職員子女学費減免規程により減免する。

⑵　「大学等における修学の支援に関する法律」により授業料等減免対象者となる者の学費は、同法に従い減免するものとし、これに必要な範囲で納付期日を延期し、その他適切な取扱いを行うものとする。なお、この場合において、5（3）項に定める延滞料は免除するものとする。

⑶　特待生の学費は、近畿大学特待生規程その他当該特待生に係る規程により減免する。

17　研修費

研修員の研修費は、別表⑵のとおりとする。

18　科目等履修料等

科目等履修生の選考料、登録料及び履修料は、別表⑵のとおりとする。

19　留学生の学費

留学生の学費は、一般学生と同額とする。また、留学生別科の入学金及び授業料は別表⑴のとおりとする。

20　受講料

教職課程の受講料、教育実習費及び司書課程の受講料は、別表⑵のとおりとする。

21　受験料

各種の受験料は、別表⑵のとおりとする。

22　手数料

各種証明書の手数料は、別表⑵のとおりとする。

23　学費の返還

本学の実施する入学試験に合格し、入学手続きを完了した者が、入学を辞退した場合は、「入学試験要項」の定めるところにより、入学金を除く学費等を返還する。

24　収納金銭の管理

⑴　この要項に定める学費及びその他納入金について、学校法人近畿大学経理規程に定める金銭管理責任者は、会計帳簿・伝票及び関係書類を保管するとともに、毎日、金銭収納について照合しなければならない。

⑵　この要項に定めるすべての納入金のうち窓口等で収納する現金を取扱う事務担当者は、毎日、会計帳簿・伝票及び関係書類と現金を照合するとともに、金銭管理責任者又は金銭出納責任者に照合結果を報告しなければならない。

⑶　その他収納金銭に関する取扱いは、学校法人近畿大学経理規程によるものとする。

附　　則

この要項の改正は、令和４年４月１日から施行する。

別表(1)（略）

別表(2)

種　　別			金　　額
在　籍　料	８項の在籍料		半期60,000円、年間120,000円 ただし、医学部医学研究科は 半期180,000円、年間360,000円
転　部　料	通信教育部から通学部へ転籍		１５０，０００円
転履修料	フレックス履修からイブニング履修への転履修		無料
	イブニング履修からフレックス履修への転履修		５０，０００円
編入学の入学金	14項（1）の該当者		１５０，０００円
授　業　料	12項（3）の該当者		半期50,000円、年間100,000円
研　修　費	文科系　１ヶ月 理科系　１ヶ月		２５，０００円 ４０，０００円
科目等履修生登録料	学部・短大部	本学(短期大学部を含む。)在籍者及び卒業者(中途退学者を含む。)は、免除。	２０，０００円
	大学院	本学大学院在籍者及び修了者（中途退学者を含む。）は、免除。	
科目等履修料	学部・短大部	講義科目　１単位 実験・実習・演習科目　１単位	１５，０００円 ２５，０００円
	大学院	講義科目　１単位 実験・実習・演習科目　１単位	２０，０００円 ３０，０００円
受　講　料	教育実習費 教職課程　毎年次 司書課程		実費 １０，０００円 １０，０００円

種別		金額
受験料	入学試験（外国人留学生入学試験を含む）	３５，０００円
	編入学	３５，０００円
	通信教育部から通学部への転部	３５，０００円
	転学部・転学科	３５，０００円
	フレックス履修からイブニング履修への転履修	１０，０００円
	イブニング履修からフレックス履修への転履修	１０，０００円
	同一学科内の転コース	無料
	科目等履修生選考料	１５，０００円
	追・再試験　１科目	１，０００円
証明書及び手数料	学費延滞料	２，０００円
	復籍料	１０，０００円
	学生証再発行	１，５００円
	教員免許申請用単位取得証明書	１，０００円
	英文各種証明書	３００円
	修了証明書 卒業証明書 成績証明書 健康診断証明書 修了見込証明書 卒業見込証明書 在学証明書	２００円 （コンビニエンスストアで発行の場合 在学生　５００円 卒業生　１，０００円）
	学位授与証明書	２００円
	仮学生証発行	５００円
	単位取得証明書 司書資格証明書 一級建築士試験 　指定科目修得単位証明書・卒業証明書 二級建築士試験・木造建築士試験 　指定科目修得単位証明書・卒業証明書 臨床工学技士国家試験指定科目履修証明書	２００円
	司書資格取得見込証明書 臨床工学技士国家試験指定科目履修見込証明書 在籍証明書	２００円
	教員免許状取得見込証明書 就職試験推薦状	３００円
	入学手続完了証明書	２００円

遺失物取扱規程

昭和53年 9 月20日
最近改正（令和 4 年 4 月 1 日）

（目　　的）

第１条　この規程は、本学構内において拾得した遺失物の取扱いについて、定めるものとする。

（遺失の届出）

第２条　大学運営本部学生部学生課は、遺失した旨の届出があったときは、遺失物届出簿に必要事項を記入させるものとする。

（拾得の届出）

第３条　本学構内において、遺失物を拾得した者（以下「拾得者」という。）は、速やかに学生部学生課に届け出なければならない。

２　本学教職員又は本学委託業者が業務中又は業務と関連して拾得した場合は、施設占有者である本学を拾得者とする。

３　第１項の届出があった場合、学生課は、拾得者に対し、当該拾得物に対する所有権並びに費用及び報労金を受け取る権利その他の拾得者に関する権利（以下「拾得者権利」という。）を放棄するかどうかを確認しなければならない。

４　拾得者は、届出の際その他適宜に、拾得者権利を放棄することができる。

（拾得物の受理）

第４条　拾得物は、遺失物届出簿に拾得の日時・場所、拾得者の氏名、拾得者権利放棄の有無その他の必要事項を記入したうえで、受理しなければならない。

２　拾得物の受理において、拾得者の請求があったときは、預り書を交付するものとする。

３　預り書の交付を請求しなかった拾得者が、その拾得者権利の行使として拾得物の引渡を請求できる日から１カ月以内に引渡を申し出ないときは、拾得者権利を放棄したものとみなす。また、引渡の申出から１カ月以内に引渡を受けないときも同様とする。

（遺失者への通知・返還）

第５条　学生課は、拾得物を受理した場合、遺失者の捜索に努めなければならない。ただし、捜索は最長でも７日間を目途とし、次条の届出を不当に遅延させてはならない。

２　学生課は、遺失者が判明した場合、当該遺失者に対し、書面、電話その他の適切な方法により、速やかに遺失物拾得の通知をしなければならない。

３　遺失者に拾得物を引き渡すときは、その特徴又は内容等を指摘させ正当な権利者であることを確認したうえで、受領書に必要事項の記入及び署名又は押印をさせた後に引き渡すものとする。

４　学生課は、拾得物を受理した場合、速やかに拾得物の種類及び特徴並びに物件の拾得の日時及び場所その他必要な事項を記載した物件一覧簿を作成し、遺失者及びその関係者の閲覧に供するものとする。

（遺失物の届出）

第６条　学生課は、遺失者が判明しない場合、遺失物届出簿にその旨を記入のうえ、速やかに当該遺失

物を所管警察署長に届出るものとする。

2　前項の規定にかかわらず、本学は、拾得物の交付又は拾得の日から２週間以内に、法令に定める事項を所管警察署長へ届け出ることにより、自ら拾得物を保管することができる。ただし、次の各号のいずれかに該当する拾得物は、この限りでない。

⑴　10万円以上の現金、有価証券又は貴金属等

⑵　法令等によりその所持が禁止されている物

⑶　クレジットカードその他個人情報が記載された文書、図画又は電磁的記録（ただし、本学の発行する学生証を除く。）

⑷　携帯電話、スマートフォン、パソコンその他これらに類する電子機器

⑸　拾得者が拾得者権利を放棄する意思を表示しなかった物

⑹　その他本学が届け出る必要があると判断した物

（遺失物の保管・処分）

第７条　本学は、善良な管理者の注意をもって拾得物を保管しなければならない。

2　本学は、前条第２項に基づき保管する拾得物（以下「保管拾得物」という。）を、原則として、当該保管拾得物について所管警察署長が公告した日（以下「公告日」という。）から３カ月間保管する。

3　前項の規定にかかわらず、公告日から２週間が経過した保管拾得物のうち次の各号のいずれかに該当するものは、所管警察署長に届出のうえ、売却することができる。

⑴　傘、衣類、履物又は自転車

⑵　衣服と共に身に着ける繊維製品又は皮革製品

⑶　動物

4　本学は、保管拾得物が滅失し、若しくは毀損するおそれがあるとき、又はその保管に過大な費用若しくは手数を要するときは、前２項の規定にかかわらず、所管警察署長に届出のうえ、これを売却することができる。

5　前２項に規定する場合において、買受人がないとき又は費用若しくは保管拾得物の性質に鑑み売却が適当でないときは、当該保管拾得物について、廃棄、学生施設への寄贈、社会福祉施設への寄贈その他適切な方法により処分することができる。

6　本学は、前３項に基づき保管拾得物について売却又は処分を行った場合、次の各号に掲げる事項を帳簿に記録して保存するものとする。

⑴　売却した場合

①　売却の日、理由、方法及び経過

②　買受人の氏名及び連絡先

③　売却の代金及び費用

⑵　処分した場合

処分の日、理由及び方法

（報 労 金 等）

第８条　遺失物に関する報労金については、遺失者と拾得者との話し合いに一任するものとする。

２　本学は、原則として、費用及び報労金を受け取る権利を行使しない。

（権 利 の 帰 属）

第９条　次の場合、当該拾得物に関する拾得者の権利は、本学に帰属する。

⑴　拾得者が不明のとき

⑵　拾得者が権利を放棄したとき

⑶　拾得者が教職員又は本学委託業者であるとき

（帳簿の保管期間）

第 10 条　拾得物に関する遺失物届出簿その他の書面の保管期間は、３年とする。

（そ　の　他）

第 11 条　遺失物の取扱については、この規程に定めるほか、所管警察署等の指導ないし協力のもと、適切に行うものとする。

附　　則

この規程の改正は、令和４年４月１日から施行する。

※遺失物取扱規程に記載の「大学運営本部学生部学生課」は大学運営本部和歌山キャンパス学生センター教務・学生担当に置き換えます。

近畿大学生物理工学部　学生行動規範

近畿大学生物理工学部
学友会

本行動規範は近畿大学 生物理工学部の学生がその行動を律するものとして、近畿大学生物理工学部学友会が自身で定めたものである。本学部生は、下記の事項を遵守し、勉学に励むとともに地域の一員として学生の本分を忘れることなく行動することを誓う。

1．我々は、社会の一員として一般の法令や社会規範を遵守し、健全な学生生活を送る。
2．我々は、自身が学生であることを自覚し、本分である学業に努めることを誓う。
3．我々は、豊かな自然と触れ合えることに感謝し、環境活動等に励む。
4．我々は、地域住民との交流を深め、互いにより良い関係を築く。
5．我々は、勉学だけでなく課外活動を通し、地域貢献に励む。
6．我々は、SNS 等を用いた誹謗中傷を行わないとともに、発信においては言葉遣いに細心の注意を払う。また、自他の個人情報の取扱いに注意を払う。
7．我々は、ひとりひとりの人権を尊重するとともに、社会的身分、障がい、国籍などを根拠とした個人を傷つけるような差別的行為を一切しない。
8．我々は、他者に対する一切のハラスメント行為を行わない。
9．我々は、学内における施設等を有意義に活用し、大切に扱う。

以上

学　内　配　置　図

193ページの前

研究室配置一覧

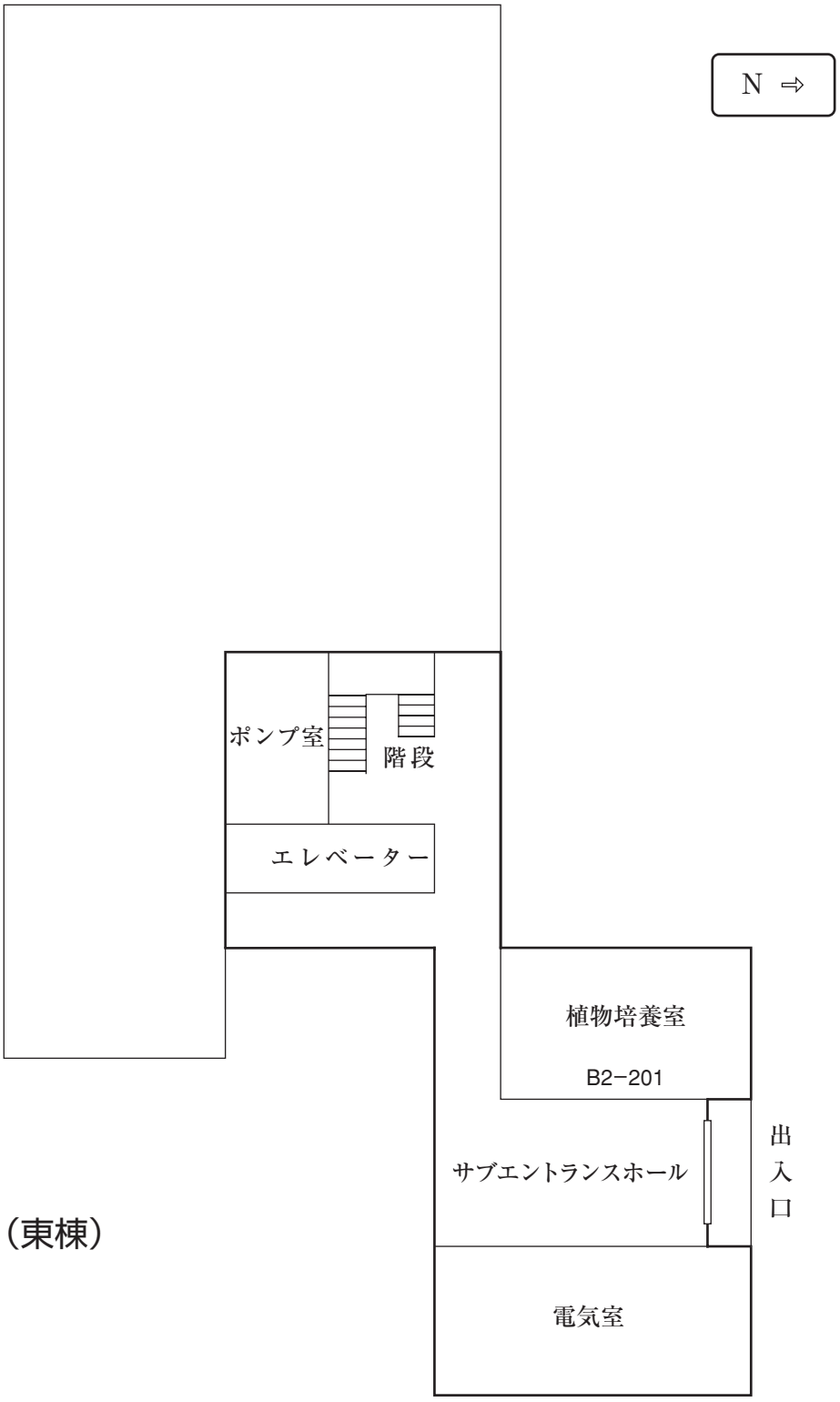
（順不同･敬称略）

所　　属	建物	階	研　　究　　室
生物工学科	1号館（東）	6	梶山慎一郎・岡南政宏
		5	大和勝幸
	1号館（西）	5	秋田求・堀端章・梶川昌孝
		4	星岳彦・松川哲也・坂本勝・藏下はづき
		2	鈴木高広
	2号館	5	藤澤雅夫
遺伝子工学科	1号館(東)	5	三谷匡・永井宏平
	1号館（西）	6	松本和也・中西章・田口善智・小田春佳
		5	森本康一・髙木良介・齋藤貴宗
		4	宮本裕史
	先進医工学センター	1	山縣一夫
食品安全工学科	1号館（東）	5	芦田久・栗原新
		4	東慶直・石丸恵・白木琢磨・江口陽子
		3	山本純之
	1号館（西）	6	武部聡
		4	吉見圭永
		1	尾﨑嘉彦・岸田邦博
生命情報工学科	1号館（東）	4	吉田久・財津桂
		3	中迫昇・浅居正充・篠原寿広・小濱剛
		2	宮下尚之・青木伸也・一野天利・永岡隆
		1	河本敬子
人間環境デザイン工学科	1号館（東）	2	片山一郎・藤田浩司
		1	楠正暢・島崎敢
	1号館（西）	3	大政光史・西垣勉
		2	廣川敬康・野田淳二
		1	豊田航
医用工学科	1号館（東）	4	山脇伸行・西川博昭
		3	根本充貴・三上勝大
		2	西手芳明
		1	加藤暢宏・福田誠・正木秀幸
	1号館(西)	1	山本衛
	10号館	1	古薗勉・中居卓也・徳嶺朝子
教職課程等	2号館	5	服部圭子・小田義隆・長谷川由美・玉井潤野・白崎護
先端技術総合研究所	10号館	1	米澤康滋
	1号館(東)	5	瀧川義浩
	2号館	5	松橋珠子
	高圧力タンパク質研究センター	1	櫻井一正
先端技術総合研究所控室	2号館	5	加藤博己・安齋政幸・黒坂哲

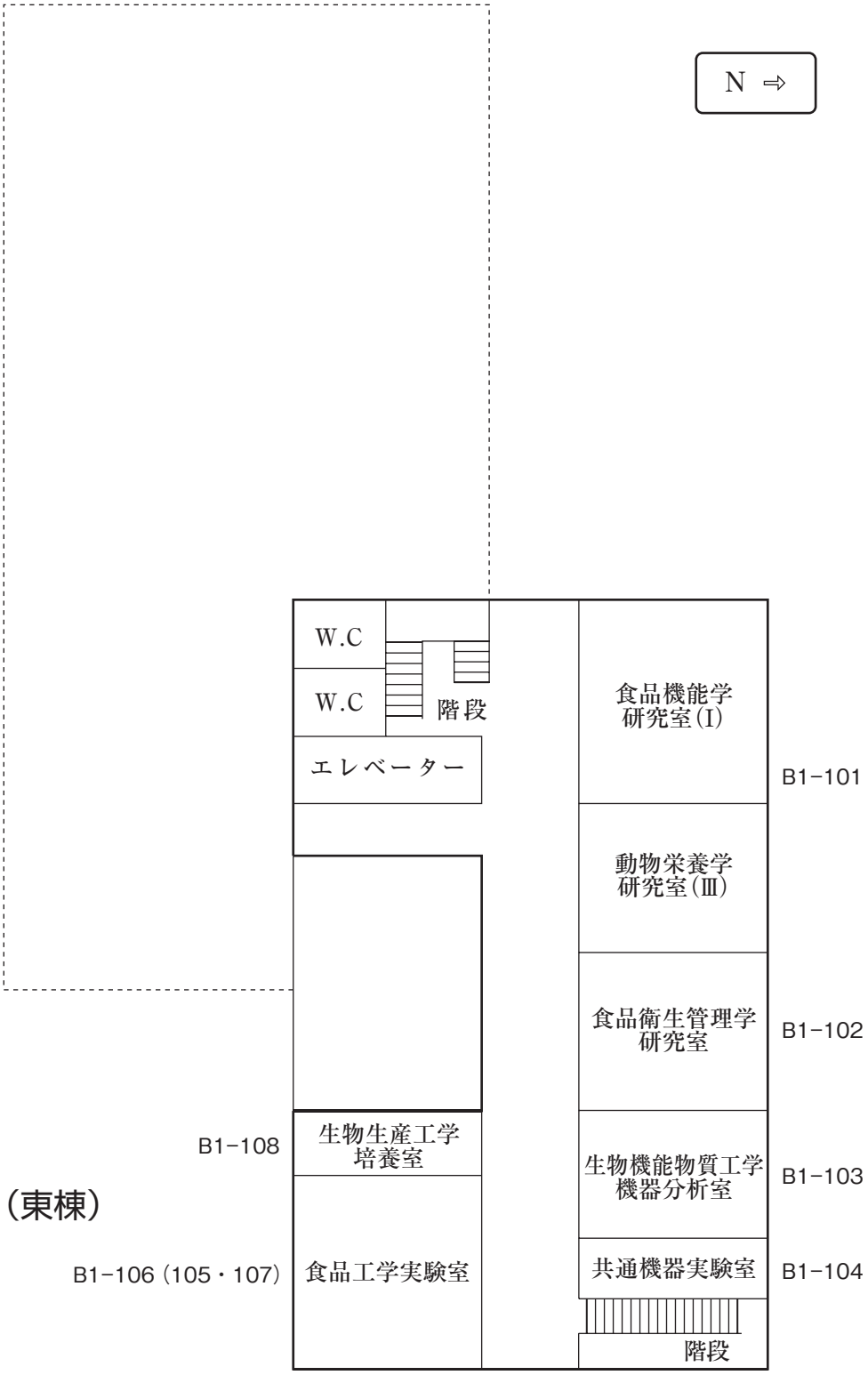
※変更になる可能性がありますので、ご不明な場合は1号館1階学科共通事務室または2号館1階教務・学生窓口でご確認ください。

学内配置図

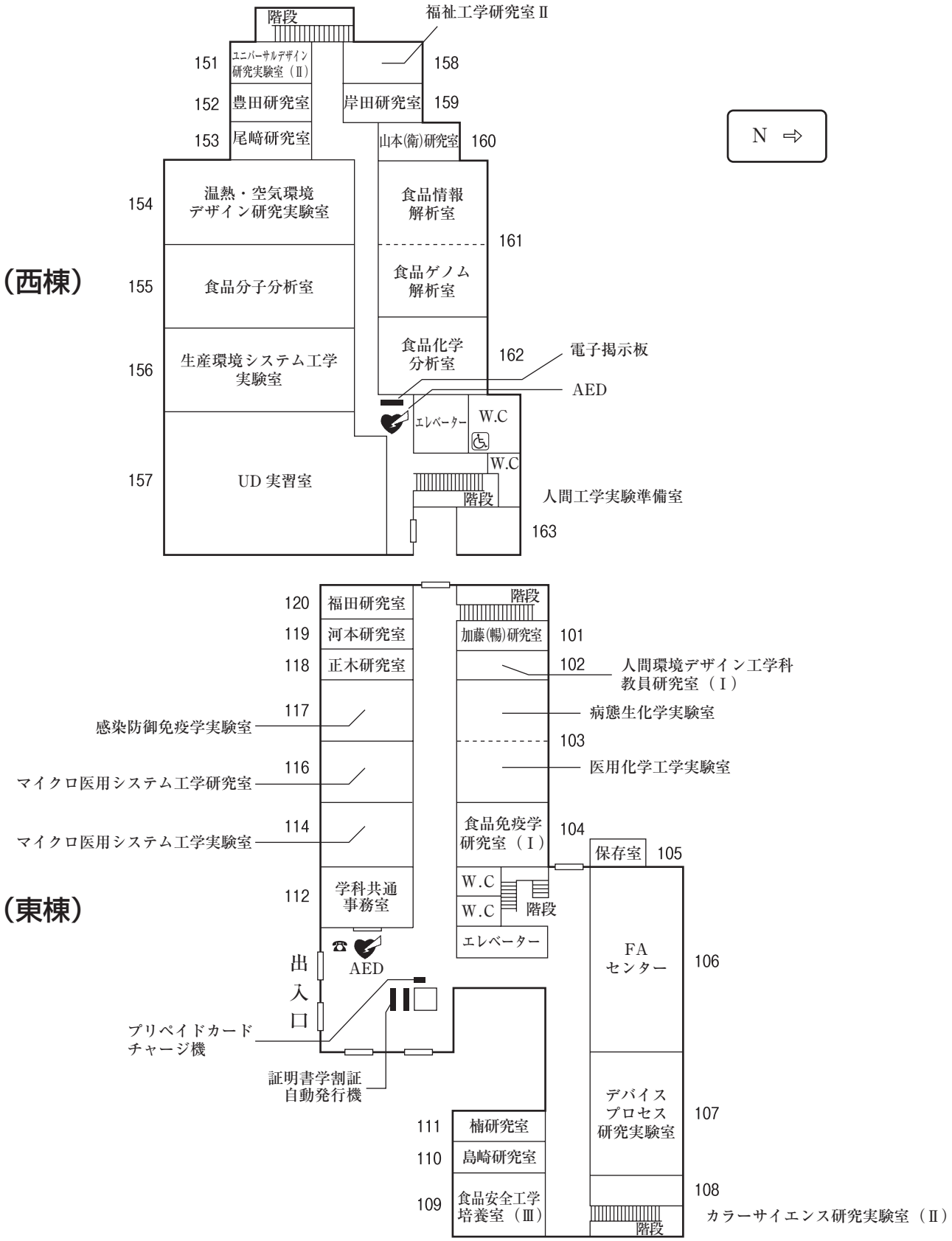
1号館　B2



1号館　B1

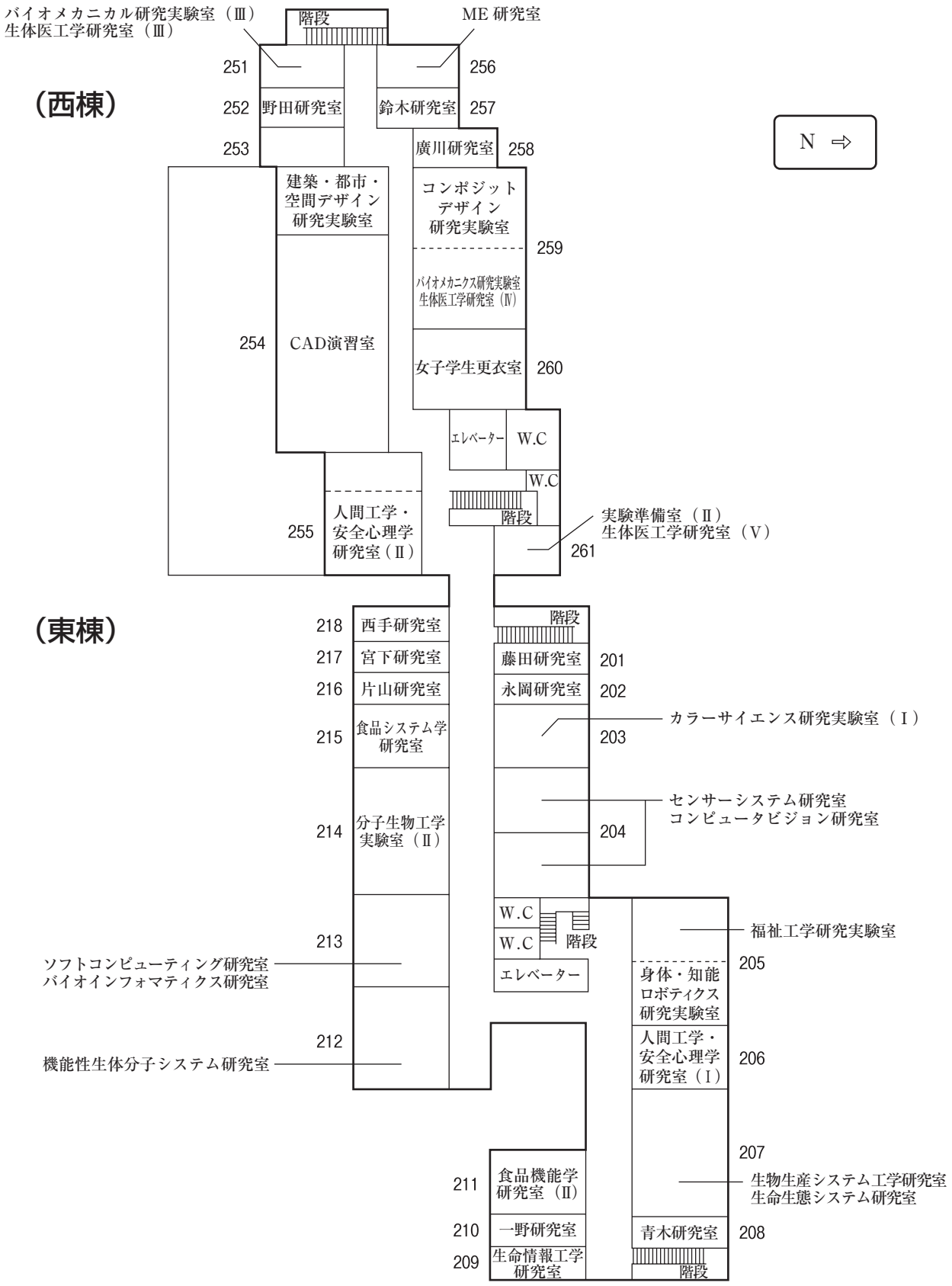

N ⇨
W.C
W.C
階段
エレベーター
食品機能学
研究室(I)
B1−101
動物栄養学
研究室(Ⅲ)
食品衛生管理学
研究室
B1−102
B1−108
生物生産工学
培養室
生物機能物質工学
機器分析室
B1−103
（東棟）
B1−106（105・107）
食品工学実験室
共通機器実験室
B1−104
階段

１号館　１階



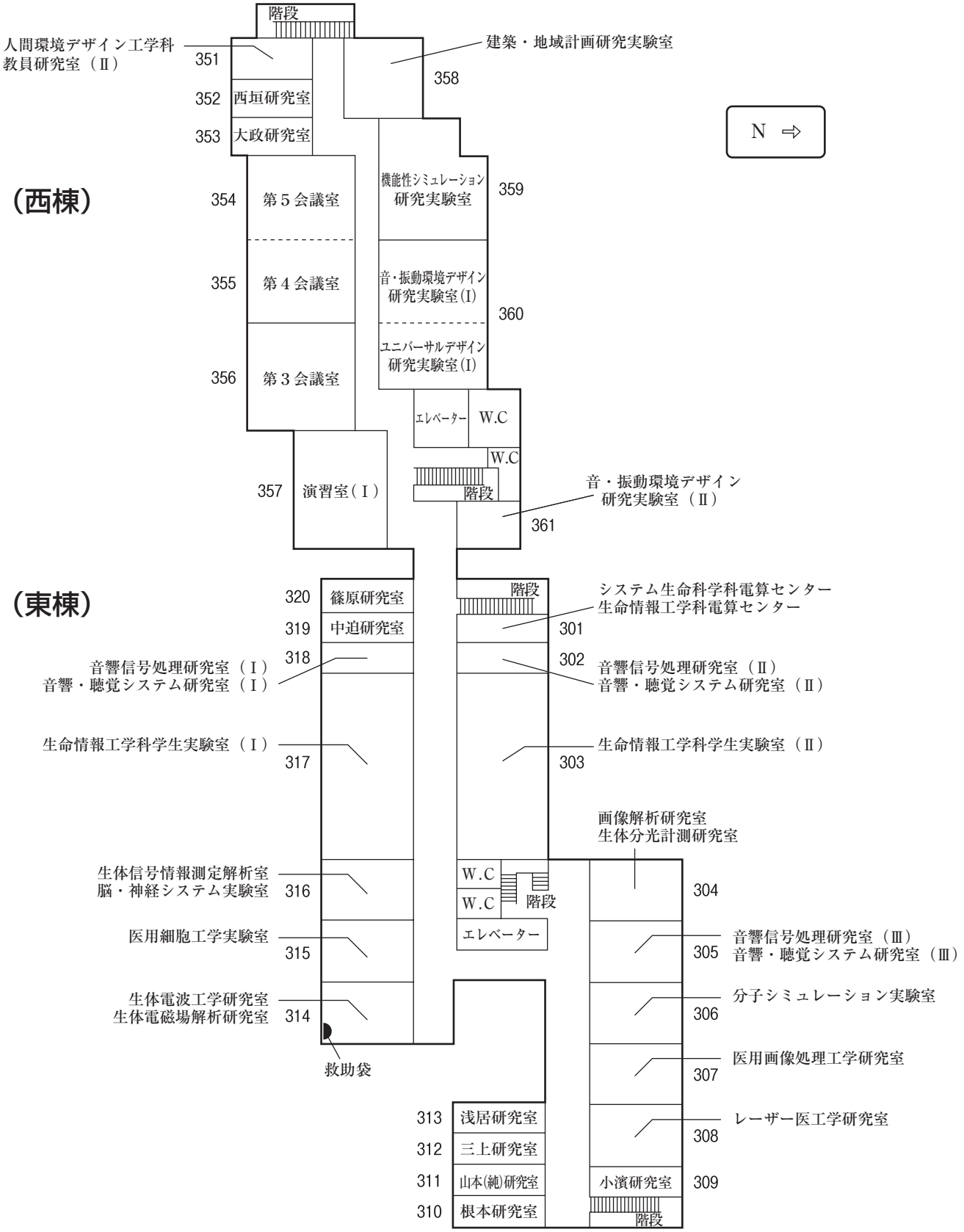
2 号館、3 号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

１号館　２階



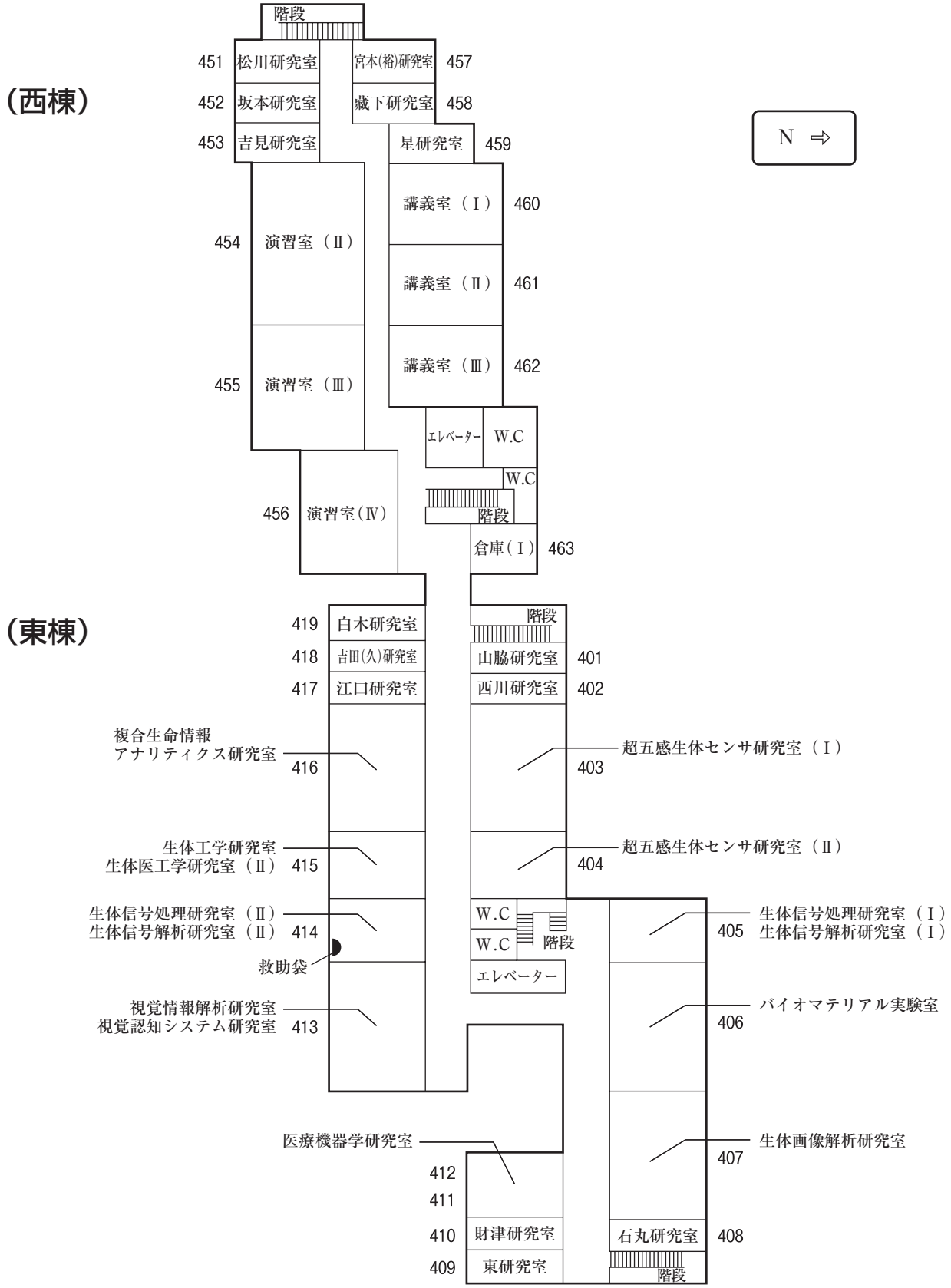
２号館、３号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

1号館　3階

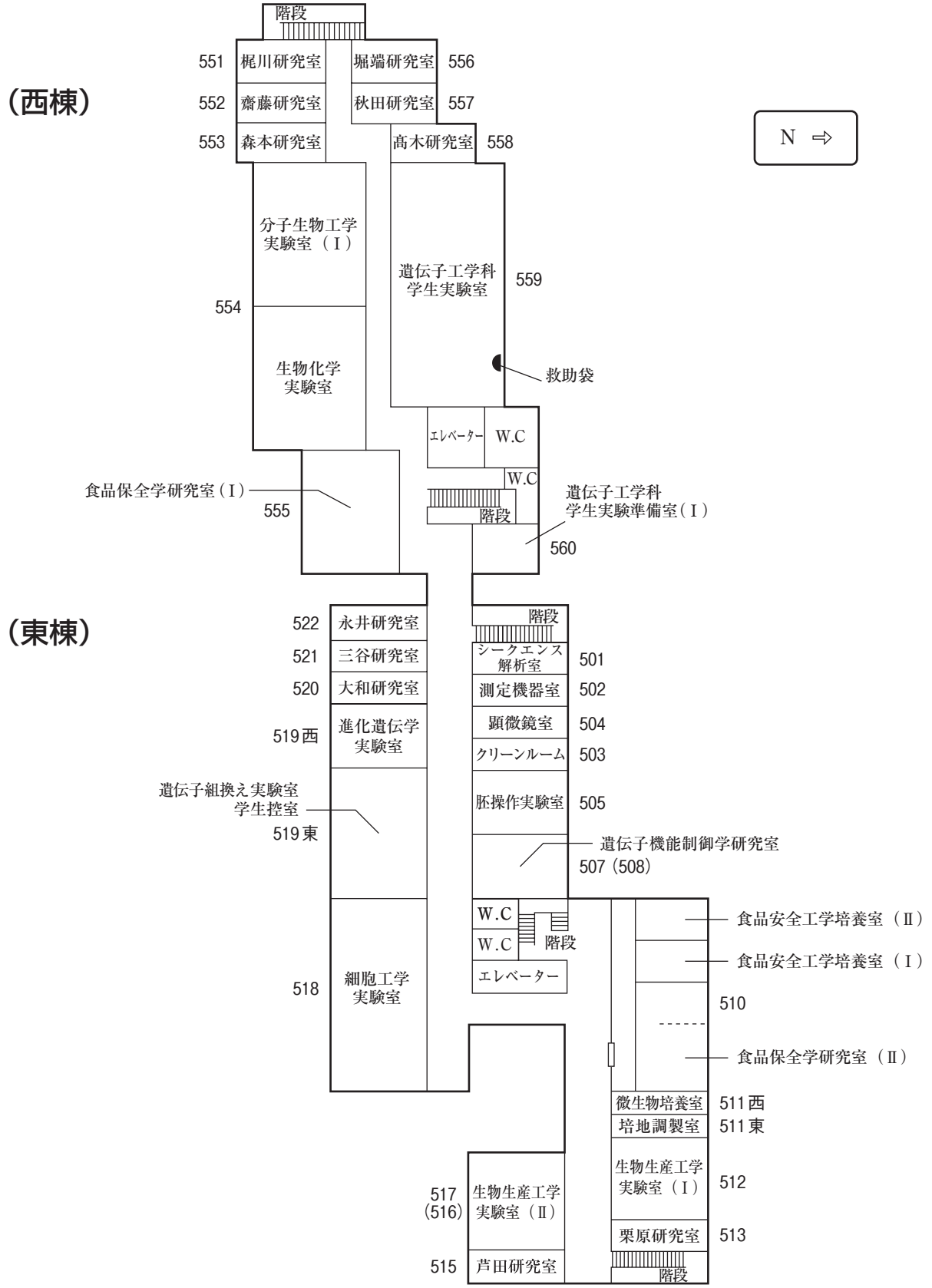


2号館、3号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

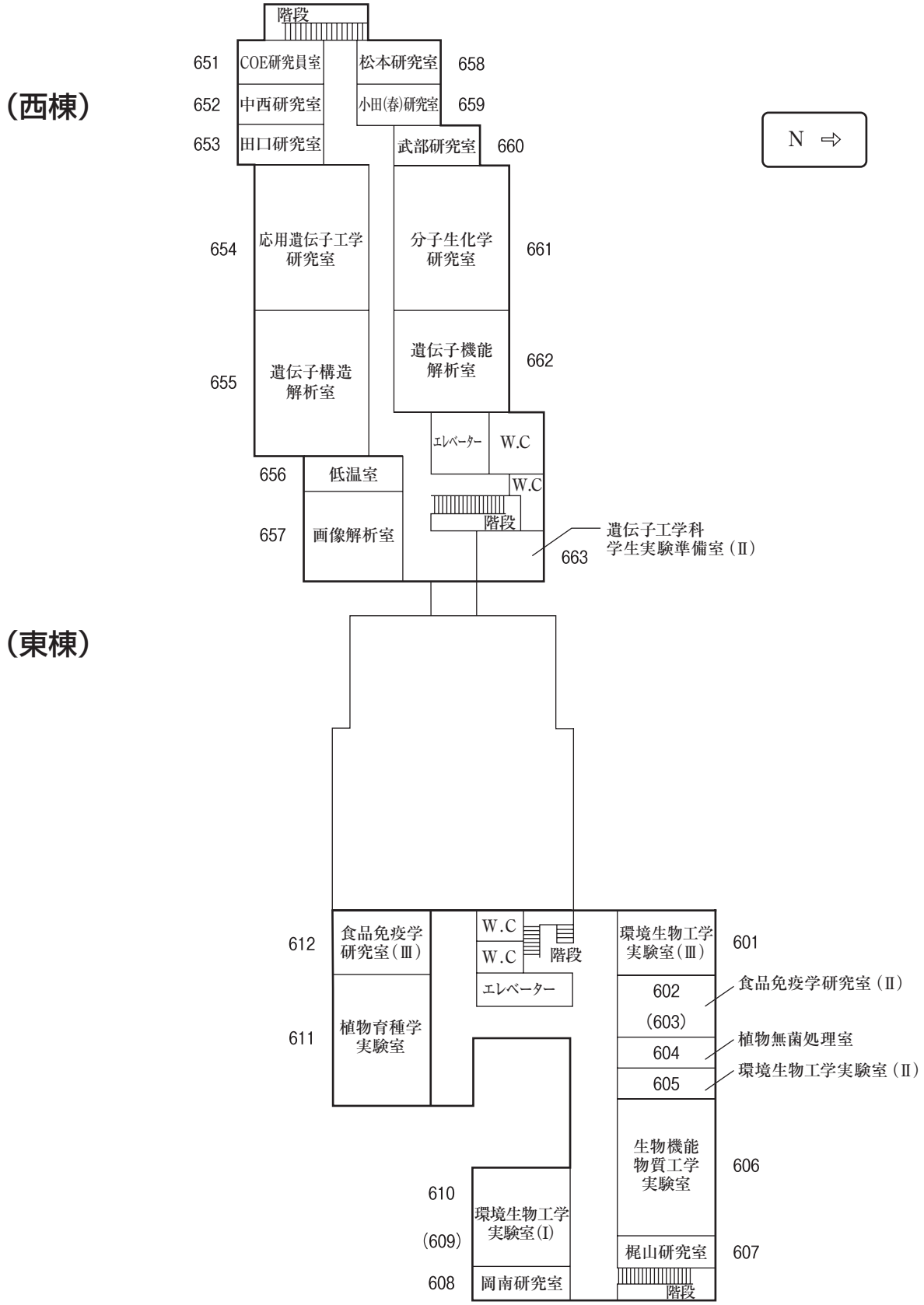
１号館　４階


（西棟）
階段
451 松川研究室
宮本(裕)研究室 457
452 坂本研究室
藏下研究室 458
453 吉見研究室
星研究室 459
講義室（Ⅰ） 460
454 演習室（Ⅱ）
講義室（Ⅱ） 461
講義室（Ⅲ） 462
455 演習室（Ⅲ）
エレベーター W.C
W.C
456 演習室(Ⅳ)
階段
倉庫(Ⅰ) 463
N ⇨
（東棟）
419 白木研究室
階段
418 吉田(久)研究室
山脇研究室 401
417 江口研究室
西川研究室 402
複合生命情報
アナリティクス研究室 416
超五感生体センサ研究室（Ⅰ） 403
生体工学研究室
生体医工学研究室（Ⅱ） 415
超五感生体センサ研究室（Ⅱ） 404
生体信号処理研究室（Ⅱ）
生体信号解析研究室（Ⅱ） 414
W.C
W.C
階段
生体信号処理研究室（Ⅰ）
405 生体信号解析研究室（Ⅰ）
救助袋
エレベーター
視覚情報解析研究室
視覚認知システム研究室 413
バイオマテリアル実験室
406
医療機器学研究室
生体画像解析研究室
407
412
411
410 財津研究室
石丸研究室 408
409 東研究室
階段

1号館　5階

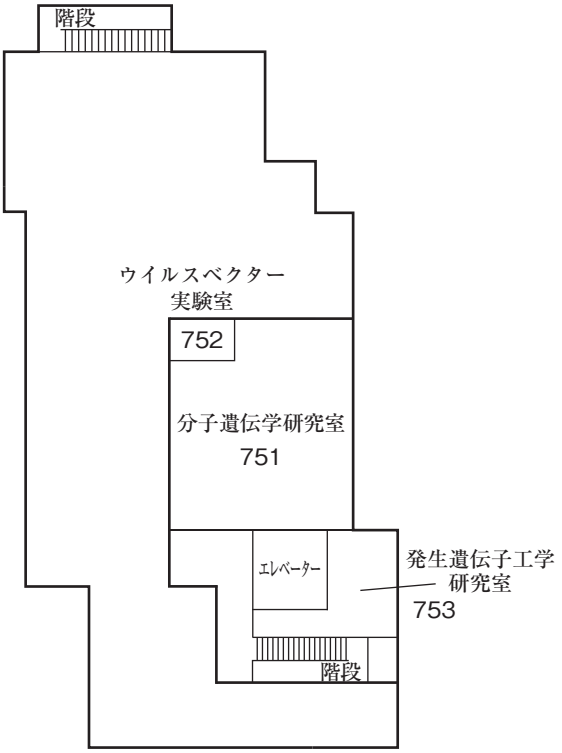

(西棟)
階段
551 梶川研究室
堀端研究室 556
552 齋藤研究室
秋田研究室 557
553 森本研究室
髙木研究室 558
N ⇨
分子生物工学実験室（Ⅰ）
554
遺伝子工学科学生実験室
559
生物化学実験室
救助袋
エレベーター
W.C
W.C
食品保全学研究室（Ⅰ）
555
階段
遺伝子工学科学生実験準備室（Ⅰ）
560
(東棟)
522 永井研究室
階段
521 三谷研究室
シークエンス解析室 501
520 大和研究室
測定機器室 502
519西 進化遺伝学実験室
顕微鏡室 504
クリーンルーム 503
遺伝子組換え実験室学生控室
519東
胚操作実験室 505
遺伝子機能制御学研究室
507（508）
W.C
W.C
階段
エレベーター
食品安全工学培養室（Ⅱ）
食品安全工学培養室（Ⅰ）
510
518 細胞工学実験室
食品保全学研究室（Ⅱ）
微生物培養室 511西
培地調製室 511東
生物生産工学実験室（Ⅰ） 512
517（516） 生物生産工学実験室（Ⅱ）
栗原研究室 513
515 芦田研究室
階段

1号館　6階


(西棟)
階段
651
COE研究員室
松本研究室
658
652
中西研究室
小田(春)研究室
659
653
田口研究室
武部研究室
660
N ⇨
654
応用遺伝子工学研究室
分子生化学研究室
661
655
遺伝子構造解析室
遺伝子機能解析室
662
エレベーター
W.C
656
低温室
W.C
階段
657
画像解析室
遺伝子工学科学生実験準備室(Ⅱ)
663
(東棟)
612
食品免疫学研究室(Ⅲ)
W.C
W.C
階段
環境生物工学実験室(Ⅲ)
601
エレベーター
602
(603)
食品免疫学研究室(Ⅱ)
611
植物育種学実験室
604
植物無菌処理室
605
環境生物工学実験室(Ⅱ)
生物機能物質工学実験室
606
610
(609)
環境生物工学実験室(I)
梶山研究室
607
608
岡南研究室
階段

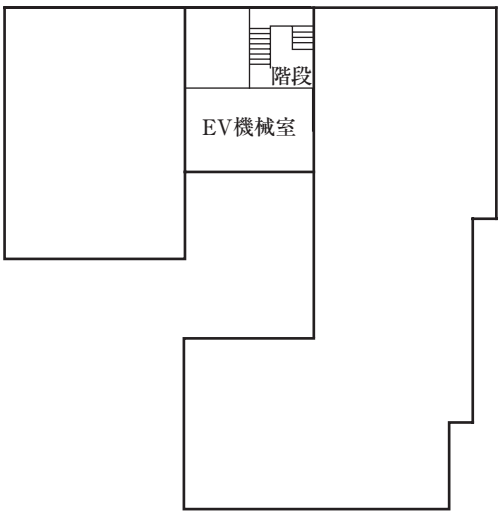
１号館　７階

（西棟）

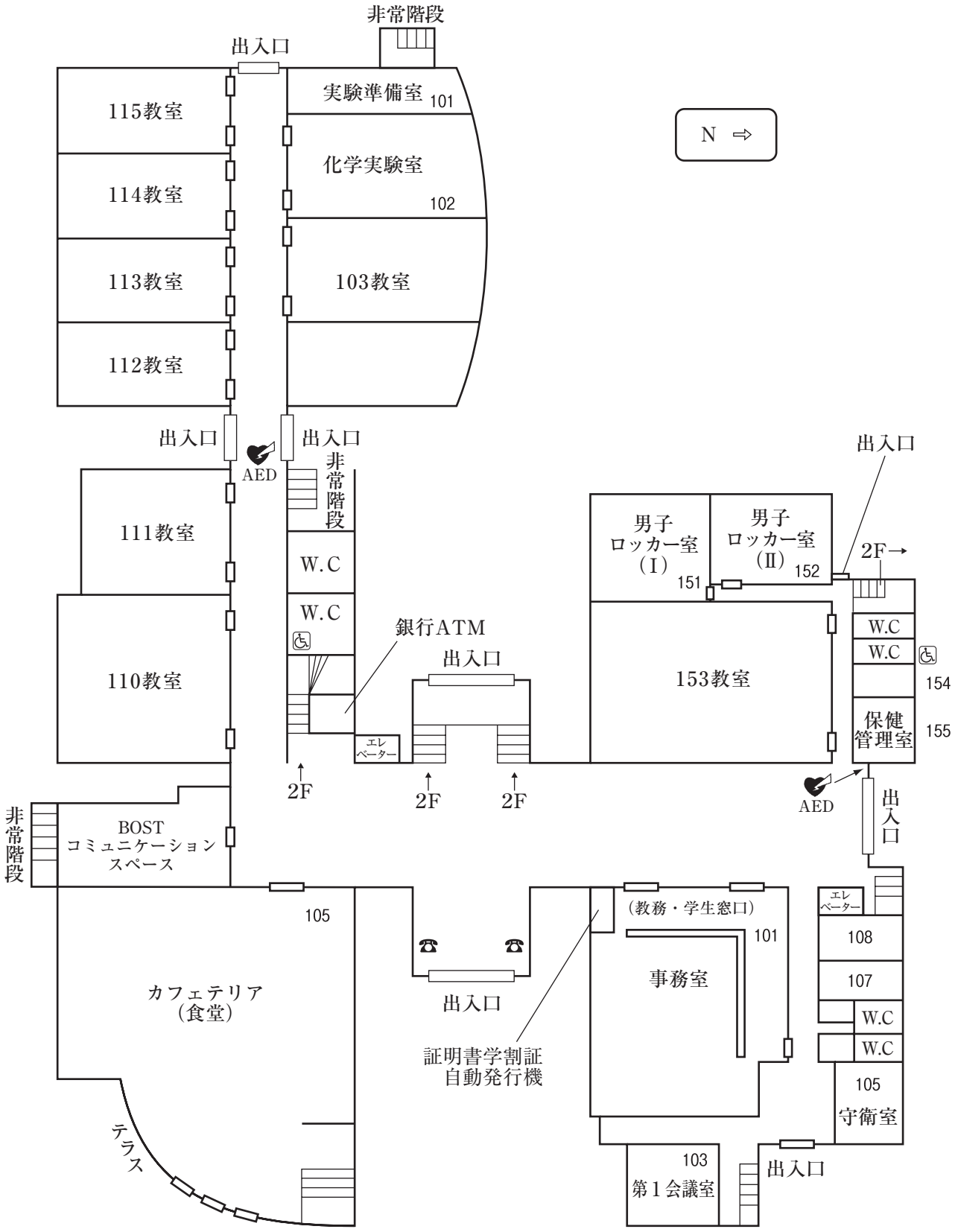

階段
ウイルスベクター
実験室
752
分子遺伝学研究室
751
エレベーター
発生遺伝子工学
研究室
753
階段

N ⇨

（東棟）

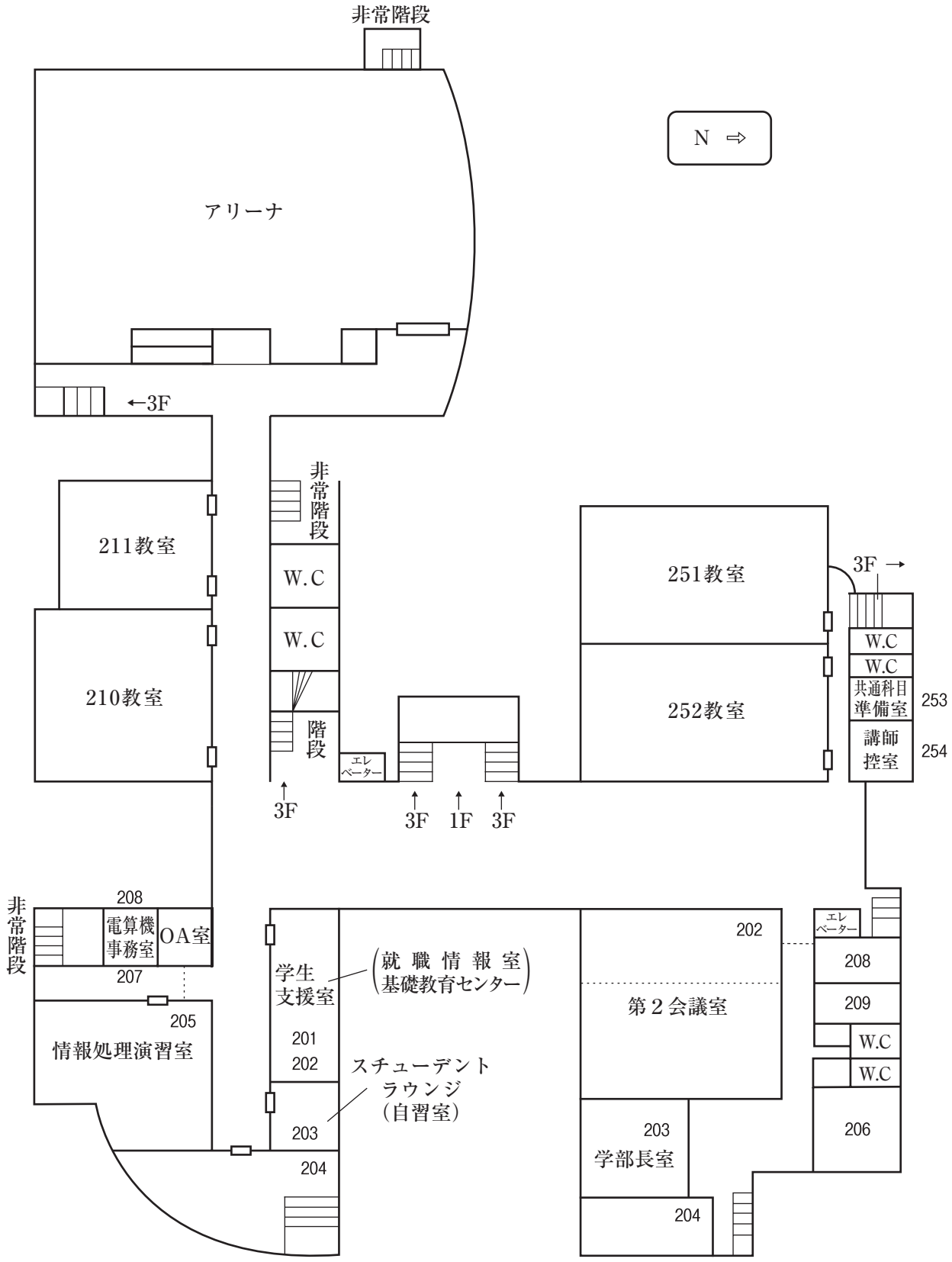

階段
EV機械室

２・３号館　１階



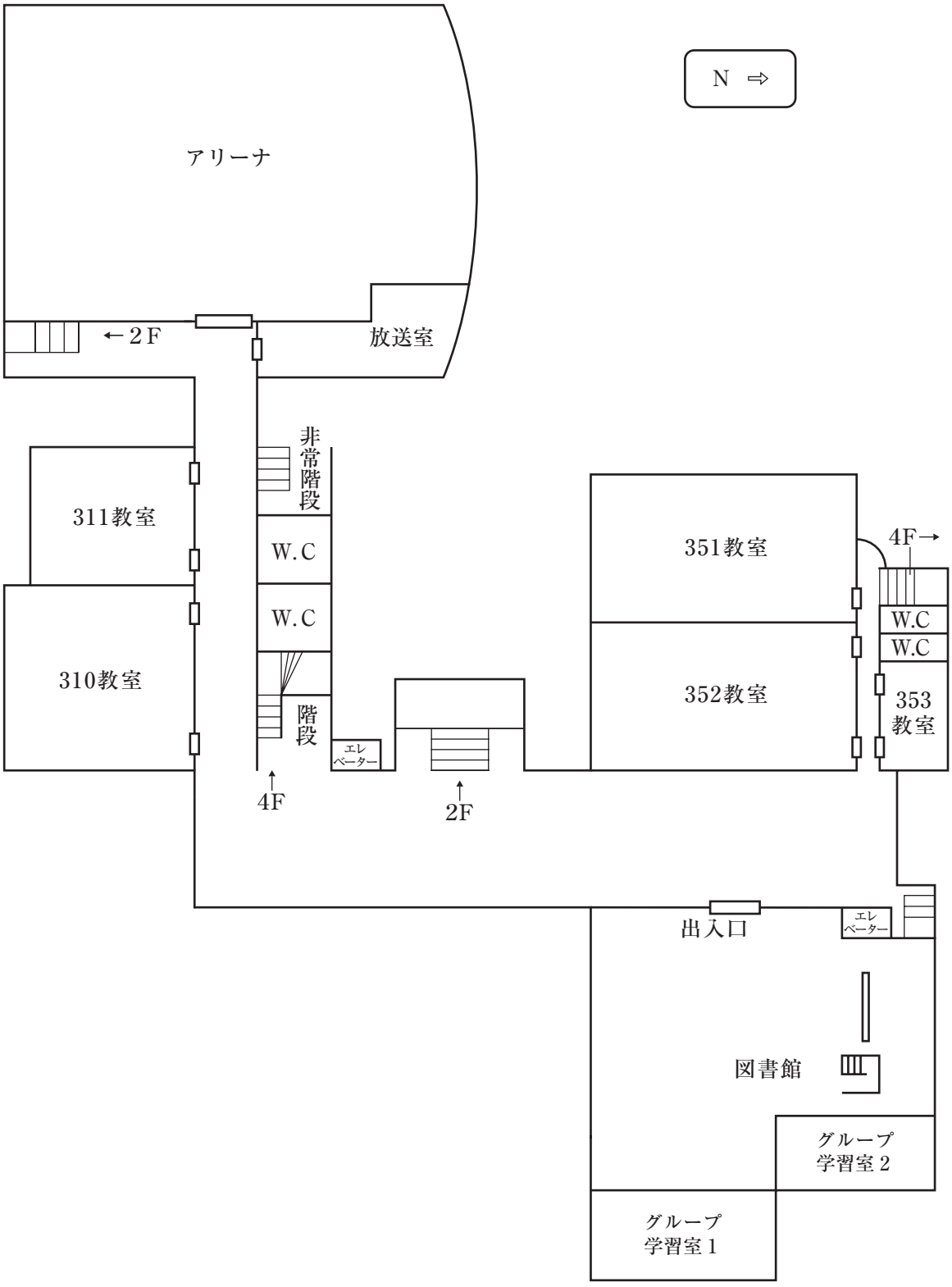
１号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

２・３号館　２階



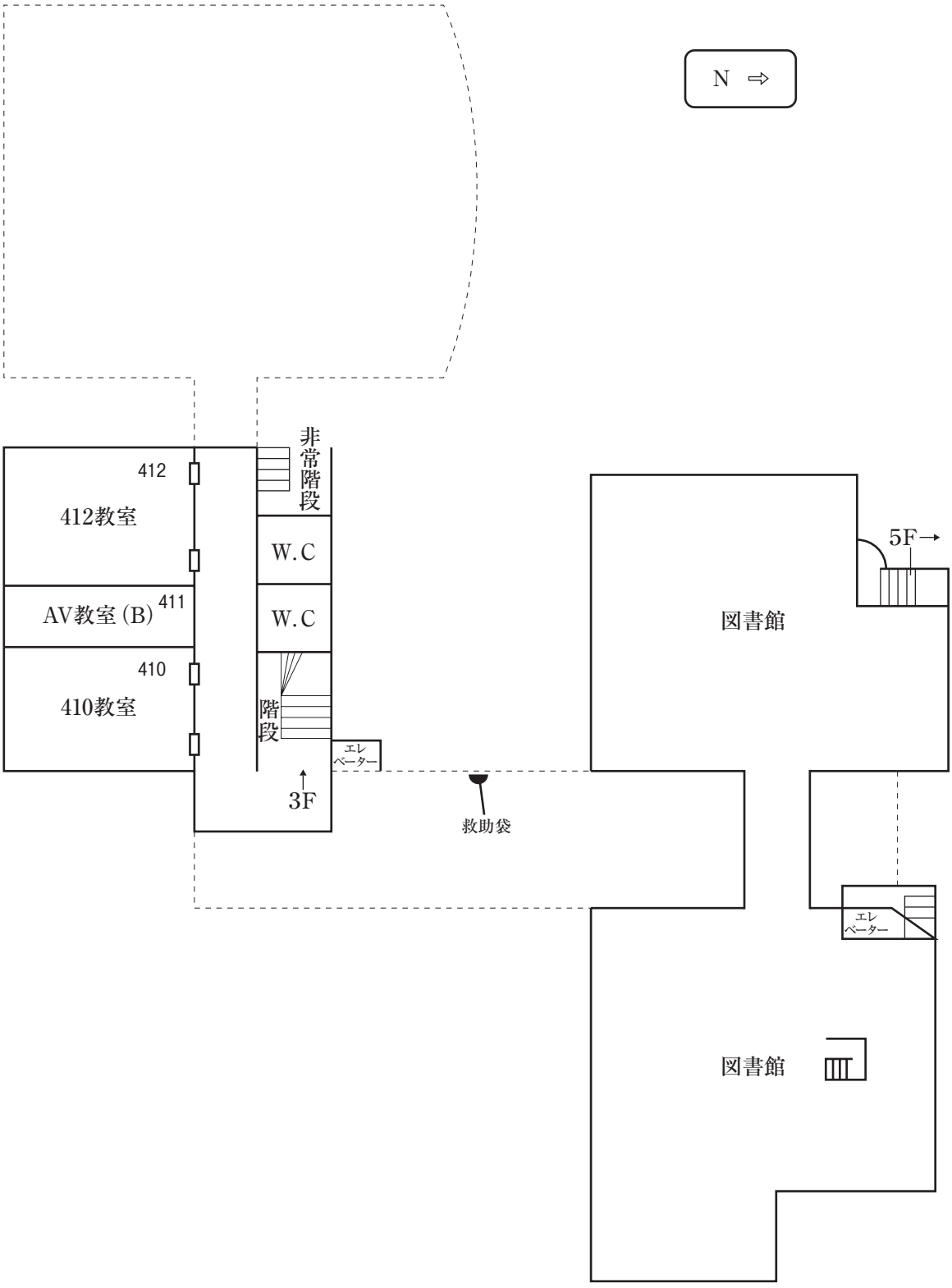
１号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

2・3号館　3階

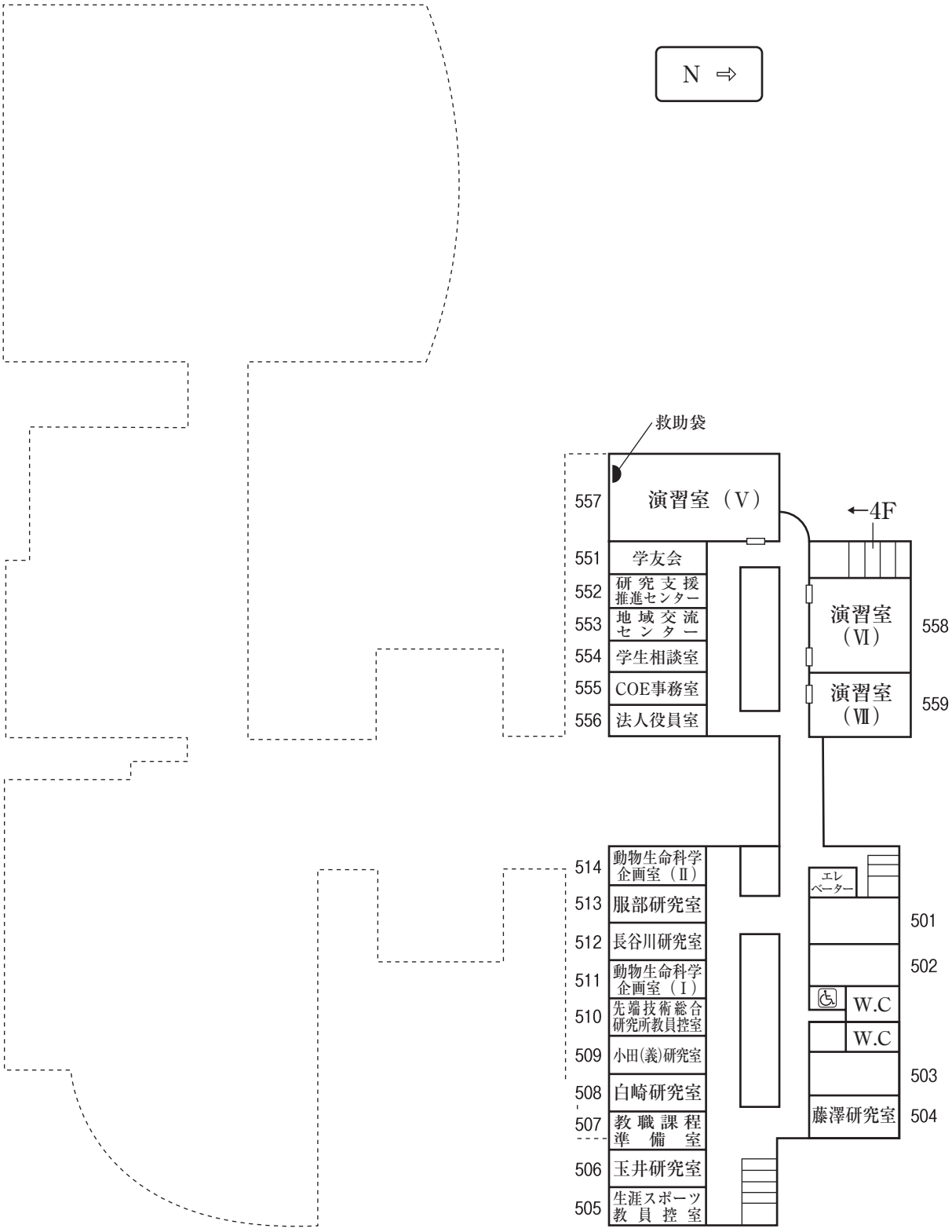


1号館にも同じ番号の教室がありますので注意してください。

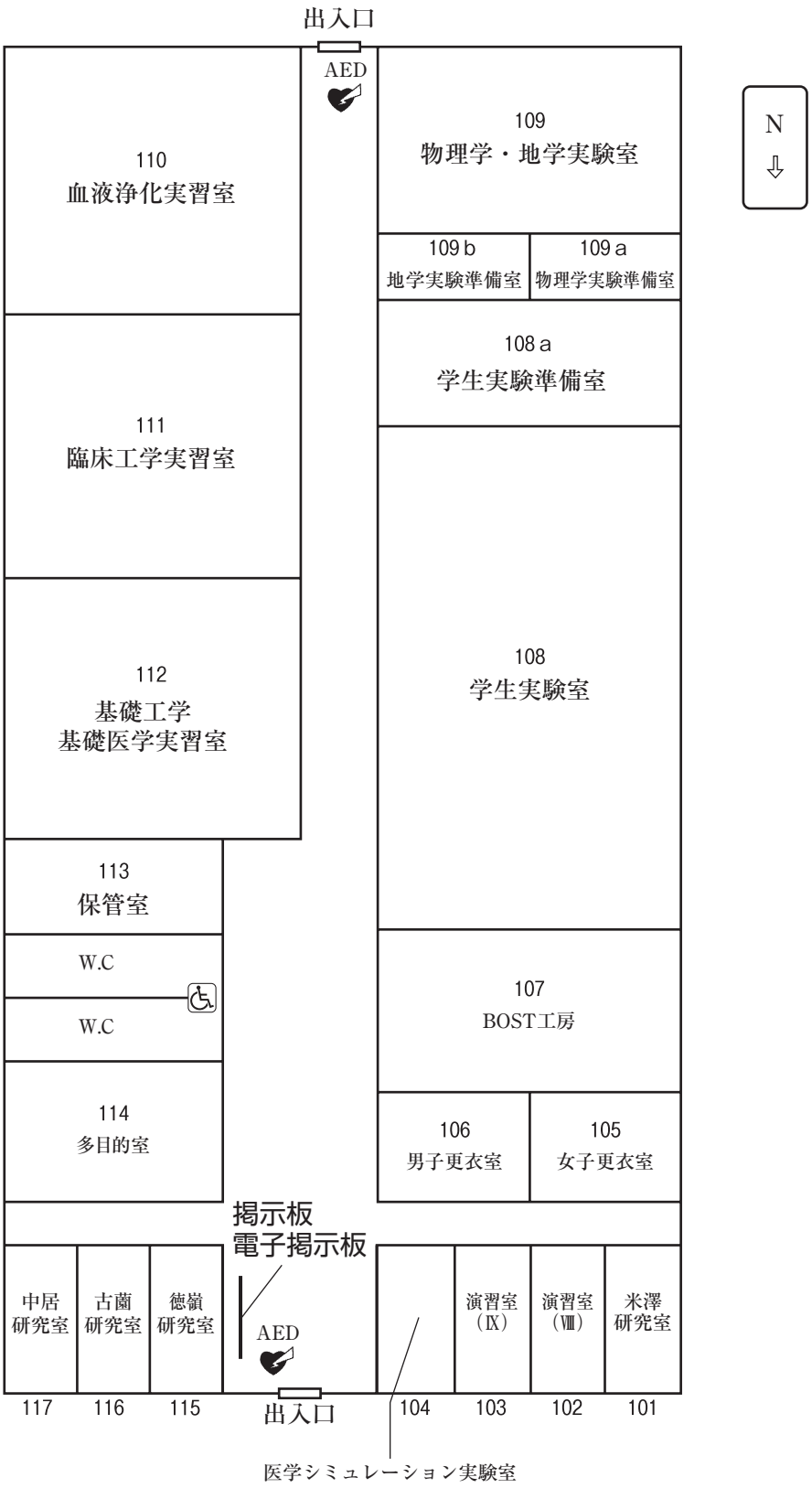
2・3号館　4階


N
412
412教室
AV教室(B)
411
410
410教室
非常階段
W.C
W.C
階段
エレベーター
3F
救助袋
5F
図書館
エレベーター
図書館

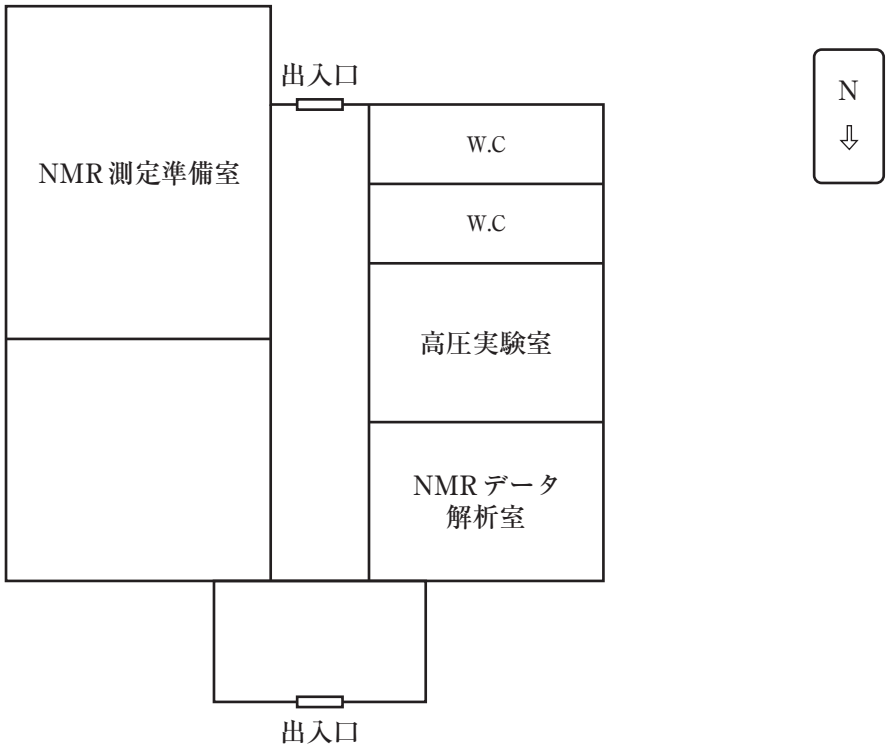
2号館　5階


N ⇨
救助袋
557
演習室（Ⅴ）
←4F
551
学友会
552
研究支援推進センター
553
地域交流センター
554
学生相談室
555
COE事務室
556
法人役員室
演習室（Ⅵ）
558
演習室（Ⅶ）
559
514
動物生命科学企画室（Ⅱ）
513
服部研究室
512
長谷川研究室
511
動物生命科学企画室（Ⅰ）
510
先端技術総合研究所教員控室
509
小田(義)研究室
508
白崎研究室
507
教職課程準備室
506
玉井研究室
505
生涯スポーツ教員控室
エレベーター
501
502
W.C
W.C
503
藤澤研究室
504

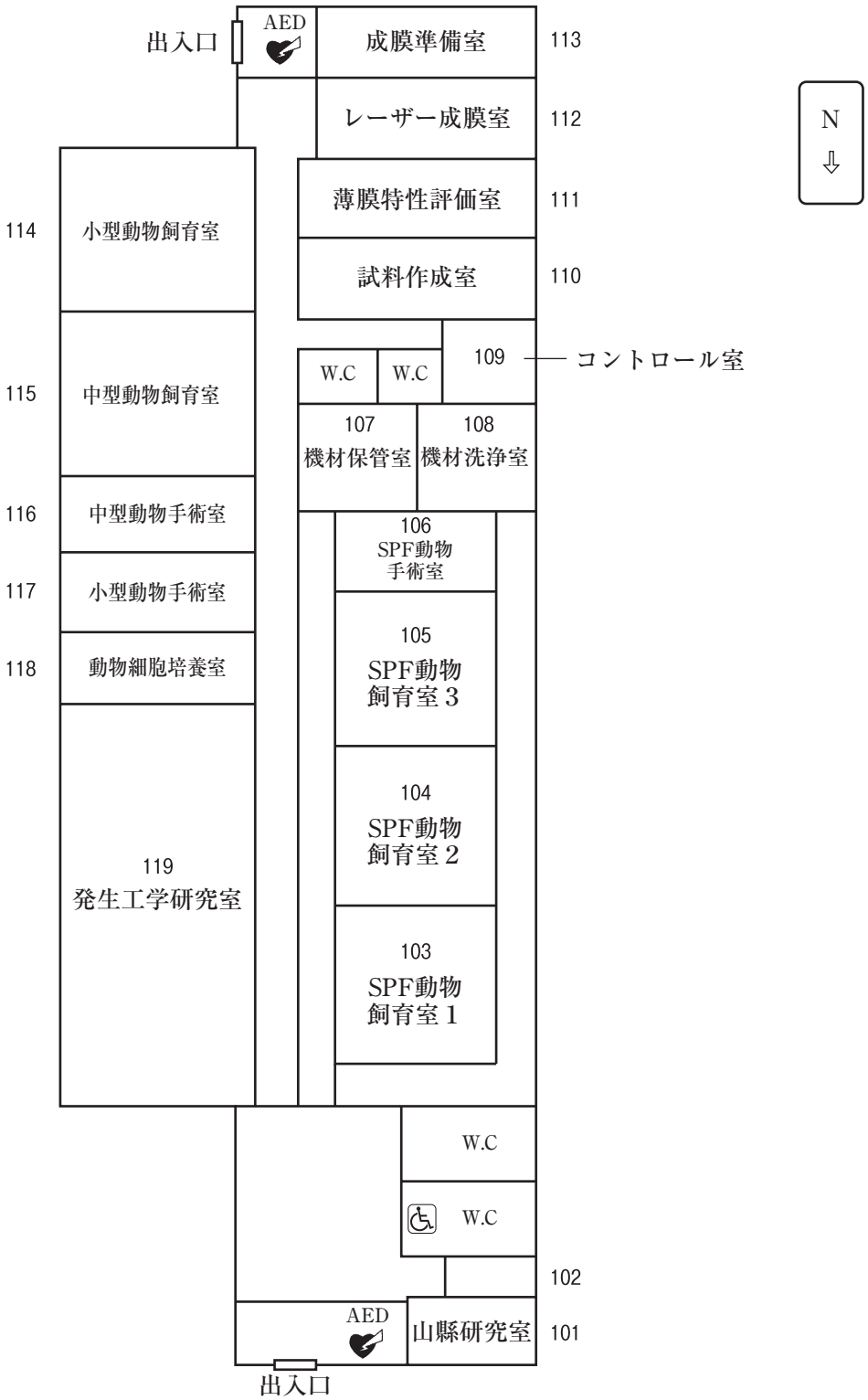
10 号館


出入口
AED
110
血液浄化実習室
109
物理学・地学実験室
N
109 b
地学実験準備室
109 a
物理学実験準備室
108 a
学生実験準備室
111
臨床工学実習室
112
基礎工学
基礎医学実習室
108
学生実験室
113
保管室
W.C
W.C
107
BOST工房
114
多目的室
106
男子更衣室
105
女子更衣室
掲示板
電子掲示板
中居
研究室
古薗
研究室
徳嶺
研究室
AED
演習室
(Ⅸ)
演習室
(Ⅷ)
米澤
研究室
117
116
115
出入口
104
103
102
101
医学シミュレーション実験室

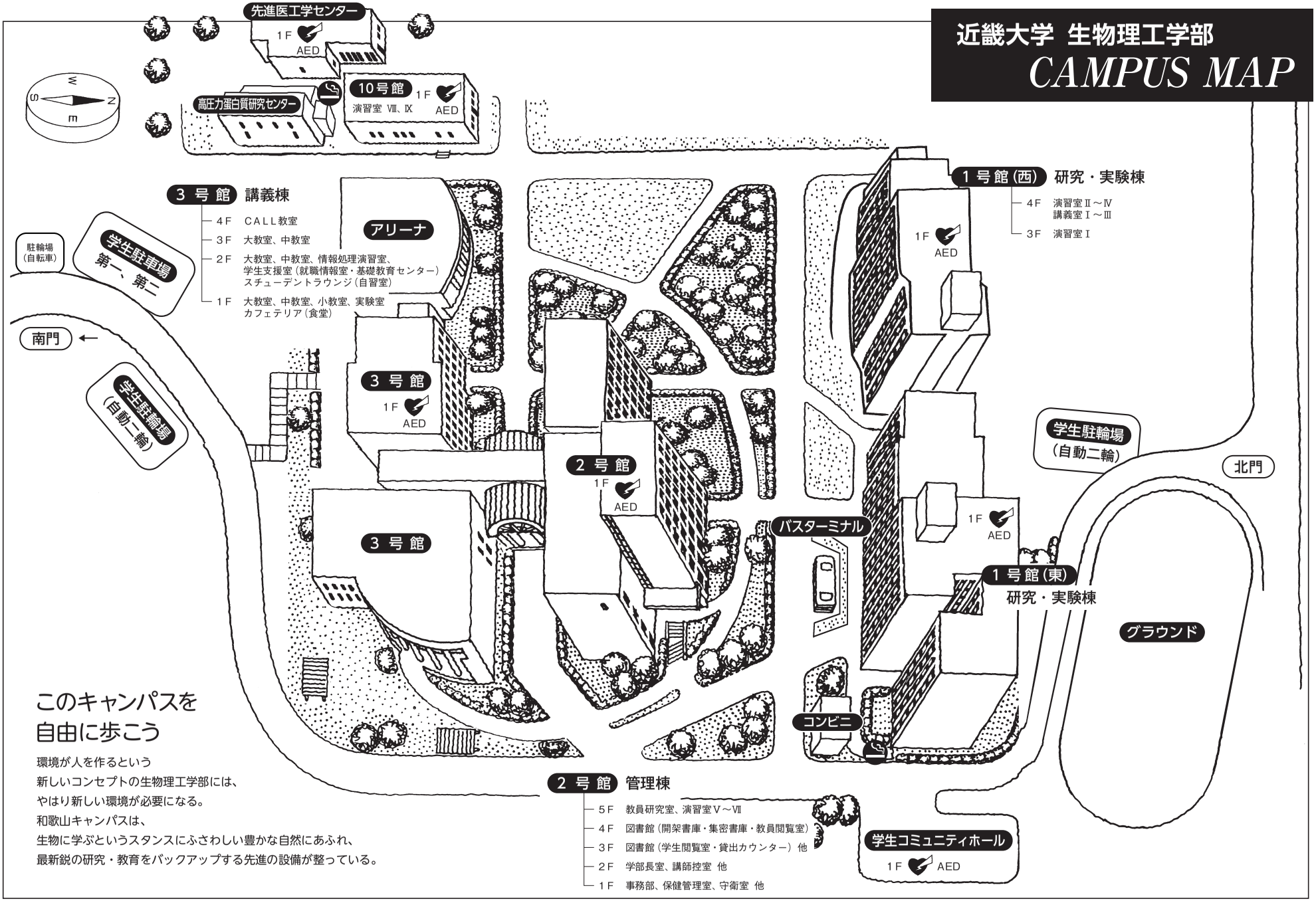
高圧力蛋白質研究センター



先進医工学センター


出入口
AED
成膜準備室
113
レーザー成膜室
112
N
薄膜特性評価室
111
114
小型動物飼育室
試料作成室
110
109
コントロール室
W.C
W.C
115
中型動物飼育室
107
機材保管室
108
機材洗浄室
116
中型動物手術室
106
SPF動物
手術室
117
小型動物手術室
105
SPF動物
飼育室３
118
動物細胞培養室
104
SPF動物
飼育室２
119
発生工学研究室
103
SPF動物
飼育室１
W.C
W.C
102
AED
山縣研究室
101
出入口

近畿大学 生物理工学部
CAMPUS MAP

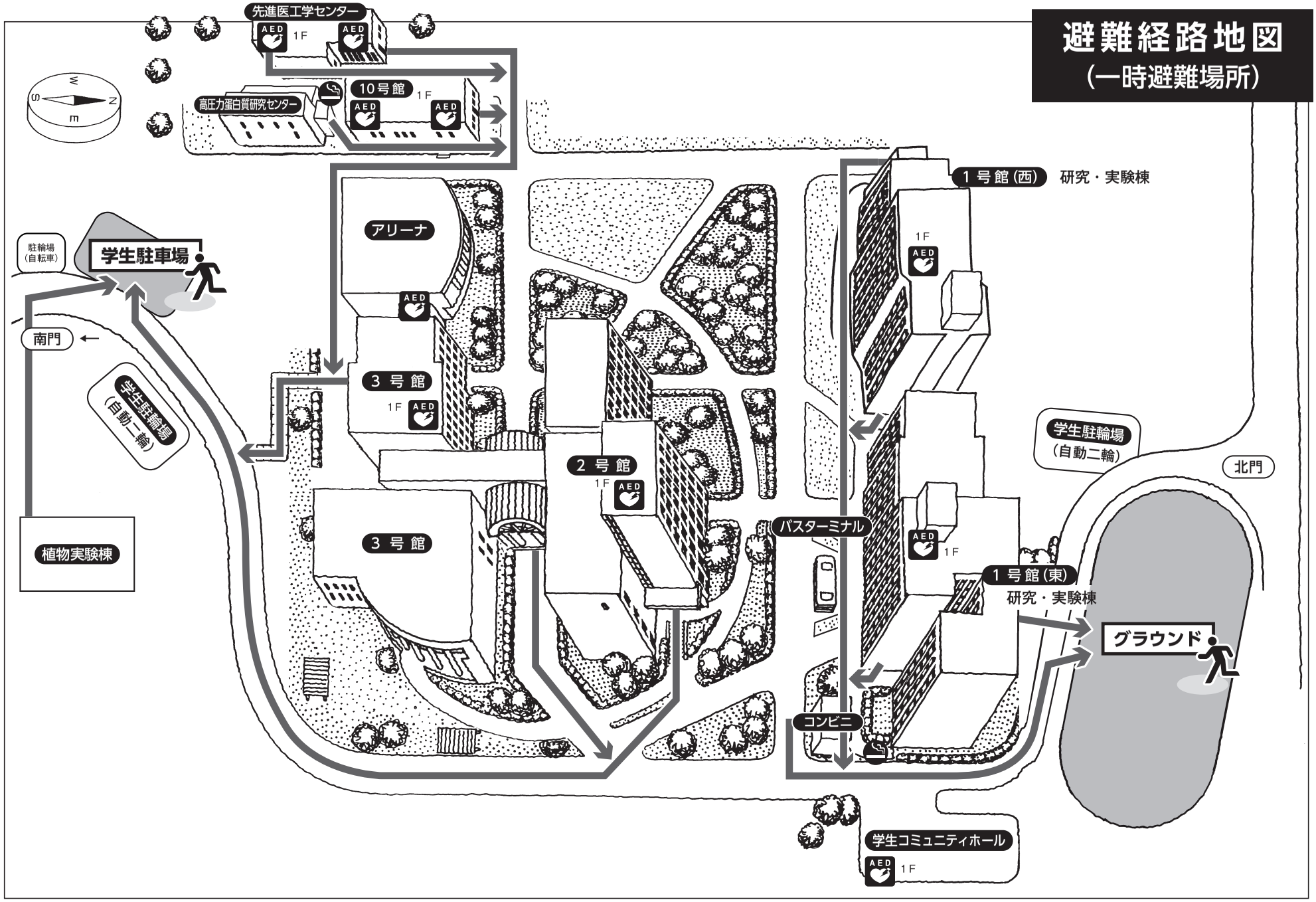


このキャンパスを自由に歩こう

環境が人を作るという
新しいコンセプトの生物理工学部には、
やはり新しい環境が必要になる。
和歌山キャンパスは、
生物に学ぶというスタンスにふさわしい豊かな自然にあふれ、
最新鋭の研究・教育をバックアップする先進の設備が整っている。

…喫煙所　…AED（自動体外式除細動器）設置場所

避難経路地図
（一時避難場所）



…喫煙所　　…AED（自動体外式除細動器）設置場所

近畿大学　生物理工学部

〒649－6493 和歌山県紀の川市西三谷９３０

TEL（0736）77－3888　FAX（0736）77－7011

URL　https://www.kindai.ac.jp/bost/

https://www.kindai.ac.jp（近畿大学）

近畿大学